

白馬村総合計画策定のための 村民アンケート

調査結果報告書

令和7年3月
有限会社イーズ

目次

調査概要	3
調査結果	4
I あなた自身に関する質問	4
II 各施策の重要度・満足度	22
III これからのまちづくりと住民自治	81
IV 地域と暮らしの状況	102
V 住みやすさと豊かさ・幸福度	119
付録 1 調査票	131
付録 2 問 34「今後も白馬村に住み続けたいか」に関する分析	138

調査概要

調査目的

本調査は、白馬村民の村政に対する意識を把握し、第6次総合計画策定の際の基礎資料とし、白馬村の将来像に役立てることを目的としている。

主な調査項目

- I あなた自身に関する質問
- II 各施策の重要度・満足度
- III これからのまちづくりと住民自治
- IV 地域と暮らしの状況
- V 住みやすさと豊かさ・幸福度

調査方法

- ① **調査対象**: 18 歳以上の村民 2,000 人を無作為抽出した。
- ② **調査手段**: 調査票を郵送で配布し、郵送またはインターネットの回答フォームにより回収した。
- ③ **調査期間**: 令和6年 10 月 29 日に調査票を配布開始し、令和7年 2 月 3 日までに受け取った回答を有効とした。
- ④ **配布・回収状況**: 配布票数 2,000 枚、回収票数 874 枚、回収率 43.7%。

本報告書を見るにあたっての留意点

- ① **比率の表記**: すべて百分率(%)で表し、小数点以下 2 位を四捨五入して算出した。そのため、合計が必ずしも 100%にならない場合がある。
- ② **カテゴリーを足し合わせた割合の計算**: 同様の理由により、複数のカテゴリーの割合(「かなりある」と「少しある」など)を合算した百分率は、本報告書内に記載された各カテゴリーの百分率を単純に合計した数値と一致しない場合がある。
- ③ **複数回答の扱い**: 複数回答が可能な質問では、1 人の回答者が 2 つ以上の選択肢を選べるため、各回答の合計比率が 100%を超えることがある。
- ④ **無回答者の扱い**: 単純集計には無回答者を含めているが、性別・年代別の集計では無回答者を除外している。そのため、全体の人数は単純集計とは異なる。
- ⑤ **性別の集計**: 「その他・回答しない」を選択した回答者が少なかったため、分析は男女のみを対象に行った。

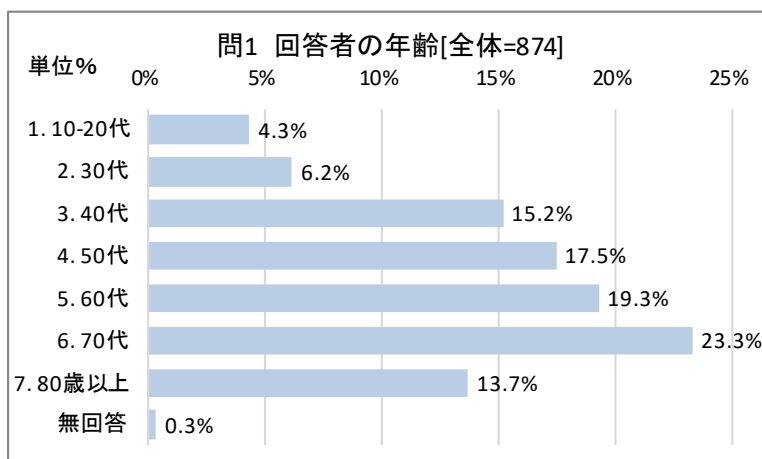
調査の結果

I あなた自身に関する質問

問1 年齢

- ・ 回答者の年代は70代が一番多く、全体の23.3%を占めた。続いて、60代が19.3%、50代が17.5%であった。
- ・ 10代から30代までを合わせても10.5%と、若い世代の割合は低かった¹。

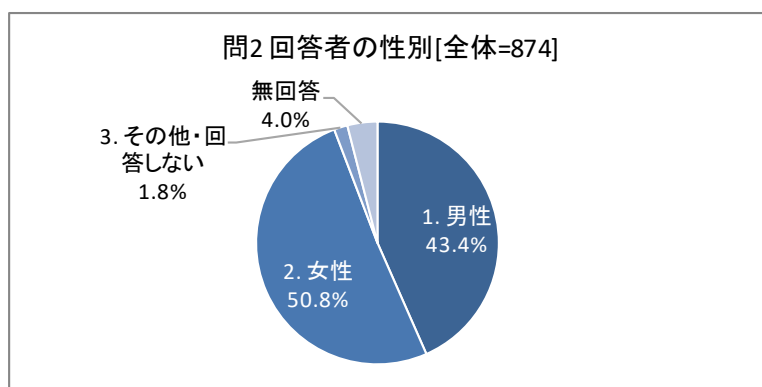
	人数	%
1. 10-20代	38	4.3%
2. 30代	54	6.2%
3. 40代	133	15.2%
4. 50代	153	17.5%
5. 60代	169	19.3%
6. 70代	204	23.3%
7. 80歳以上	120	13.7%
無回答	3	0.3%
全体	874	100.0%



問2 性別

- ・ 回答者の性別は50.8%が女性、43.4%が男性だった。

	人数	%
1. 男性	379	43.4%
2. 女性	444	50.8%
3. その他・回答しない	16	1.8%
無回答	35	4.0%
全体	874	100.0%

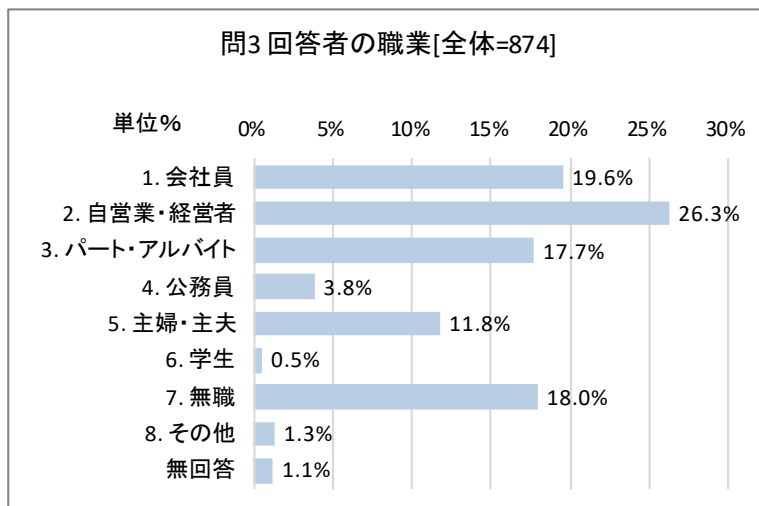


¹ 令和2年(2020年)の国勢調査による人口データを基に、20歳以上の年齢構成を10歳ごとに分類すると、20代と30代を合わせた人口割合は18.7%だった。一方、本調査の対象者(18歳以上)のうち、18歳から39歳までの割合は10.5%にとどまり、国勢調査の数値と比べて約8ポイント低いことがわかる。

問3 職業

- ・ 職業については、「2.自営業・経営者」が最も多く26.3%、次いで「1.会社員」が19.6%であった。
- ・ 「7.無職」が18.0%、「3.パート・アルバイト」が17.7%と続く。
- ・ 「4.公務員」は3.8%、「5.主婦・主夫」は11.8%、「6.学生」は0.5%と少数であった。

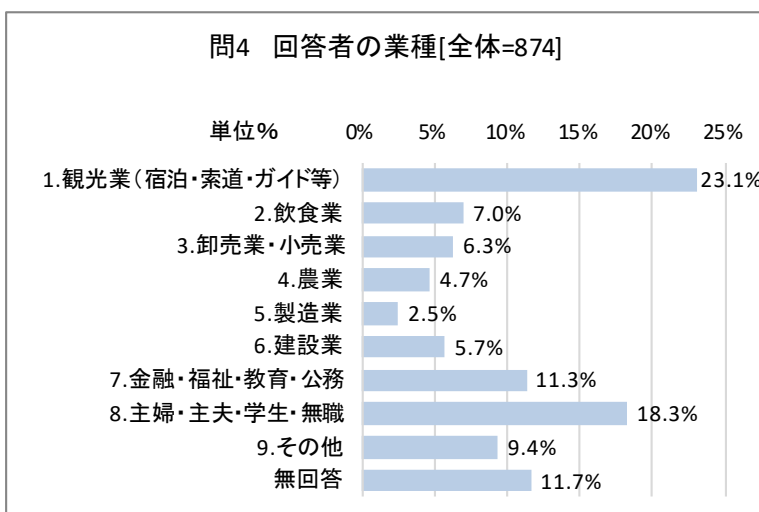
	人数	%
1. 会社員	171	19.6%
2. 自営業・経営者	230	26.3%
3. パート・アルバイト	155	17.7%
4. 公務員	33	3.8%
5. 主婦・主夫	103	11.8%
6. 学生	4	0.5%
7. 無職	157	18.0%
8. その他	11	1.3%
無回答	10	1.1%
全体	874	100.0%



問4 業種

- ・ 業種については、「1.観光業」が最も多く23.1%を占めた。次いで「8.主婦・主夫・学生・無職」が18.3%、「7.金融・福祉・教育・公務」が11.3%と続く。
- ・ 「2.飲食業」は7.0%、「3.卸売業・小売業」は6.3%、「6.建設業」は5.7%、「4.農業」は4.7%、「5.製造業」は2.5%と、比較的少数であった。
- ・ 「9.その他」は9.4%であった。その他の主な回答としては、サービス業が17件、不動産関係が6件あった。
- ・ 無回答者も11.7%いた。

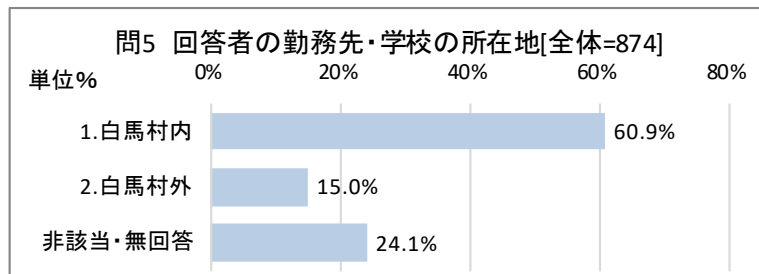
	人数	%
1. 観光業（宿泊・索道・ガイド等）	202	23.1%
2. 飲食業	61	7.0%
3. 卸売業・小売業	55	6.3%
4. 農業	41	4.7%
5. 製造業	22	2.5%
6. 建設業	50	5.7%
7. 金融・福祉・教育・公務	99	11.3%
8. 主婦・主夫・学生・無職	160	18.3%
9. その他	82	9.4%
無回答	102	11.7%
全体	874	100.0%



問5 勤務先・学校の所在地

- 働いている回答者と学校に通っている回答者(614名)を対象に、勤務先・学校の所在地について尋ねたところ、白馬村内に通勤通学している回答者が60.9%、白馬村外に通勤通学している回答者が15.0%、無回答が24.1%であった。

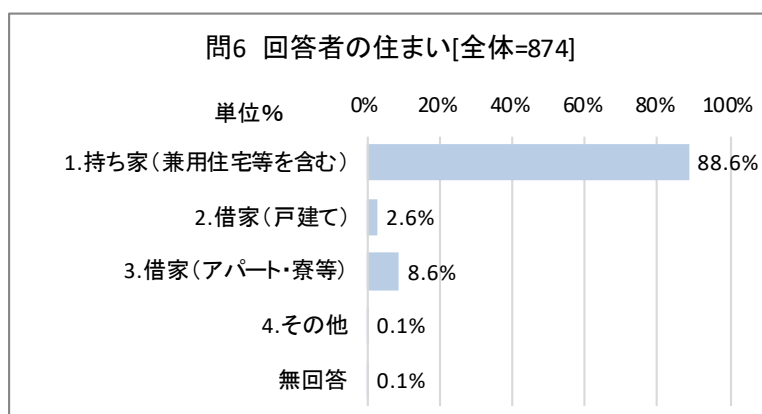
	人数	%
1. 白馬村内	374	60.9%
2. 白馬村外	92	15.0%
非該当・無回答	148	24.1%
全体	614	100.0%



問6 住まい

- 住宅形態については、「1.持ち家(兼用住宅等を含む)」に住んでいる回答者が最も多く88.6%を占めた。
- 「3.借家(アパート・寮等)」に住んでいる人は8.6%、「2.借家(戸建て)」に住んでいる人は2.6%であった。
- 「4. その他」は0.1%であった。

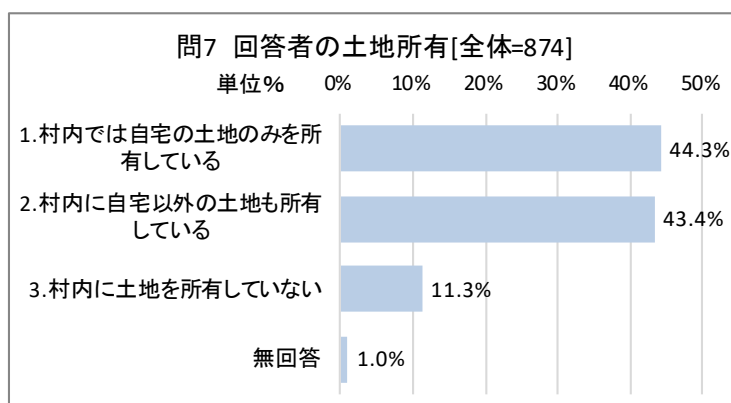
	人数	%
1. 持ち家(兼用住宅等を含む)	774	88.6%
2. 借家(戸建て)	23	2.6%
3. 借家(アパート・寮等)	75	8.6%
4. その他	1	0.1%
無回答	1	0.1%
全体	874	100.0%



問7 土地所有

- 土地所有については、「1.村内では自宅の土地のみを所有している」と回答した人が最も多く44.3%、次いで「2.村内に自宅以外の土地も所有している」が僅差の43.4%であった。合計すると87.6%が村内に土地を所有していた。
- 「3.村内に土地を所有していない」回答者は11.3%であった。

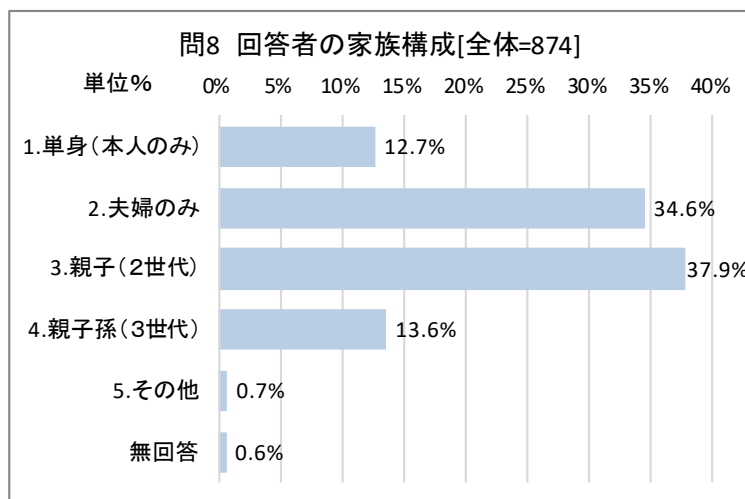
	人数	%
1. 村内では自宅の土地のみを所有している	387	44.3%
2. 村内に自宅以外の土地も所有している	379	43.4%
3. 村内に土地を所有していない	99	11.3%
無回答	9	1.0%
全体	874	100.0%



問8 家族構成

- ・ 家族構成は、「3.親子(2世代)」が最も多く37.9%、次いで「2.夫婦のみ」が34.6%を占めた。
- ・ 「4.親子孫(3世代)」は13.6%、「1.単身(本人のみ)」は12.7%であった。

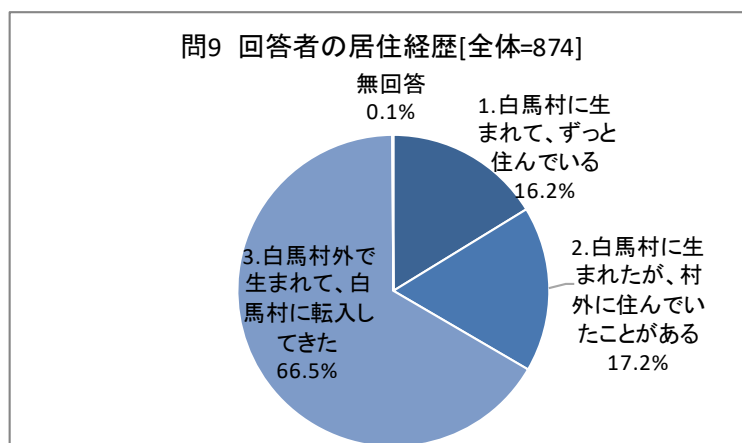
	人数	%
1. 単身（本人のみ）	111	12.7%
2. 夫婦のみ	302	34.6%
3. 親子（2世代）	331	37.9%
4. 親子孫（3世代）	119	13.6%
5. その他	6	0.7%
無回答	5	0.6%
全体	874	100.0%



問9 居住経歴

- ・ 居住経歴については、「3.白馬村外で生まれて、白馬村に転入してきた」と回答した人が最も多く66.5%を占めた。
- ・ 次いで「2.白馬村に生まれたが、村外に住んでいたことがある」回答者が17.2%、「1.白馬村に生まれて、ずっと住んでいる」回答者が16.2%であった

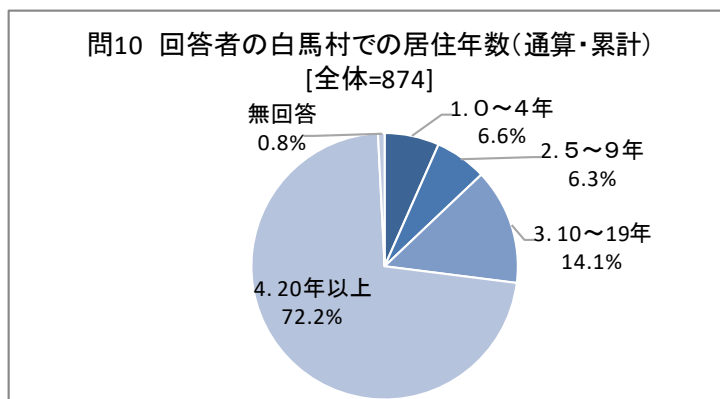
	人数	%
1. 白馬村に生まれて、ずっと住んでいる	142	16.2%
2. 白馬村に生まれたが、村外に住んでいたことがある	150	17.2%
3. 白馬村外で生まれて、白馬村に転入してきた	581	66.5%
無回答	1	0.1%
全体	874	100.0%



問 10 白馬村での居住年数(通算・累計)

- ・ 居住年数(通算・累計)は、「4. 20年以上」と回答した人が最も多く72.2%、次いで「3. 10～19年」が14.1%を占めた。長年(10年以上)白馬村に暮らしている回答者が多いことがわかる。
- ・ 「1. 0～4年」は6.6%、「2. 5～9年」は6.3%であった。

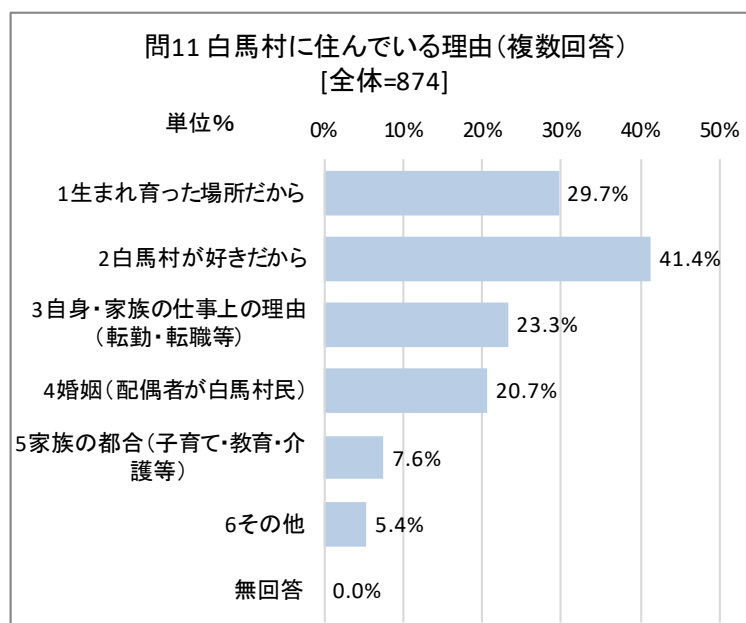
	人数	%
1. 0～4年	58	6.6%
2. 5～9年	55	6.3%
3. 10～19年	123	14.1%
4. 20年以上	631	72.2%
無回答	7	0.8%
全体	874	100.0%



問 11 白馬村に住んでいる理由(いくつでも選択可)

- ・ 白馬村に住んでいる理由を複数回答で尋ねたところ、「2.白馬村が好きだから」と回答した人が最も多く41.4%、次いで「1.生まれ育った場所だから」が29.7%を占めた。
- ・ 「3.自身・家族の仕事上の理由(転勤・転職等)」は23.3%、「4.婚姻(配偶者が白馬村民)」は20.7%と続き、「5.家族の都合(子育て・教育・介護等)」は7.6%と比較的少なかった。
- ・ 「その他」との回答が5.4%あったが、その主な回答には「スキー」「山登り」「自然環境」「ゆっくりすごせる」といった内容があった。

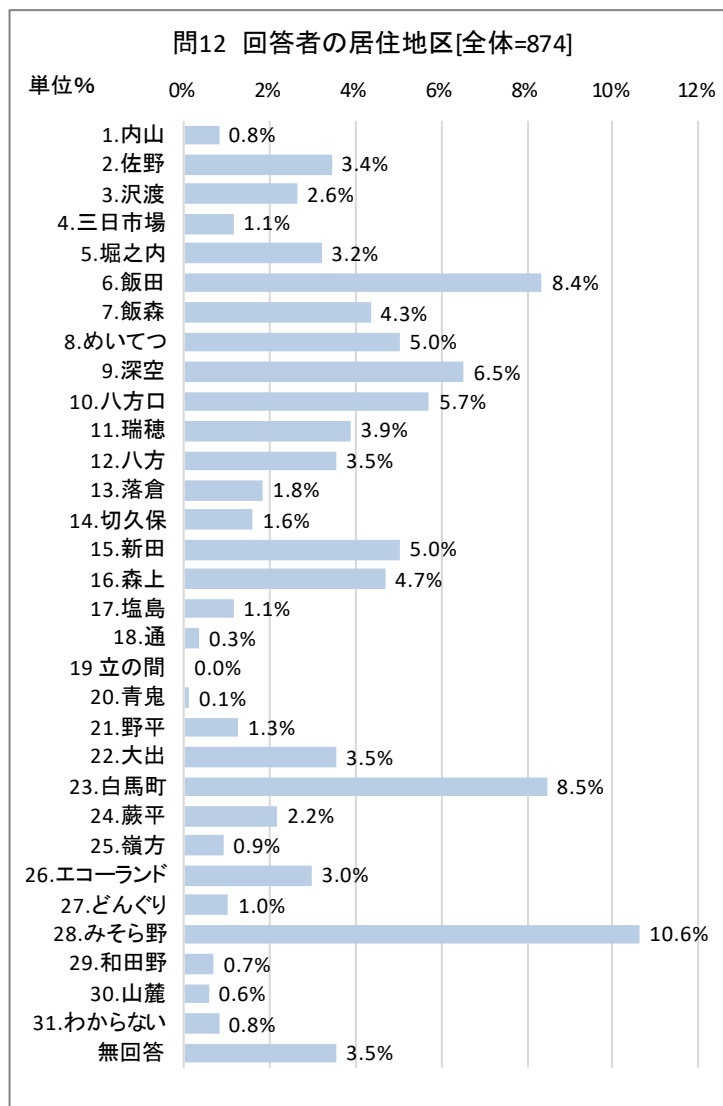
	人数	%
1生まれ育った場所だから	260	29.7%
2白馬村が好きだから	362	41.4%
3自身・家族の仕事上の理由(転勤・転職等)	204	23.3%
4婚姻(配偶者が白馬村民)	181	20.7%
5家族の都合(子育て・教育・介護等)	66	7.6%
6その他	47	5.4%
無回答	0	0.0%
全体	874	100.0%



問 12 どの地区に住んでいますか

- ・ 居住地区については、「28.みそら野」が最も多く10.6%、次いで「23.白馬町」が8.5%、「6.飯田」が8.4%であった。
- ・ 「9.深空」が6.5%、「10.八方口」が5.7%、「8.めいてつ」と「15.新田」がともに5.0%で続いた。

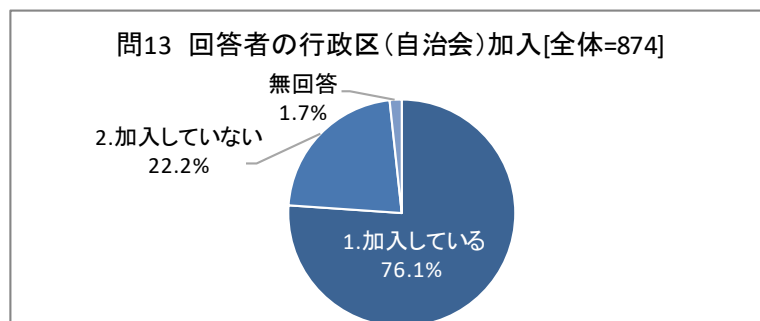
	人数	%
1. 内山	7	0.8%
2. 佐野	30	3.4%
3. 沢渡	23	2.6%
4. 三日市場	10	1.1%
5. 堀之内	28	3.2%
6. 飯田	73	8.4%
7. 飯森	38	4.3%
8. めいてつ	44	5.0%
9. 深空	57	6.5%
10. 八方口	50	5.7%
11. 瑞穂	34	3.9%
12. 八方	31	3.5%
13. 落倉	16	1.8%
14. 切久保	14	1.6%
15. 新田	44	5.0%
16. 森上	41	4.7%
17. 塩島	10	1.1%
18. 通	3	0.3%
19. 立の間	0	0.0%
20. 青鬼	1	0.1%
21. 野平	11	1.3%
22. 大出	31	3.5%
23. 白馬町	74	8.5%
24. 蕨平	19	2.2%
25. 嶺方	8	0.9%
26. エコーランド	26	3.0%
27. どんぐり	9	1.0%
28. みそら野	93	10.6%
29. 和田野	6	0.7%
30. 山麓	5	0.6%
31. わからない	7	0.8%
無回答	31	3.5%
全体	874	100.0%



問13 行政区(自治会)に加入していますか

- ・ 行政区(自治会)加入状況は、「1.加入している」と回答した人が76.1%、「2.加入していない」と回答した人が22.2%であった。

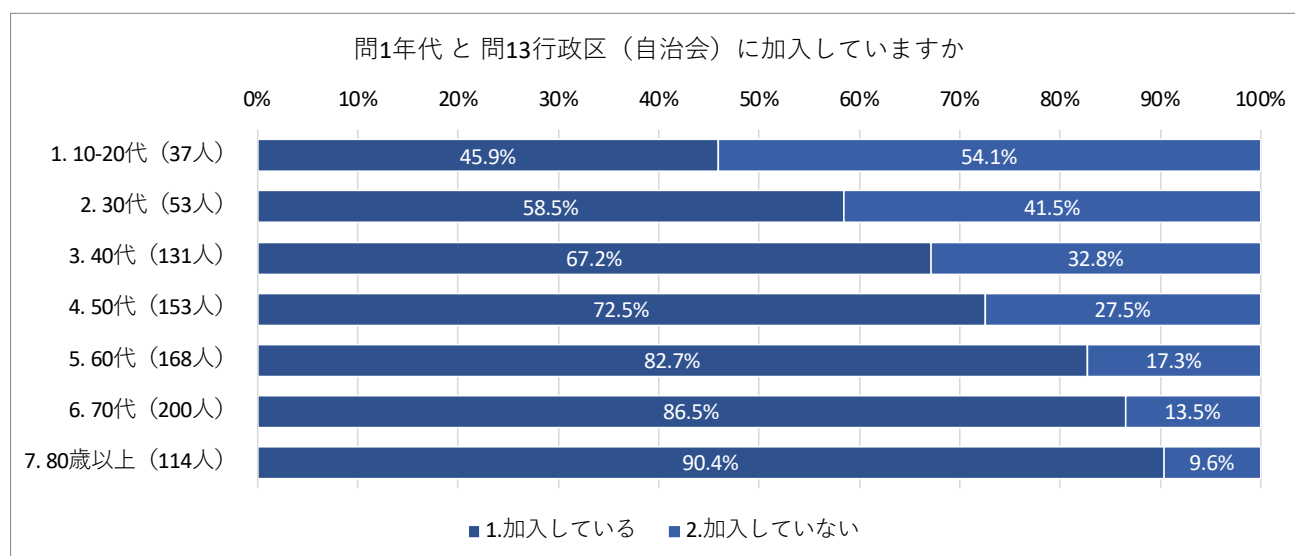
	人数	%
1. 加入している	665	76.1%
2. 加入していない	194	22.2%
無回答	15	1.7%
全体	874	100.0%



行政区の加入については、年代別・性別の集計を行った。

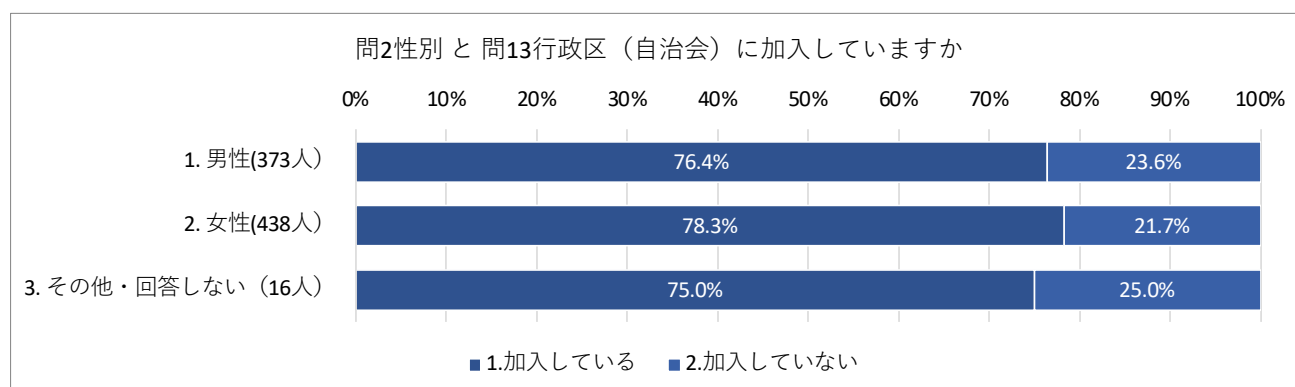
年代別集計

- ・ 年代別の傾向としては、年齢が上がるにつれて、「1.加入している」の選択肢を選ぶ割合が増えている。特に80歳以上では90.4%が「1.加入している」を選択している。



性別集計

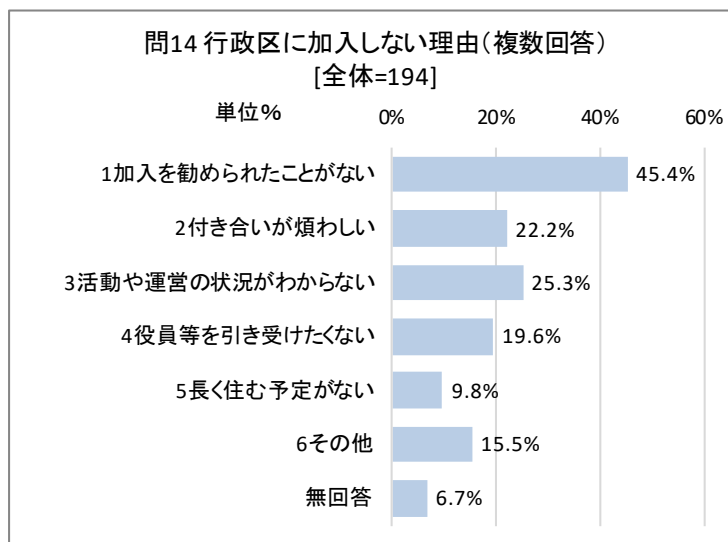
- ・ 男女差はほぼ見られなかった。



問 14 行政区に加入しない理由(いくつでも選択可)

- ・ 行政区に加入しない回答者(194 名)を対象に、その理由について複数回答で尋ねたところ、「1.加入を勧められたことがない」と回答した人が最も多く 45.4%、次いで「3.活動や運営の状況がわからない」が 25.3%、次に「2.付き合いが煩わしい」が 22.2%であった。
- ・ 「4.役員等を引き受けたくない」は 19.6%、「5.長く住む予定がない」は 9.8%であった。
- ・ 「6.その他」も 15.5%いた。その他の回答には、賃貸住宅であることや、会費について言及する内容があった。

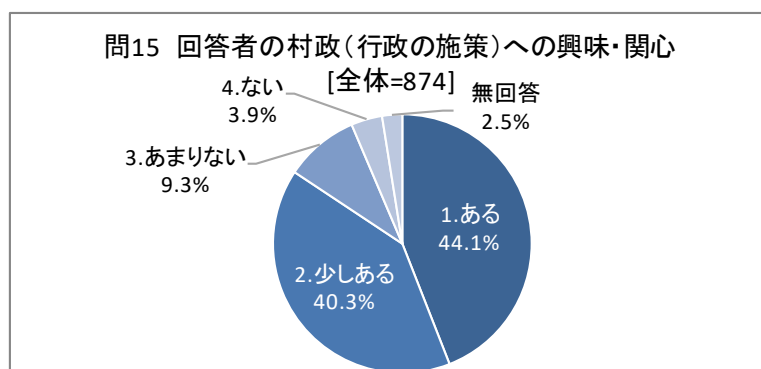
	人数	%
1加入を勧められたことがない	88	45.4%
2付き合いが煩わしい	43	22.2%
3活動や運営の状況がわからない	49	25.3%
4役員等を引き受けたくない	38	19.6%
5長く住む予定がない	19	9.8%
6その他	30	15.5%
無回答	13	6.7%
全体	194	100.0%



問 15 村政(行政の施策)への興味・関心はどの程度ありますか。

- ・ 村政(行政の施策)への興味・関心に関する分析では、「1.ある」と回答した人が最も多く 44.1%、次いで「2.少しある」が 40.3%であった。興味・関心がある回答者が多いことがわかる。
- ・ 「3.あまりない」は 9.3%、「4.ない」は 3.9%と続き、無回答者は 2.5%であった。

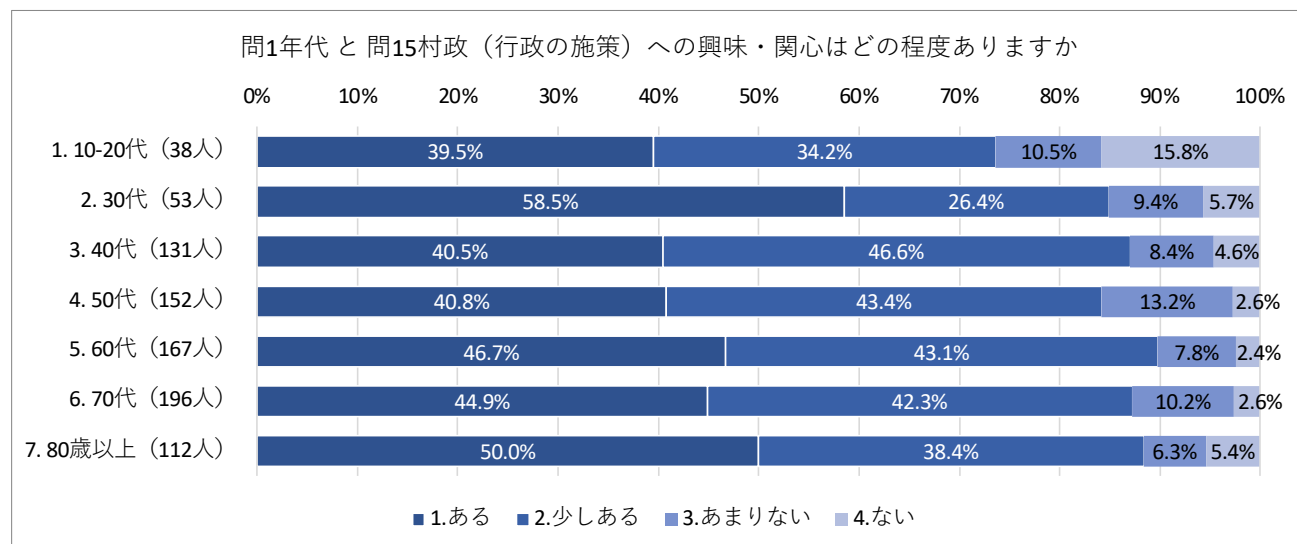
	人数	%
1. ある	385	44.1%
2. 少しある	352	40.3%
3. あまりない	81	9.3%
4. ない	34	3.9%
無回答	22	2.5%
全体	874	100.0%



問 15 については、年代別・性別の集計を行った。

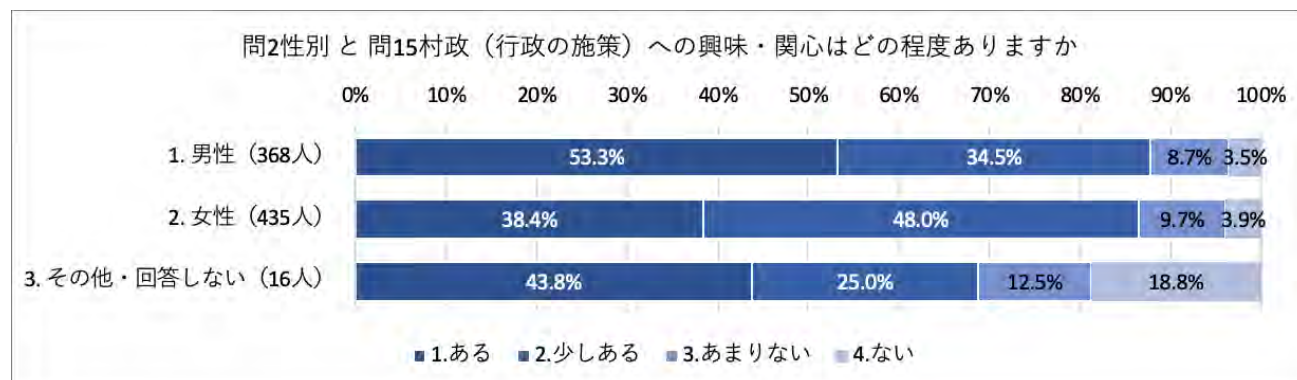
年代別集計

- ・ 年代別の傾向としては、30代は「ある」と答えた割合が58.5%と最も高く、10-20代は「ない」と答える割合が15.8%と他の年代よりも高い。ただし、若年層は回答者が少ないことには注意が必要である。



性別集計

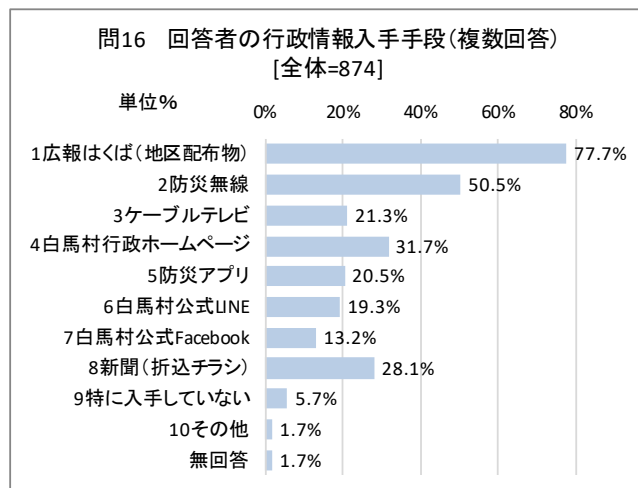
- ・ 男性は「1.ある」と回答した割合が53.3%と最も高い。
- ・ 一方で、女性は「2.少しある」(48.0%)の割合が最も高い。



問 16 行政情報を入手する手段(いくつでも選択可)

- 行政情報を入手する手段に関して複数回答で尋ねたところ、「1.広報はくば(地区配布物)」と回答した人が最も多く77.7%、次いで「2.防災無線」が50.5%、次に「4.白馬村行政ホームページ」が31.7%であった。
- さらに「8.新聞(折込チラシ)」は28.1%、「3.ケーブルテレビ」は21.3%、「5.防災アプリ」は20.5%、「6.白馬村公式LINE」は19.3%、「7.白馬村公式 Facebook」は13.2%と続いた。
- 「9.特に入手していない」と回答した人も5.7%いた。

	人数	%
1広報はくば(地区配布物)	679	77.7%
2防災無線	441	50.5%
3ケーブルテレビ	186	21.3%
4白馬村行政ホームページ	277	31.7%
5防災アプリ	179	20.5%
6白馬村公式LINE	169	19.3%
7白馬村公式Facebook	115	13.2%
8新聞(折込チラシ)	246	28.1%
9特に入手していない	50	5.7%
10その他	15	1.7%
無回答	15	1.7%
全体	874	100.0%



問 16 については、年代別・性別の集計を行った。

年代別集計

- 年代が上がるにつれて、「1.広報はくば(地区配布物)」の割合が増加し、特に60代以上では80%を超えている。
- 「4.白馬村行政ホームページ」や「5.防災アプリ」の割合は若年層のほうが高い傾向がある。
- 「8.新聞(折込チラシ)」は60代以上で顕著に増加する。

問1年代と問16行政情報を入手する手段のクロス表(複数回答)

		問16行政情報を入手する手段										回答人数
		1. 広報はくば	2. 防災無線	3. ケーブルテレビ	4. 白馬村行政ホームページ	5. 防災アプリ	6. 白馬村公式LINE	7. 白馬村公式Facebook	8. 新聞(折込チラシ)	9. 特に入手していない	10. その他	
問1年代	1. 10-20代	21	20	6	15	7	6	5	5	9	2	38
		55.3%	52.6%	15.8%	39.5%	18.4%	15.8%	13.2%	13.2%	23.7%	5.3%	100.0%
	2. 30代	32	19	8	22	22	21	17	5	5	3	53
		60.4%	35.8%	15.1%	41.5%	41.5%	39.6%	32.1%	9.4%	9.4%	5.7%	100.0%
	3. 40代	88	51	25	48	47	53	37	11	10	3	131
		67.2%	38.9%	19.1%	36.6%	35.9%	40.5%	28.2%	8.4%	7.6%	2.3%	100.0%
	4. 50代	117	64	20	73	42	34	27	24	10	4	152
		77.0%	42.1%	13.2%	48.0%	27.6%	22.4%	17.8%	15.8%	6.6%	2.6%	100.0%
	5. 60代	144	92	38	58	34	32	19	56	5	3	169
		85.2%	54.4%	22.5%	34.3%	20.1%	18.9%	11.2%	33.1%	3.0%	1.8%	100.0%
	6. 70代	176	124	56	47	23	18	9	98	6	0	199
		88.4%	62.3%	28.1%	23.6%	11.6%	9.0%	4.5%	49.2%	3.0%	0.0%	100.0%
	7. 80歳以上	100	71	33	14	4	4	1	47	3	0	114
		87.7%	62.3%	28.9%	12.3%	3.5%	3.5%	0.9%	41.2%	2.6%	0.0%	100.0%
回答人数		678	441	186	277	179	168	115	246	48	15	856

色のセル：年代ごとに最も多く選ばれた選択肢

色のセル：年代ごとに二番目に多く選ばれた選択肢

性別集計

- 行政情報を入手する手段として、「2.防災無線」を挙げた回答者は、女性(54.9%)のほうが男性(47.6%)よりも多い。「8. 新聞(折込チラシ)」も同様の傾向が見られる。一方、「4.白馬村行政ホームページ」は男性(36.2%)のほうが女性(29.6%)よりも多い。

問2性別 と 問16行政情報を入手する手段のクロス表（複数回答）

		問16行政情報を入手する手段										回答人数
		1. 広報はくば（地区配布物）	2. 防災無線	3. ケーブルテレビ	4. 白馬村行政ホームページ	5. 防災アプリ	6. 白馬村公式LINE	7. 白馬村公式Facebook	8. 新聞（折込チラシ）	9. 特に入手していない	10. その他	
問2性別	1. 男性	292	176	76	134	77	69	52	96	26	11	370
		78.9%	47.6%	20.5%	36.2%	20.8%	18.6%	14.1%	25.9%	7.0%	3.0%	100.0%
	2. 女性	352	241	96	130	96	94	57	137	19	4	439
		80.2%	54.9%	21.9%	29.6%	21.9%	21.4%	13.0%	31.2%	4.3%	0.9%	100.0%
	3. その他・回答しない	10	8	5	5	3	2	3	2	3	0	16
		62.5%	50.0%	31.3%	31.3%	18.8%	12.5%	18.8%	12.5%	18.8%	0.0%	100.0%
回答人数		654	425	177	269	176	165	112	235	48	15	825

色のセル：性別ごとに最も多く選ばれた選択肢
色のセル：性別ごとに二番目に多く選ばれた選択肢

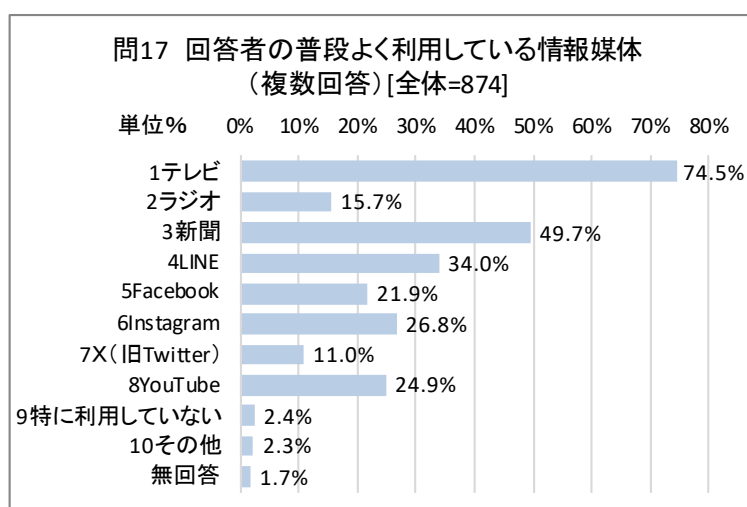
2

² 複数回答のクロス集計表では、各年代・性別ごとに最も多く選ばれた選択肢と、2番目に多く選ばれた選択肢に色を付けている。

問 17 普段よく利用している情報媒体(いくつでも選択可)

- よく利用している情報媒体を複数回答で尋ねたところ、「1.テレビ」と回答した人が最も多く 74.5%、次いで「3.新聞」が 49.7%、次に「4.LINE」が 34.0%であった。
- さらに、「6.Instagram」は 26.8%、「8.YouTube」は 24.9%、「5.Facebook」は 21.9%、「2.ラジオ」は 15.7%、「X(旧 Twitter)」は 11.0%であった。
- 「10.その他(2.3%)」の回答では、17 人がインターネット経由で情報を得ていると回答していた。
- 全体としてテレビや新聞というマスメディアを利用している人が多いものの、インターネットやソーシャルメディアを用いて情報を得ている人が一定数いることがわかる。

	人数	%
1テレビ	651	74.5%
2ラジオ	137	15.7%
3新聞	434	49.7%
4LINE	297	34.0%
5Facebook	191	21.9%
6Instagram	234	26.8%
7X (旧Twitter)	96	11.0%
8YouTube	218	24.9%
9特に利用していない	21	2.4%
10その他	20	2.3%
無回答	15	1.7%
全体	874	100.0%



問 17 については、年代別・性別の集計を行った。

年代別集計

- ・ 年代が上がるにつれて、「1.テレビ」の割合が増加し、特に 60 代以上では 80%を上回る。
- ・ 「3.新聞」の割合も年代が上がるにつれて増加し、特に 60 代以上では 60%以上を占める。
- ・ 「4.LINE」の割合は若年層で高く(10-40 代で 50%以上)、50 代以降で急激に低下する。
- ・ 「5.Facebook」「6.Instagram」「8.YouTube」は若年層で選択率が高いが、年代が上がると低下する傾向がある。

問1年代と問17普段よく利用している情報媒体のクロス表（複数回答）

		問17普段よく利用している情報媒体										回答人数
		1. テレビ	2. ラジオ	3. 新聞	4. LINE	5. Facebook	6. Instagram	7. X	8. YouTube	9. 特に利用していない	10. その他	
問1 年代	1. 10-20代	17	2	7	22	6	26	17	20	1	1	38
		44. 7%	5. 3%	18. 4%	57. 9%	15. 8%	68. 4%	44. 7%	52. 6%	2. 6%	2. 6%	100. 0%
	2. 30代	26	6	9	30	25	37	13	20	1	0	53
		49. 1%	11. 3%	17. 0%	56. 6%	47. 2%	69. 8%	24. 5%	37. 7%	1. 9%	0. 0%	100. 0%
	3. 40代	70	20	25	77	57	79	33	50	4	3	132
		53. 0%	15. 2%	18. 9%	58. 3%	43. 2%	59. 8%	25. 0%	37. 9%	3. 0%	2. 3%	100. 0%
	4. 50代	104	24	59	61	44	47	18	49	6	11	153
		68. 0%	15. 7%	38. 6%	39. 9%	28. 8%	30. 7%	11. 8%	32. 0%	3. 9%	7. 2%	100. 0%
	5. 60代	150	29	105	57	36	33	10	44	1	3	169
		88. 8%	17. 2%	62. 1%	33. 7%	21. 3%	19. 5%	5. 9%	26. 0%	0. 6%	1. 8%	100. 0%
	6. 70代	183	41	146	45	21	11	5	31	3	1	200
		91. 5%	20. 5%	73. 0%	22. 5%	10. 5%	5. 5%	2. 5%	15. 5%	1. 5%	0. 5%	100. 0%
	7. 80歳以上	100	15	82	5	2	0	0	3	5	1	112
		89. 3%	13. 4%	73. 2%	4. 5%	1. 8%	0. 0%	0. 0%	2. 7%	4. 5%	0. 9%	100. 0%
回答人数		650	137	433	297	191	233	96	217	21	20	857

性別集計

- ・ 「4.LINE」と「6.Instagram」は男性よりも女性が利用する傾向がある
- ・ 「5.Facebook」と「8.YouTube」は女性よりも男性が利用する傾向がある。

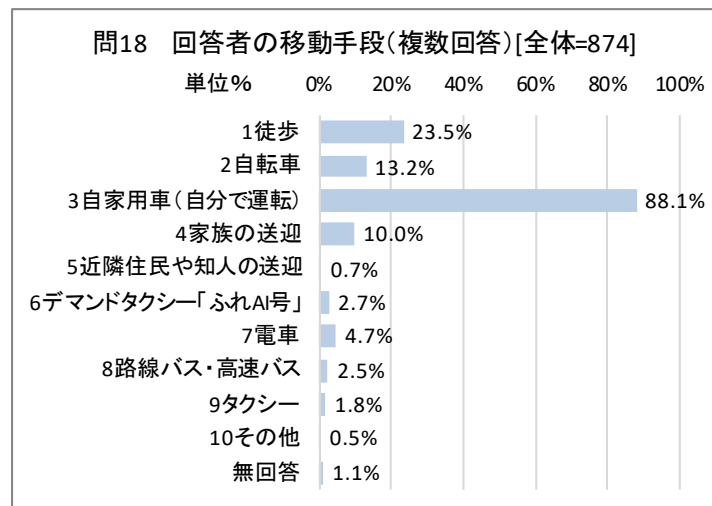
問2性別 と 問17普段よく利用している情報媒体 のクロス表（複数回答）

		問17普段よく利用している情報媒体										回答人数
		1. テレビ	2. ラジオ	3. 新聞	4. LINE	5. Facebook	6. Instagram	7. X (旧 Twitter)	8. YouTube	9. 特に利用していない	10. その他	
問2 性別	1. 男性	275	68	194	119	93	87	42	116	9	8	373
		73. 7%	18. 2%	52. 0%	31. 9%	24. 9%	23. 3%	11. 3%	31. 1%	2. 4%	2. 1%	100. 0%
	2. 女性	338	64	211	165	86	137	49	87	11	10	437
		77. 3%	14. 6%	48. 3%	37. 8%	19. 7%	31. 4%	11. 2%	19. 9%	2. 5%	2. 3%	100. 0%
	3. その他・回答しない	9	1	8	8	3	5	3	9	1	0	15
		60. 0%	6. 7%	53. 3%	53. 3%	20. 0%	33. 3%	20. 0%	60. 0%	6. 7%	0. 0%	100. 0%
回答人数		622	133	413	292	182	229	94	212	21	18	825

問 18 普段よく利用している移動手段(いくつでも選択可)

- ・ 普段よく利用する移動手段について複数回答で尋ねたところ、「3.自家用車(自分で運転)」と回答した人が最も多く88.1%、次いで「1.徒歩」が23.5%、「2.自転車」が13.2%であった。
- ・ 「4.家族の送迎」は10.0%、「7.電車」は4.7%、「6.デマンドタクシー「ふれAI号」」は2.7%、「8.路線バス・高速バス」は2.5%、「9.タクシー」は1.8%、「5.近隣住民や知人の送迎」は0.7%と続いた。
- ・ その他(4件)の回答はすべて「バイク」であった。

	人数	%
1徒歩	205	23.5%
2自転車	115	13.2%
3自家用車(自分で運転)	770	88.1%
4家族の送迎	87	10.0%
5近隣住民や知人の送迎	6	0.7%
6デマンドタクシー「ふれAI号」	24	2.7%
7電車	41	4.7%
8路線バス・高速バス	22	2.5%
9タクシー	16	1.8%
10その他	4	0.5%
無回答	10	1.1%
全体	874	100.0%



問 18 については、年代別・性別の集計を行った。

年代別集計

- ・ 「3.自家用車(自分で運転)」の割合は30代から70代では90%以上を占める。
- ・ 「1.徒歩」の割合は10-20代で42.1%と高い。
- ・ 「4.家族の送迎」の割合は10-20代(18.4%)と80歳以上(38.3%)が他の年代よりも高い。

問1年代と問18普段よく利用している移動手段のクロス表(複数回答)

		問18普段よく利用している移動手段										回答人数
		1. 徒歩	2. 自転車	3. 自家用車(自分で運転)	4. 家族の送迎	5. 近隣住民や知人の送迎	6. デマンドタクシー「ふれAI号」	7. 電車	8. 路線バス・高速バス	9. タクシー	10. その他	
問1年代	1. 10-20代	16	8	32	7	0	0	5	0	2	0	38
		42.1%	21.1%	84.2%	18.4%	0.0%	0.0%	13.2%	0.0%	5.3%	0.0%	100.0%
	2. 30代	12	8	51	1	0	1	1	2	1	0	53
		22.6%	15.1%	96.2%	1.9%	0.0%	1.9%	1.9%	3.8%	1.9%	0.0%	100.0%
	3. 40代	30	29	127	6	0	2	5	4	2	0	132
		22.7%	22.0%	96.2%	4.5%	0.0%	1.5%	3.8%	3.0%	1.5%	0.0%	100.0%
	4. 50代	31	28	145	9	0	0	8	6	1	1	153
		20.3%	18.3%	94.8%	5.9%	0.0%	0.0%	5.2%	3.9%	0.7%	0.7%	100.0%
	5. 60代	45	16	162	3	0	0	6	3	0	1	169
		26.6%	9.5%	95.9%	1.8%	0.0%	0.0%	3.6%	1.8%	0.0%	0.6%	100.0%
	6. 70代	40	19	182	17	4	6	6	3	4	2	201
		19.9%	9.5%	90.5%	8.5%	2.0%	3.0%	3.0%	1.5%	2.0%	1.0%	100.0%
	7. 80歳以上	31	7	68	44	2	15	10	4	6	0	115
		27.0%	6.1%	59.1%	38.3%	1.7%	13.0%	8.7%	3.5%	5.2%	0.0%	100.0%
回答人数		205	115	767	87	6	24	41	22	16	4	861

性別集計

- ・ 「3.自家用車(自分で運転)」の割合は男女ともに非常に高いが、男性(92.2%)が、女性(86.8%)よりもやや高い傾向が見られる。
- ・ 「2.自転車」は男性(17.7%)のほうが、女性(9.3%)よりも多い。
- ・ 「4.家族の送迎」は女性(13.4%)のほうが男性(5.6%)よりも多い。「6.デマンドタクシー「ふれAI号」」も女性(4.1%)のほうが男性(1.6%)よりもやや多い。

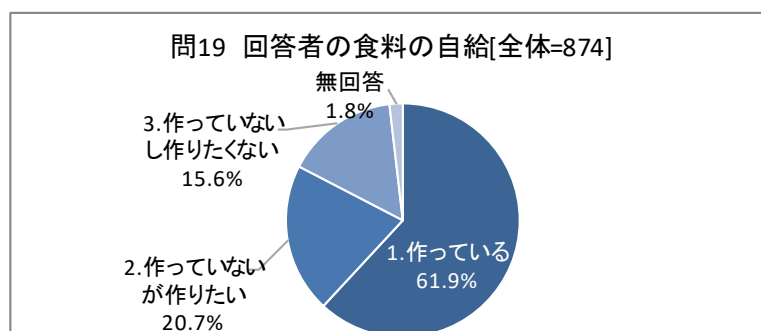
問2性別 と 問18普段よく利用している移動手段 のクロス表（複数回答）

		問18普段よく利用している移動手段										回答人数
		1. 徒歩	2. 自転車	3. 自家用車 (自分で運転)	4. 家族の 送迎	5. 近隣住 民や知人 の送迎	6. デマン ドタク シー「ふ れAI号」	7. 電車	8. 路線バ ス・高速 バス	9. タク シー	10. その他	
問2 性別	1. 男性	92	66	344	21	1	6	22	9	7	4	373
		24.7%	17.7%	92.2%	5.6%	0.3%	1.6%	5.9%	2.4%	1.9%	1.1%	100.0%
	2. 女性	102	41	382	59	5	18	17	12	6	0	440
		23.2%	9.3%	86.8%	13.4%	1.1%	4.1%	3.9%	2.7%	1.4%	0.0%	100.0%
	3. その他・ 回答しない	6	4	15	3	0	0	2	1	0	0	16
		37.5%	25.0%	93.8%	18.8%	0.0%	0.0%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	100.0%
回答人数		200	111	741	83	6	24	41	22	13	4	829

問 19 お米・野菜などを自分または家族が作っていますか？

- ・ お米・野菜などの自給状況に関しては、「1.作っている」と回答した人が最も多く 61.9%、次いで「2.作っていないが作りたい」が 20.7%、「3.作っていないし作りたくない」が 15.6%であった。

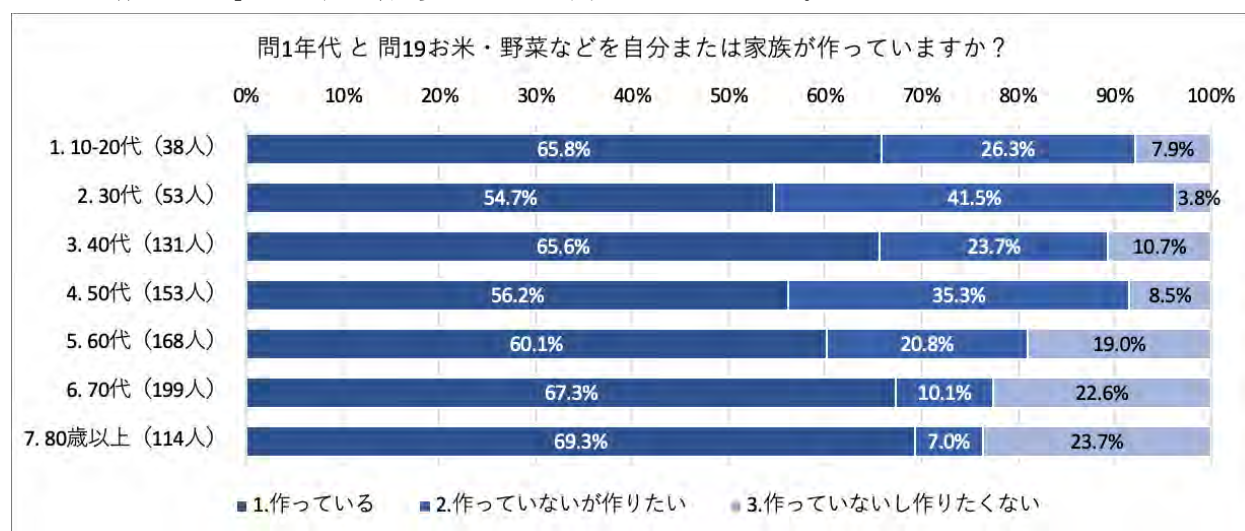
	人数	%
1. 作っている	541	61.9%
2. 作っていないが作りたい	181	20.7%
3. 作っていないし作りたくない	136	15.6%
無回答	16	1.8%
全体	874	100.0%



問 19 については、年代別・性別の集計を行った。

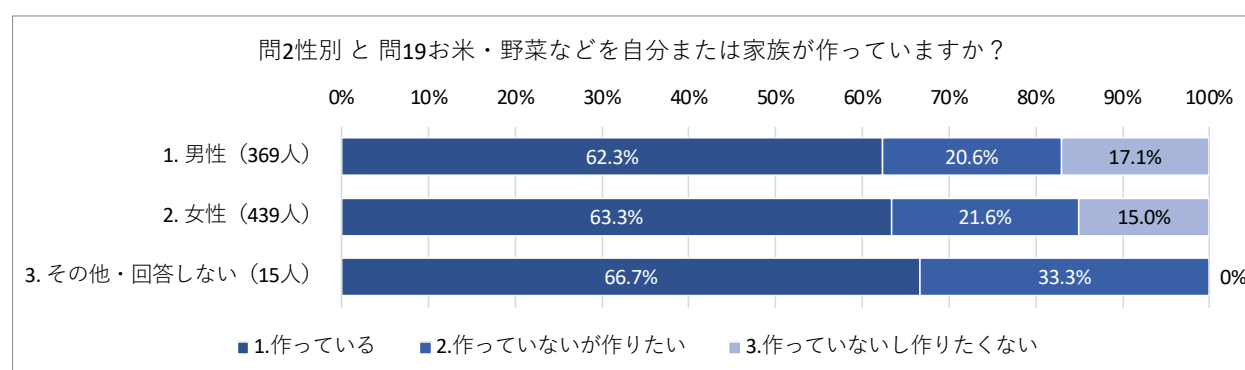
年代別集計

- ・ 年代別の傾向としては、「2.作っていないが作りたい」の選択割合は、30代が 41.5%と最も高く、70代(10.1%)と80歳以上(7.0%)で少ない。
- ・ 「3.作っていないし作りたくない」の選択割合は、60代以降で増加傾向が見られ、80歳以上の 23.7%が最も高い。
- ・ 「1. 作っている」との回答が最も多いのは 80歳以上の 69.3%である。



性別集計

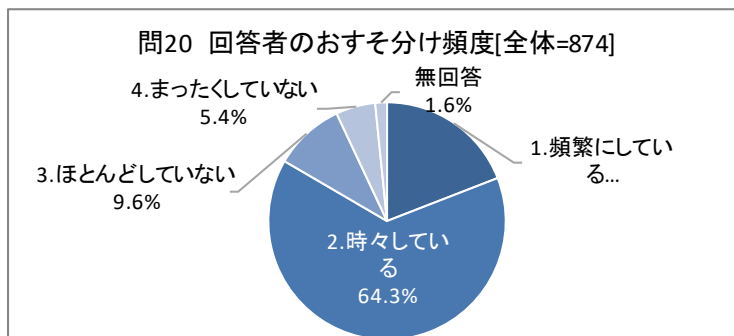
- ・ 男女間で、大きな違いはみられない。



問 20 近所や職場などで野菜などのおすそ分けをあげたりもらったりしていますか。

- 野菜などのおすそ分けの状況に関する分析では、「2.時々している」と回答した人が最も多く64.3%、次いで「1.頻繁にしている」が19.1%、次に「3.ほとんどしていない」が9.6%であった。ほとんどの人がおすそ分けをしていることがわかる。
- 「4.まったくしていない」は5.4%であった。

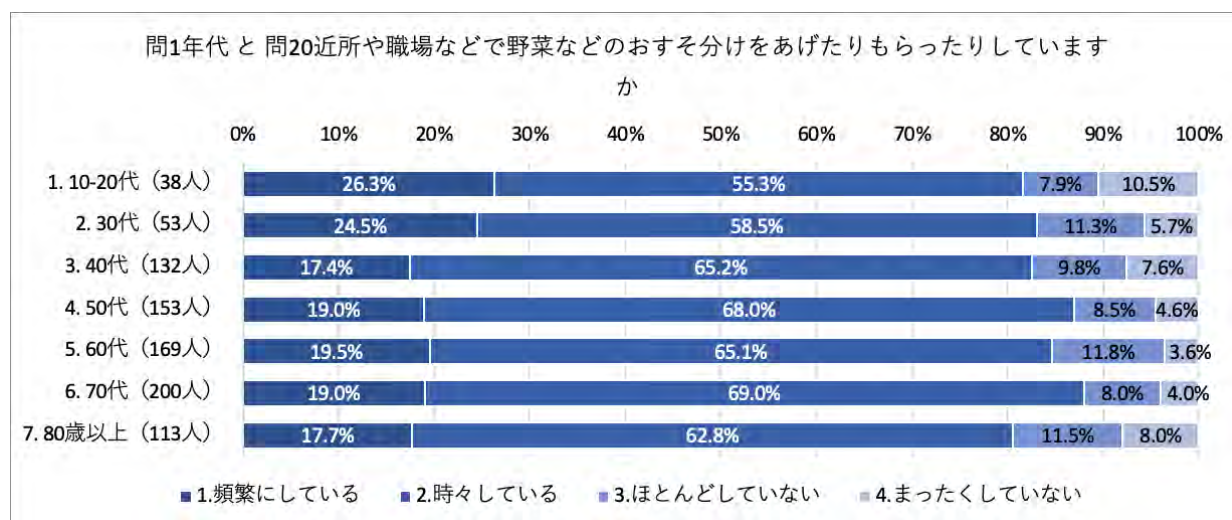
	人数	%
1. 頻繁にしている	167	19.1%
2. 時々している	562	64.3%
3. ほとんどしていない	84	9.6%
4. まったくしていない	47	5.4%
無回答	14	1.6%
全体	874	100.0%



問 20 については、年代別・性別の集計を行った。

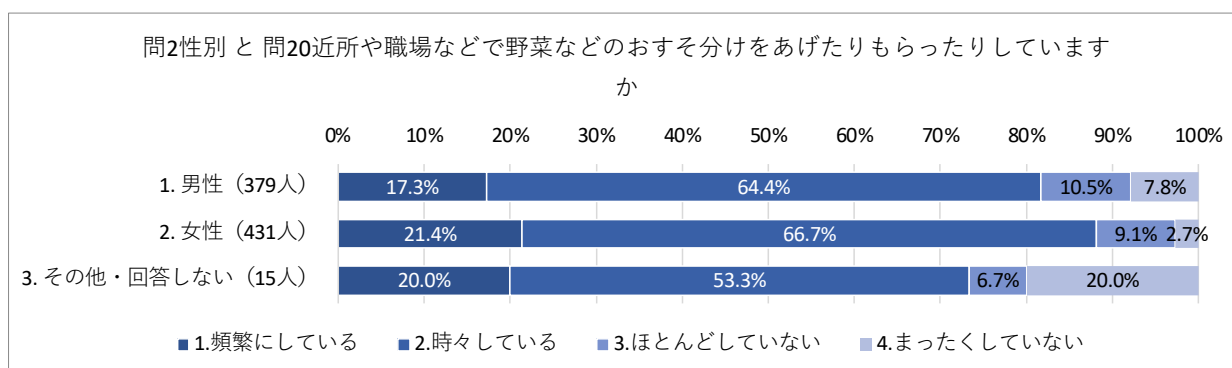
年代別集計

- 年代別の傾向に大きな差はないが、「1.頻繁にしている」回答者は若い世代でやや多い。



性別集計

- 全体として女性のほうがおすそ分けをしている傾向がみられる。「1.頻繁にしている」と「2.時々している」を合わせた割合は、女性(88.2%)のほうが男性(81.7%)よりも高い。



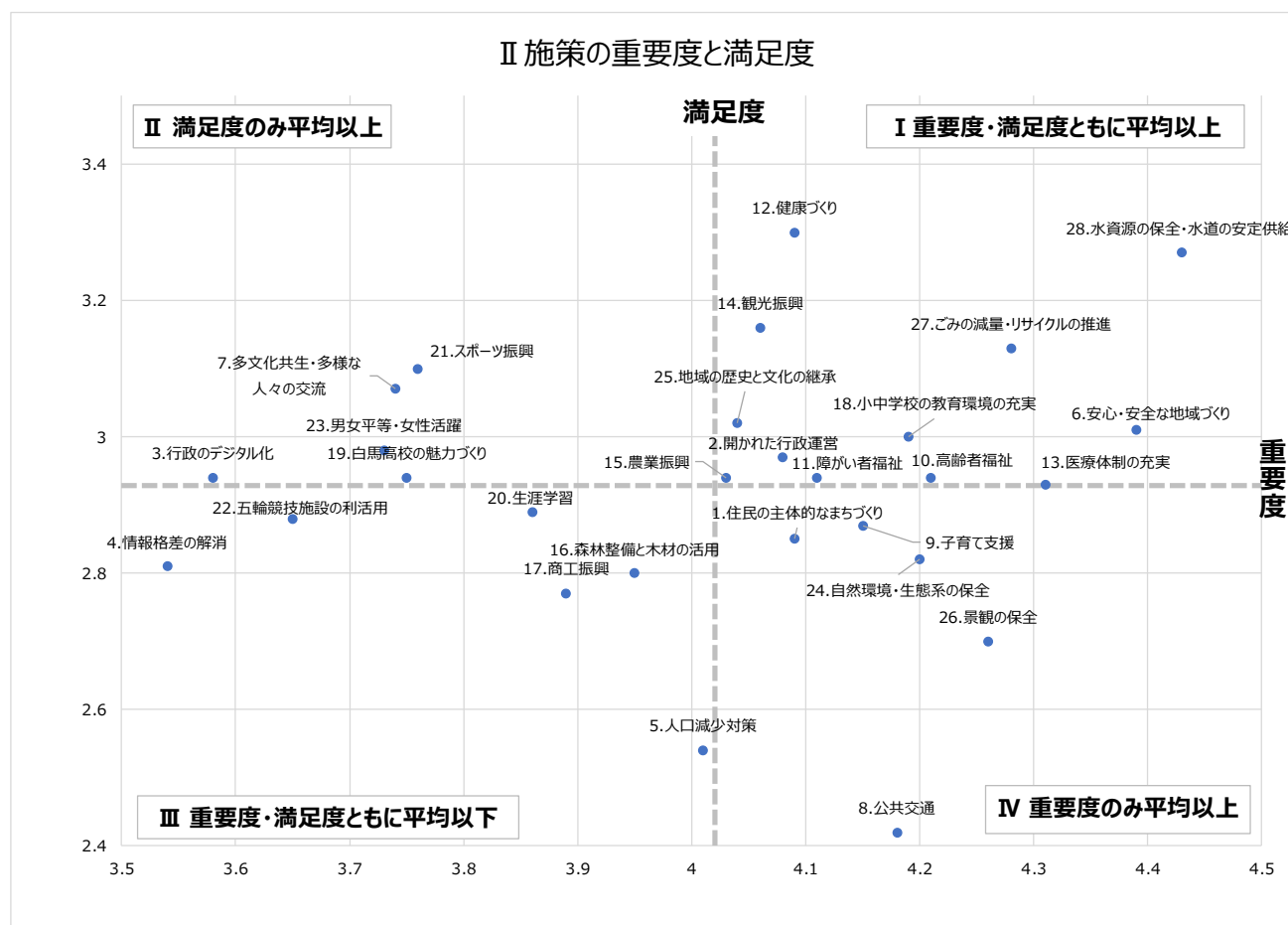
Ⅱ 各施策の重要度・満足度

問 21 次の施策の重要度・満足度をそれぞれ選んでください。

問 21 では、下の 28 の施策について、重要度(5.重要、4.やや重要、3.どちらともいえない・わからない、2.あまり重要ではない、1.重要ではない)と満足度(5.満足、4.やや満足、3.どちらともいえない・わからない、2.やや不満、1.不満)を尋ねた。下はその平均値の一覧である。なお、色がついているのは、重要度と満足度それぞれの上位5項目である。

項目名	重要度	満足度
1. 住民の主体的なまちづくり	4.09	2.85
2. 開かれた行政運営	4.08	2.97
3. 行政のデジタル化	3.58	2.94
4. 情報格差の解消	3.54	2.81
5. 人口減少対策	4.01	2.54
6. 安心・安全な地域づくり	4.39	3.01
7. 多文化共生・多様な人々の交流	3.74	3.07
8. 公共交通	4.18	2.42
9. 子育て支援	4.15	2.87
10. 高齢者福祉	4.21	2.94
11. 障がい者福祉	4.11	2.94
12. 健康づくり	4.09	3.3
13. 医療体制の充実	4.31	2.93
14. 観光振興	4.06	3.16
15. 農業振興	4.03	2.94
16. 森林整備と木材の活用	3.95	2.8
17. 商工振興	3.89	2.77
18. 小中学校の教育環境の充実	4.19	3
19. 白馬高校の魅力づくり	3.75	2.94
20. 生涯学習	3.86	2.89
21. スポーツ振興	3.76	3.1
22. 五輪競技施設の利活用	3.65	2.88
23. 男女平等・女性活躍	3.73	2.98
24. 自然環境・生態系の保全	4.2	2.82
25. 地域の歴史と文化の継承	4.04	3.02
26. 景観の保全	4.26	2.7
27. ごみの減量・リサイクルの推進	4.28	3.13
28. 水資源の保全・水道の安定供給	4.43	3.27
平均値	4.02	2.93

下図は、各施策の重要度と満足度の平均値について、重要度を横軸、満足度を縦軸にとり、「Ⅰ. 重要度・満足度ともに平均以上」「Ⅱ. 満足度のみ平均以上」「Ⅲ. 重要度・満足度ともに平均以下」「Ⅳ. 重要度のみ平均以上」の4象限にまとめたものである(図中の点線は、重要度・満足度の全体の平均値を示している)。



Ⅰ 重要度・満足度ともに平均以上

- 2.開かれた行政運営
- 6.安心・安全な地域づくり

- 10.高齢者福祉
- 11.障がい者福祉

- 12.健康づくり

- 14.観光振興

- 15.農業振興

- 18.小中学校の教育環境の充実

- 25.地域の歴史と文化の継承

- 27.ごみの減量・リサイクルの推進

- 28.水資源の保全・水道の安定供給

Ⅱ 満足度のみ平均以上

- 3.行政のデジタル化
- 7.多文化共生・多様な人々の交流

- 19.白馬高校の魅力づくり

- 21.スポーツ振興

- 23.男女平等・女性活躍

Ⅲ 重要度・満足度ともに平均以下

- 4.情報格差の解消

- 5.人口減少対策

- 16.森林整備と木材の活用

- 17.商工振興

Ⅳ 重要度のみ平均以上

- 20.生涯学習

- 22.五輪競技施設の利活用

Ⅳ 重要度のみ平均以上

- 1.住民の主体的なまちづくり

- 8.公共交通

- 9.子育て支援

- 13.医療体制の充実

- 24.自然環境・生態系の保全

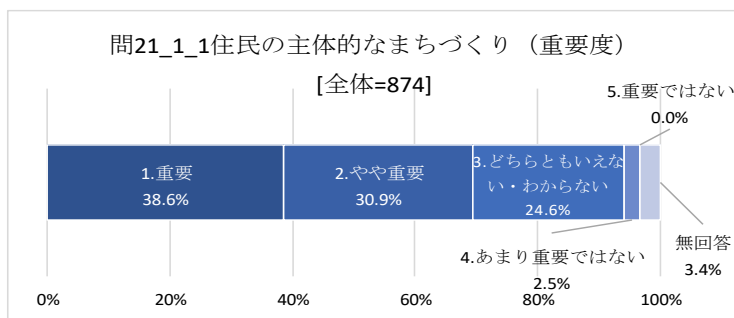
- 26.景観の保全

以下は問 21 の単純集計結果と、年代別・性別集計結果である。

1.住民の主体的なまちづくり

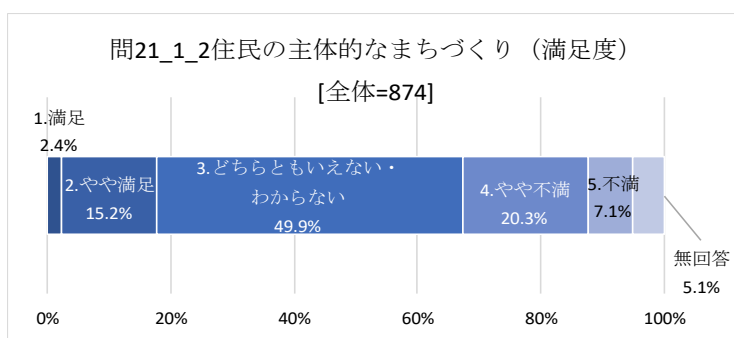
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 69.5%と、全体の約 7 割を占めていた。「3. どちらともいえない・わからない」との回答も 24.6%と一定割合を占めた。

	人数	%
1. 重要	337	38.6%
2. やや重要	270	30.9%
3. どちらともいえない・わからない	215	24.6%
4. あまり重要ではない	22	2.5%
5. 重要ではない	0	0.0%
無回答	30	3.4%
全体	874	100.0%



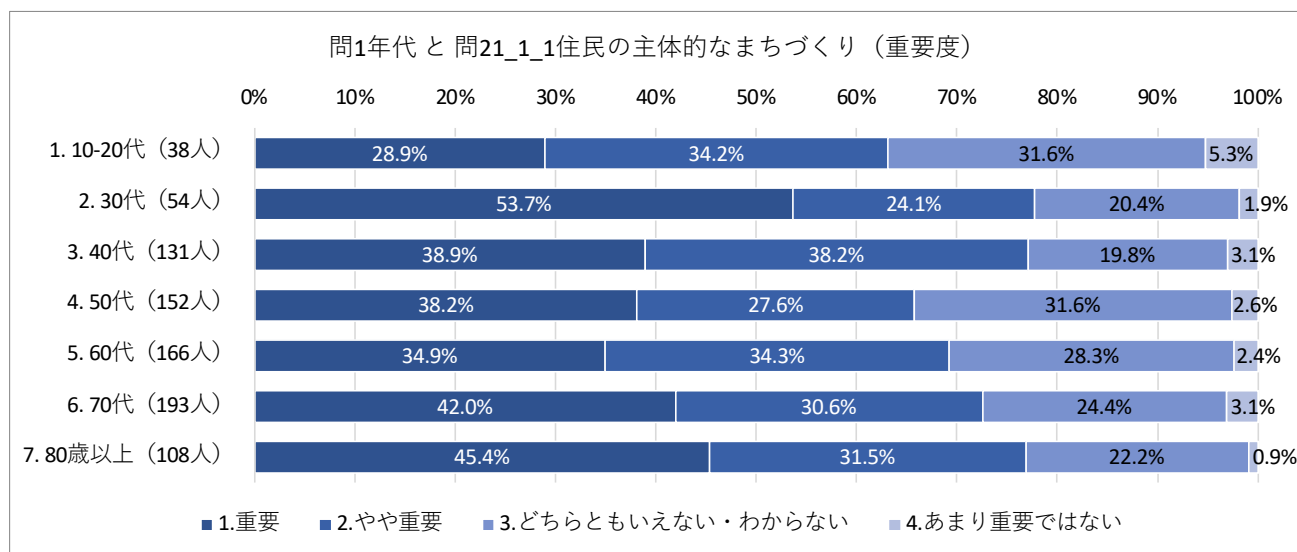
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は 17.6%であり、「4. やや不満」「5. 不満」の合計の 27.4%を上回った。また「3. どちらともいえない・わからない」が 49.9%と半数近くを占めていた。

	人数	%
1. 満足	21	2.4%
2. やや満足	133	15.2%
3. どちらともいえない・わからない	436	49.9%
4. やや不満	177	20.3%
5. 不満	62	7.1%
無回答	45	5.1%
全体	874	100.0%

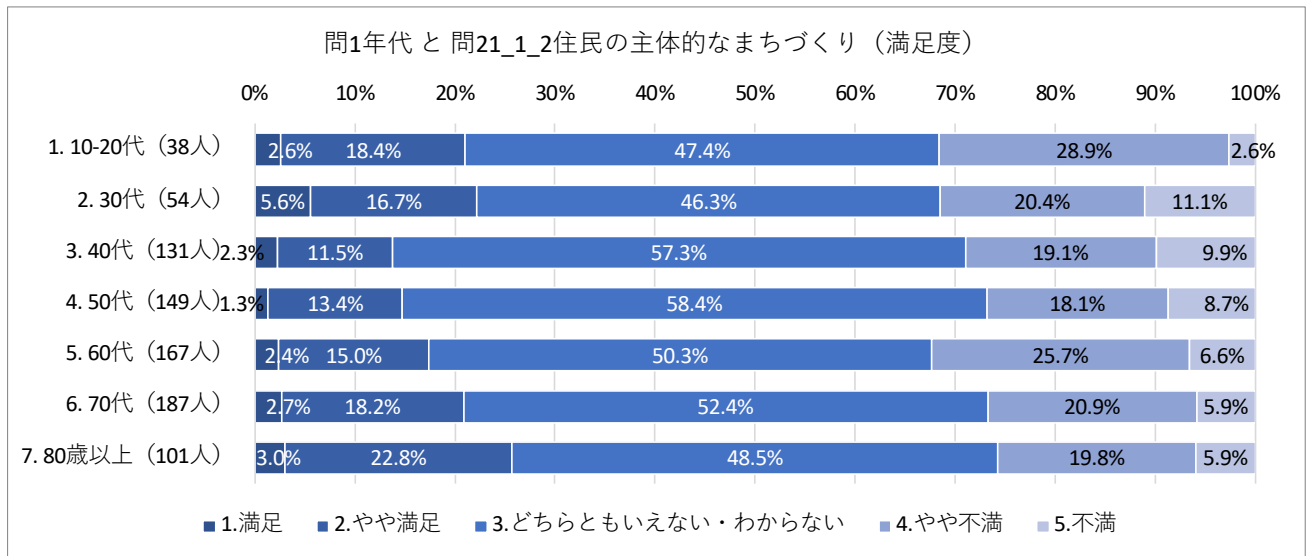


年代別集計

- ・ 重要度については、全体的な傾向に大きな差はないが、30 代に「1. 重要」と回答する割合が高い(53.7%)。

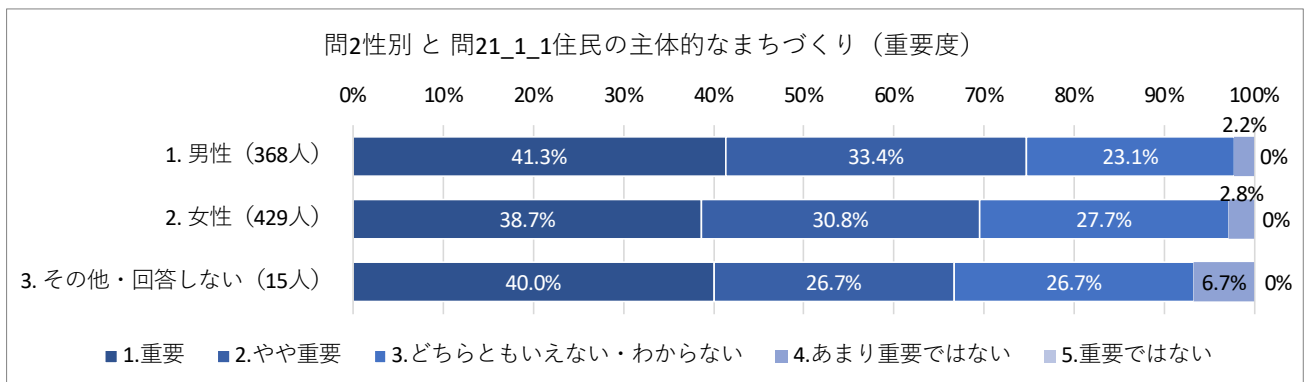


- ・ 満足度については、大きな傾向の違いは見られないが、「1. 満足」「2. やや満足」を合計した割合が他の年代に比べて低いのは、40代(13.7%)、50代(14.8%)であった。

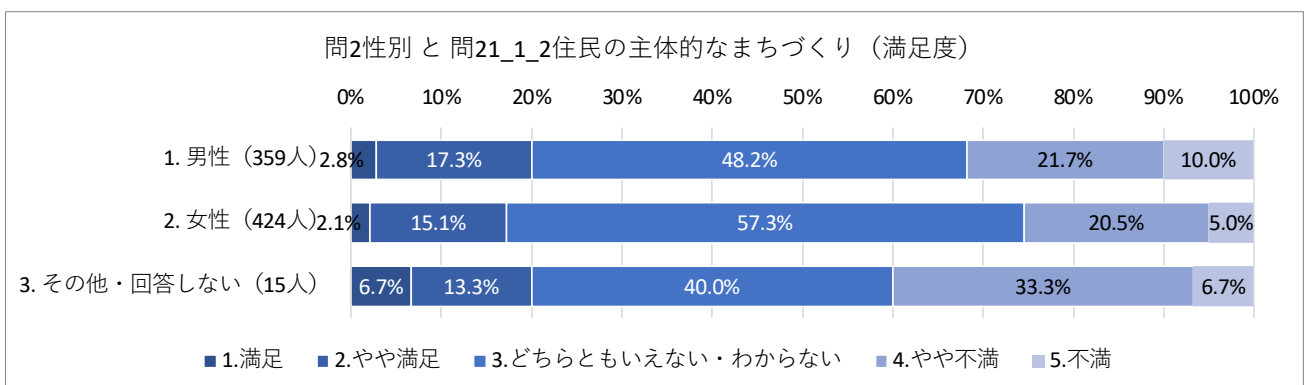


性別集計

- ・ 重要度については、男女で大きな差は見られない。



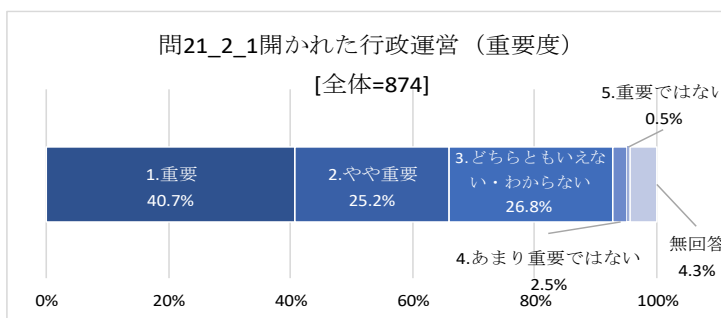
- ・ 満足度については、「3. どちらともいえない・わからない」は、男性 48.2%、女性 57.3%と女性のほうが高い。



2.開かれた行政運営(行政の情報発信・透明性確保等)

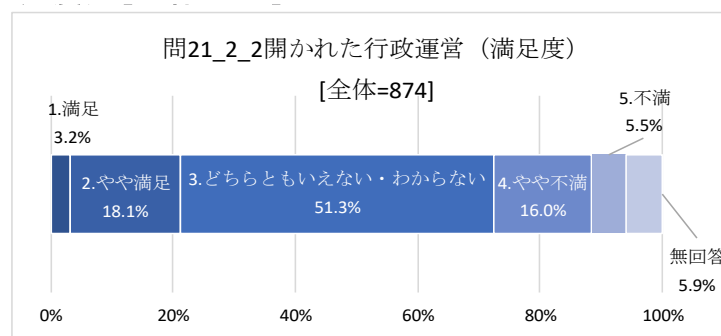
- この施策の重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 65.9%と、全体の約 3 分の 2 を占めていた。「3. どちらともいえない・わからない」との回答も 26.8%と一定の割合を占めた。

	人数	%
1. 重要	356	40.7%
2. やや重要	220	25.2%
3. どちらともいえない・わからない	234	26.8%
4. あまり重要ではない	22	2.5%
5. 重要ではない	4	0.5%
無回答	38	4.3%
全体	874	100.0%



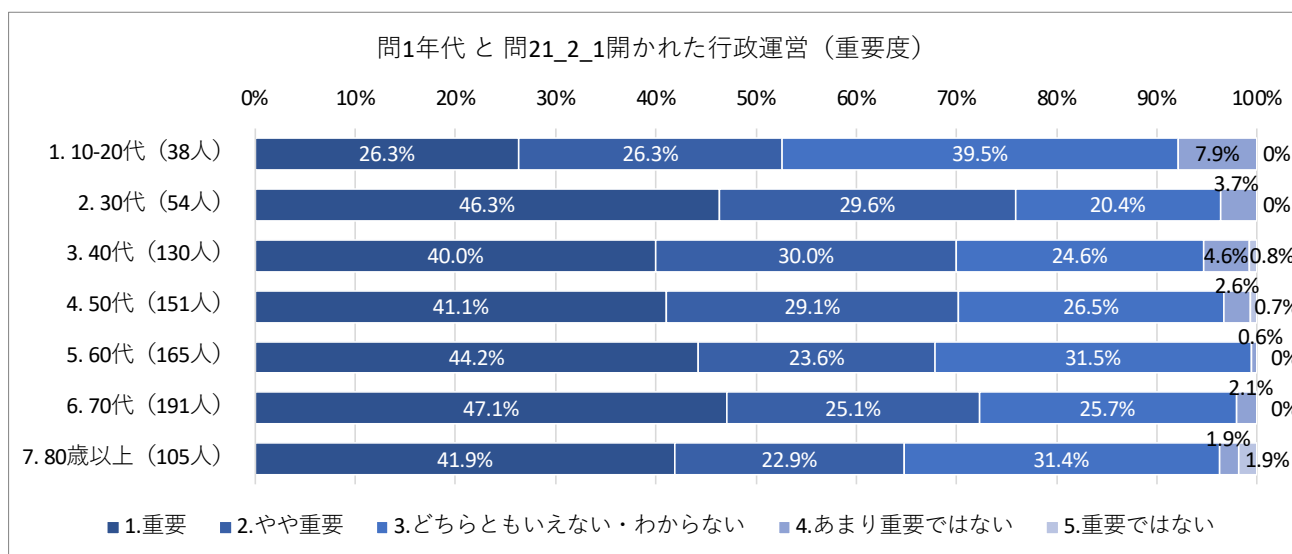
- 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は 21.3%であり、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 21.5%とほぼ同じであった。また、「3. どちらともいえない・わからない」が 51.3%と過半数を占めていた。

	人数	%
1. 満足	28	3.2%
2. やや満足	158	18.1%
3. どちらともいえない・わからない	448	51.3%
4. やや不満	140	16.0%
5. 不満	48	5.5%
無回答	52	5.9%
全体	874	100.0%

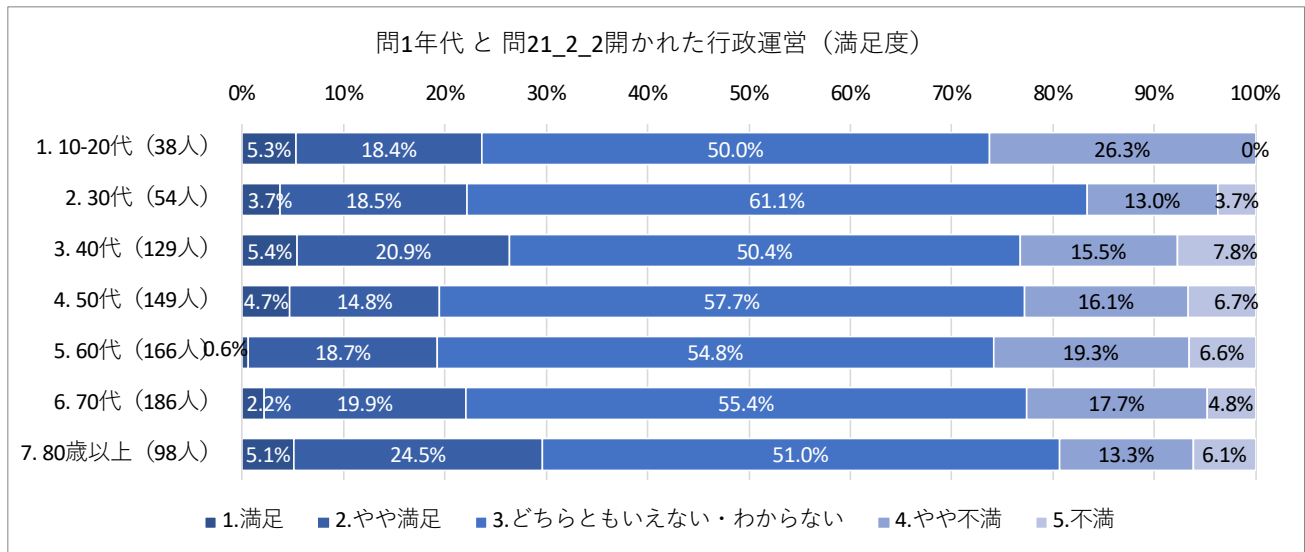


年代別集計

- 「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、10-20 代では他の年代に比べて非常に低かった。ただしこの年代の回答人数が少ないことには注意が必要である。

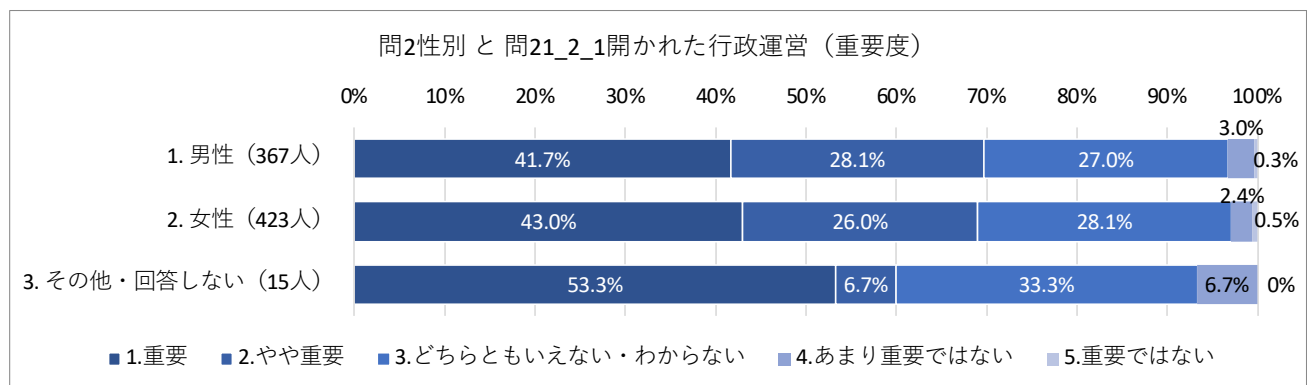


- ・ 満足度については、年代による大きな傾向の違いはないが、60代は「1.満足」との回答が0.6%と非常に少なかった。

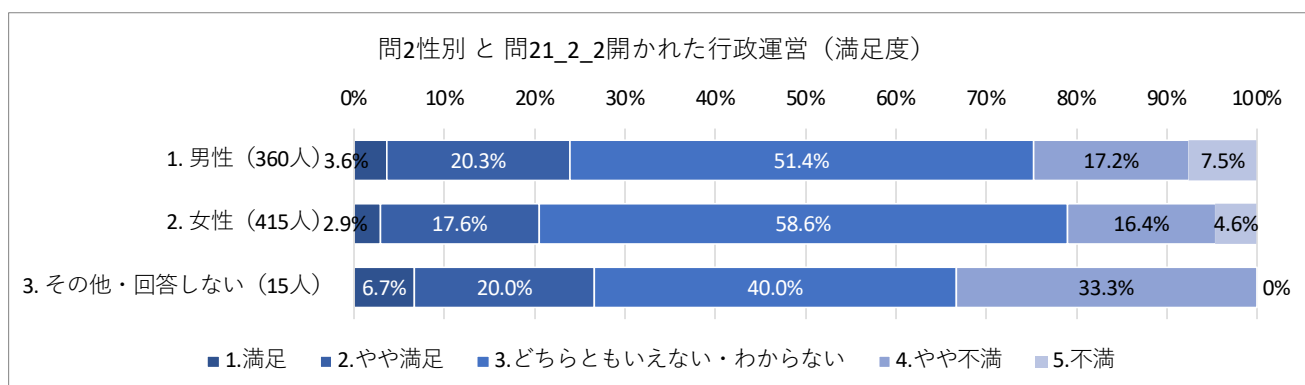


性別集計

- ・ 重要度については、大きな男女差は見られなかった。



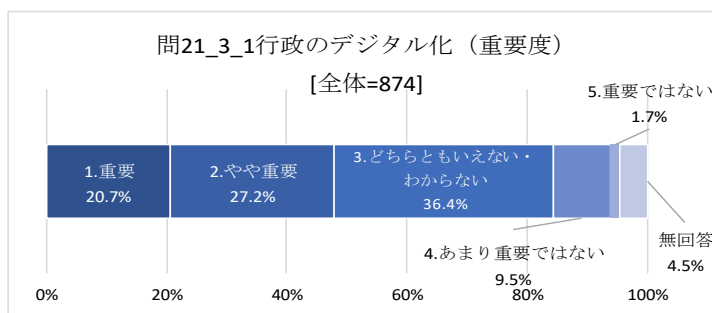
- ・ 満足度については、全体としては大きな男女差はないが、「3.どちらともいえない・わからない」は男性 51.4%、女性 58.6%と女性の方が高い。



3.行政のデジタル化

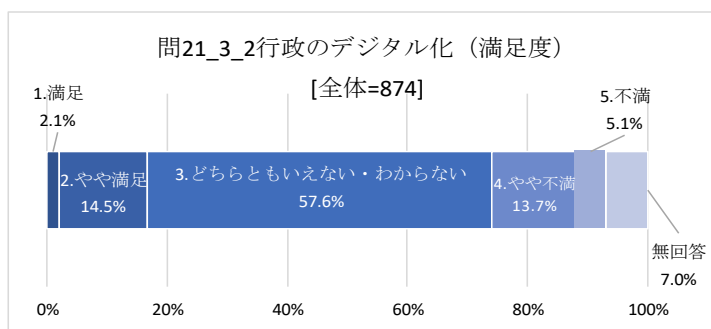
- 行政のデジタル化の重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 47.9%と半数程度であった。また、「3. どちらともいえない・わからない」が 36.4%と比較的高い割合を占めた。

	人数	%
1. 重要	181	20.7%
2. やや重要	238	27.2%
3. どちらともいえない・わからない	318	36.4%
4. あまり重要ではない	83	9.5%
5. 重要ではない	15	1.7%
無回答	39	4.5%
全体	874	100.0%



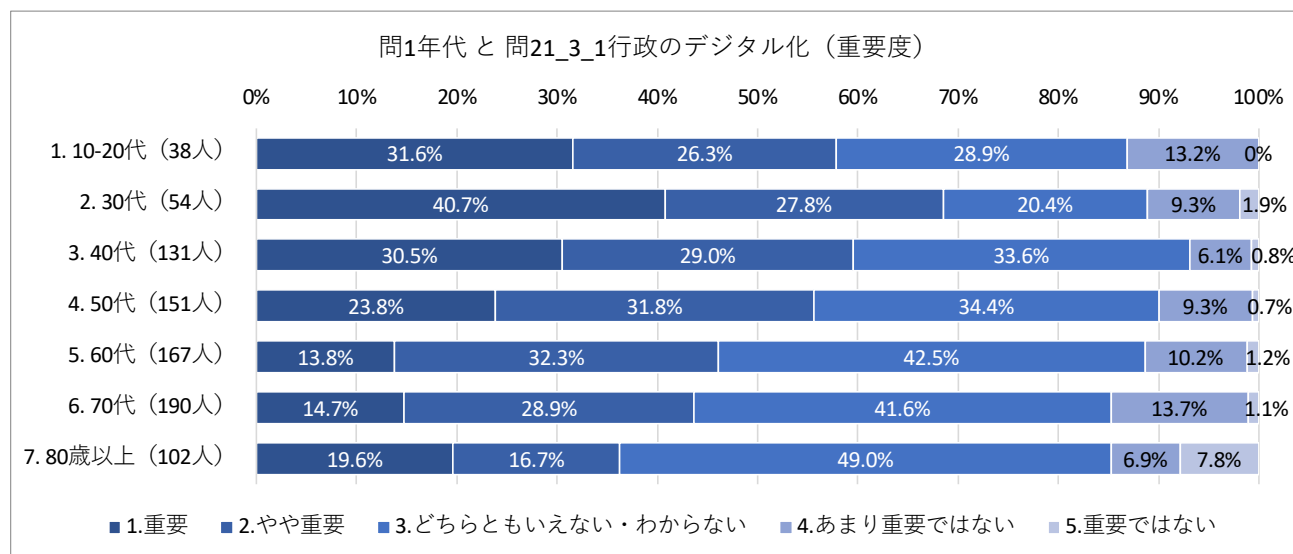
- 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は 16.6%であり、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 18.9%とほぼ同水準だった。「3. どちらともいえない・わからない」が 57.6%と過半数を占めていた。

	人数	%
1. 満足	18	2.1%
2. やや満足	127	14.5%
3. どちらともいえない・わからない	503	57.6%
4. やや不満	120	13.7%
5. 不満	45	5.1%
無回答	61	7.0%
全体	874	100.0%

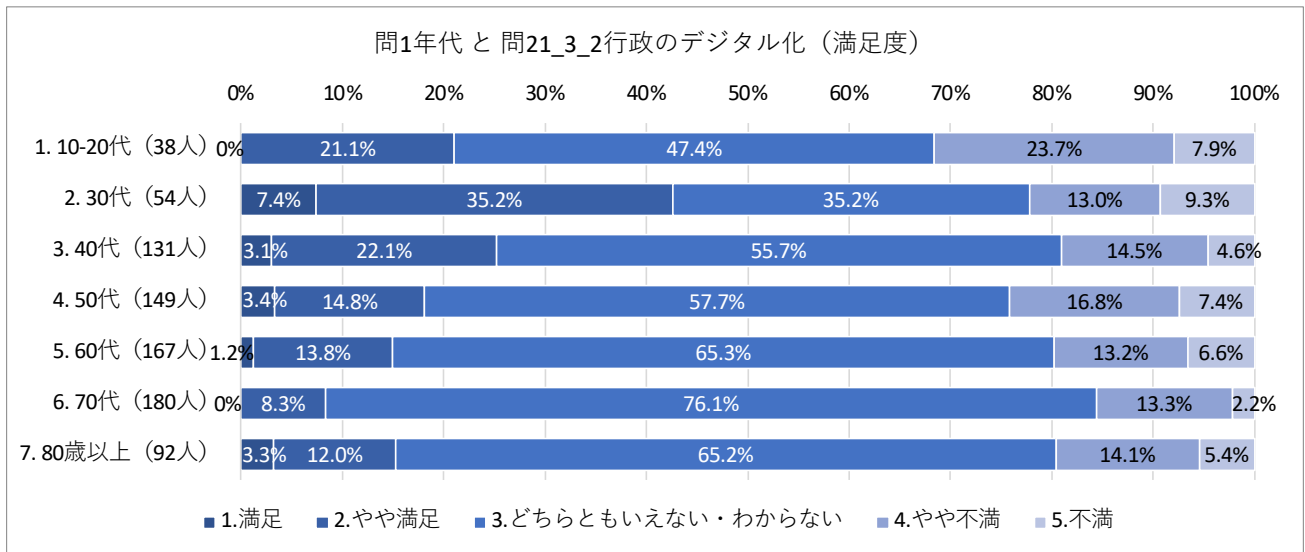


年代別集計

- 「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、30代(68.5%)が最も高く、次いで40代(59.5%)、10-20代(57.9%)となった。一方、60代以降は、「3. どちらともいえない・わからない」の割合が40%以上を占めた。

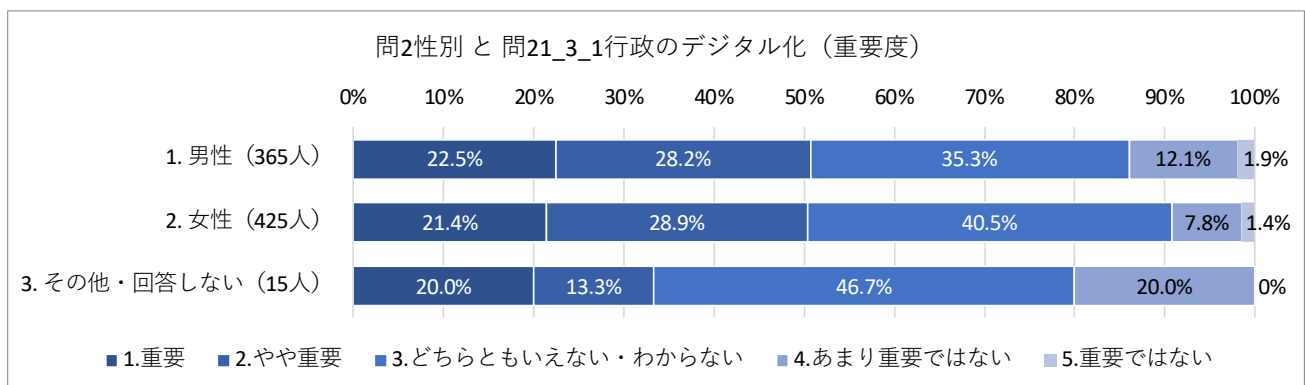


- ・ 「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、30代(42.6%)が最も高く、次いで、40代(25.2%)、10-20代(21.1%)の順だった。一方、60代以降は、「3. どちらともいえない・わからない」の割合が60%以上を占めた。

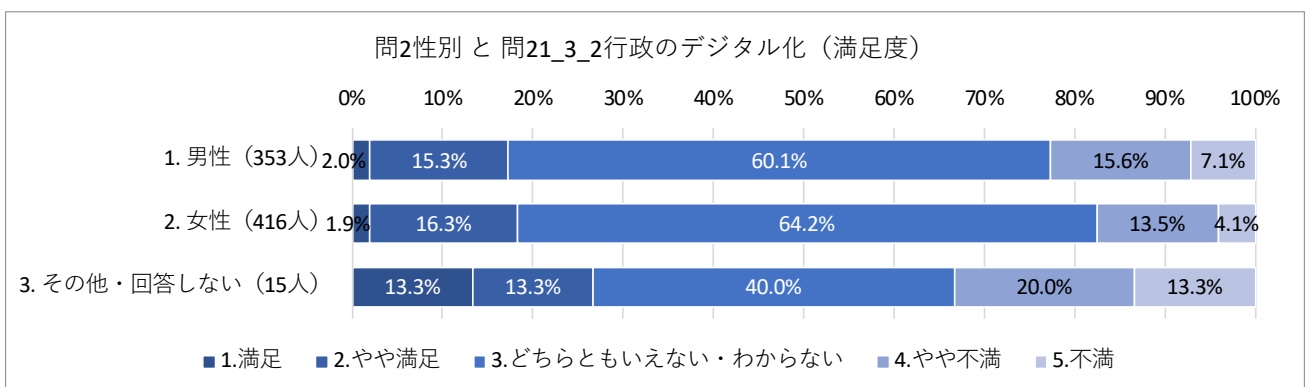


性別集計

- ・ 重要度については、大きな男女差はないが、「3.どちらともいえない・わからない」は男性 35.3%、女性 40.5%と女性の方がやや高く、「4.あまり重要ではない」は男性12.1%、女性 7.8%と男性のほうがやや高かった。



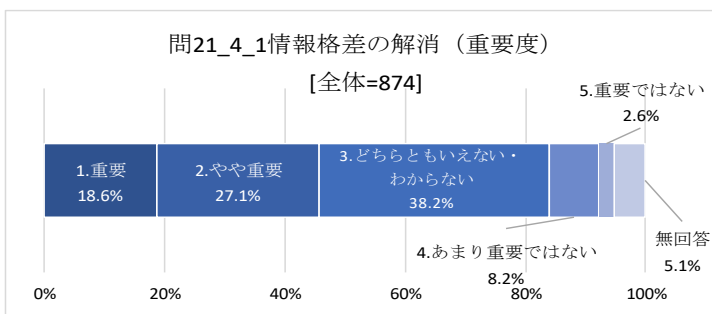
- ・ 満足度については、大きな男女差は見られなかった。



4.情報格差の解消(高齢者向けスマホ教室等)

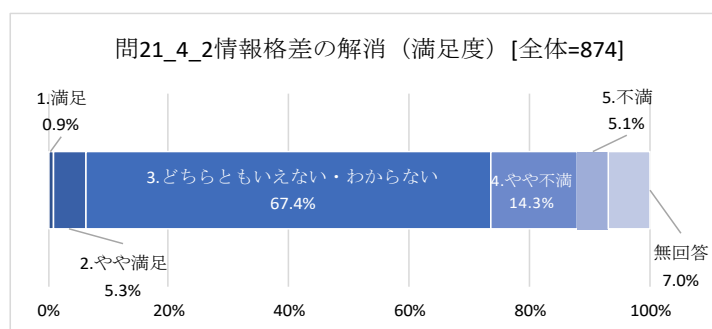
- 「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合の合計は 45.8%であった。「3. どちらともいえない・わからない」との回答も 38.2%と比較的高い割合を占めていた。

	人数	%
1. 重要	163	18.6%
2. やや重要	237	27.1%
3. どちらともいえない・わからない	334	38.2%
4. あまり重要ではない	72	8.2%
5. 重要ではない	23	2.6%
無回答	45	5.1%
全体	874	100.0%



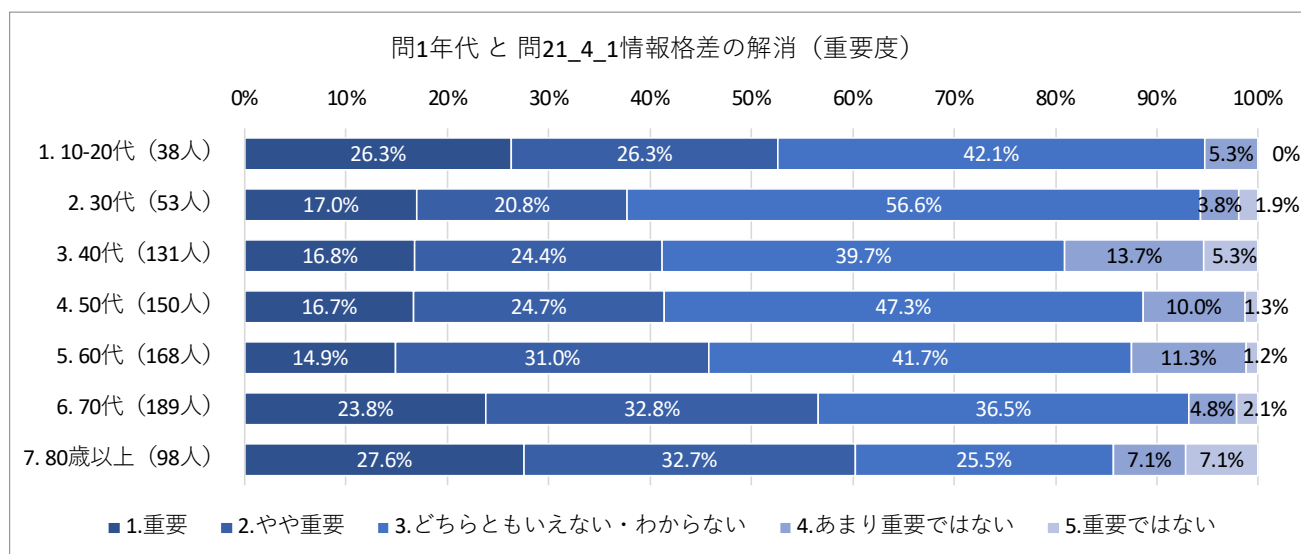
- 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 6.2%と極めて低く、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 19.5%を大きく下回った。また、「3. どちらともいえない・わからない」が 67.4%と半数を大きく超えている。

	人数	%
1. 満足	8	0.9%
2. やや満足	46	5.3%
3. どちらともいえない・わからない	589	67.4%
4. やや不満	125	14.3%
5. 不満	45	5.1%
無回答	61	7.0%
全体	874	100.0%

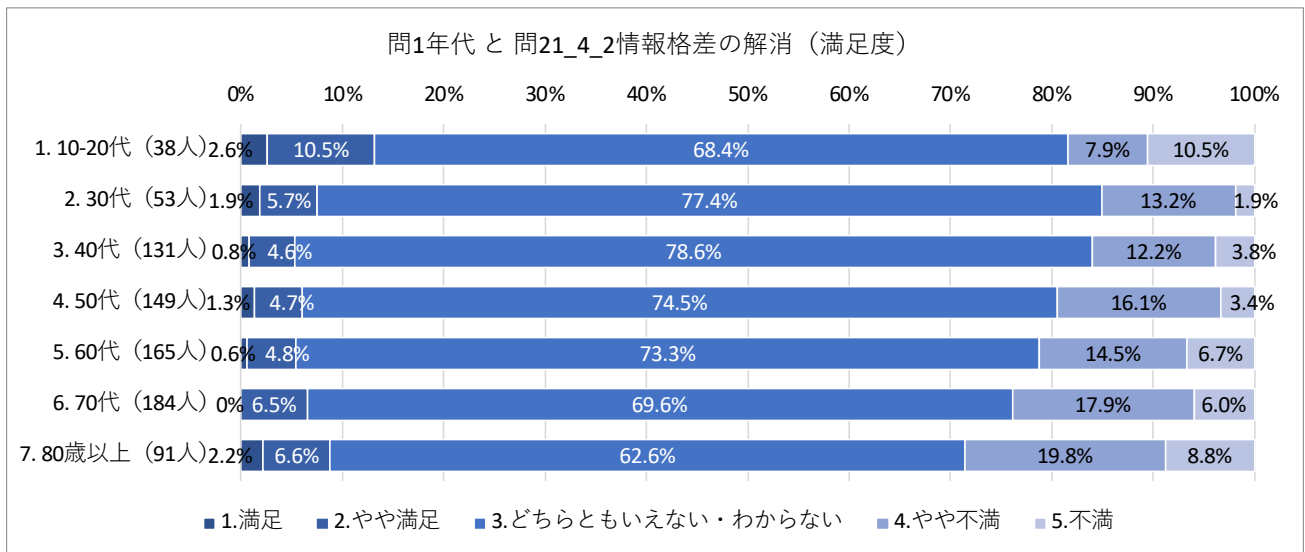


年代別集計

- 「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、80 歳以上(60.2%)が最も高く、次いで 70 代(56.6%)、10 代(52.6%)の順となった。

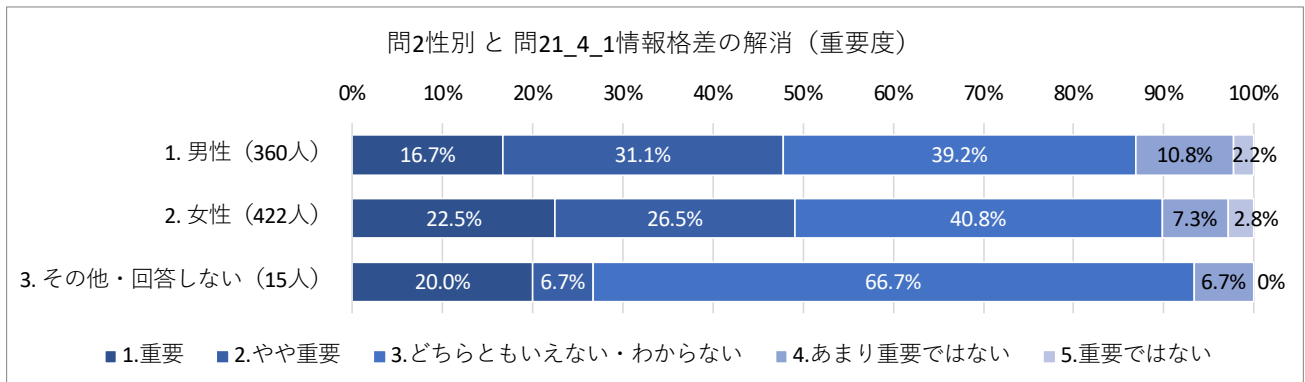


- ・ 満足度については、全体的には「3. どちらでもいえない・わからない」とする回答が多い。
- ・ 「4. やや不満」「5. 不満」の合計は、80 歳以上(28.6%)が最も高く、次いで 70 代(23.9%)、60 代(21.2%)の順だった。

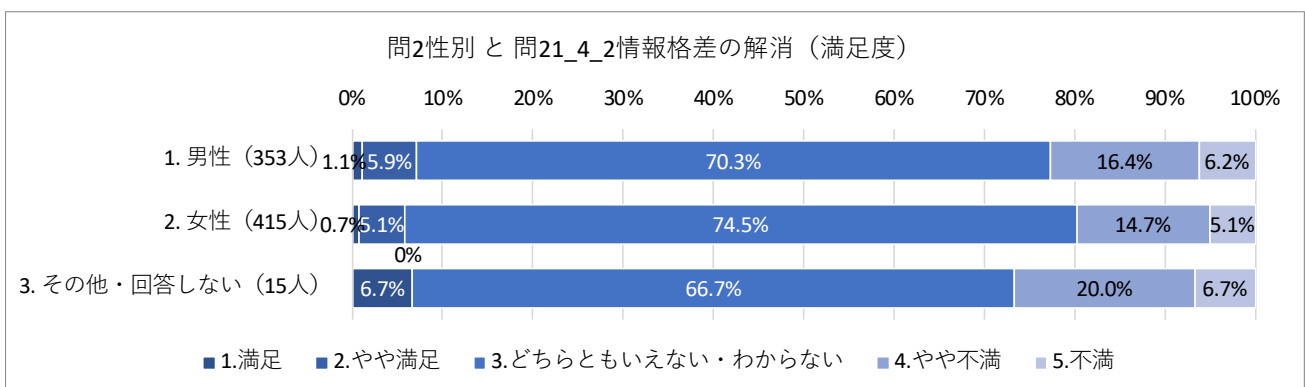


性別集計

- ・ 重要度については、全体として男女で大きな差はないが、重要度の「1.重要」は男性 16.7%、女性 22.5%と女性のほうがやや高く、「2.やや重要」は男性 31.1%、女性 26.5%と男性のほうがやや高い。



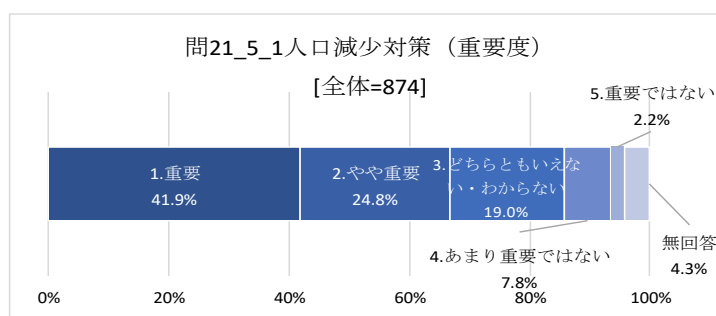
- ・ 満足度については、全体として男女で大きな差はない。



5.人口減少対策(住宅政策、移住・定住の推進等)

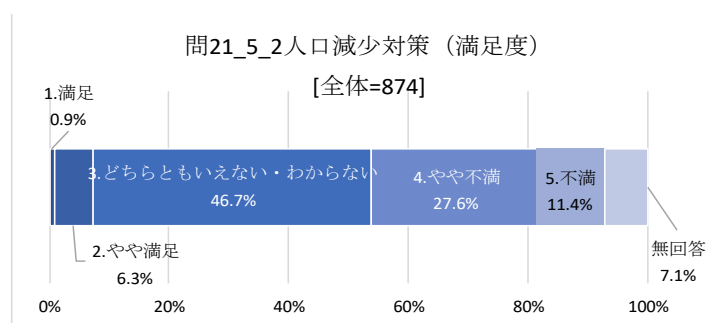
- 「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 66.7%と全体の約 3 分の 2 を占めた。「3. どちらともいえない・わからない」との回答も 19.0%あった。

	人数	%
1. 重要	366	41.9%
2. やや重要	217	24.8%
3. どちらともいえない・わからない	166	19.0%
4. あまり重要ではない	68	7.8%
5. 重要ではない	19	2.2%
無回答	38	4.3%
全体	874	100.0%



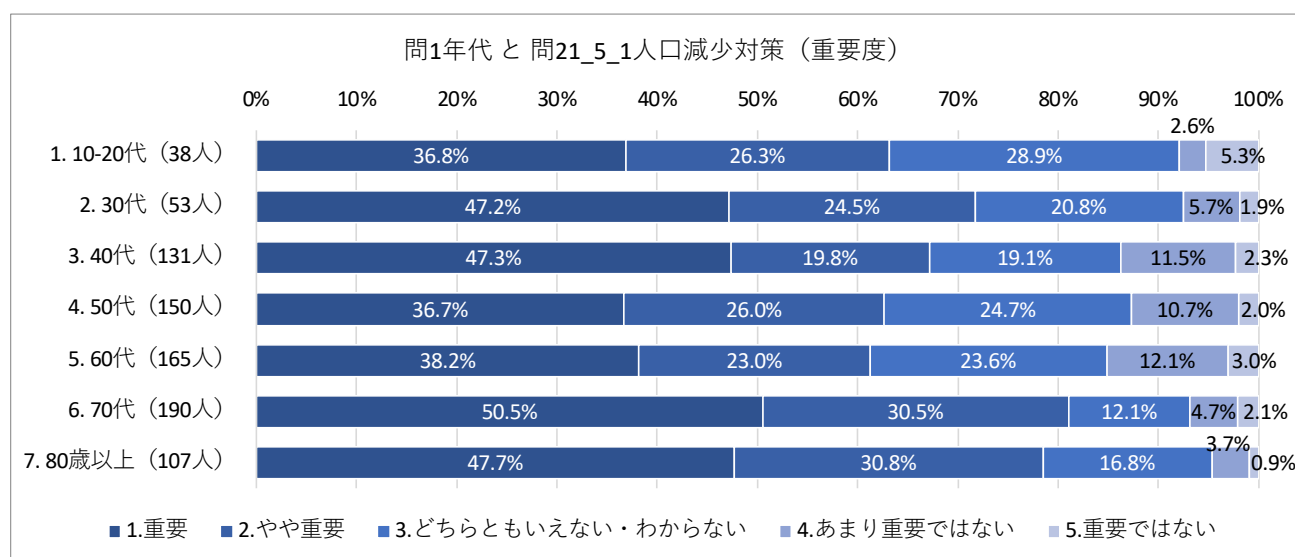
- 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 7.2%と低く、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 39.0%を大きく下回った。また、「3. どちらともいえない・わからない」が 46.7%と高かった。

	人数	%
1. 満足	8	0.9%
2. やや満足	55	6.3%
3. どちらともいえない・わからない	408	46.7%
4. やや不満	241	27.6%
5. 不満	100	11.4%
無回答	62	7.1%
全体	874	100.0%

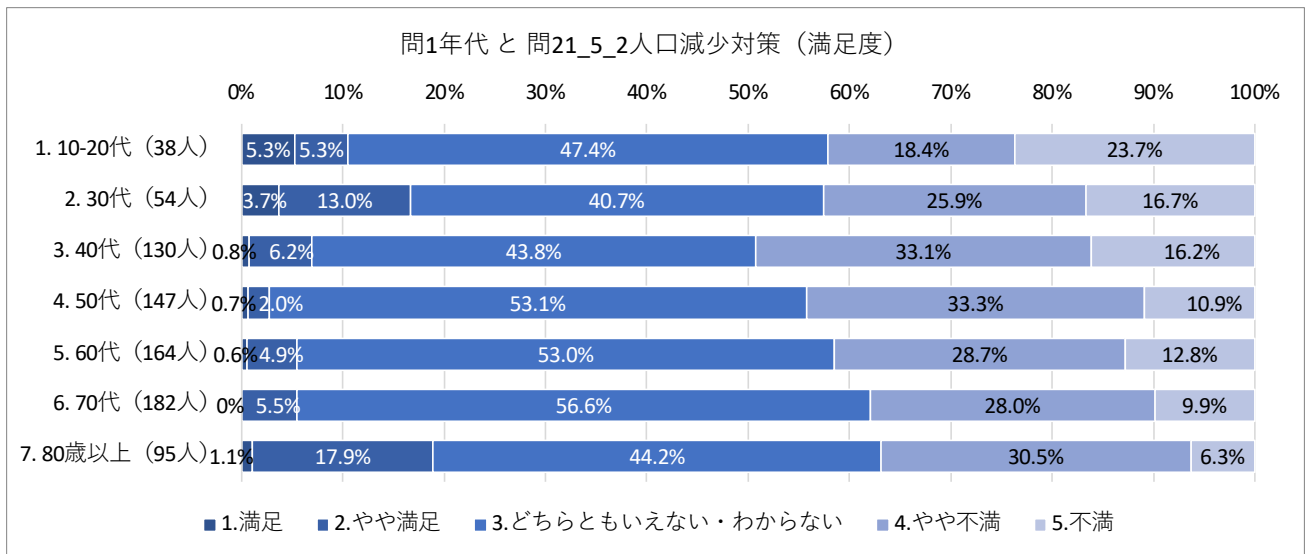


年代別集計

- 「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、70 代(81.0%)が最も高く、次いで 80 歳以上(78.5%)、30 代(71.7%)の順となった。一方、10-20 代(63.1%)や 50 代(62.7%)、60 代(61.2%)では低い。

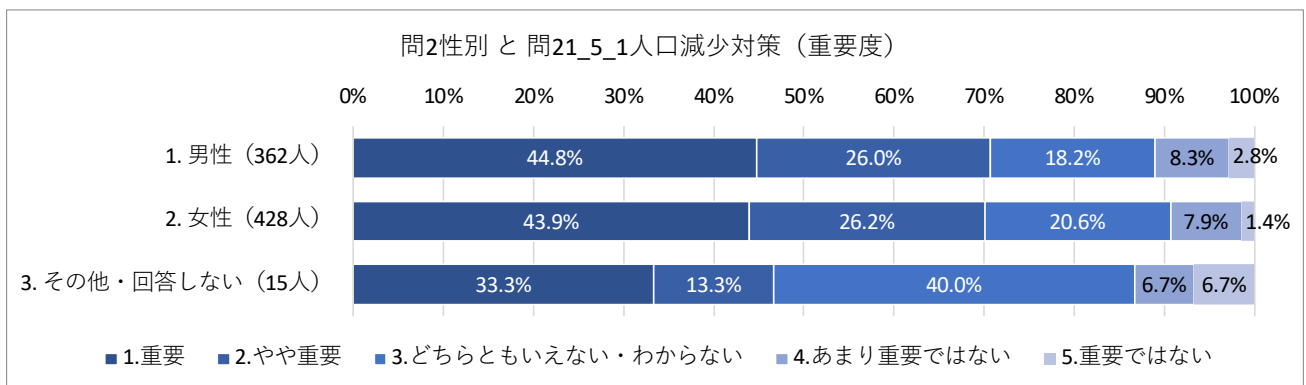


- ・ 「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、80 歳以上(18.9%)と 30 代(16.7%)が他の年代に比べて高い。10-20 代(10.5%)が次いで高かった。

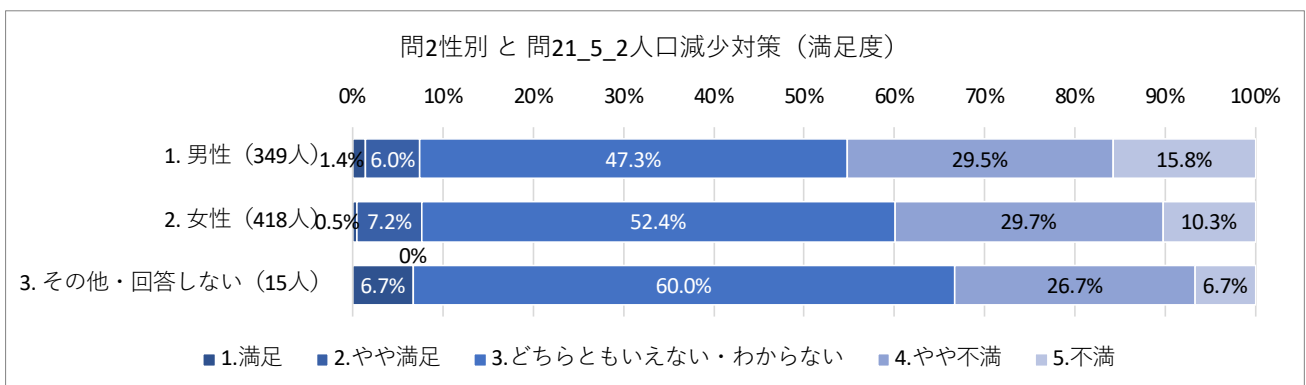


性別集計

- ・ 重要度については、大きな男女差は見られない。



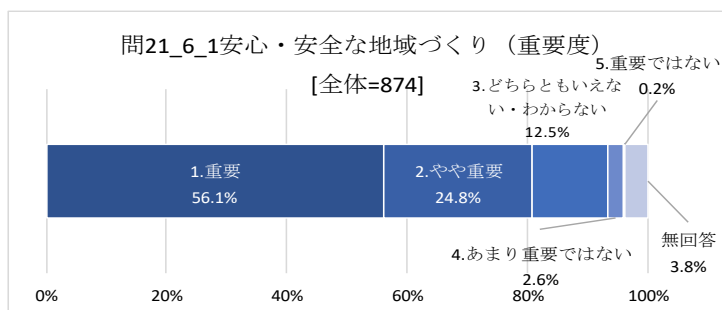
- ・ 満足度については、「3.どちらともいえない・わからない」は男性 47.3%、女性 52.4%と女性のほうがやや高く、「5.不満」は男性 15.8%、女性 10.3%と男性のほうがやや高い。



6.安心・安全な地域づくり(防災・防犯・交通安全等)

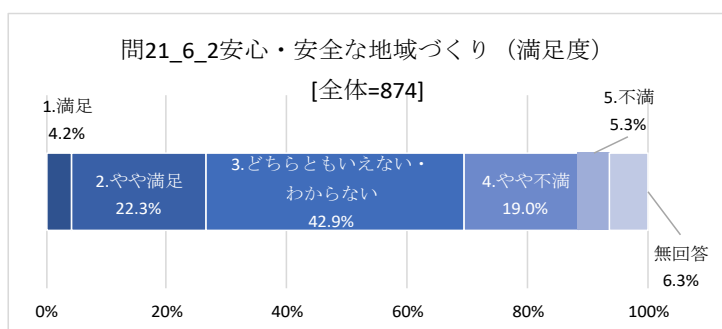
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 80.9%と全体の 8 割を超えていた。「3. どちらともいえない・わからない」との回答は 12.5%と比較的少なかった。「4. あまり重要ではない」「5. 重要ではない」と回答した割合は 2.9%と非常に低かった。

	人数	%
1. 重要	490	56.1%
2. やや重要	217	24.8%
3. どちらともいえない・わからない	109	12.5%
4. あまり重要ではない	23	2.6%
5. 重要ではない	2	0.2%
無回答	33	3.8%
全体	874	100.0%



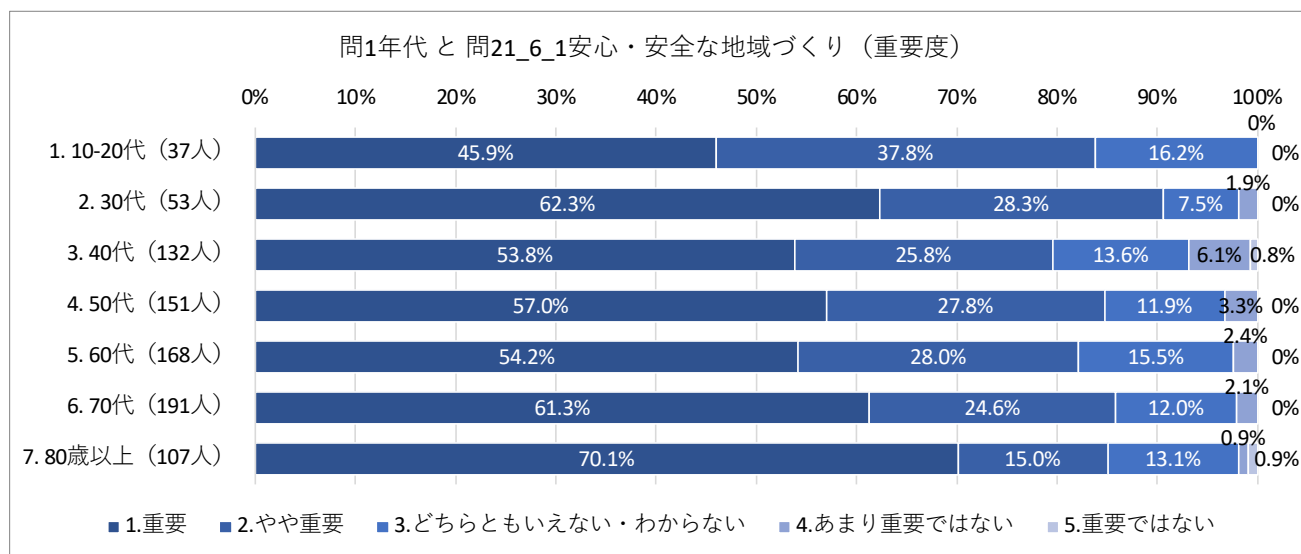
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 26.5%と、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 24.3%とほぼ同程度であった。

	人数	%
1. 満足	37	4.2%
2. やや満足	195	22.3%
3. どちらともいえない・わからない	375	42.9%
4. やや不満	166	19.0%
5. 不満	46	5.3%
無回答	55	6.3%
全体	874	100.0%

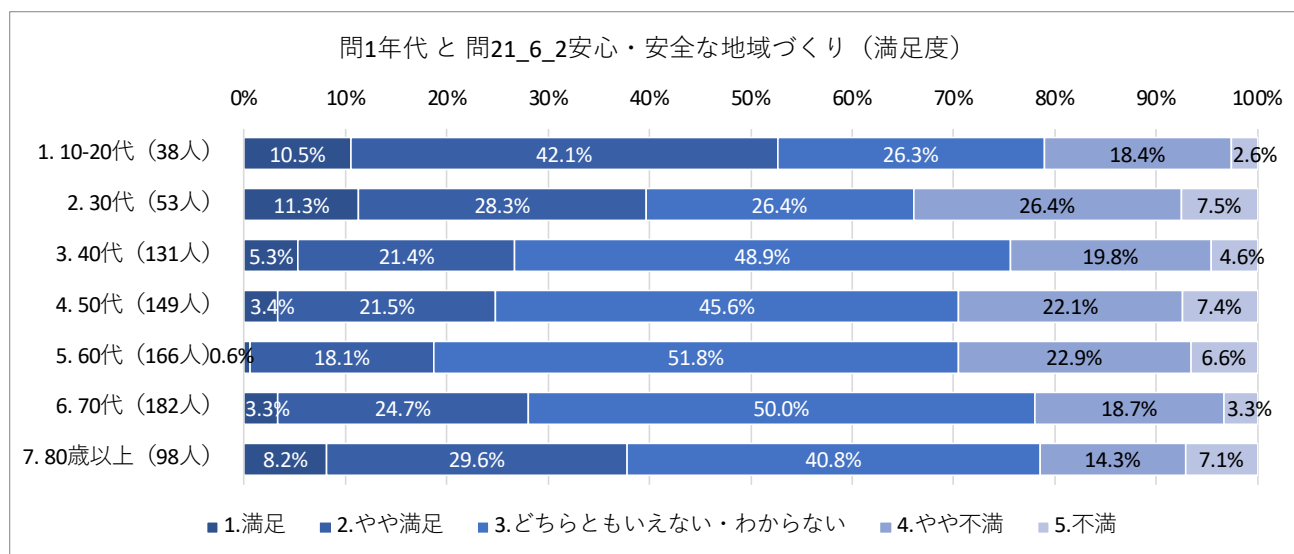


年代別集計

- ・ 重要度については、全体として大きな傾向はないが、30代で「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合 (90.6%) が他の年代と比べて高い。

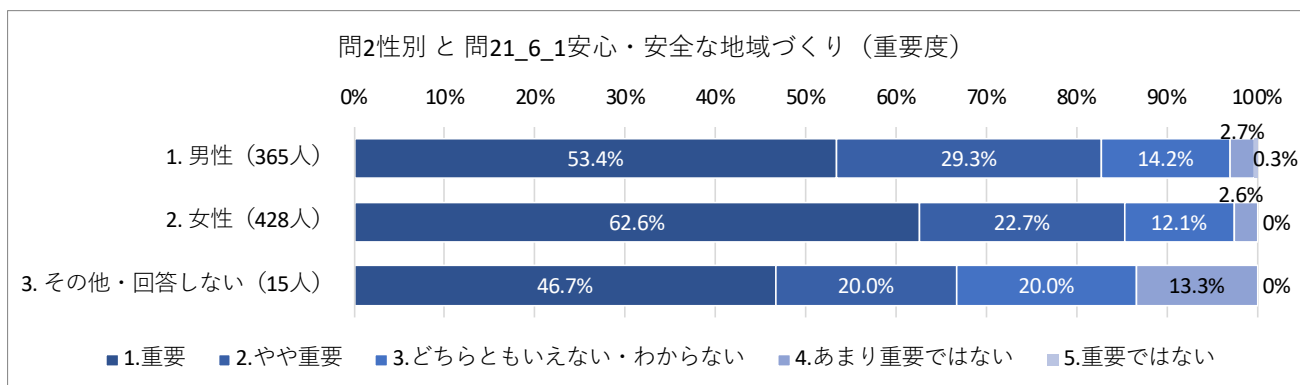


- ・ 「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、10-20代(52.6%)が最も高く、2番目に多い30代(39.6%)と比べて10ポイント以上高い。年齢が上がるほど「1. 満足」「2. やや満足」が減る傾向が見られるが、70代以上では再び増える。

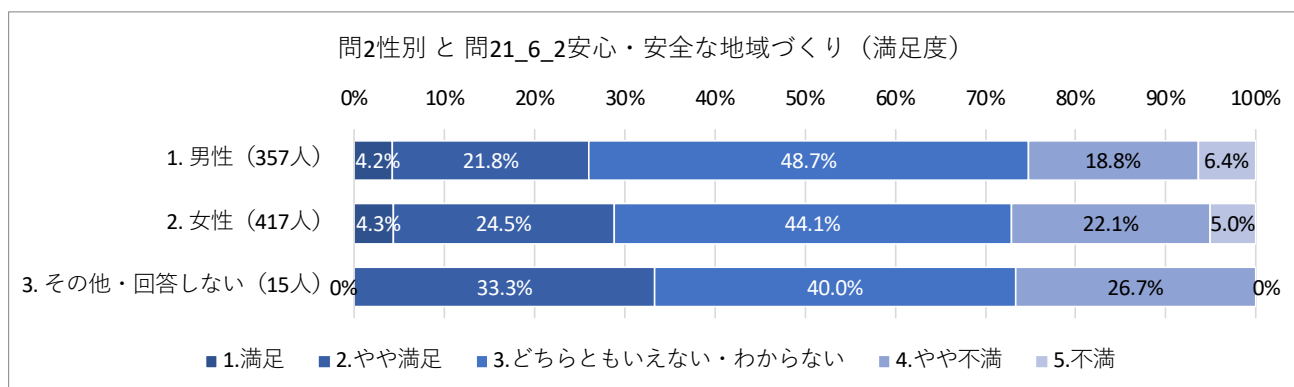


性別集計

- ・ 重要度については、全体として大きな傾向に違いはないが、「1. 重要」との回答は男性 53.4%、女性 62.6%と女性のほうが高い。



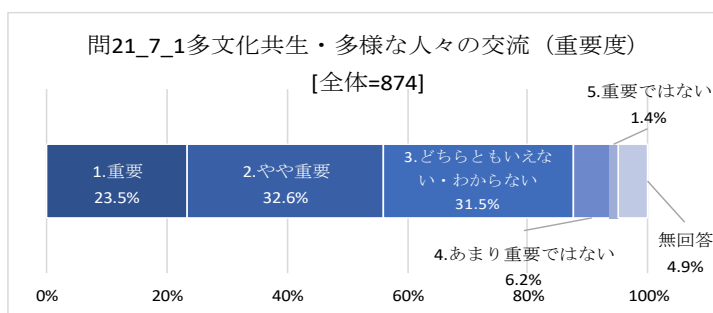
- ・ 満足度については、性別による大きな違いは見られなかった。



7. 多文化共生・多様な人々の交流

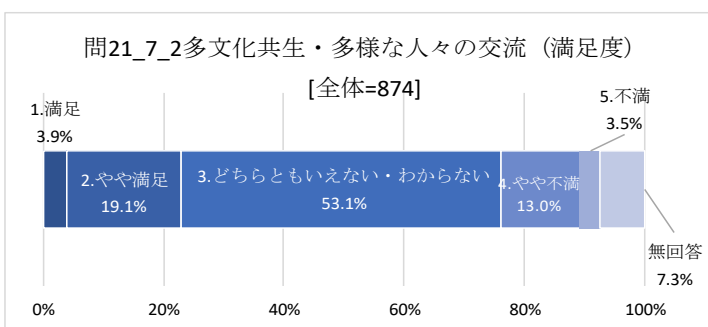
- 「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 56.1%と半数以上を占めた。「4. あまり重要ではない」「5. 重要ではない」とした割合は 7.6%にとどまった。「3. どちらともいえない・わからない」との回答も 31.5%と比較的高かった。

	人数	%
1. 重要	205	23.5%
2. やや重要	285	32.6%
3. どちらともいえない・わからない	275	31.5%
4. あまり重要ではない	54	6.2%
5. 重要ではない	12	1.4%
無回答	43	4.9%
全体	874	100.0%



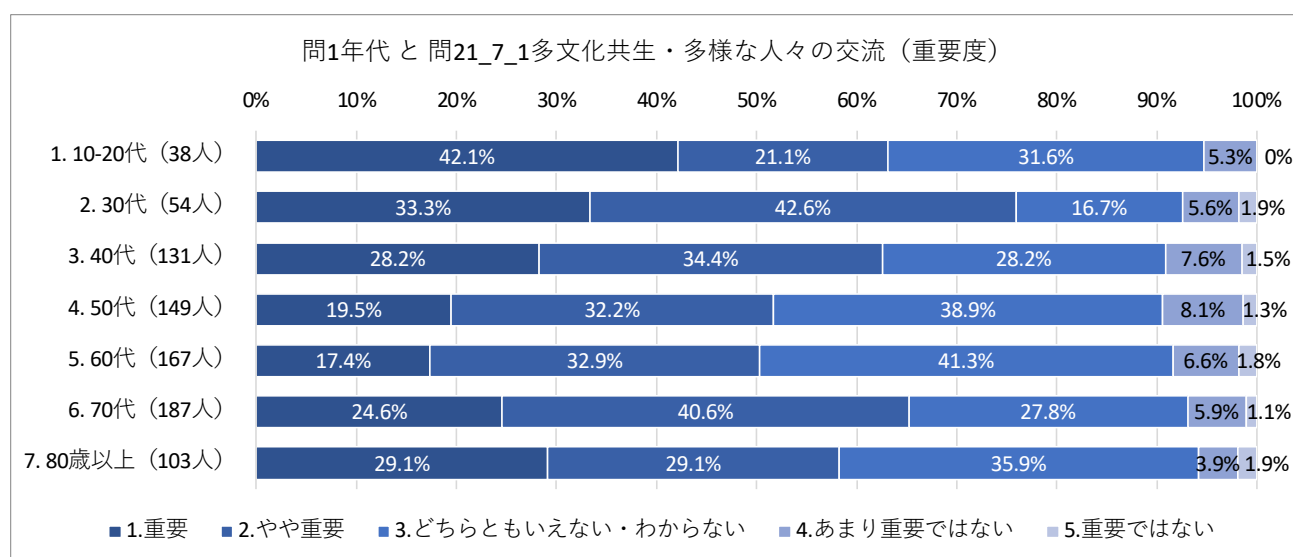
- 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 23.0%であり、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 16.6%をやや上回った。また、「3. どちらともいえない・わからない」が 53.1%と半数を超えている。

	人数	%
1. 満足	34	3.9%
2. やや満足	167	19.1%
3. どちらともいえない・わからない	464	53.1%
4. やや不満	114	13.0%
5. 不満	31	3.5%
無回答	64	7.3%
全体	874	100.0%

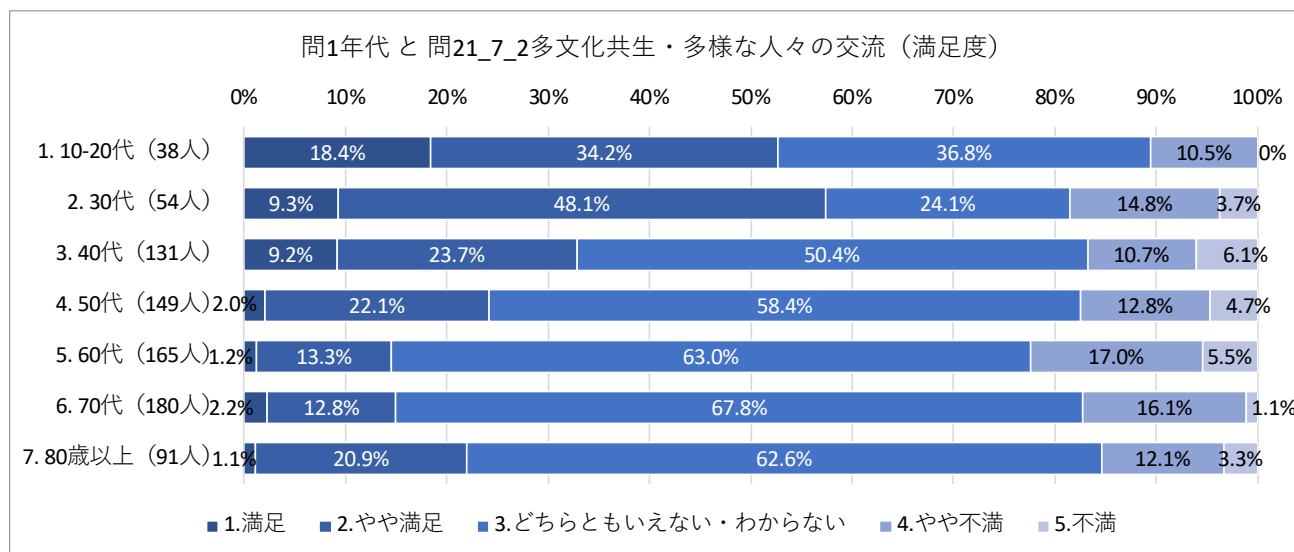


年代別集計

- 「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、30代(75.9%)が最も高く、次いで70代(65.2%)であった。

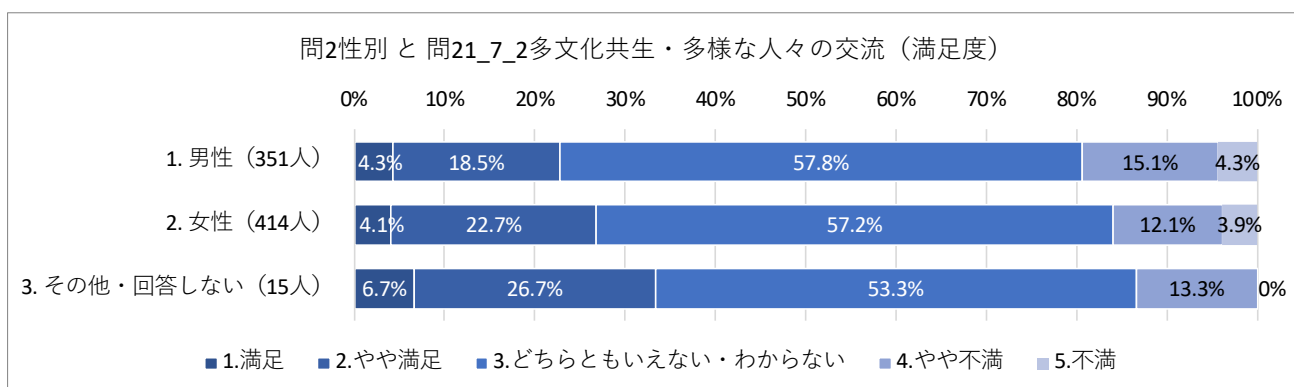
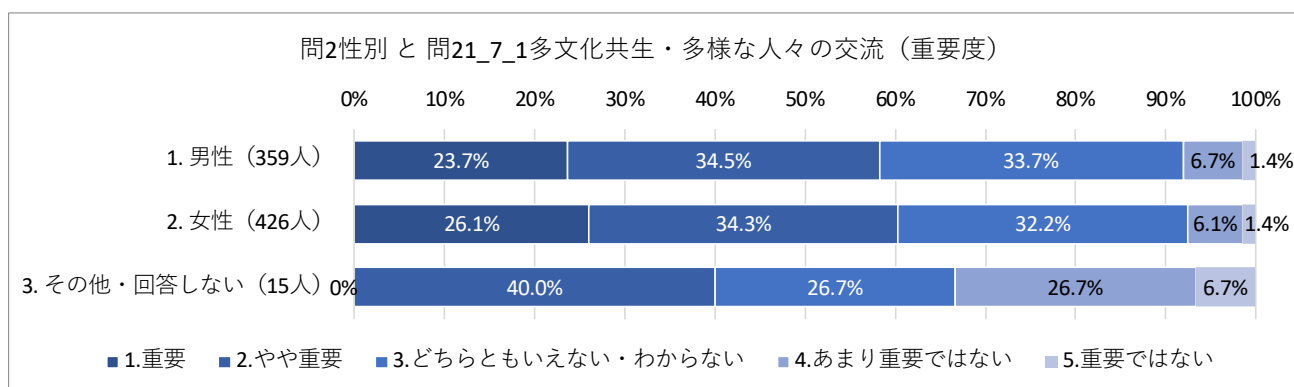


- ・ 「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、30代(57.4%)が最も高く、次いで10-20代(52.6%)、40代(32.8%)の順だった。一方、60代(14.5%)や70代(15.0%)では「1. 満足」「2. やや満足」の回答割合は低かった。



性別集計

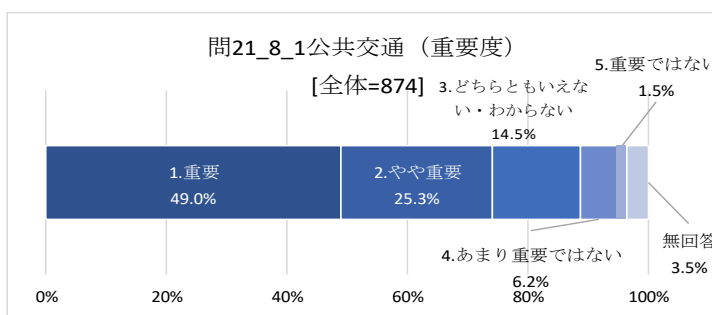
- ・ 重要度・満足度ともに男女で大きな違いはない。



8.公共交通

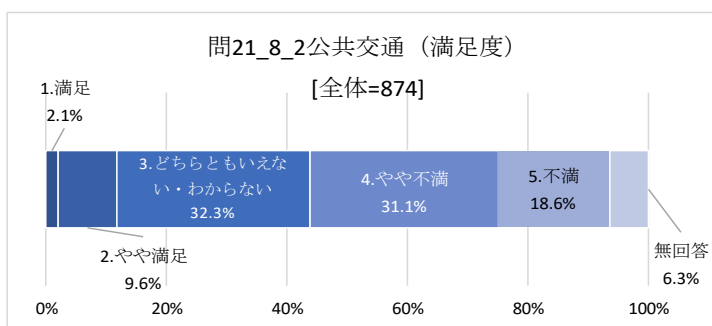
- 「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 74.3%と全体の約 4 分の 3 を占めていた。「3. どちらともいえない・わからない」との回答は 14.5%と比較的少なかった。

	人数	%
1. 重要	428	49.0%
2. やや重要	221	25.3%
3. どちらともいえない・わからない	127	14.5%
4. あまり重要ではない	54	6.2%
5. 重要ではない	13	1.5%
無回答	31	3.5%
全体	874	100.0%



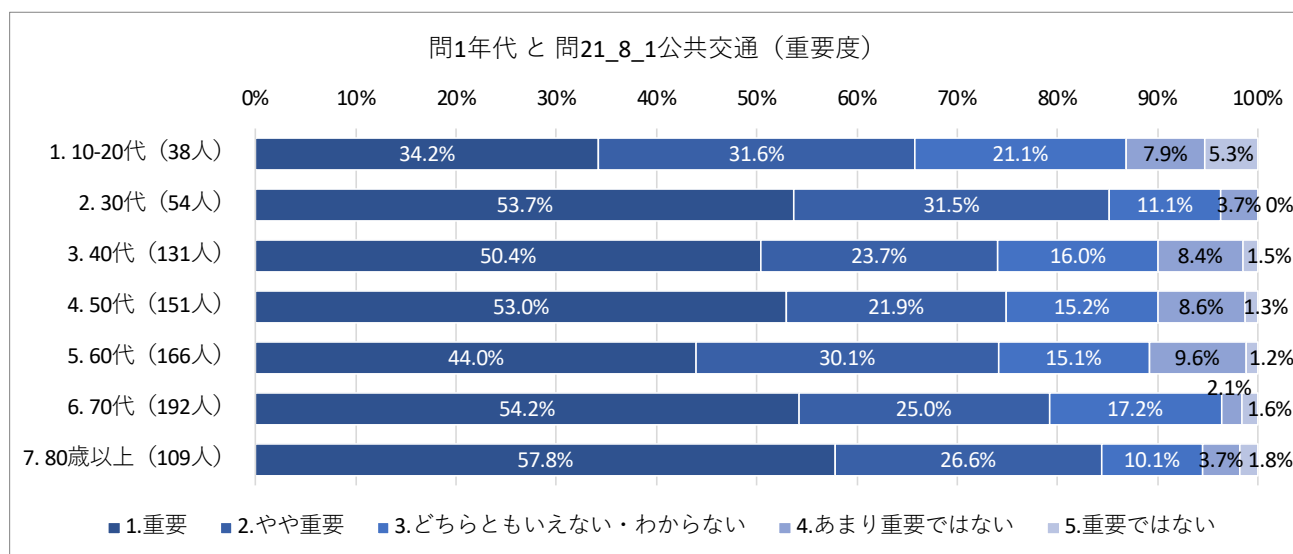
- 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 11.7%と低く、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 49.8%を大きく下回った。

	人数	%
1. 満足	18	2.1%
2. やや満足	84	9.6%
3. どちらともいえない・わからない	282	32.3%
4. やや不満	272	31.1%
5. 不満	163	18.6%
無回答	55	6.3%
全体	874	100.0%

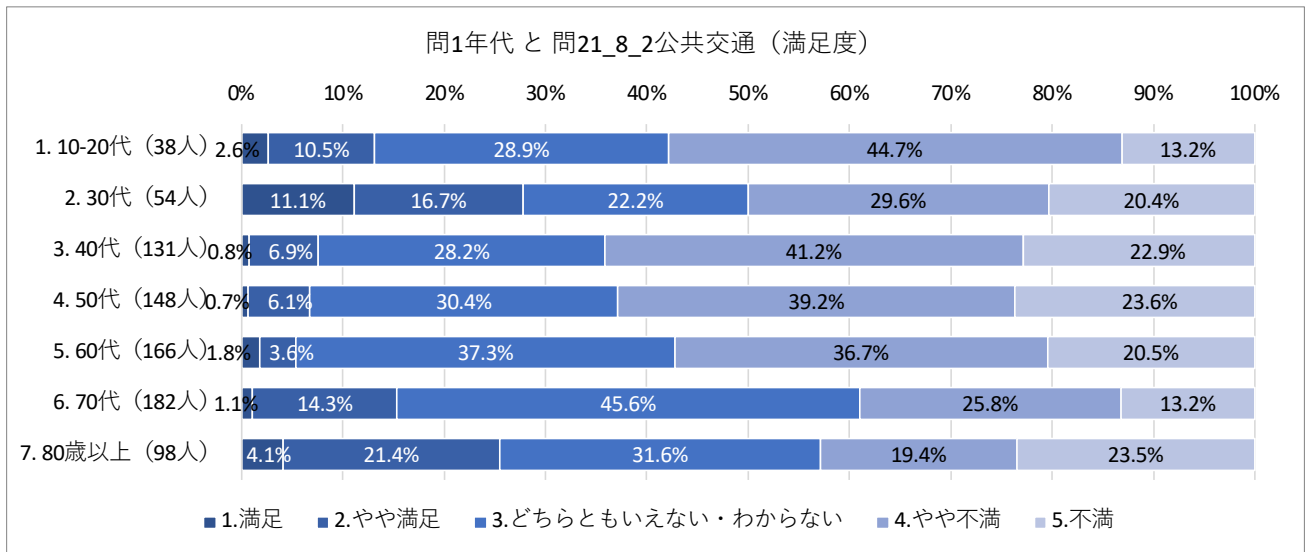


年代別集計

- 重要度については、全体的に大きな傾向の差は見られなかった。「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が最も高いのは 30 代 (85.2%)、2 番目は 80 歳以上 (84.4%) だった。

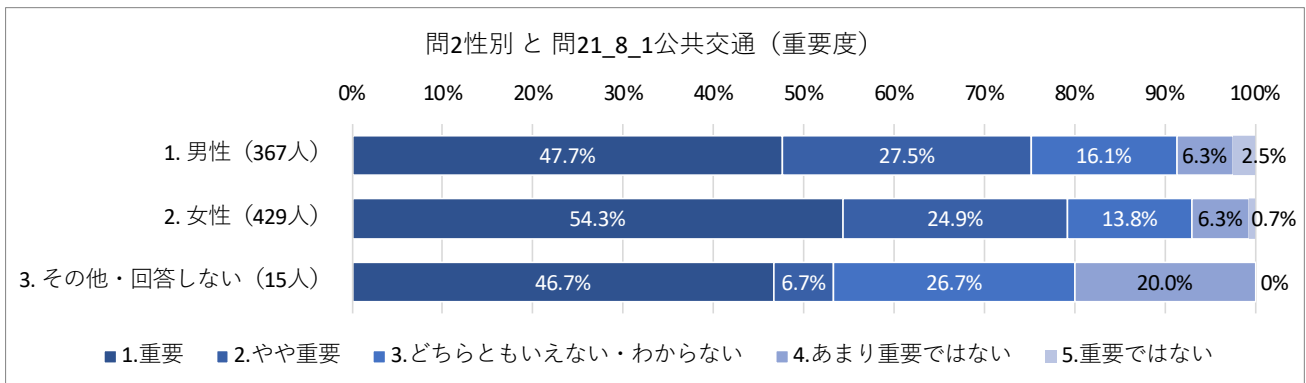


- ・ 「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、80 歳以上(25.5%)が最も高く、次いで 30 代(27.8%)、70 代(15.4%)の順だった。一方、40 代や 50 代では「4. やや不満」「5. 不満」の割合が 60%を超えていた。

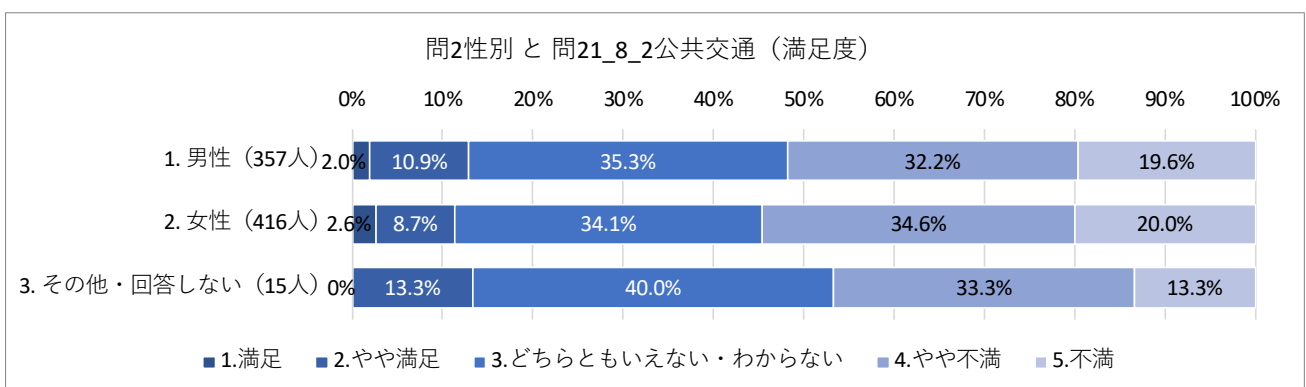


性別集計

- ・ 重要度については、「1. 重要」との回答は男性 47.7%、女性 54.3%と女性のほうが高かった



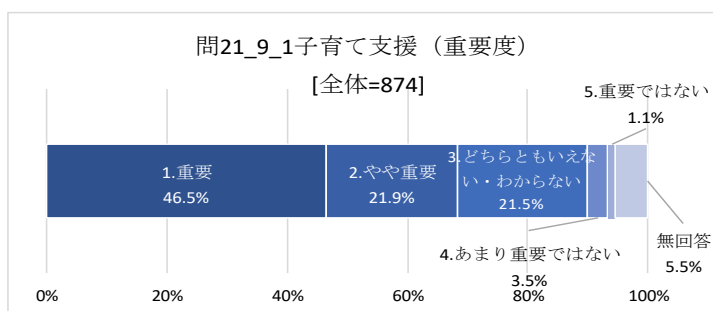
- ・ 満足度については、大きな男女差は見られなかった。



9.子育て支援

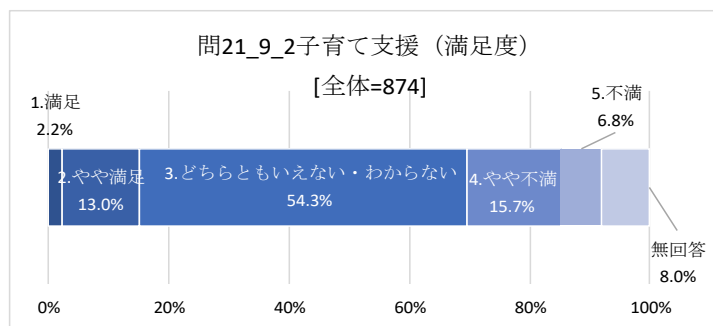
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 68.3%と全体の約 7 割を占めた。一方、「3. どちらともいえない・わからない」は 21.5%と一定数存在する。

	人数	%
1. 重要	406	46.5%
2. やや重要	191	21.9%
3. どちらともいえない・わからない	188	21.5%
4. あまり重要ではない	31	3.5%
5. 重要ではない	10	1.1%
無回答	48	5.5%
全体	874	100.0%



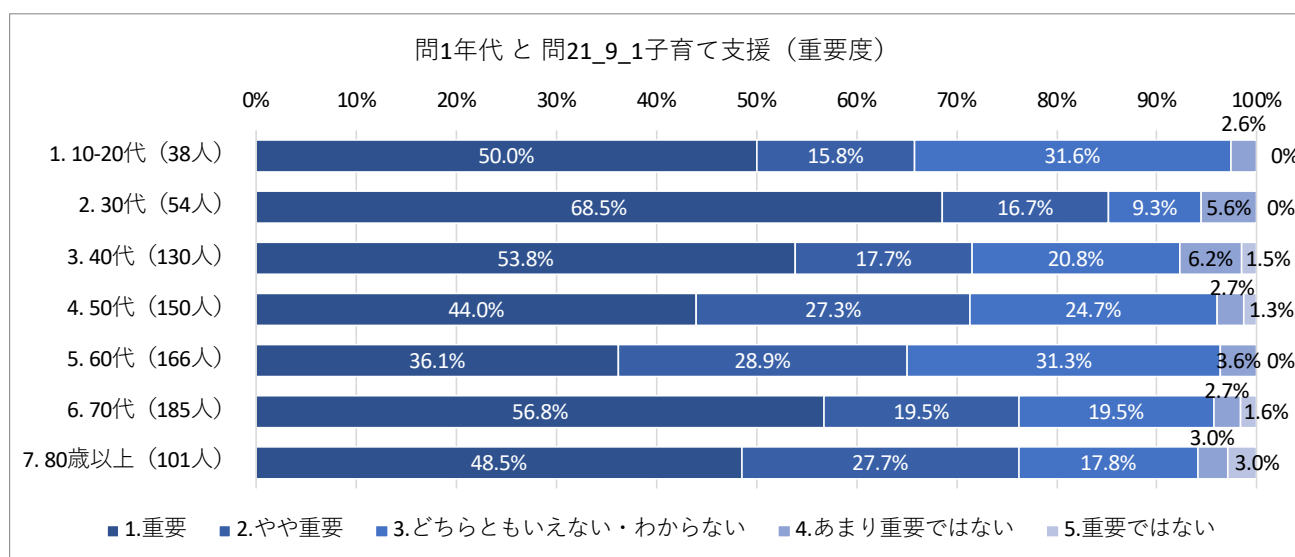
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 15.2%と低く、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 22.4%を下回った。「3. どちらともいえない・わからない」が 54.3%と半数を超えていた。

	人数	%
1. 満足	19	2.2%
2. やや満足	114	13.0%
3. どちらともいえない・わからない	475	54.3%
4. やや不満	137	15.7%
5. 不満	59	6.8%
無回答	70	8.0%
全体	874	100.0%

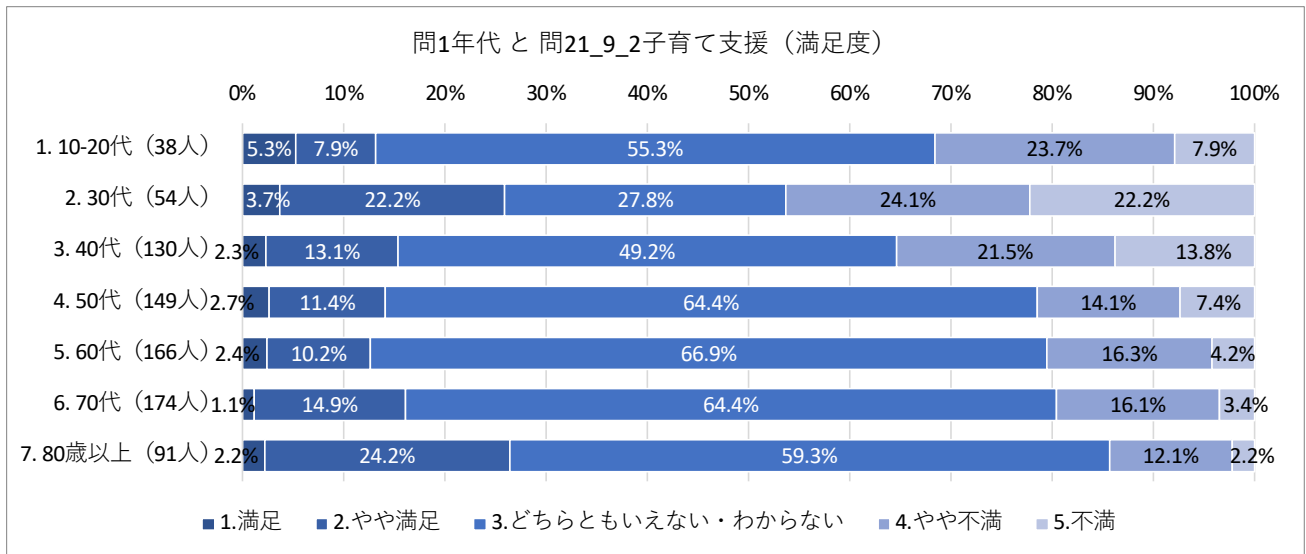


年代別集計

- ・ 「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、30 代(85.2%)が最も高く、次いで 70 代・80 歳以上(ともに 76.2%)、40 代(71.5%)、50 代(71.3%)の順となった。

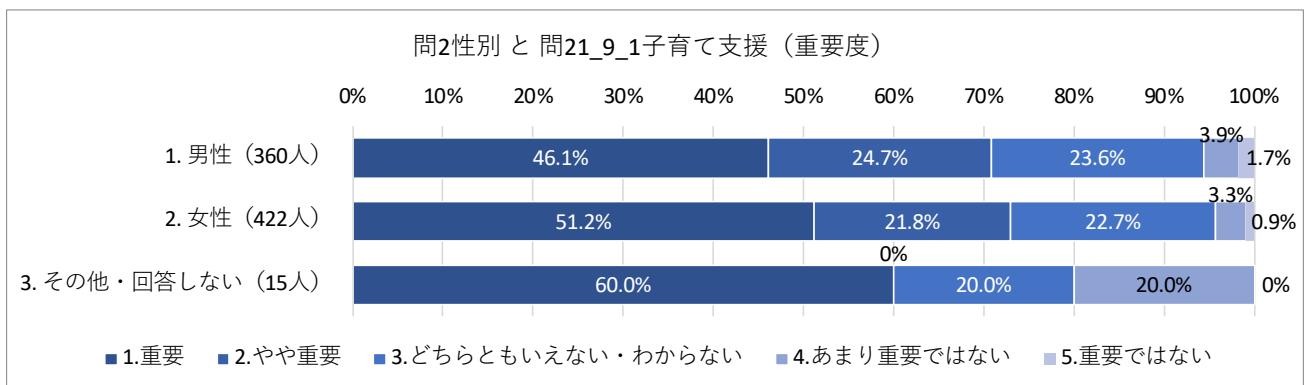


- ・ 「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、80 歳以上(26.4%)が最も高く、次いで 30 代(25.9%)の順だった。また 30 代は子育て支援についての満足度の意見が分かれており、「3. どちらともいえない・わからない」との割合は 27.8%と最も少なく、一方で「4. やや不満」「5. 不満」の合計は 46.3%と最も高かった。

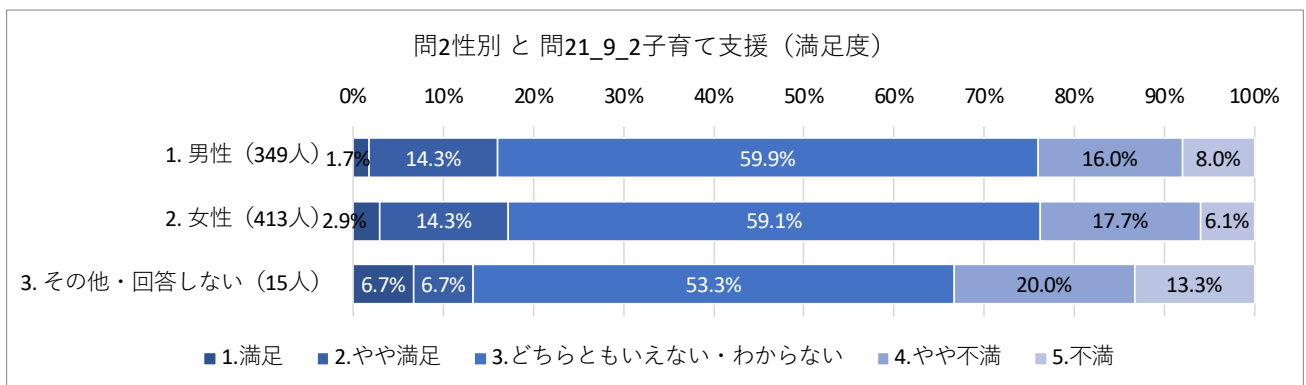


性別集計

- ・ 重要度については、全体として大きな男女差は見られなかったが、「1.重要」は男性 46.1%、女性 51.2%と、女性の方がやや高かった。



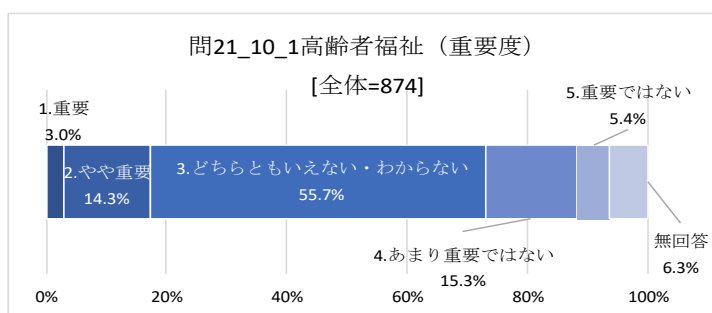
- ・ 満足度については、全体として大きな男女差は見られなかった。



10.高齢者福祉

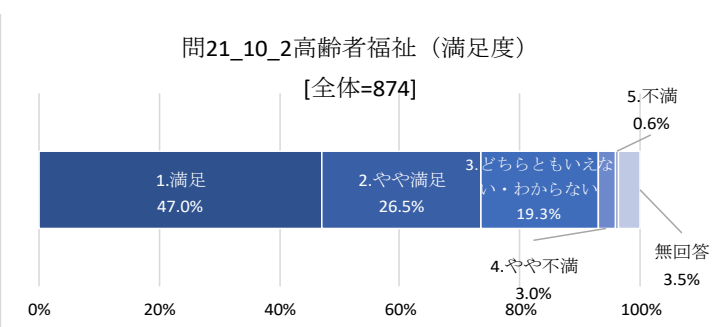
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は 17.3%であり、「3. どちらともいえない・わからない」が 55.7%と半数以上を占めた。

	人数	%
1. 重要	26	3.0%
2. やや重要	125	14.3%
3. どちらともいえない・わからない	487	55.7%
4. あまり重要ではない	134	15.3%
5. 重要ではない	47	5.4%
無回答	55	6.3%
全体	874	100.0%



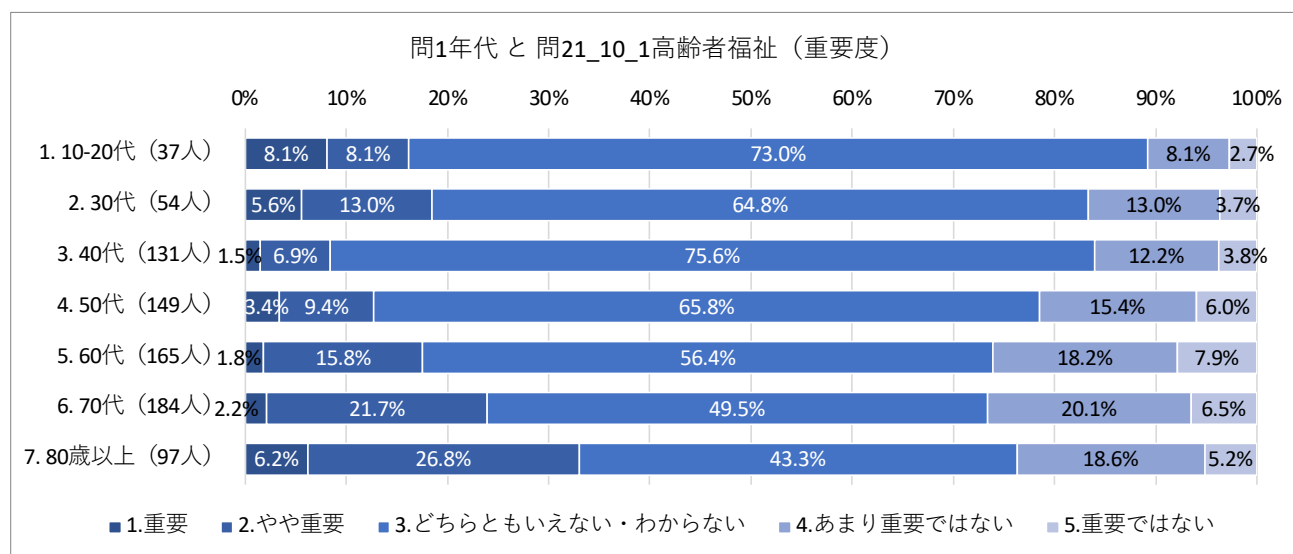
- ・ 一方、満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 73.6%と非常に高く、不満を示した回答（「4. やや不満」「5. 不満」の合計 3.5%）を大きく上回った。

	人数	%
1. 満足	411	47.0%
2. やや満足	232	26.5%
3. どちらともいえない・わからない	169	19.3%
4. やや不満	26	3.0%
5. 不満	5	0.6%
無回答	31	3.5%
全体	874	100.0%

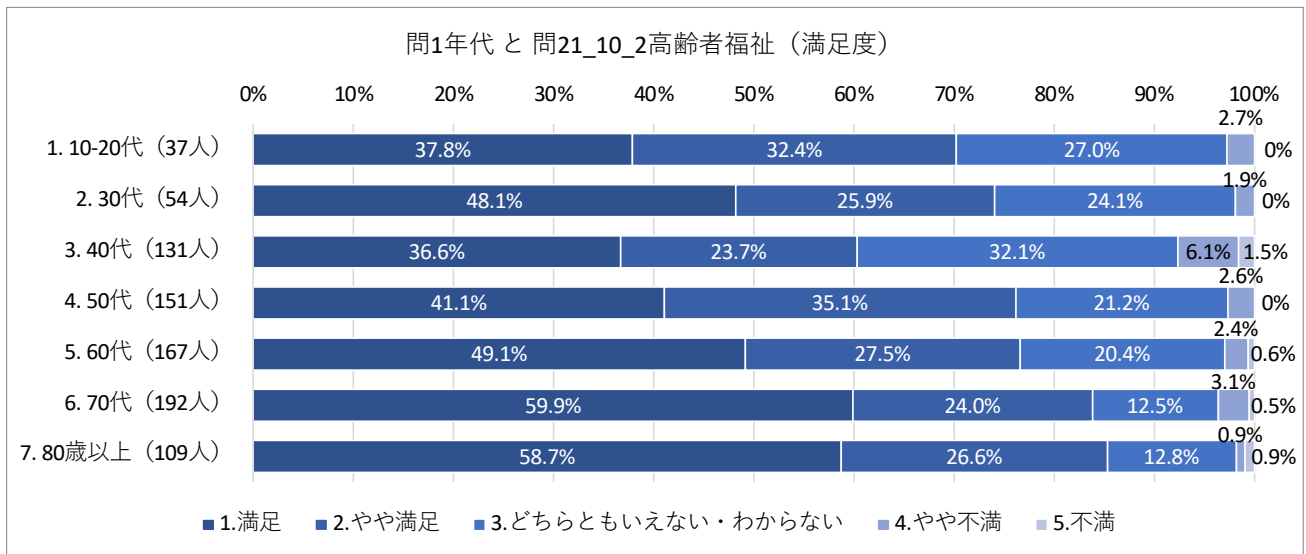


年代別集計

- ・ 「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、80 歳以上 (33.0%) が最も高く、次いで 70 代 (23.9%)、30 代 (18.5%) の順となった。

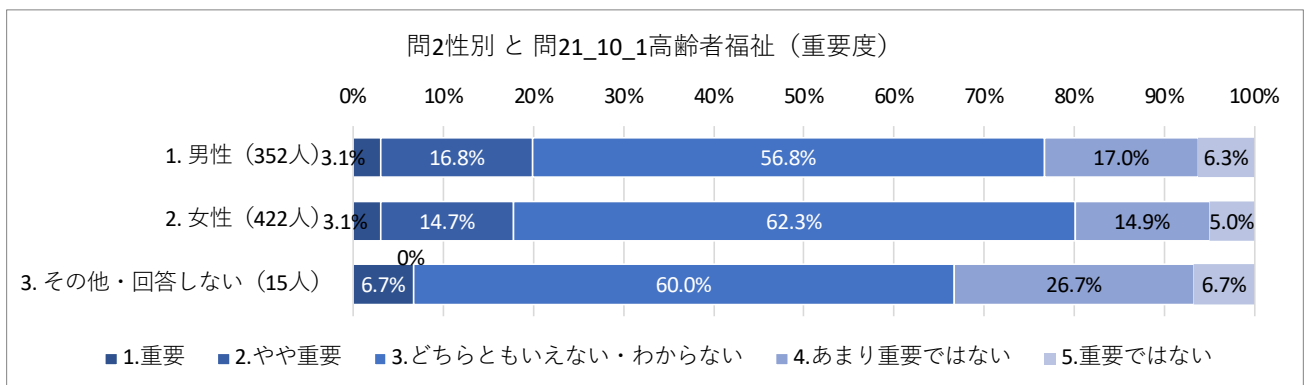


- ・ 「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、80 歳以上(85.3%)が最も高く、次いで、70 代(83.9%)、60 代(76.6%)の順だった。

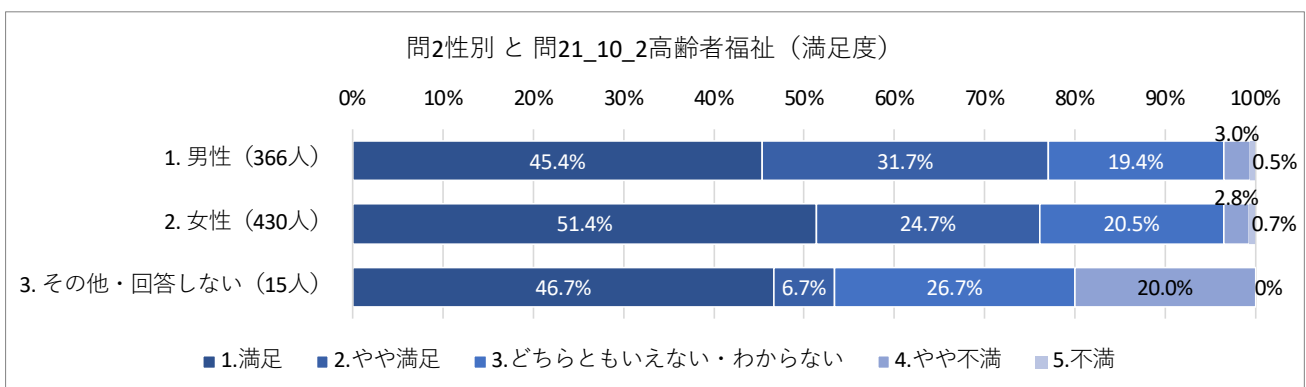


性別集計

- ・ 重要度については、全体として大きな差はなかったが、「3.どちらともいえない・わからない」は、男性 56.8%、女性 62.3%と女性の方がやや高かった。



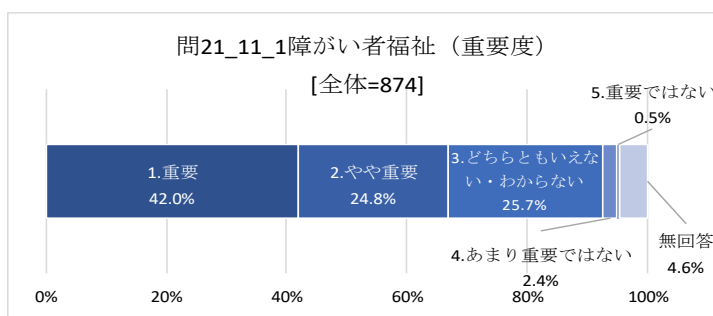
- ・ 満足度については、全体としては大きな差はなかったが、「1.満足」は男性 45.4%、女性 51.4%と女性の方がやや高く、「2.やや満足」は男性31.7%、女性 24.7%と男性の方がやや高かった。



11.障がい者福祉

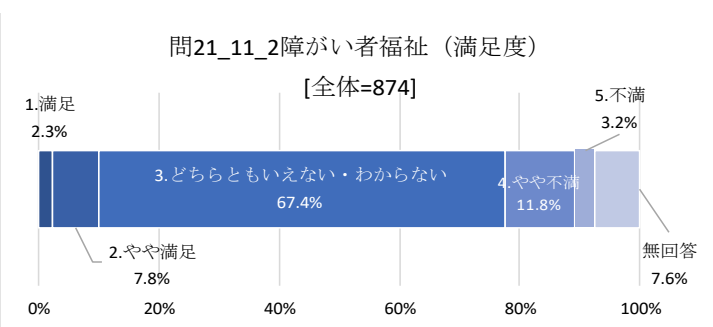
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 66.8%と全体の約 3 分の 2 を占めた。一方、「3. どちらともいえない・わからない」が 25.7%と比較的高い。

	人数	%
1. 重要	367	42.0%
2. やや重要	217	24.8%
3. どちらともいえない・わからない	225	25.7%
4. あまり重要ではない	21	2.4%
5. 重要ではない	4	0.5%
無回答	40	4.6%
全体	874	100.0%



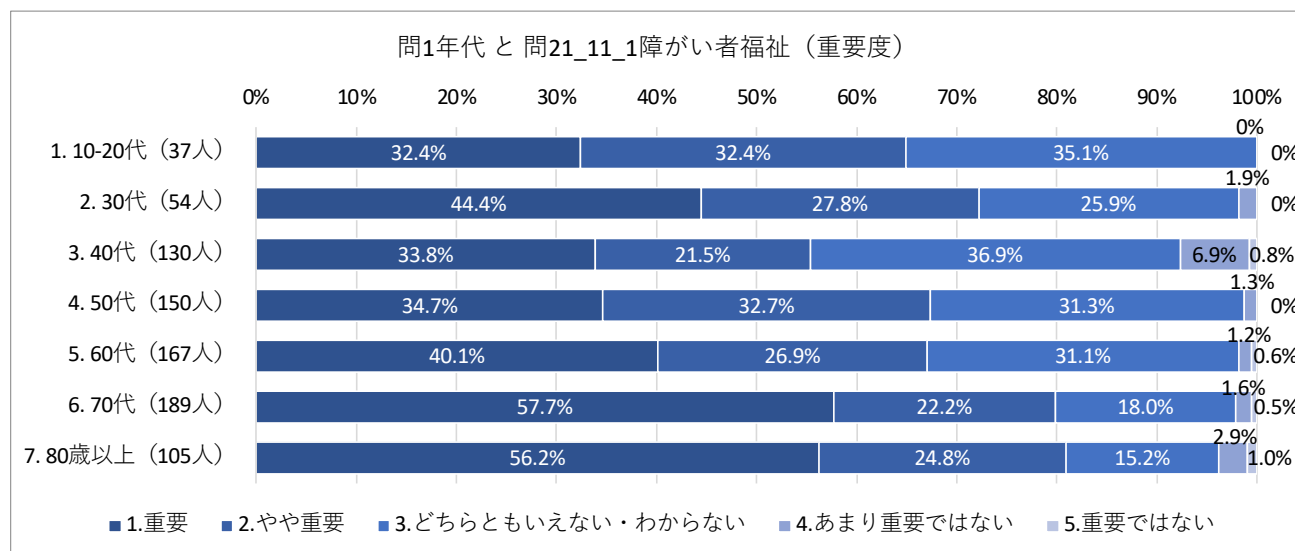
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 10.1%と低く、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 15.0%を下回った。また、「3. どちらともいえない・わからない」が 67.4%と過半数を占めている。

	人数	%
1. 満足	20	2.3%
2. やや満足	68	7.8%
3. どちらともいえない・わからない	589	67.4%
4. やや不満	103	11.8%
5. 不満	28	3.2%
無回答	66	7.6%
全体	874	100.0%

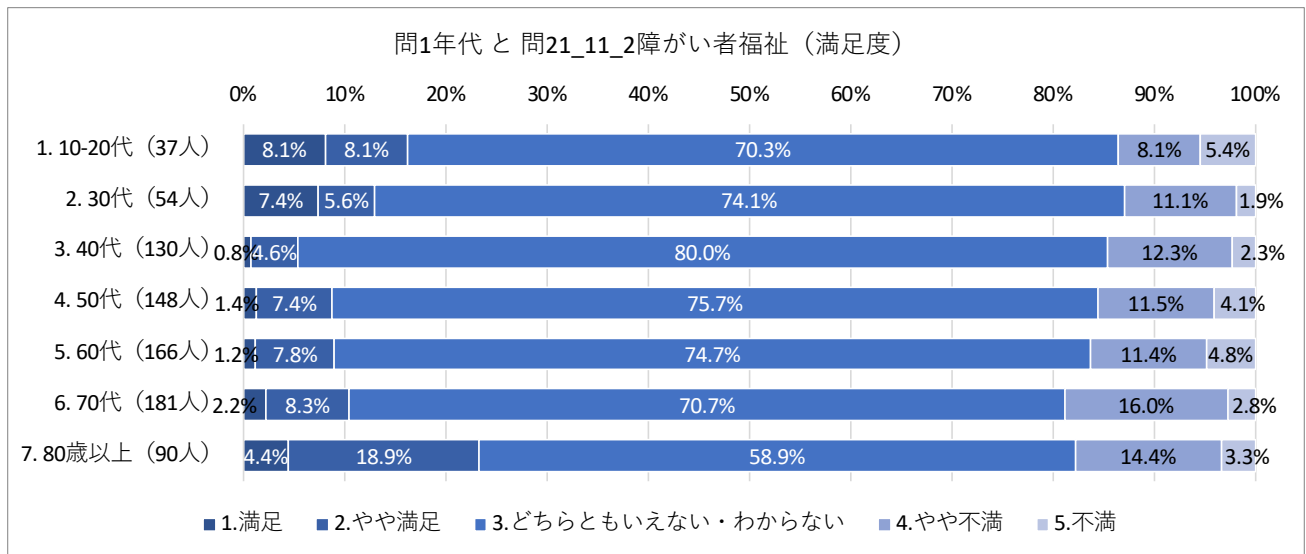


年代別集計

- ・ 「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、80 歳以上(81.0%)が最も高く、次いで 70 代(79.9%)、30 代(72.2%)の順となった。

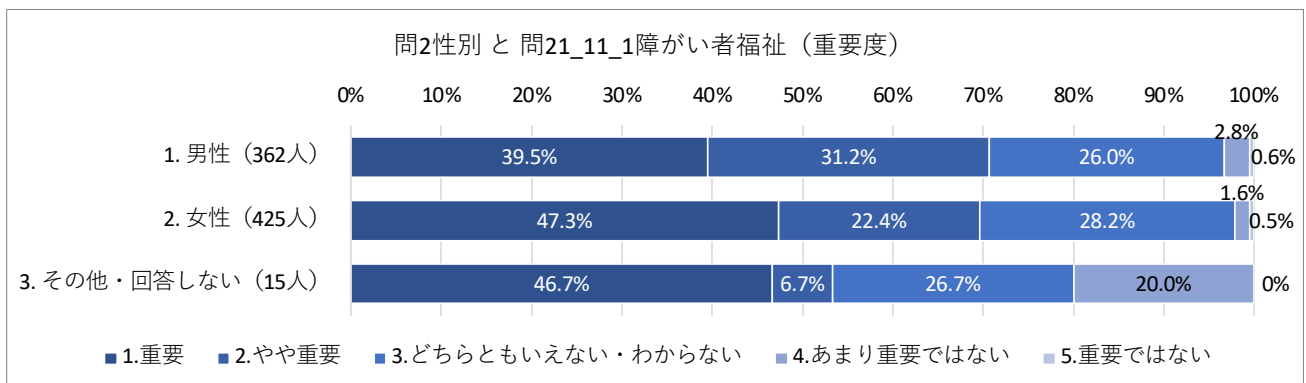


- ・ どの年代も「3. どちらともいえない・わからない」が多いが、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、80 歳以上 (23.3%) が最も高く、次いで 10-20 代 (16.2%)、30 代 (13.0%) の順だった。

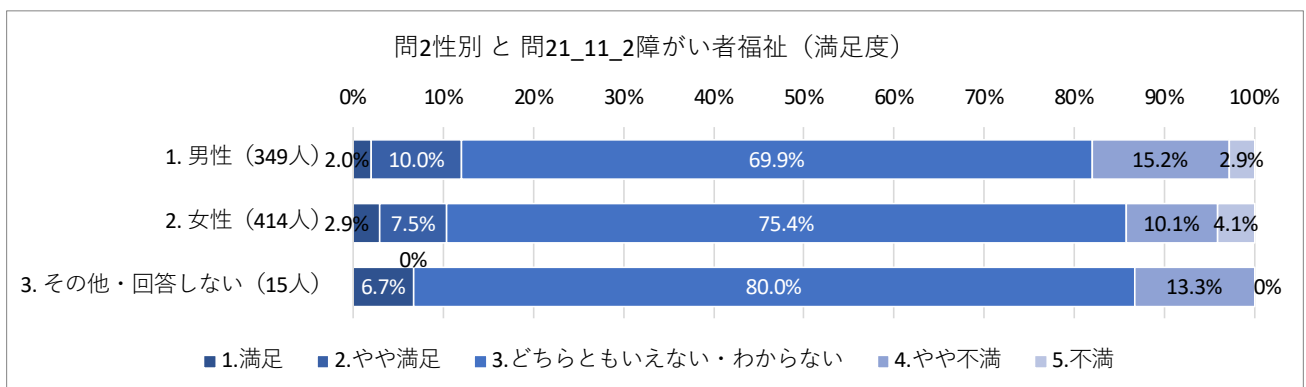


性別集計

- ・ 「1.重要」との回答は、男性 39.5%、女性 47.3%と女性のほうが高い。



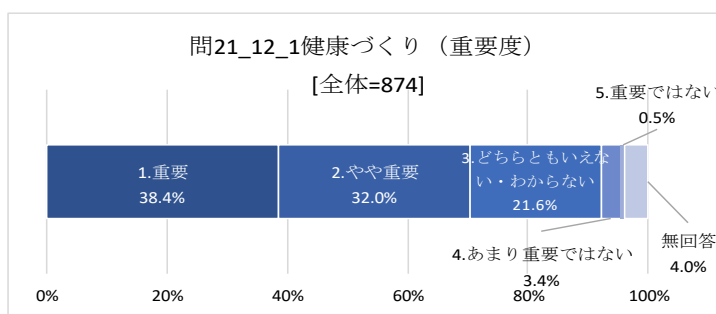
- ・ 満足度については、全体として大きな男女差は見られないが、「3,どちらともいえない・わからない」は、男性 69.9%、女性 75.4%と、女性のほうがやや高かった。



12. 健康づくり(健診、保健・栄養相談、健康教室等)

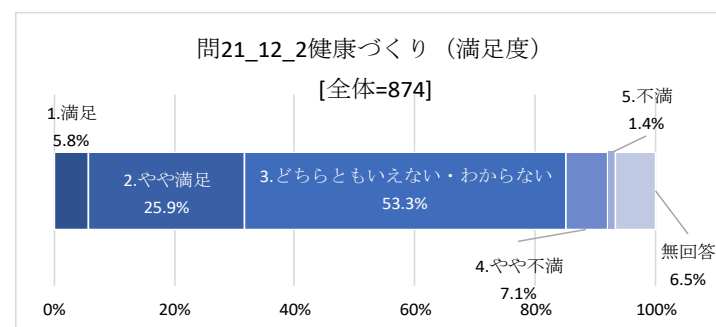
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 70.5%と全体の約 7 割を占めていた。また、「3. どちらともいえない・わからない」も 21.6%と比較的高い。

	人数	%
1. 重要	336	38.4%
2. やや重要	280	32.0%
3. どちらともいえない・わからない	189	21.6%
4. あまり重要ではない	30	3.4%
5. 重要ではない	4	0.5%
無回答	35	4.0%
全体	874	100.0%



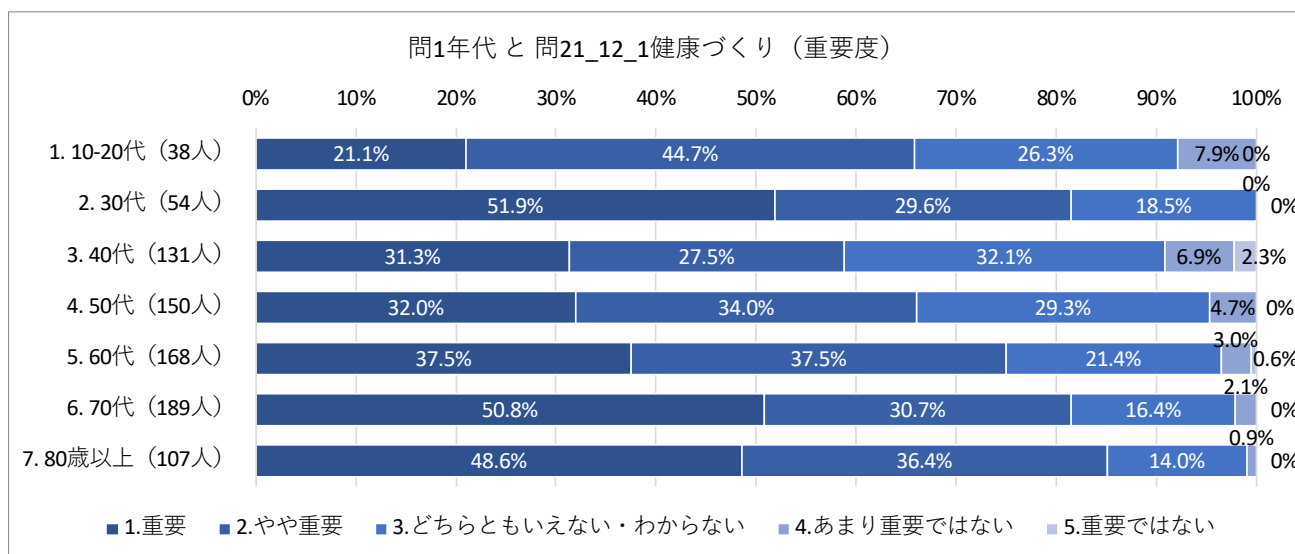
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 31.7%であった。「3.どちらともいえない・わからない」が 53.3%と半数を超えていた。

	人数	%
1. 満足	51	5.8%
2. やや満足	226	25.9%
3. どちらともいえない・わからない	466	53.3%
4. やや不満	62	7.1%
5. 不満	12	1.4%
無回答	57	6.5%
全体	874	100.0%

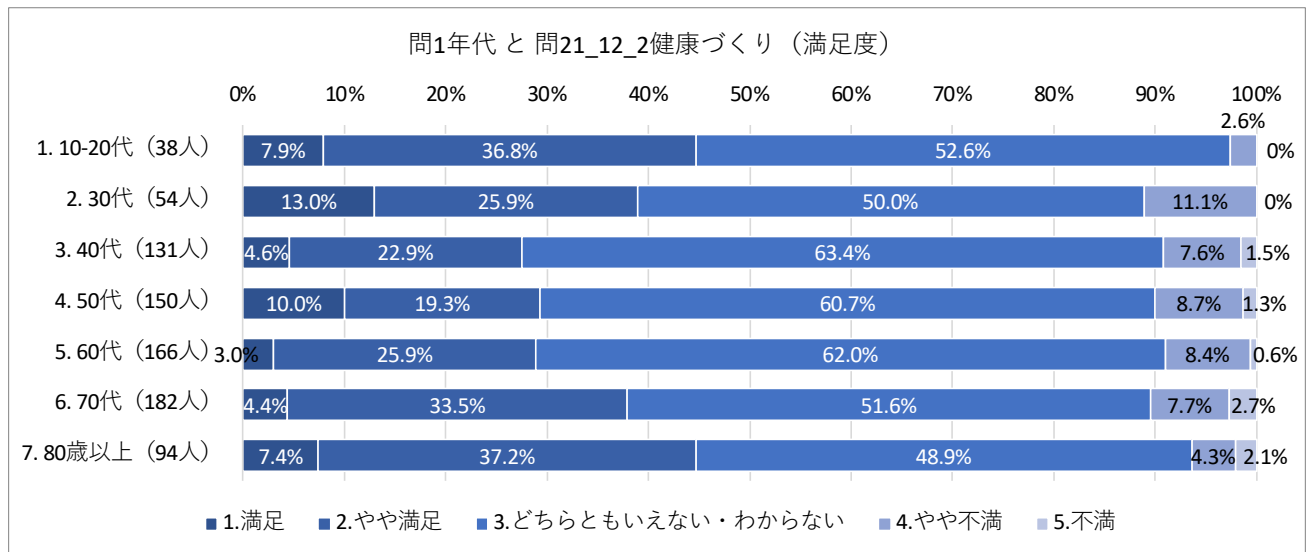


年代別集計

- ・ 「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、80 歳以上(85.0%)が最も高く、次いで、30 代と 70 代が 81.5%であった。
- ・ 「1.重要」との回答が多いのは、30 代(51.9%)、70代(50.8%)、80 歳以上(48.6%)だった。

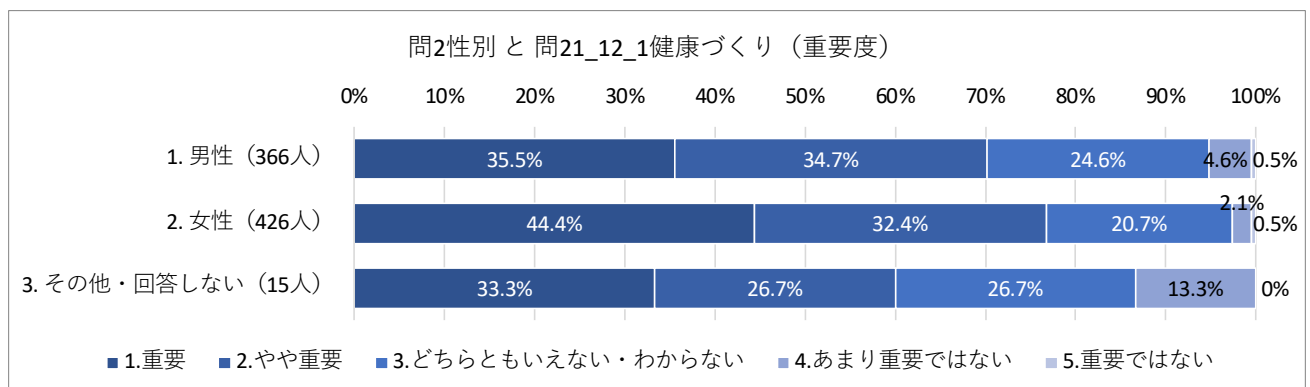


- ・ 「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、80歳以上と10-20代の44.7%が最も高く、次いで30代(38.9%)、70代(37.9%)と年齢が高い層と低い層で高い傾向が見られた。

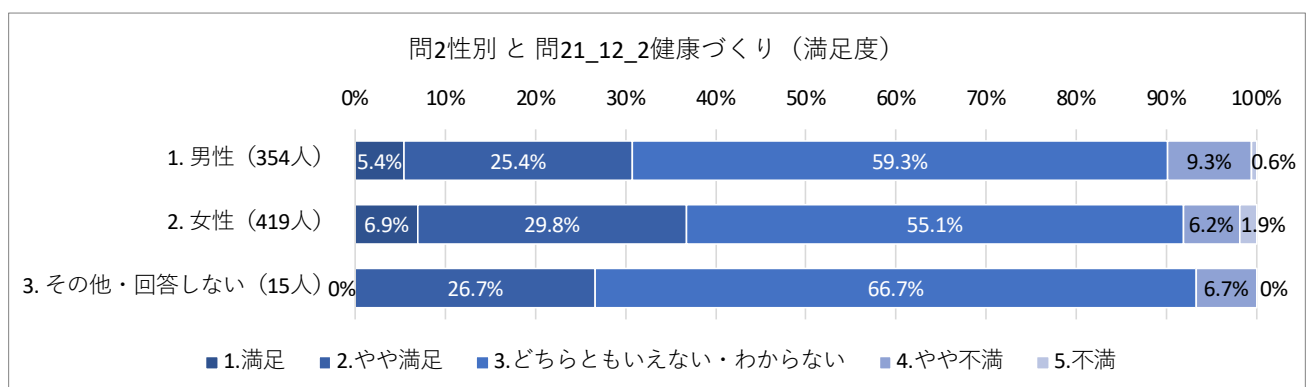


性別集計

- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」を合わせると、男性 70.2%、女性 76.8%と女性のほうが高い。



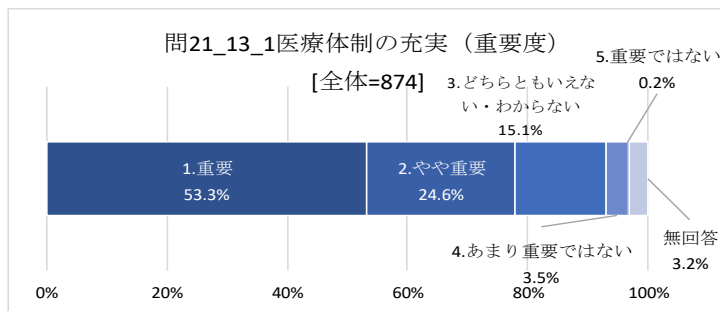
- ・ 「1. 満足」「2. やや満足」を合わせると男性 30.8%、女性 36.8%と、女性のほうが高い。



13.医療体制の充実

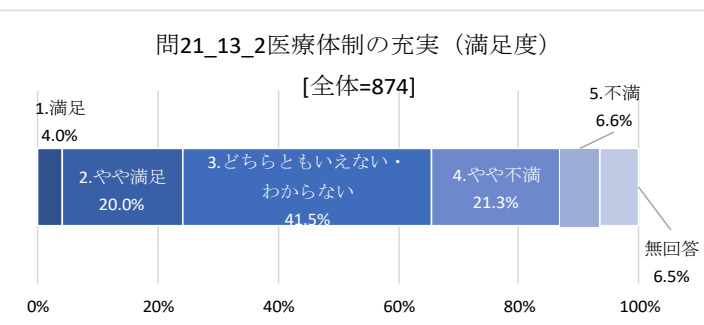
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 77.9%と全体の約 8 割を占めていた。

	人数	%
1. 重要	466	53.3%
2. やや重要	215	24.6%
3. どちらともいえない・わからない	132	15.1%
4. あまり重要ではない	31	3.5%
5. 重要ではない	2	0.2%
無回答	28	3.2%
全体	874	100.0%



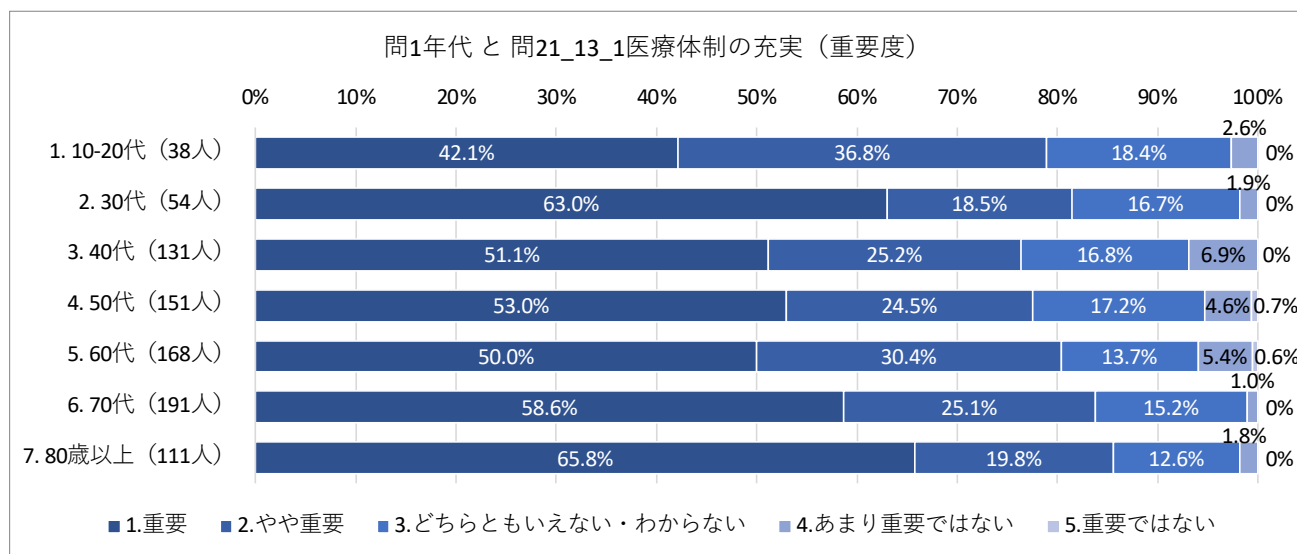
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 24.0%、「4. やや不満」「5. 不満」の合計は計 27.9%とほぼ同水準であった。

	人数	%
1. 満足	35	4.0%
2. やや満足	175	20.0%
3. どちらともいえない・わからない	363	41.5%
4. やや不満	186	21.3%
5. 不満	58	6.6%
無回答	57	6.5%
全体	874	100.0%

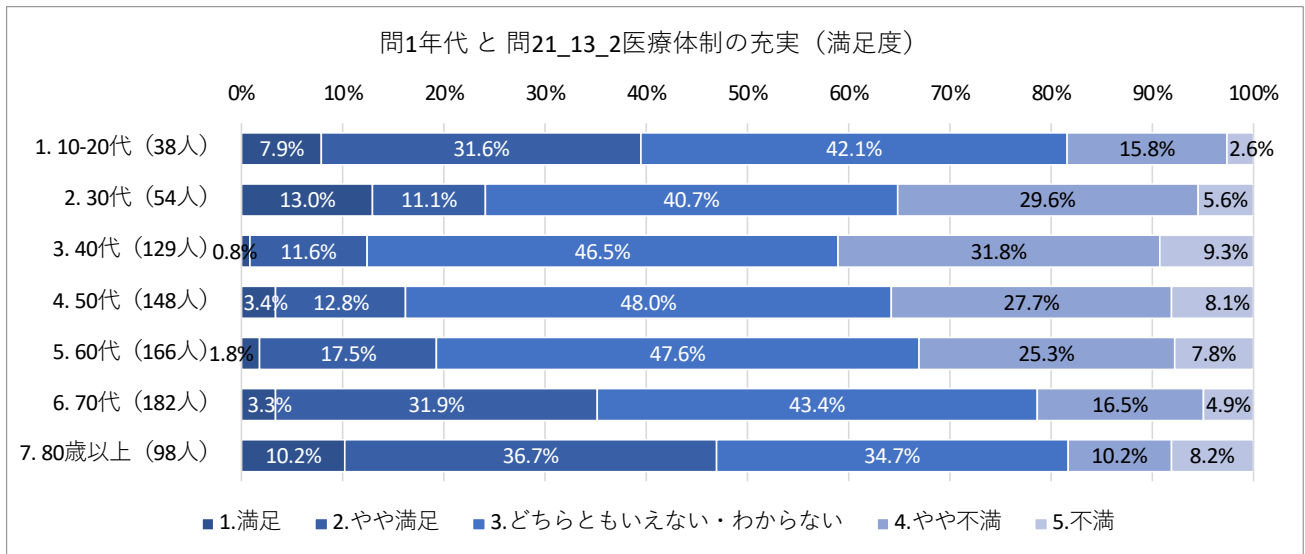


年代別集計

- ・ 重要度については、全体として大きな傾向の差はみられないが、「1. 重要」との回答は 80 歳以上(65.8%)と 30 代(63.0%)に回答が多い。

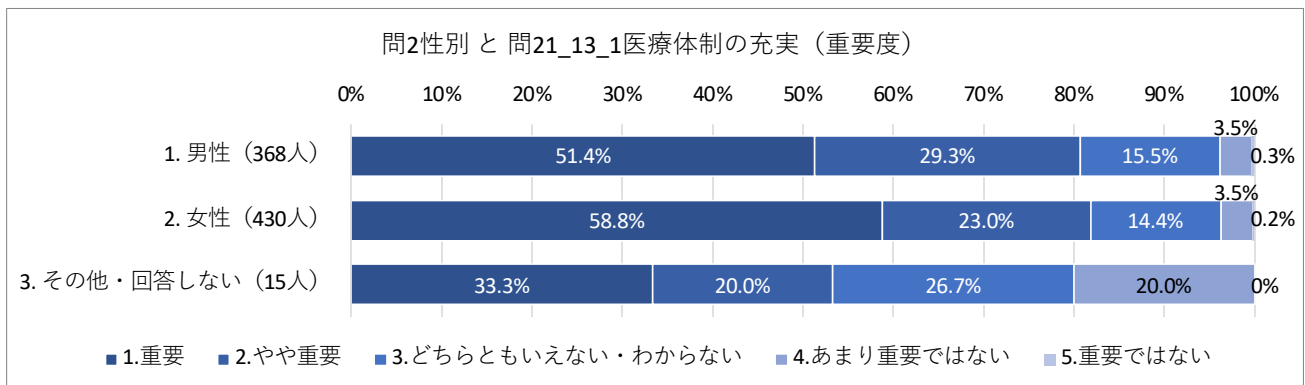


- ・ 満足度については、年齢が高い層と低い層で満足度が高い傾向が見られる。「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、80 歳以上(46.9%)が最も高く、次いで 10-20 代(39.5%)、70 代(35.2%)の順だった。一方、30 代から 60 代までは「4. やや不満」「5. 不満」の割合が相対的に高い傾向がある。

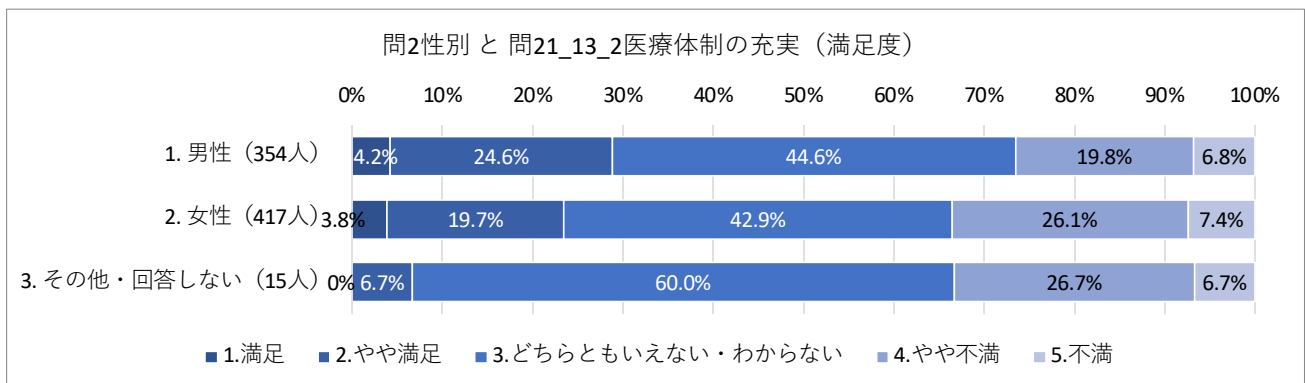


性別集計

- ・ 重要度について、全体として大きな男女差はないが、「1. 重要」との回答は男性 51.4%、女性 58.8%と、女性のほうが高い。



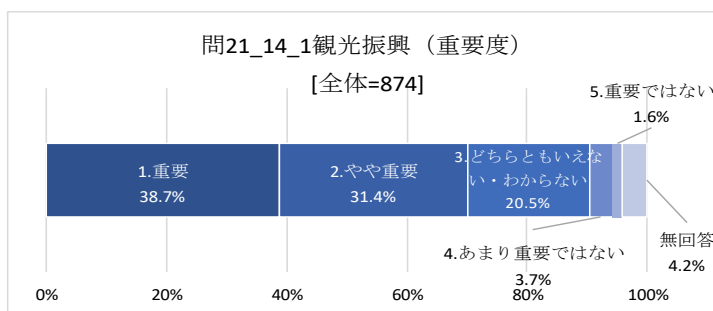
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」を合わせると男性 28.8%、女性 23.5%で、男性のほうがやや高い。「4. やや不満」「5. 不満」を合わせると、男性 26.6%、女性 33.5%となり、女性のほうが不満を感じる割合が高い。



14.観光振興

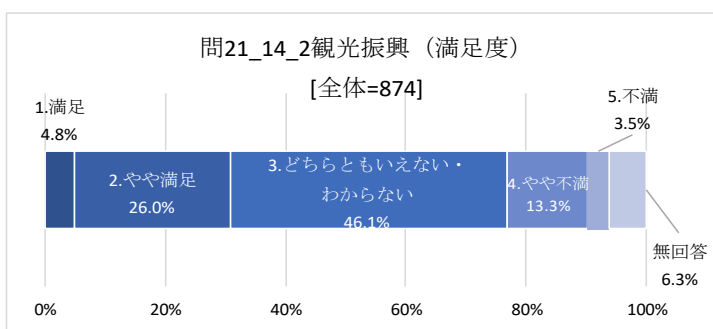
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 70.0%と全体の約 7 割を占めていた。一方、「3. どちらともいえない・わからない」と回答した者も 20.5%いた。

	人数	%
1. 重要	338	38.7%
2. やや重要	274	31.4%
3. どちらともいえない・わからない	179	20.5%
4. あまり重要ではない	32	3.7%
5. 重要ではない	14	1.6%
無回答	37	4.2%
全体	874	100.0%



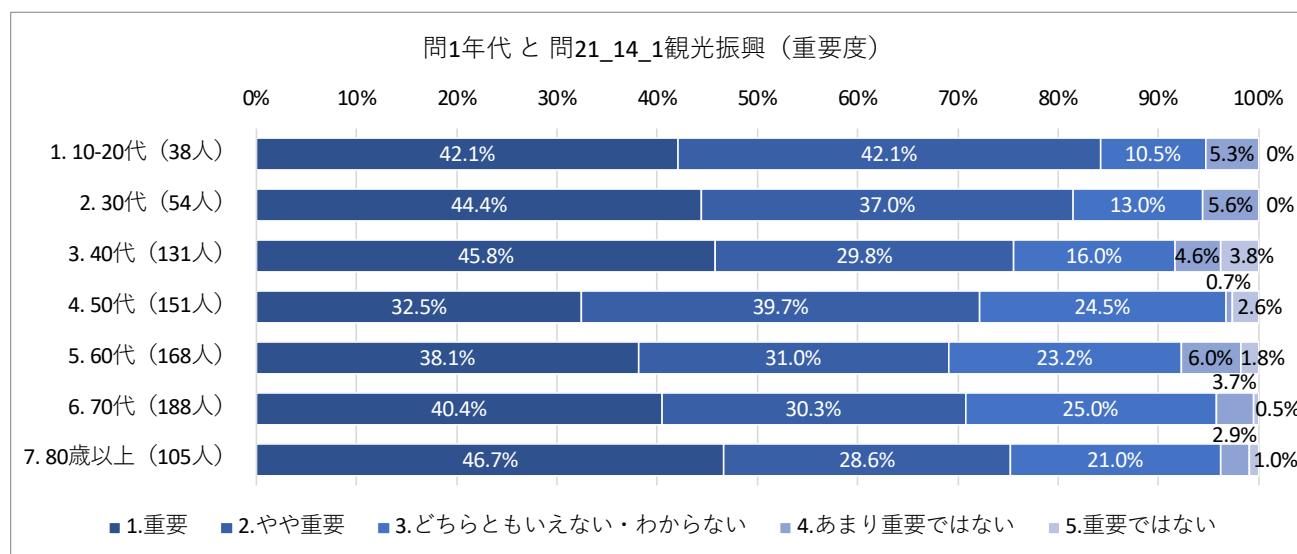
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は 30.8%であり、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 16.8%を上回った。

	人数	%
1. 満足	42	4.8%
2. やや満足	227	26.0%
3. どちらともいえない・わからない	403	46.1%
4. やや不満	116	13.3%
5. 不満	31	3.5%
無回答	55	6.3%
全体	874	100.0%

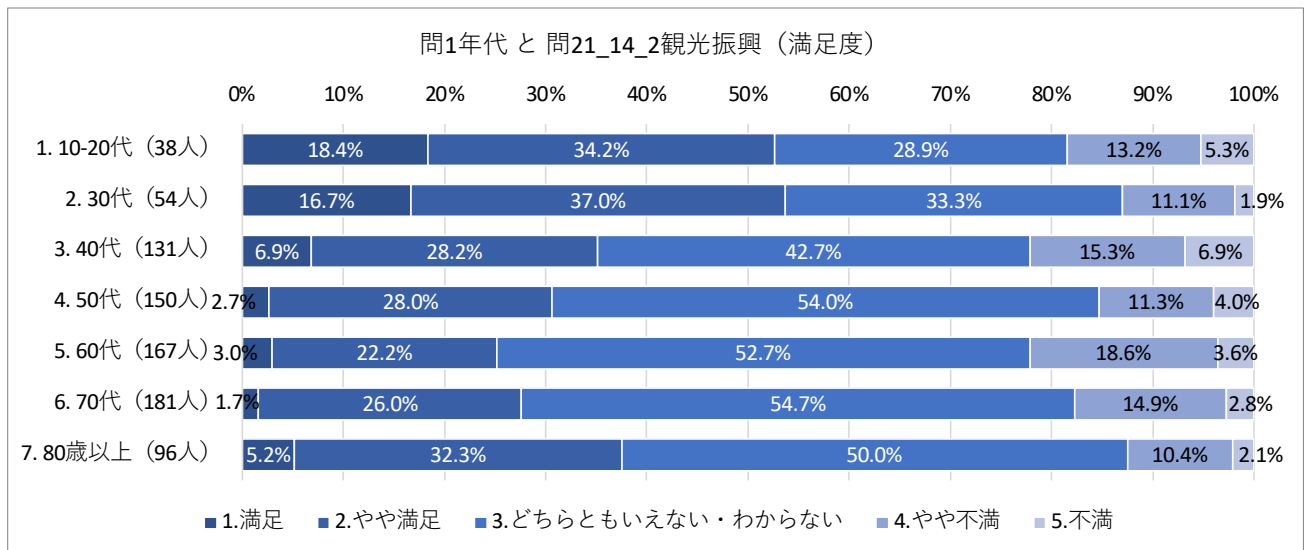


年代別集計

- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、10-20 代(84.2%)が最も高く、次いで 30 代(81.5%)、40 代(75.6%)の順となった。一方、50 代(72.2%)、60 代(69.1%)、70 代(70.7%)ではやや低い。

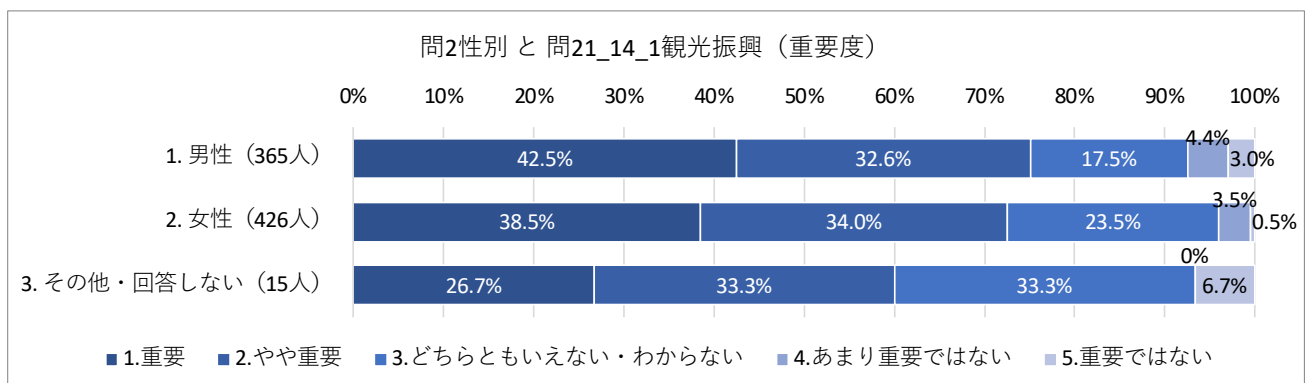


- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、30代(53.7%)が最も高く、次いで10-20代(52.6%)、80歳以上(37.5%)、40代(35.1%)の順だった。一方、50代(30.7%)、60代(25.1%)、70代(27.6%)では低く、「3. どちらともいえない・わからない」の割合が50%以上を占めている。

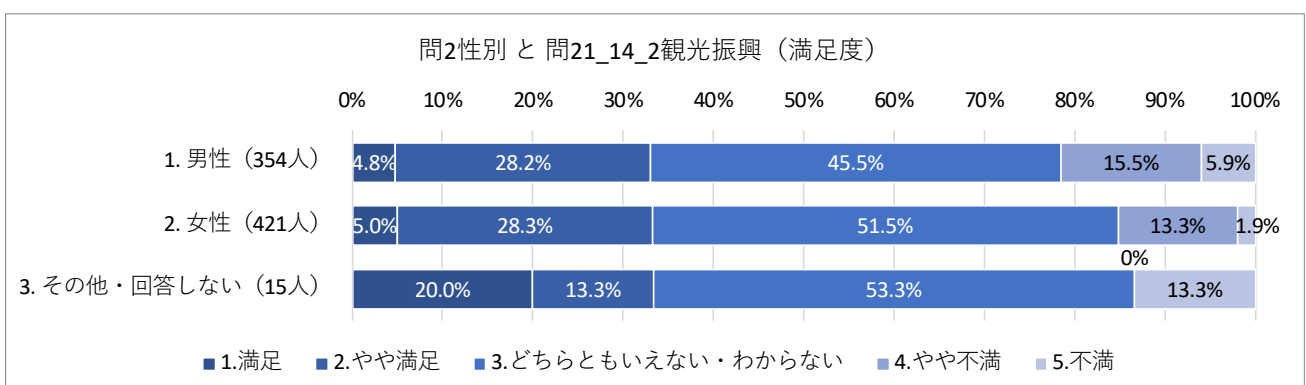


性別集計

- ・ 重要度については、「1. 重要」との回答は、男性 42.5%、女性 38.5%と男性のほうが、やや「重要」とする割合が高い。「3. どちらともいえない・わからない」は男性 17.5%、女性 23.5%と、女性のほうがやや高い。



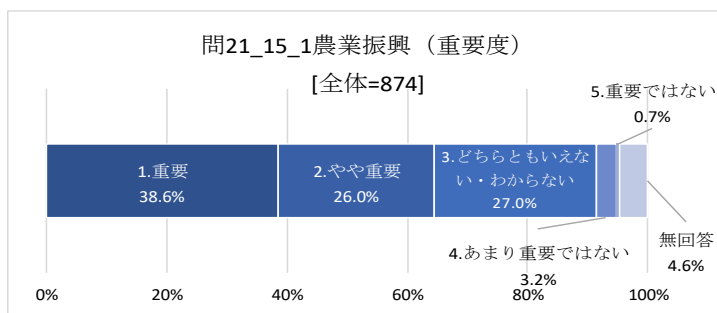
- ・ 満足度については、大きな差はないが、「3. どちらともいえない・わからない」と回答した割合は、男性 45.5%、女性 51.5%と女性のほうが高い。「4. やや不満」「5. 不満」を合わせると、男性 21.5%、女性 15.2%となり、男性のほうがやや「不満」の割合が高い。



15. 農業振興

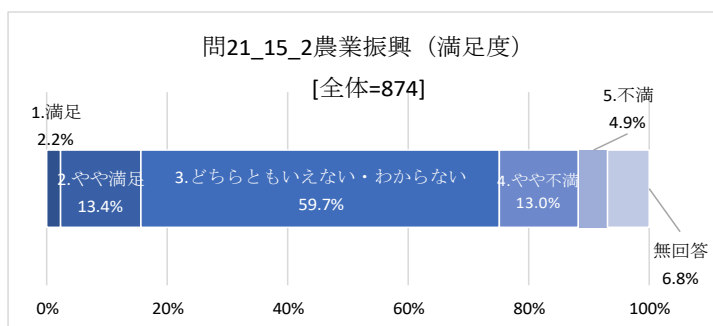
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 64.5%と全体の約 3 分の 2 を占めた。一方、「3. どちらともいえない・わからない」も 27.0%と比較的高い。

	人数	%
1. 重要	337	38.6%
2. やや重要	227	26.0%
3. どちらともいえない・わからない	236	27.0%
4. あまり重要ではない	28	3.2%
5. 重要ではない	6	0.7%
無回答	40	4.6%
全体	874	100.0%



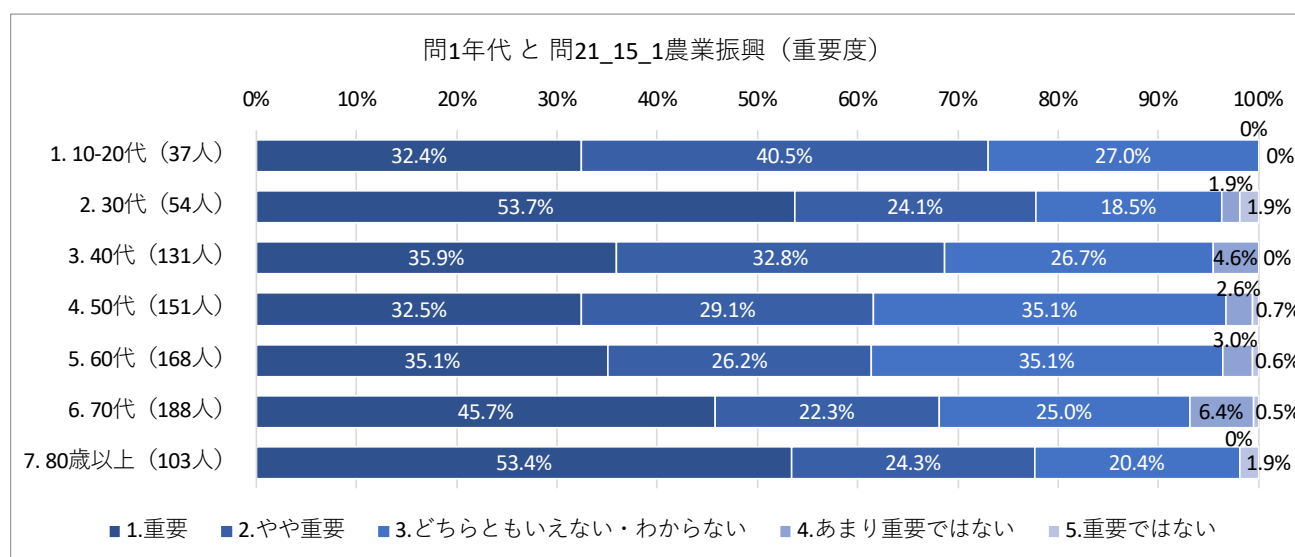
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 15.6%と、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 18.0%とほぼ同水準であった。また、「3. どちらともいえない・わからない」が 59.7%と 6 割近かった。

	人数	%
1. 満足	19	2.2%
2. やや満足	117	13.4%
3. どちらともいえない・わからない	522	59.7%
4. やや不満	114	13.0%
5. 不満	43	4.9%
無回答	59	6.8%
全体	874	100.0%

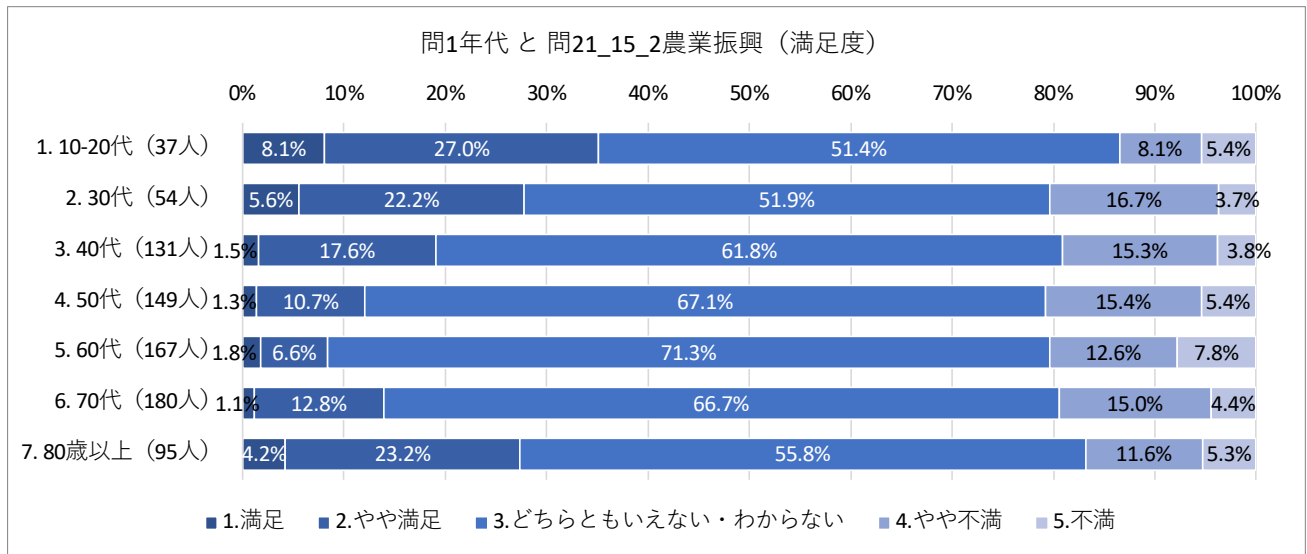


年代別集計

- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、30 代(77.8%)が最も高く、次いで 80 歳以上(77.7%)、10-20 代(73.0%)の順となった。50 代と 60 代は、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は両方とも約 60%と他の年代よりも低い。

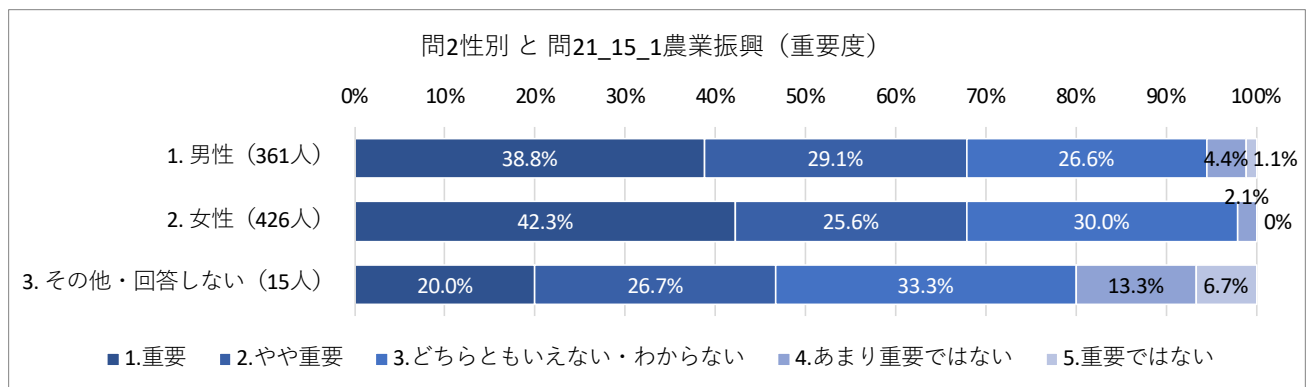


- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、10-20代(35.1%)が最も高く、次いで30代(27.8%)、80歳以上(27.4%)の順だった。一方、50代(12.1%)や60代(8.4%)では「1. 満足」「2. やや満足」の割合は低く、「3. どちらともいえない・わからない」が7割近くを占める。

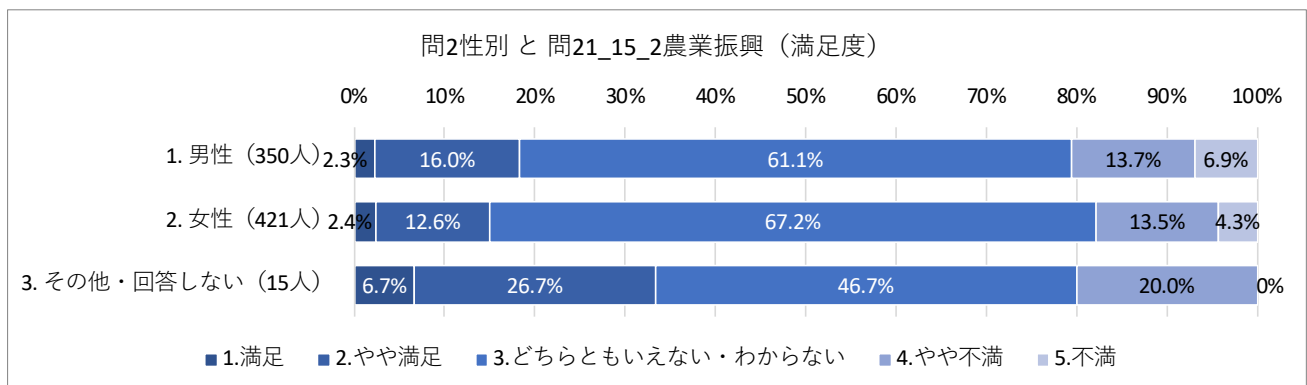


性別集計

- ・ 重要度については、大きな男女差は見られない。



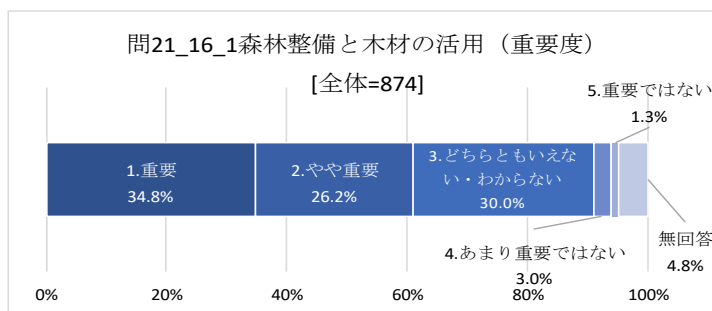
- ・ 満足度については、大きな男女差は見られないが、「3.どちらともいえない・わからない」は、男性61.1%、女性67.2%と女性の方がやや高い。



16.森林整備と木材の活用

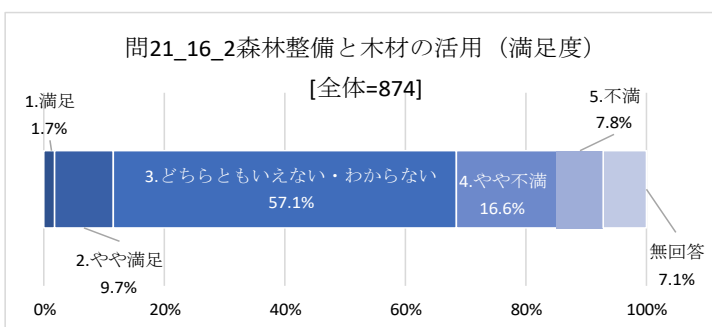
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 61.0%と全体の約 6 割を占めた。一方、「3. どちらともいえない・わからない」が 30.0%と比較的高い。

	人数	%
1. 重要	304	34.8%
2. やや重要	229	26.2%
3. どちらともいえない・わからない	262	30.0%
4. あまり重要ではない	26	3.0%
5. 重要ではない	11	1.3%
無回答	42	4.8%
全体	874	100.0%



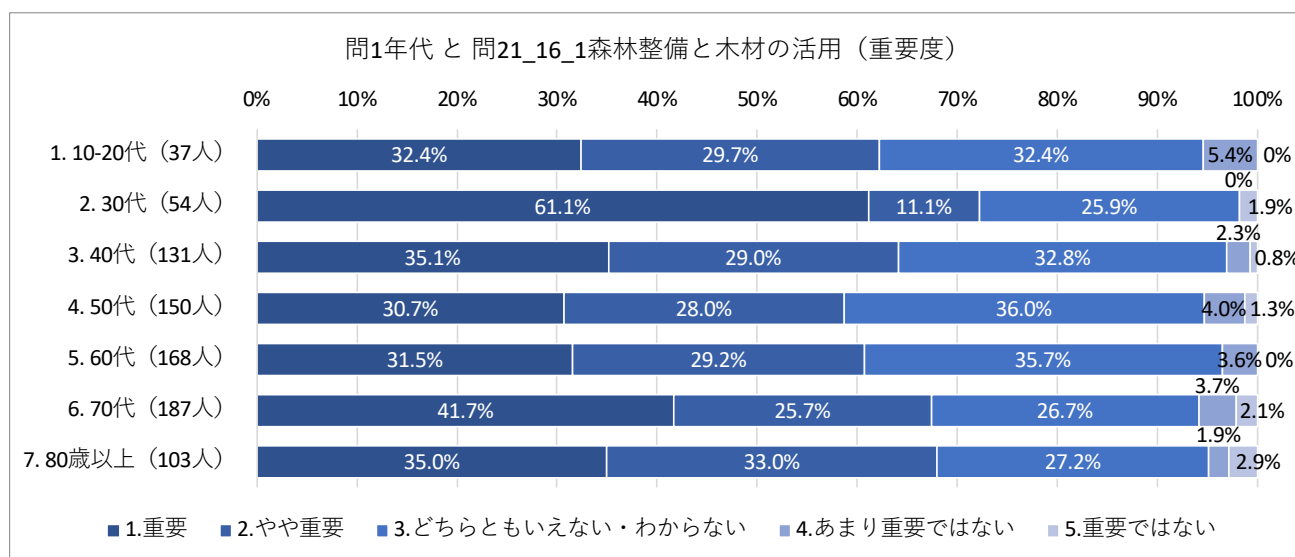
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 11.4%と、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 24.4%を 10 ポイント以上下回った。また、「3. どちらともいえない・わからない」が 57.1%と半数を超えている。

	人数	%
1. 満足	15	1.7%
2. やや満足	85	9.7%
3. どちらともいえない・わからない	499	57.1%
4. やや不満	145	16.6%
5. 不満	68	7.8%
無回答	62	7.1%
全体	874	100.0%

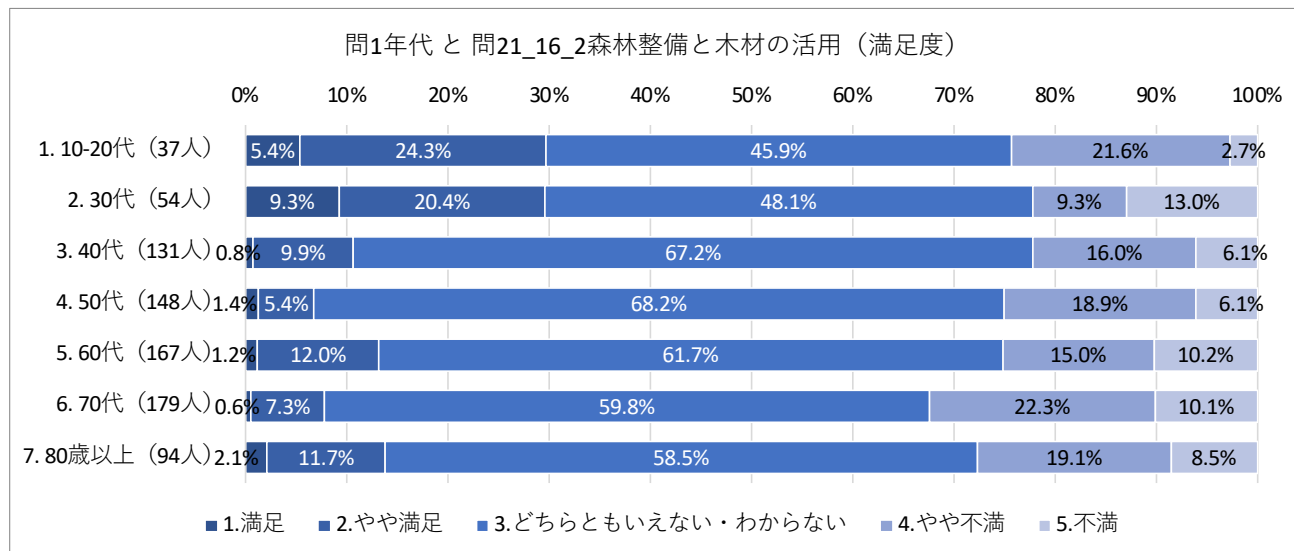


年代別集計

- ・ 重要度については、全体としては大きな差は見られないが、「1. 重要」とする回答は 30 代(61.1%)で非常に高い。

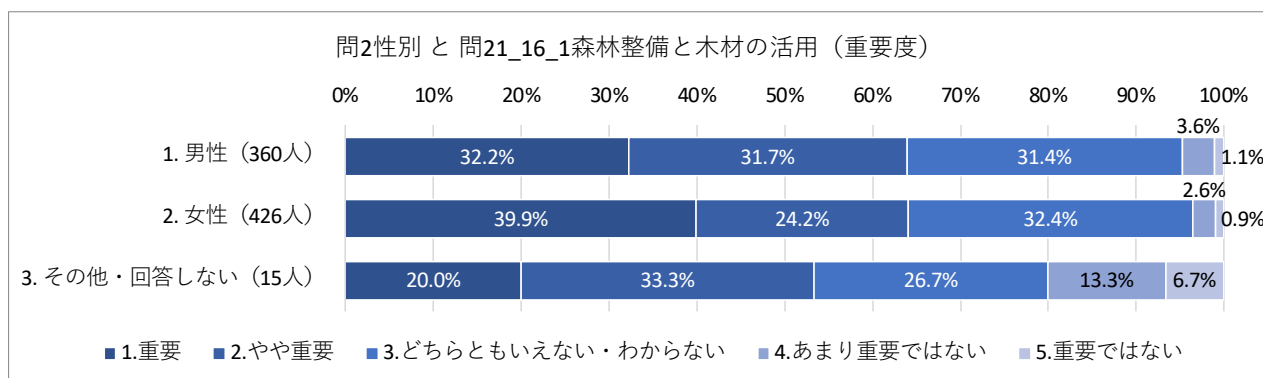


- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、10-20代(29.7%)と30代(29.6%)が他の年代に比べて高かった。「4. やや不満」「5. 不満」の合計が最も多いのは70代(32.4%)、次いで80歳以上(27.7%)であった。

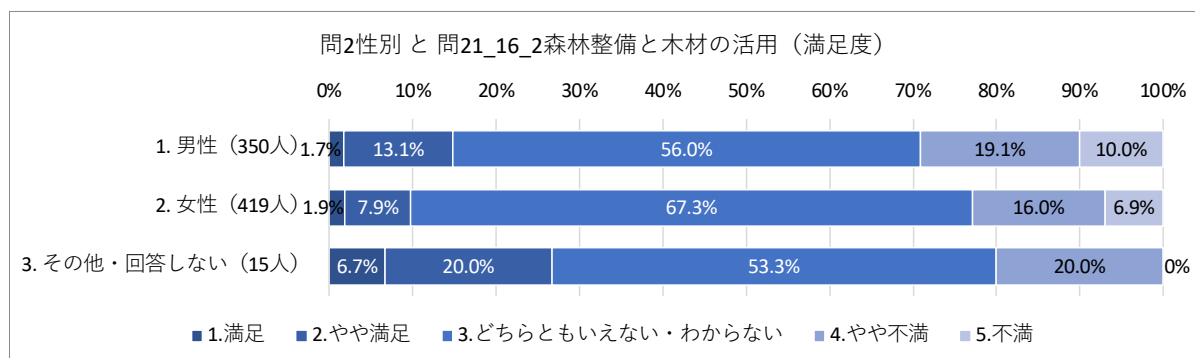


性別集計

- ・ 重要度については、全体として大きな差はないが、「1. 重要」との回答は、男性 32.2%、女性 39.9%となっており、女性のほうが高い。



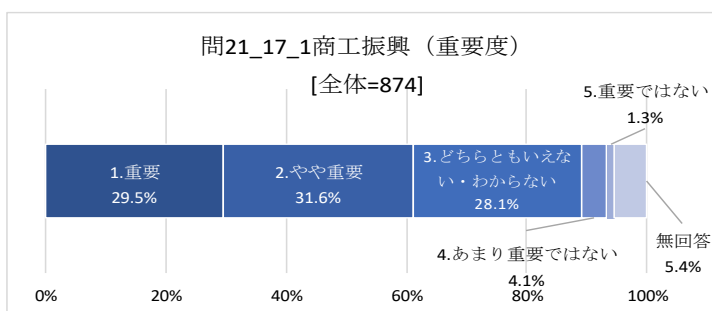
- ・ 満足度については、「3. どちらともいえない・わからない」との回答は、男性 56.0%、女性 67.3%と女性のほうが高い。
- ・ 「1. 満足」「2. やや満足」を合わせると男性 14.9%、女性 9.8%、「4. やや不満」「5. 不満」を合わせると男性 29.1%、女性 22.9%と、いずれも男性のほうが高い。



17.商工振興(創業支援・空き店舗活用等)

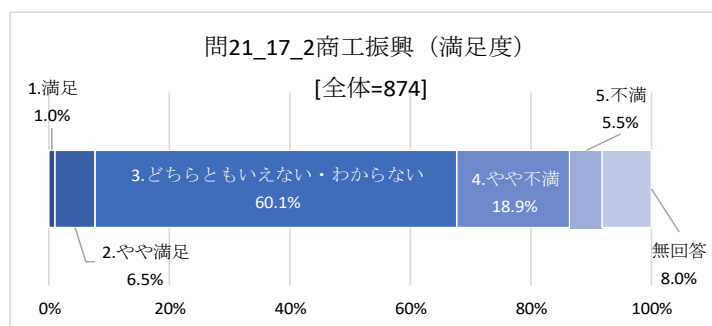
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 61.1%と全体の 6 割を占めた。一方、「3. どちらともいえない・わからない」も 28.1%と比較的高い。

	人数	%
1. 重要	258	29.5%
2. やや重要	276	31.6%
3. どちらともいえない・わからない	246	28.1%
4. あまり重要ではない	36	4.1%
5. 重要ではない	11	1.3%
無回答	47	5.4%
全体	874	100.0%



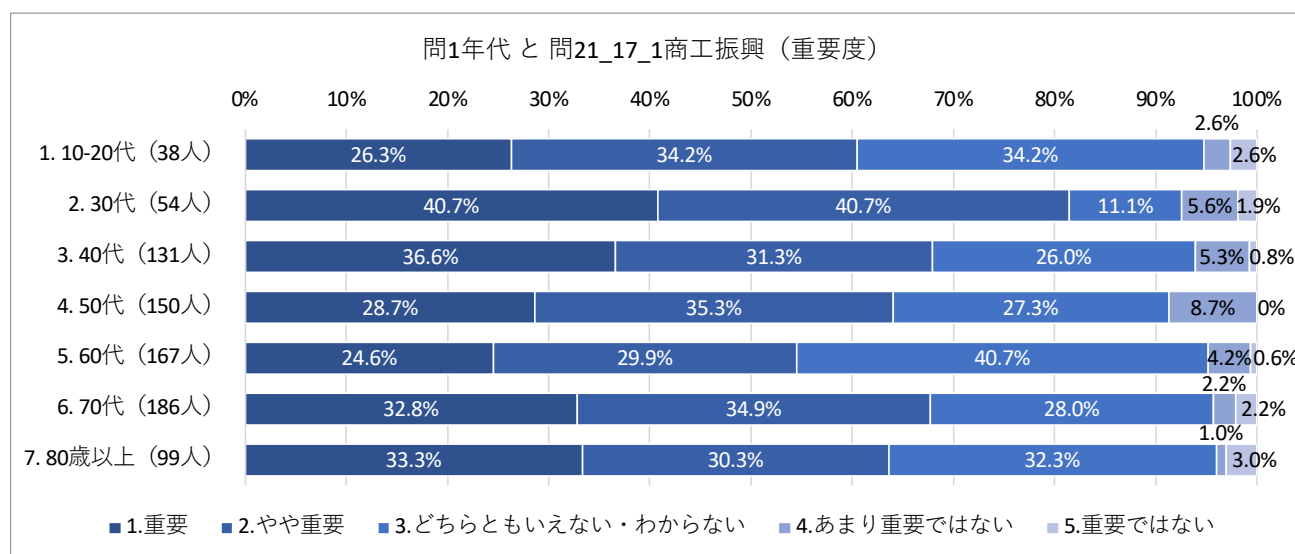
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 7.6%と低く、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 24.4%を大きく下回った。また、「3. どちらともいえない・わからない」が 60.1%と 6 割を占めていた。

	人数	%
1. 満足	9	1.0%
2. やや満足	57	6.5%
3. どちらともいえない・わからない	525	60.1%
4. やや不満	165	18.9%
5. 不満	48	5.5%
無回答	70	8.0%
全体	874	100.0%

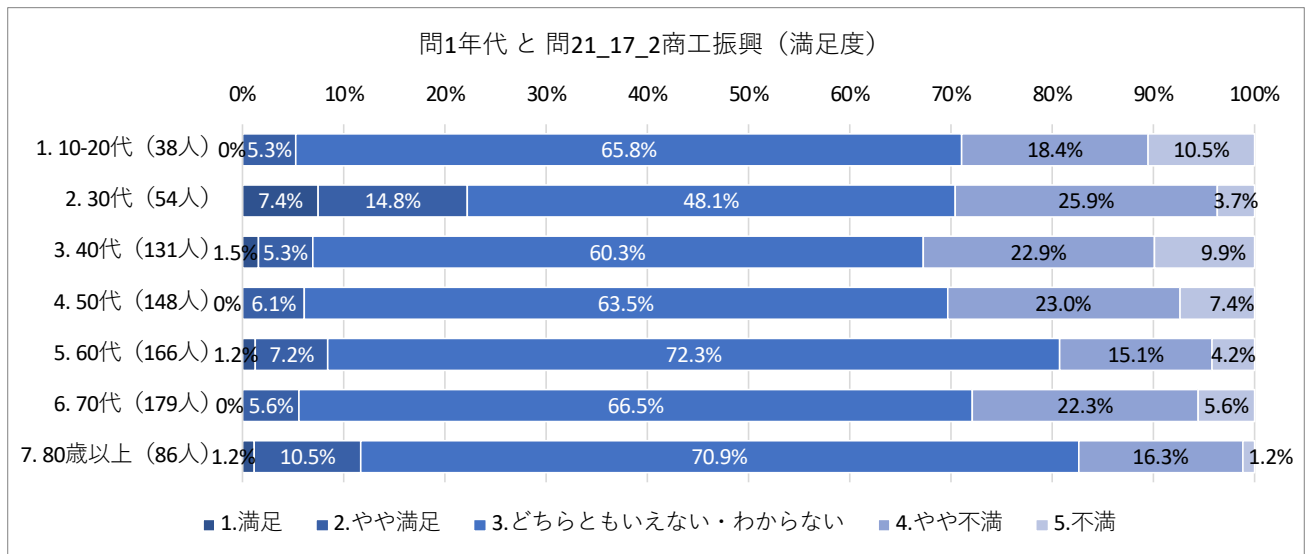


年代別集計

- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、30 代(81.5%)が最も高く、次いで 40 代(67.9%)、70 代(67.7%)の順となった。一方、60 代(54.5%)では「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合はやや低く、「3. どちらともいえない・わからない」の割合が 40%以上を占めていた。

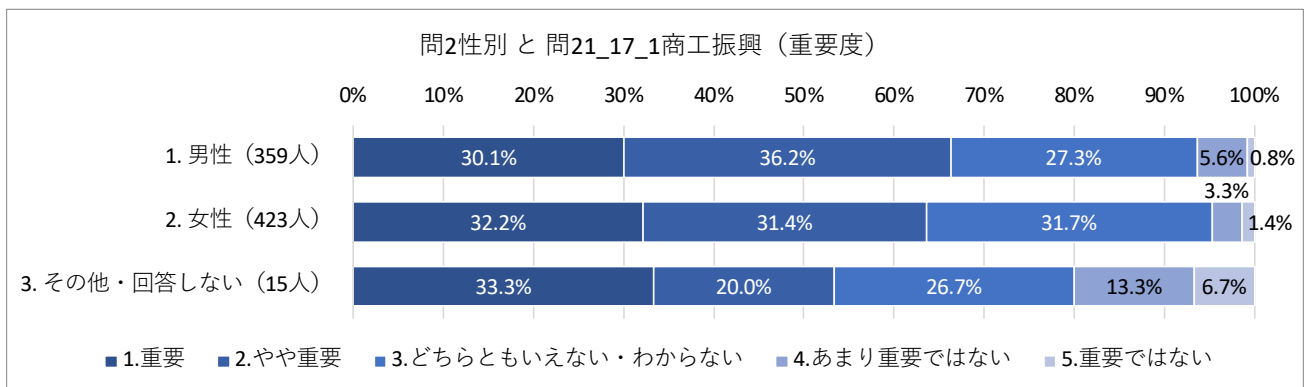


- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、30代(22.2%)が最も高く、次いで80歳以上(11.7%)、60代(8.4%)の順であった。

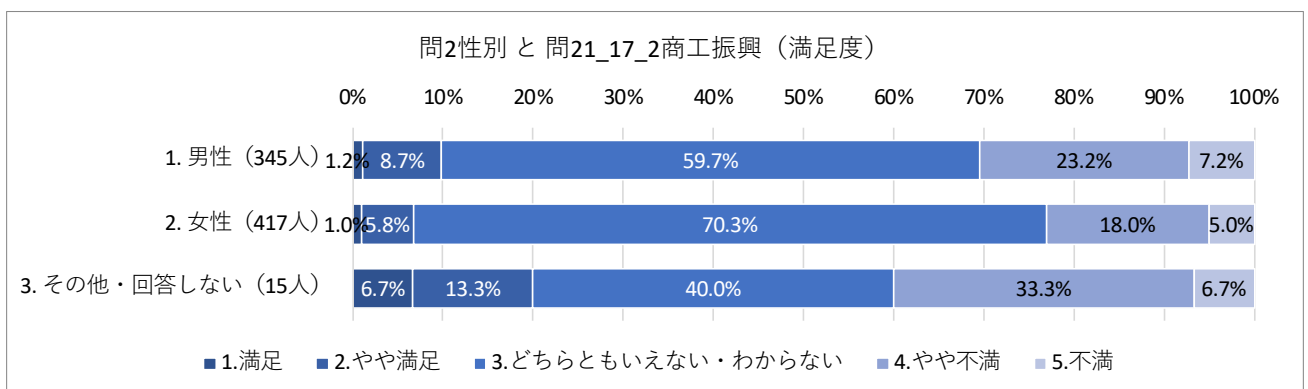


性別集計

- ・ 重要度については、男女で大きな差は見られない。



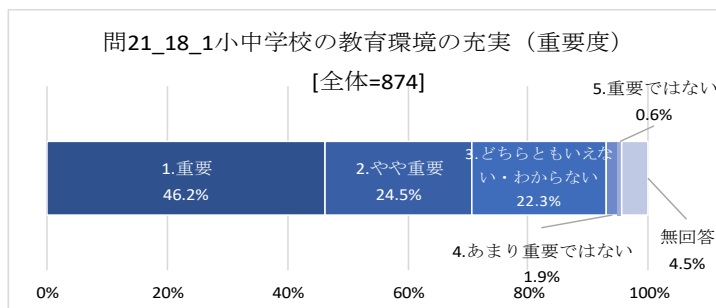
- ・ 満足度については、「3. どちらともいえない・わからない」は、男性 59.7%、女性 70.3%と女性のほうが高い。
- ・ 「4. やや不満」「5. 不満」を合わせると、男性 30.4%、女性 23.0%と、男性のほうが高い。



18.小中学校の教育環境の充実

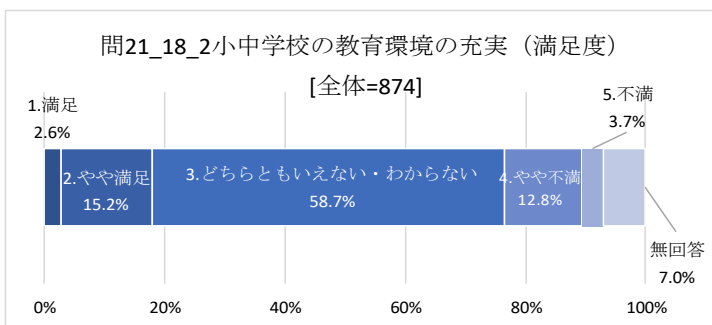
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 70.7%と全体の約 7 割を占めていた。一方、「3. どちらともいえない・わからない」も 22.3%と一定数いる。「4. あまり重要ではない」「5. 重要ではない」は 2.5%と少ない。

	人数	%
1. 重要	404	46.2%
2. やや重要	214	24.5%
3. どちらともいえない・わからない	195	22.3%
4. あまり重要ではない	17	1.9%
5. 重要ではない	5	0.6%
無回答	39	4.5%
全体	874	100.0%



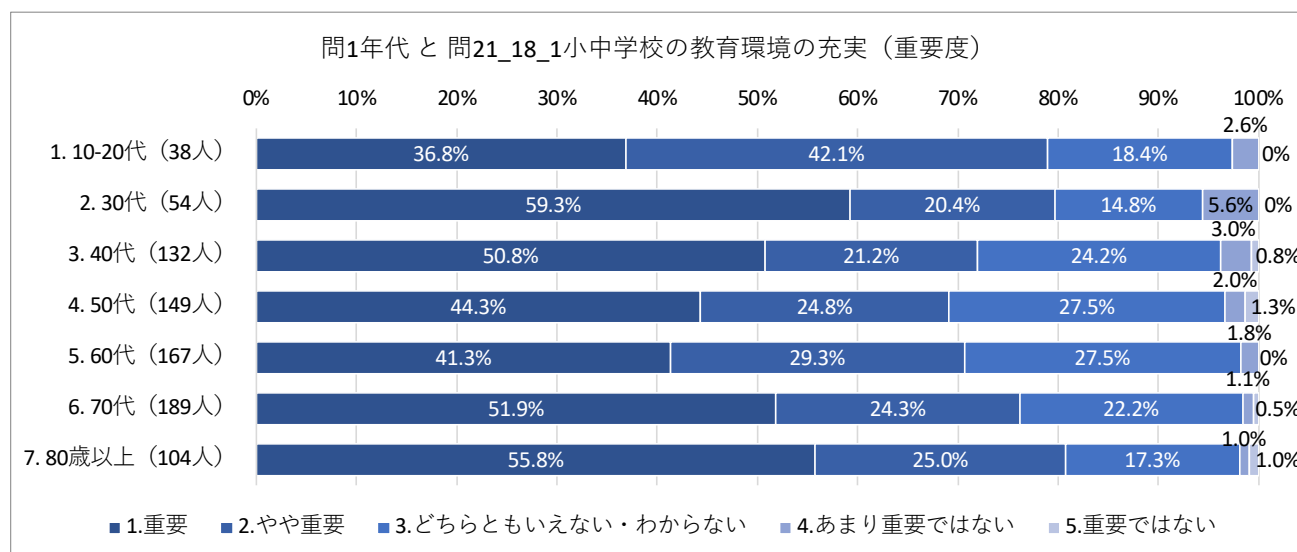
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 17.8%と、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 16.5%とほぼ同じ水準であった。「3. どちらともいえない・わからない」が 58.7%と半数を超えていた。

	人数	%
1. 満足	23	2.6%
2. やや満足	133	15.2%
3. どちらともいえない・わからない	513	58.7%
4. やや不満	112	12.8%
5. 不満	32	3.7%
無回答	61	7.0%
全体	874	100.0%

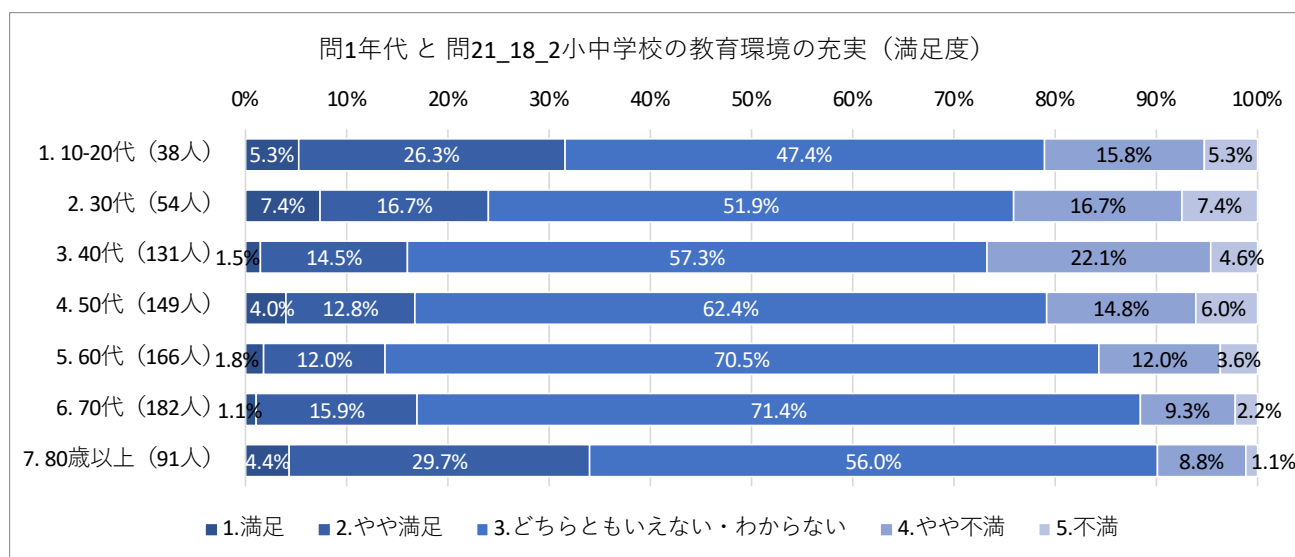


年代別集計

- ・ 重要度については、大きな差はないが、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、80 歳以上 (80.8%) が最も高く、次いで 30 代 (79.6%)、10-20 代 (78.9%) の順となった。一方、50 代 (69.1%) や 60 代 (70.7%) では「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が相対的に低い。

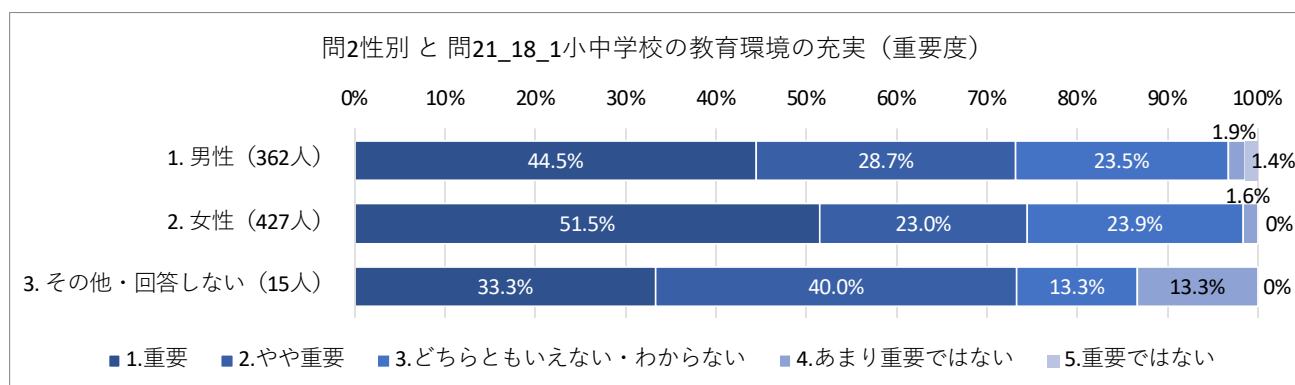


- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、80 歳以上(34.1%)が最も高く、次いで 10-20 代(31.6%)、30 代(24.1%)の順だった。

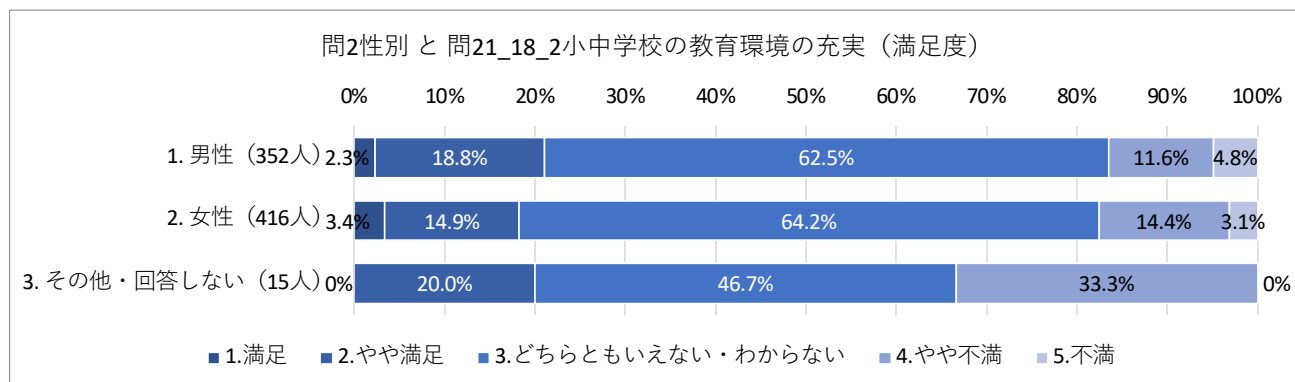


性別集計

- ・ 重要度については、「1. 重要」との回答は男性 44.5%、女性 51.5%と、女性のほうが高い。



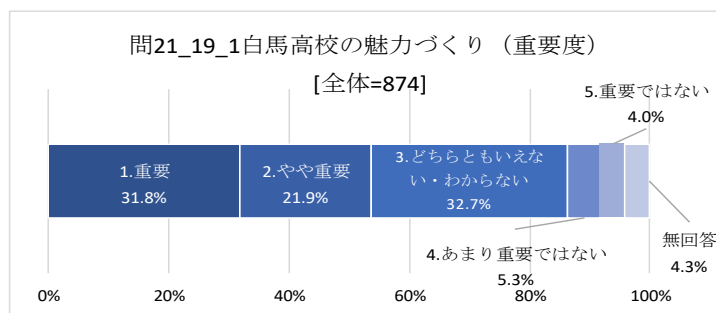
- ・ 満足度については、全体として、大きな男女差は見られない。



19.白馬高校の魅力づくり

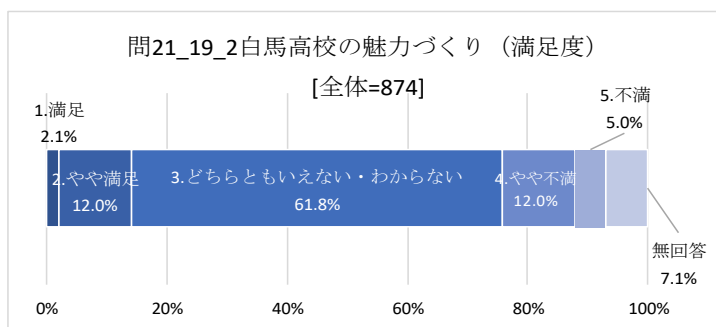
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 53.7%と全体の半数をやや上回った。一方、「3. どちらともいえない・わからない」も 32.7%と比較的高い。

	人数	%
1. 重要	278	31.8%
2. やや重要	191	21.9%
3. どちらともいえない・わからない	286	32.7%
4. あまり重要ではない	46	5.3%
5. 重要ではない	35	4.0%
無回答	38	4.3%
全体	874	100.0%



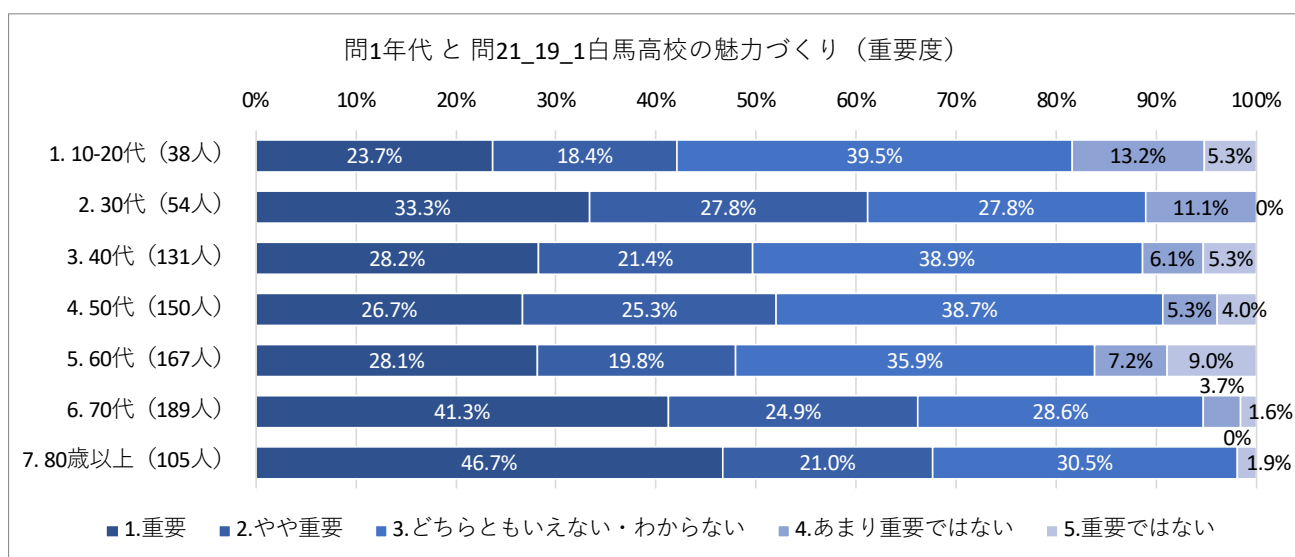
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 14.1%と、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 17.0%とほぼ同じ水準だったまた、「3. どちらともいえない・わからない」が 61.8%と過半数を占めている。

	人数	%
1. 満足	18	2.1%
2. やや満足	105	12.0%
3. どちらともいえない・わからない	540	61.8%
4. やや不満	105	12.0%
5. 不満	44	5.0%
無回答	62	7.1%
全体	874	100.0%

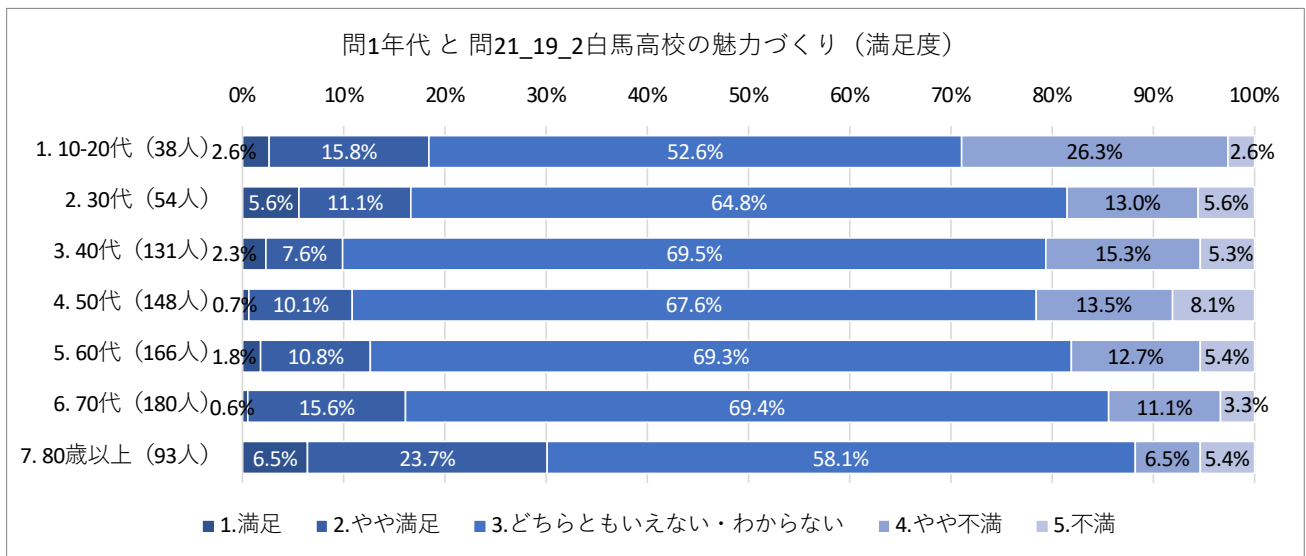


年代別集計

- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、80 歳以上(67.6%)が最も高く、次いで 70 代(66.1%)、30 代(61.1%)の順となった。その他は、10-20 代(42.1%)、40 代(49.6%)、50 代(52.0%)、60 代(47.9%)であった。

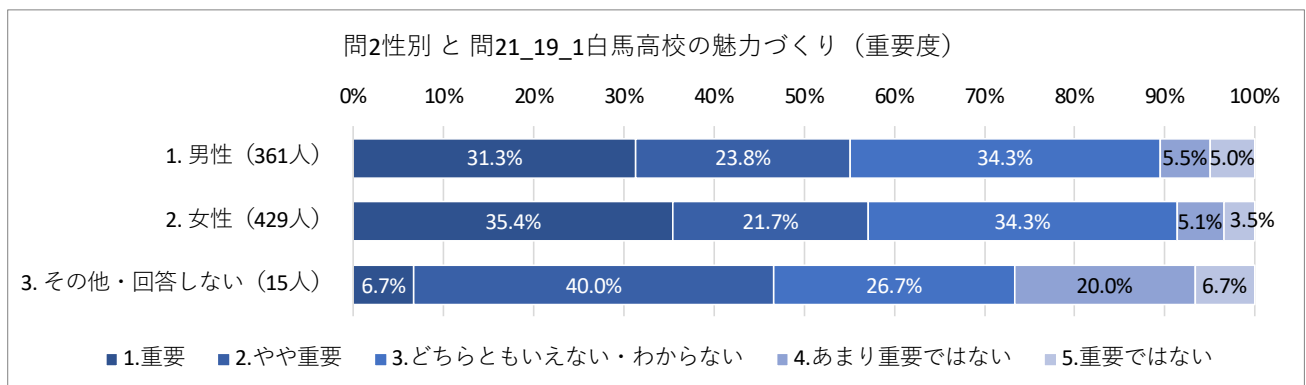


- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、80 歳以上(30.1%)が最も高く、次いで 10-20 代(18.4%)、70 代(16.1%)の順だった。最も少ないのは 40 代(9.9%)、次いで 50 代(10.8%)だった。

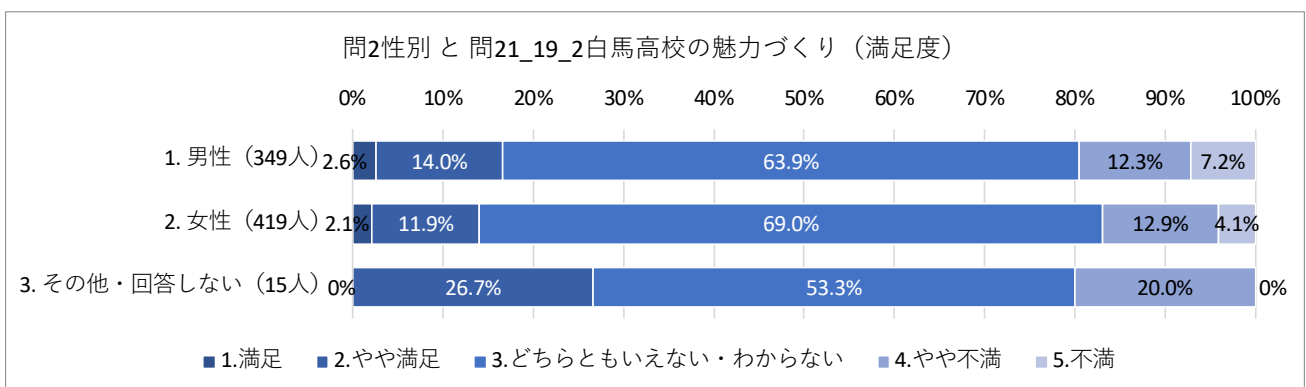


性別集計

- ・ 重要度については、大きな男女差は見られない。



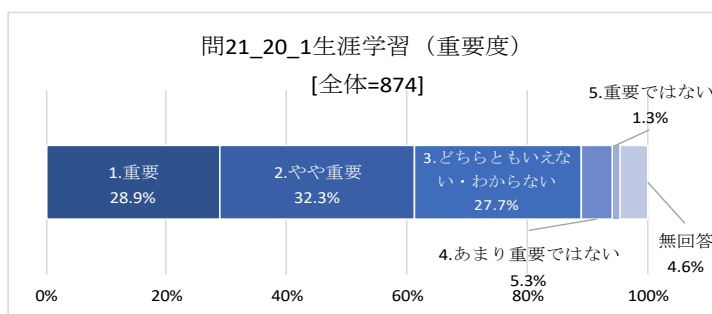
- ・ 満足度については、女性のほうが「3. どちらともいえない・わからない」を選ぶ割合が高いものの(男性 63.9%、女性 69.0%)、全体として大きな差は見られない。



20.生涯学習(公民館講座・図書館・芸術文化振興等)

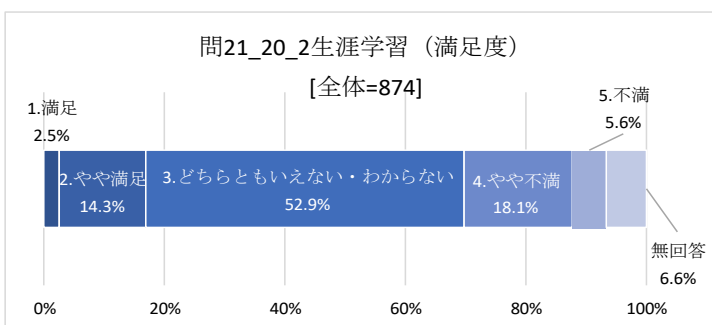
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 61.2%と全体の約 6 割を占めた。一方、「3. どちらともいえない・わからない」も 27.7%と比較的高い。

	人数	%
1. 重要	253	28.9%
2. やや重要	282	32.3%
3. どちらともいえない・わからない	242	27.7%
4. あまり重要ではない	46	5.3%
5. 重要ではない	11	1.3%
無回答	40	4.6%
全体	874	100.0%



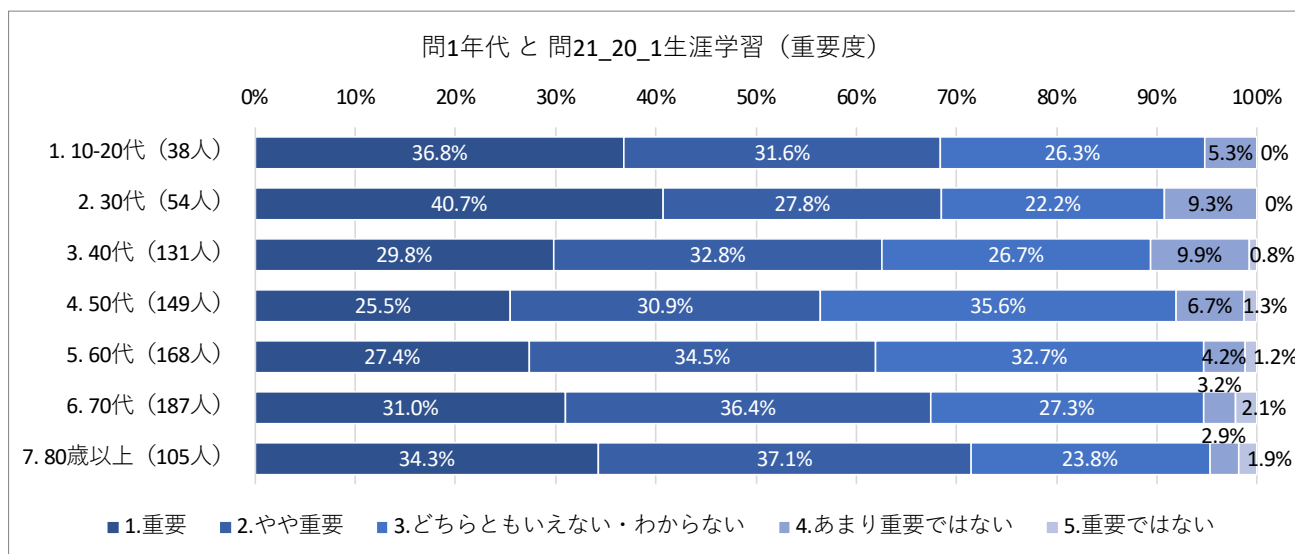
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 16.8%と、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 23.7%を下回った。また、「3. どちらともいえない・わからない」が 52.9%と半数を超えている。

	人数	%
1. 満足	22	2.5%
2. やや満足	125	14.3%
3. どちらともいえない・わからない	462	52.9%
4. やや不満	158	18.1%
5. 不満	49	5.6%
無回答	58	6.6%
全体	874	100.0%

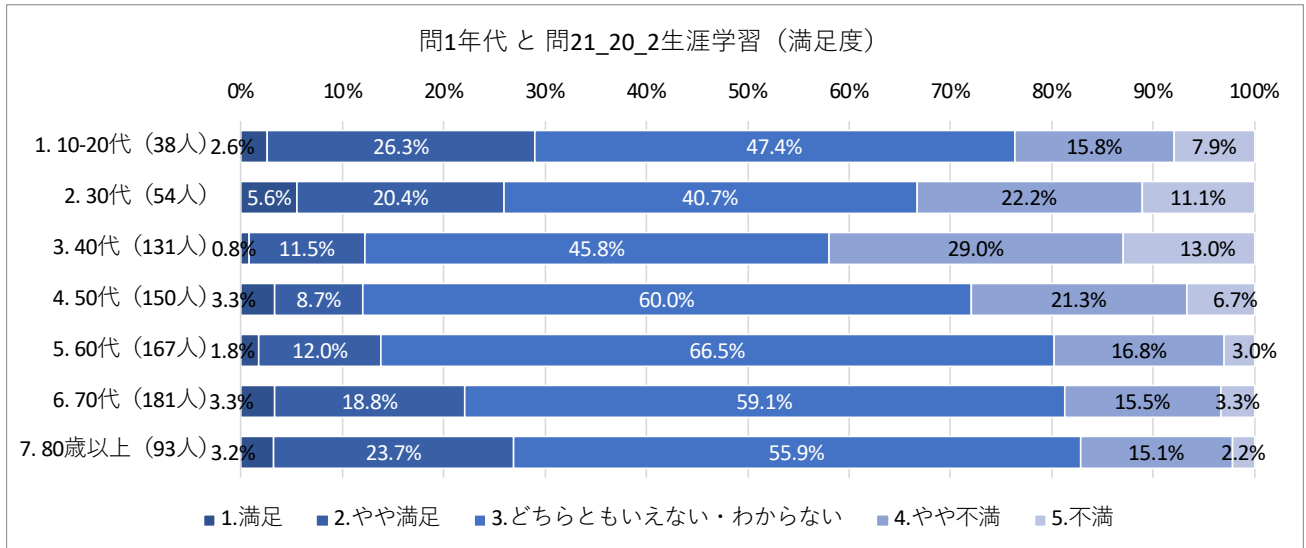


年代別集計

- ・ 重要度については、全体として大きな傾向の違いはないが、年齢が高い層と低い層に「1. 重要」「2. やや重要」を選ぶ割合が他の年代よりも高い（一番高い 80 歳以上で 71.4%）。「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が一番低いのは、50 代(56.4%)である。

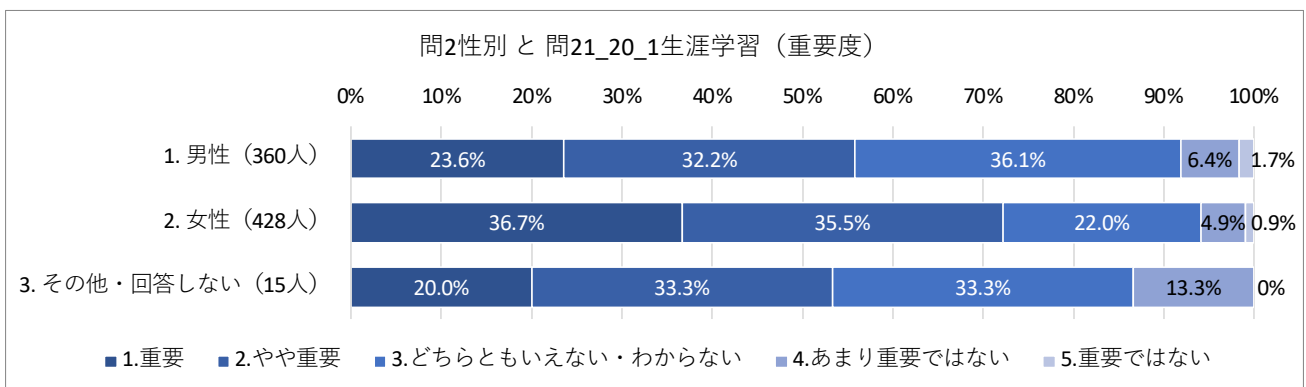


- ・ 満足度については、年齢が高い層と低い層に「1. 満足」「2. やや満足」を選ぶ傾向が見られる。「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、10-20代(28.9%)が最も高く、次いで80歳以上(26.9%)、30代(25.9%)の順だった。一方、40代(12.2%)や50代(12.0%)では低い。特に40代は「4. やや不満」「5. 不満」を選ぶ割合が42.0%と他の年代に比べて高い。

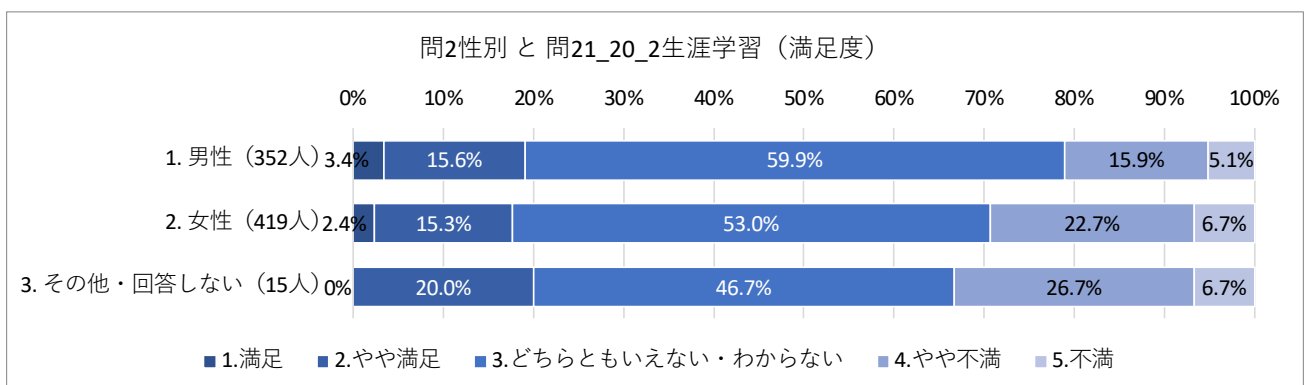


性別集計

- ・ 重要度については、女性は「1. 重要」「2. やや重要」の合計が72.2%と男性(55.8%)よりも高い。



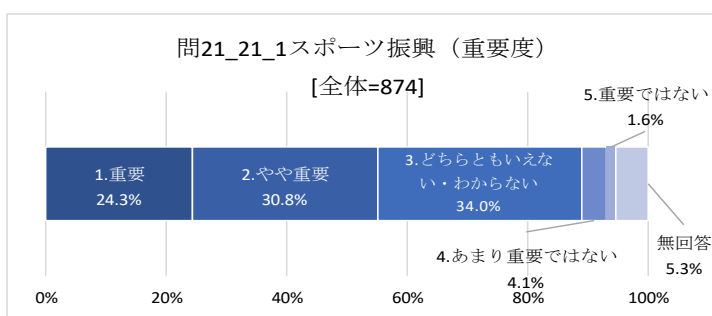
- ・ 満足度については、「4. やや不満」「5. 不満」は男性21.0%、女性29.4%と、女性のほうが高い。



21.スポーツ振興(活動支援・機会創出等)

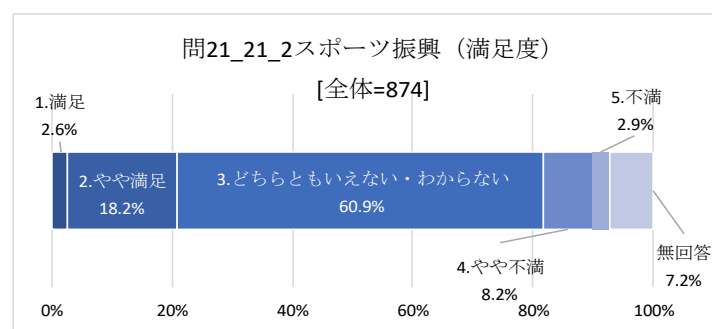
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 55.0%と全体の半数をやや上回った。一方、「3. どちらともいえない・わからない」が 34.0%と比較的高い。

	人数	%
1. 重要	212	24.3%
2. やや重要	269	30.8%
3. どちらともいえない・わからない	297	34.0%
4. あまり重要ではない	36	4.1%
5. 重要ではない	14	1.6%
無回答	46	5.3%
全体	874	100.0%



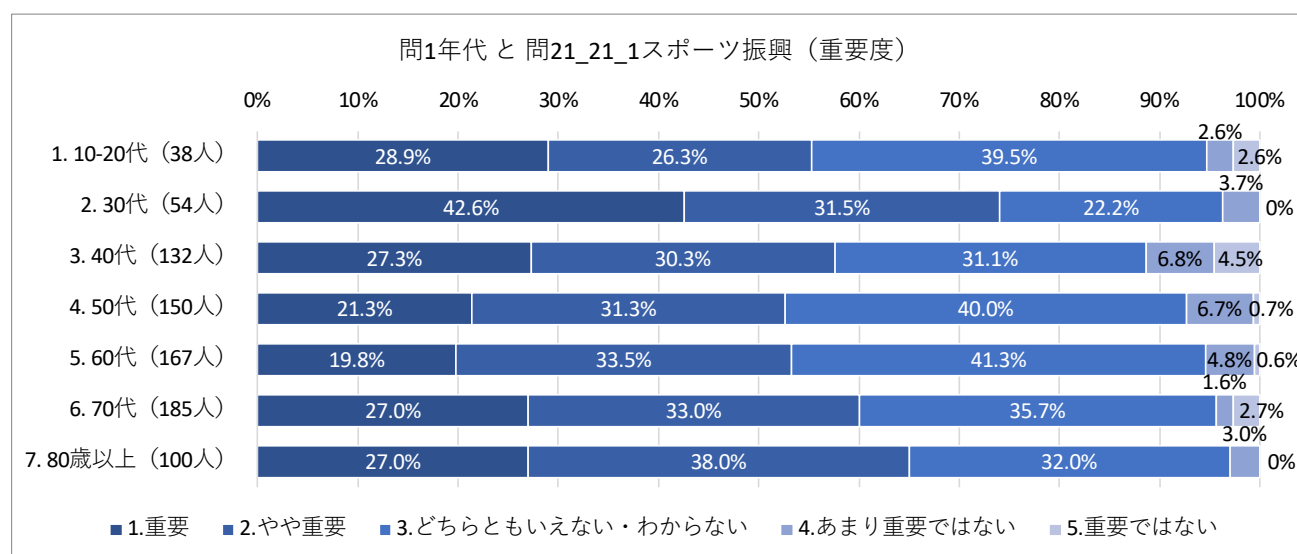
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は 20.8%である一方、「3. どちらともいえない・わからない」が 60.9%と半数を超えていた。「やや不満」「不満」の合計は 11.1%と比較的低かった。

	人数	%
1. 満足	23	2.6%
2. やや満足	159	18.2%
3. どちらともいえない・わからない	532	60.9%
4. やや不満	72	8.2%
5. 不満	25	2.9%
無回答	63	7.2%
全体	874	100.0%

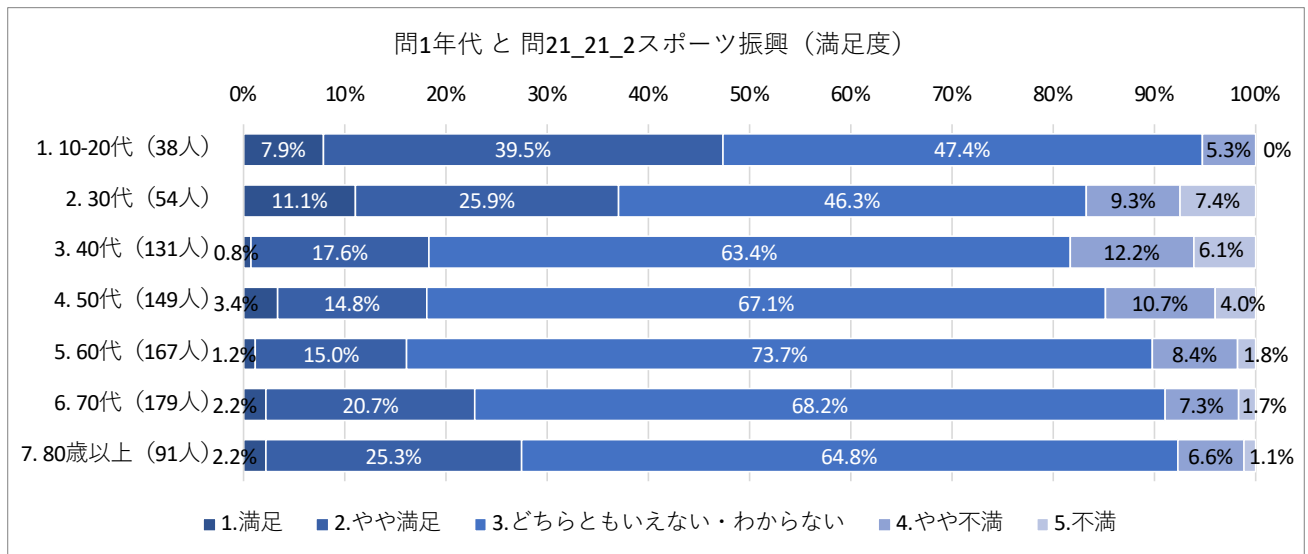


年代別集計

- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、30代(74.1%)が最も高く、次いで80歳以上(65.0%)、70代(60.0%)の順となった。

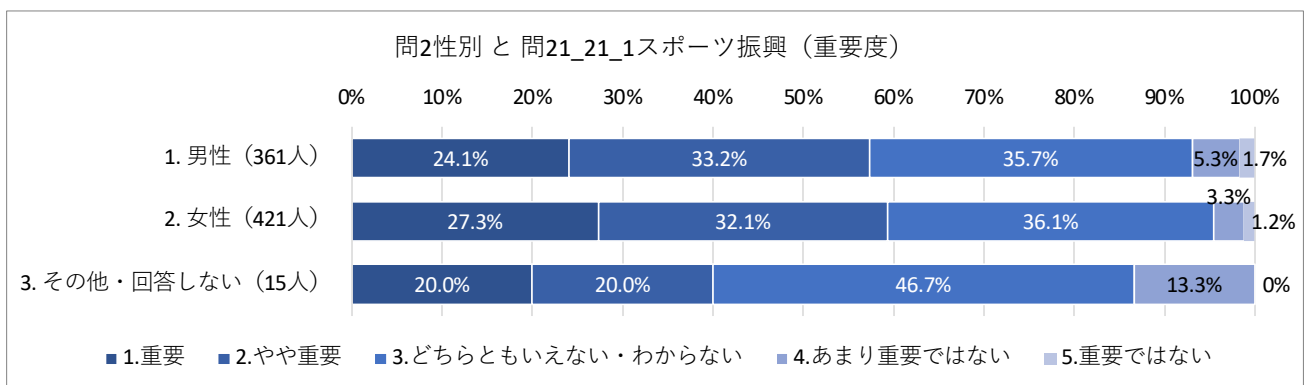


- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、10-20代(47.4%)が最も高く、次いで30代(37.0%)、80歳以上(27.5%)、70代(22.9%)の順だった。

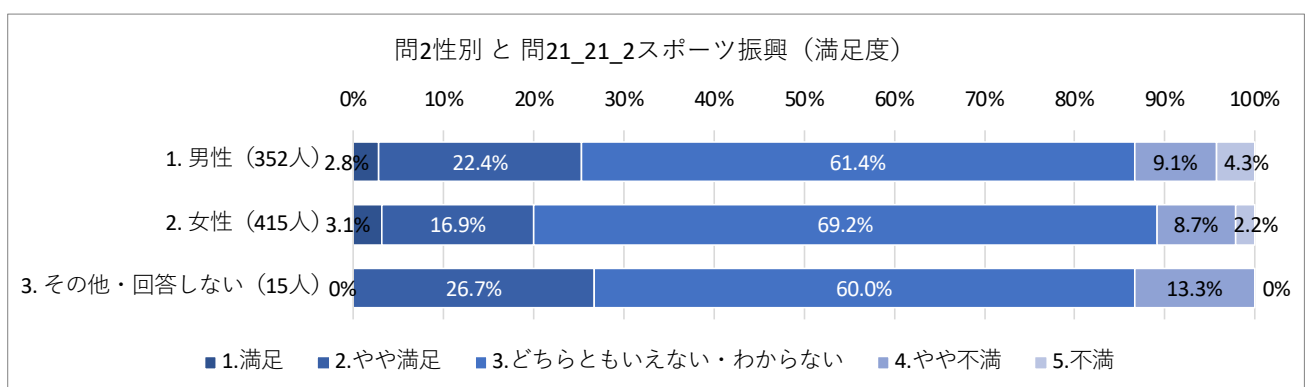


性別集計

- ・ 重要度については、全体として大きな男女差は見られなかった



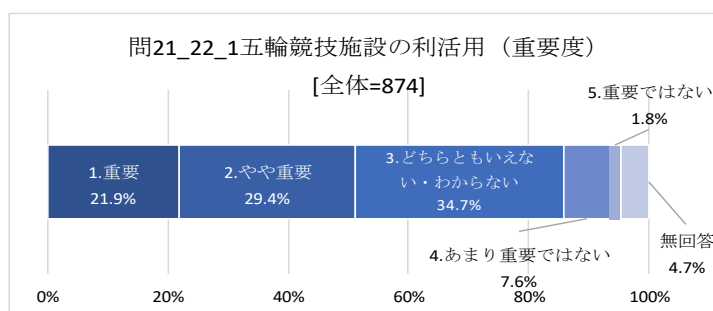
- ・ 満足度については、「3. どちらともいえない・わからない」との回答は、男性 61.4%、女性 69.2%と、女性のほうが高かった。



22.五輪競技施設の利活用

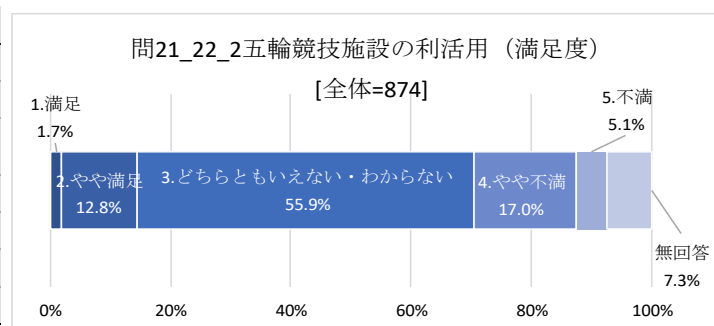
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 51.3%と全体の半数程度を占めた。一方、「3. どちらともいえない・わからない」も 34.7%と比較的高かった。

	人数	%
1. 重要	191	21.9%
2. やや重要	257	29.4%
3. どちらともいえない・わからない	303	34.7%
4. あまり重要ではない	66	7.6%
5. 重要ではない	16	1.8%
無回答	41	4.7%
全体	874	100.0%



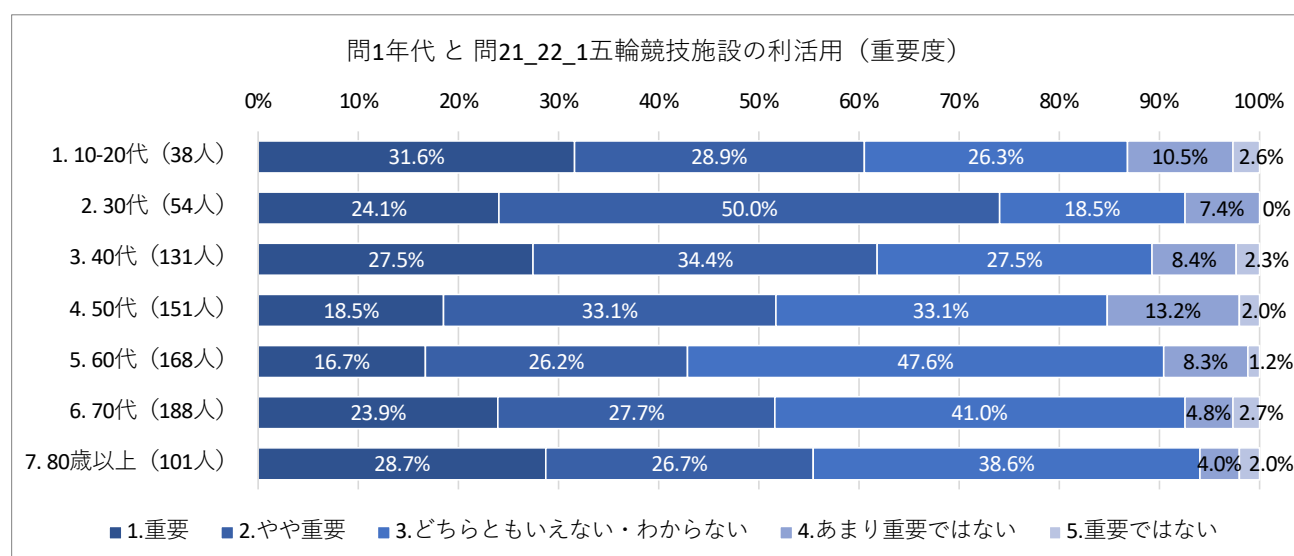
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 14.5%と、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 22.2%を下回った。また、「どちらともいえない・わからない」が 55.9%と半数を超えている。

	人数	%
1. 満足	15	1.7%
2. やや満足	112	12.8%
3. どちらともいえない・わからない	489	55.9%
4. やや不満	149	17.0%
5. 不満	45	5.1%
無回答	64	7.3%
全体	874	100.0%

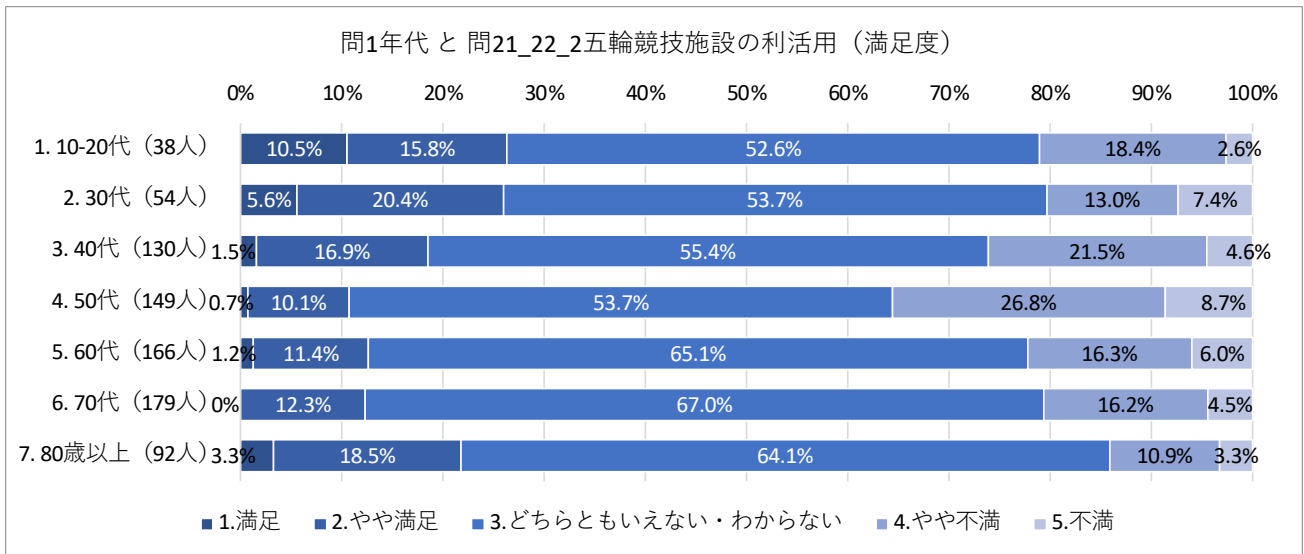


年代別集計

- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、30代(74.1%)が最も高く、次いで40代(61.8%)、10-20代(60.5%)と若い層に多く見られた。

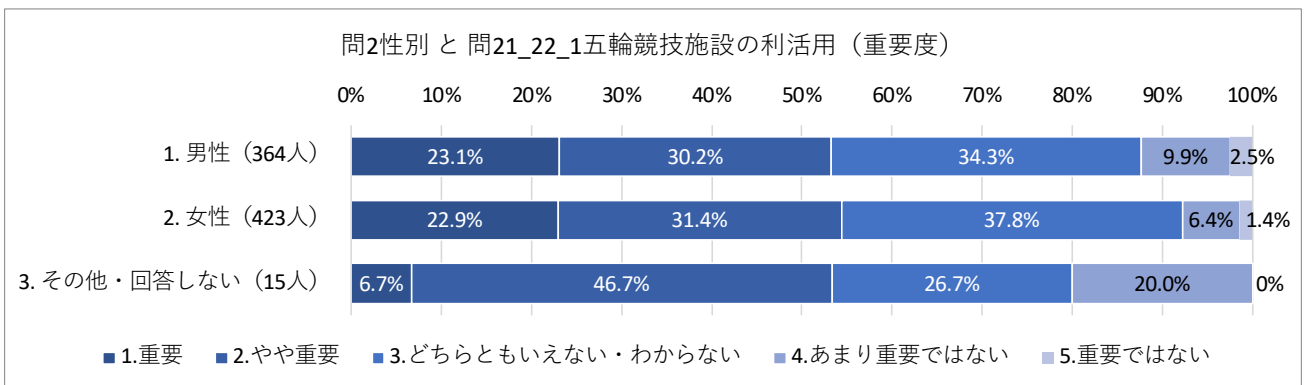


- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、10-20代(26.3%)が最も高く、次いで30代(25.9%)、80歳以上(21.7%)の順だった。また60代以上は、「3. どちらともいえない・わからない」の割合が60%以上を占めていた。

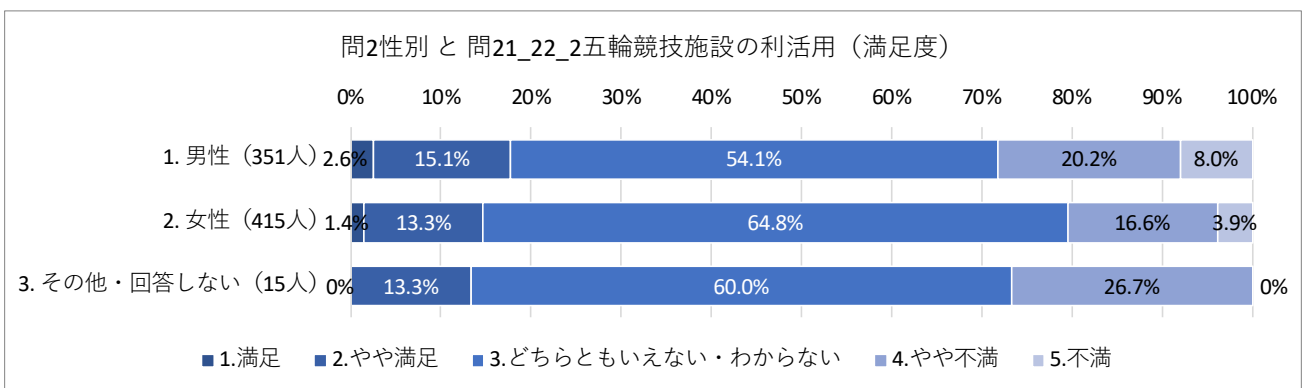


性別集計

- ・ 重要度については、全体として大きな男女差はない。



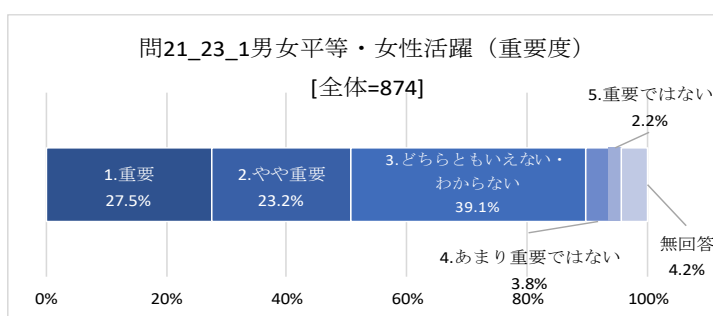
- ・ 満足度については、「3. どちらともいえない・わからない」との回答は、男性 54.1%、女性 64.8%と女性のほうが10ポイントほど高い。「4. やや不満」「5. 不満」の合計は男性 28.2%、女性 20.5%となり、男性のほうが高い。



23.男女平等・女性活躍

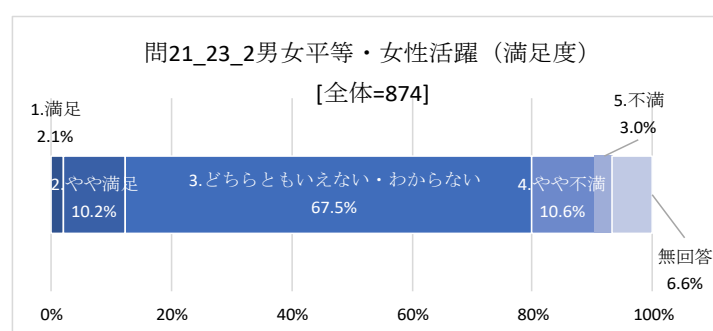
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 50.7%と全体の半数程度だった一方、「3. どちらともいえない・わからない」との回答も 39.1%あった。

	人数	%
1. 重要	240	27.5%
2. やや重要	203	23.2%
3. どちらともいえない・わからない	342	39.1%
4. あまり重要ではない	33	3.8%
5. 重要ではない	19	2.2%
無回答	37	4.2%
全体	874	100.0%



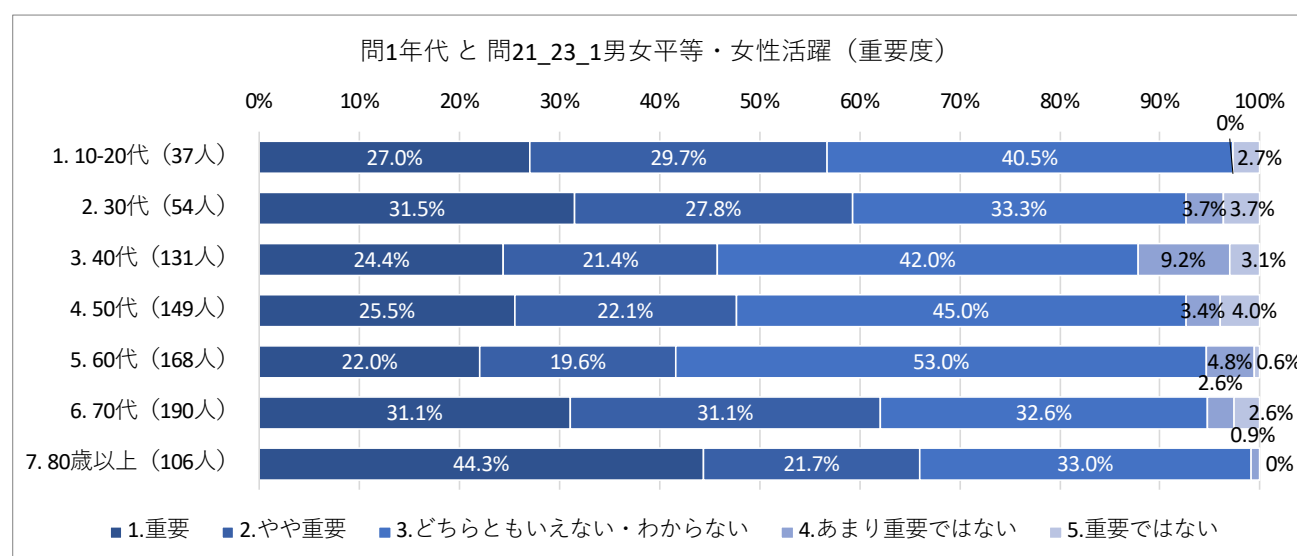
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 12.3%と、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 13.6%とほぼ同じ水準であった。「3. どちらともいえない・わからない」が 67.5%と半数を大きく上回っている。

	人数	%
1. 満足	18	2.1%
2. やや満足	89	10.2%
3. どちらともいえない・わからない	590	67.5%
4. やや不満	93	10.6%
5. 不満	26	3.0%
無回答	58	6.6%
全体	874	100.0%

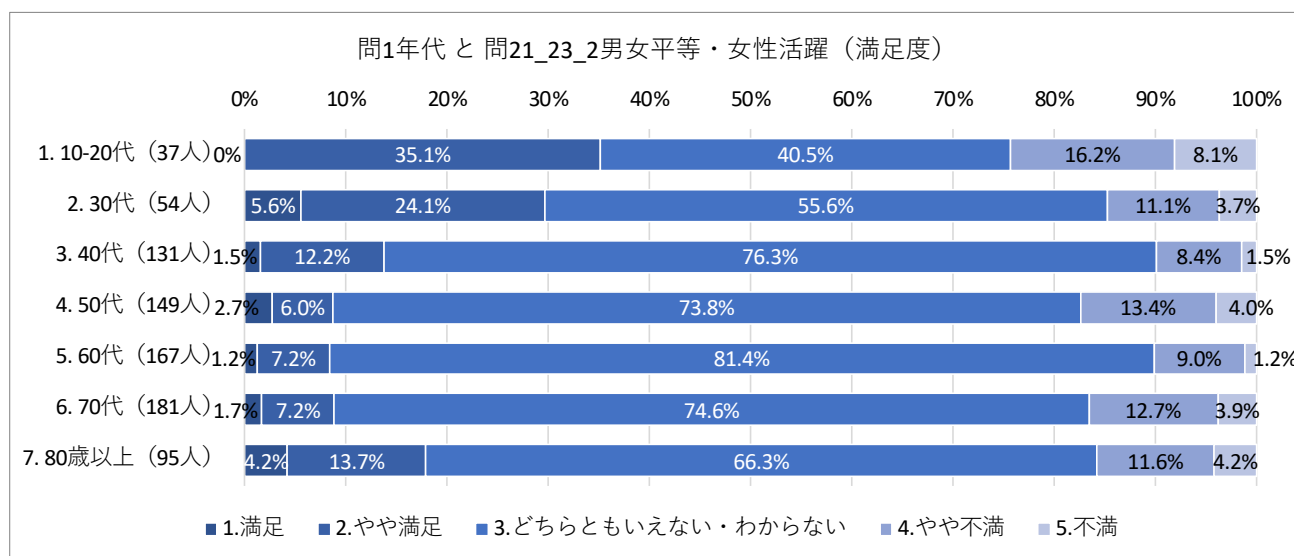


年代別集計

- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、80 歳以上(66.0%)が最も高く、次いで 70 代(62.1%)、30 代(59.3%)の順となった。一方、40 代(45.8%)や 60 代(41.7%)では低かった。

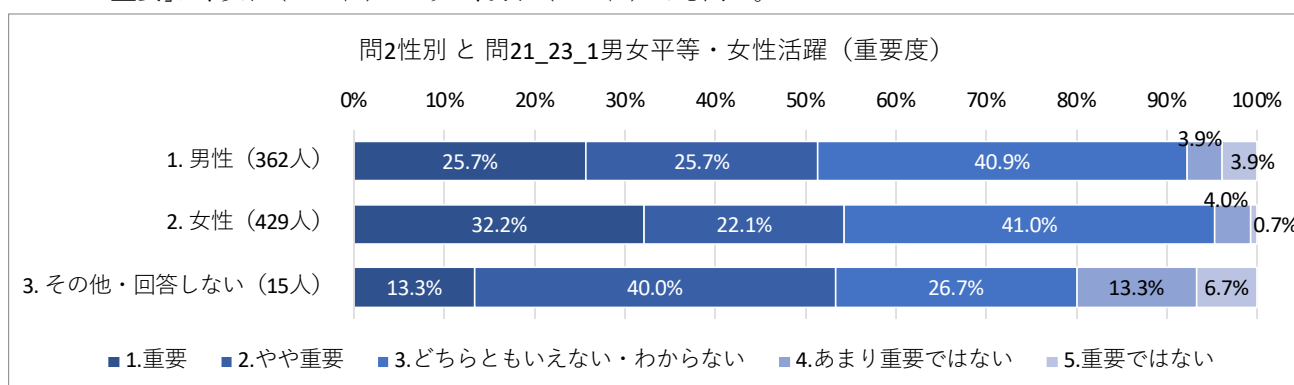


- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、10-20代(35.1%)が最も高く、次いで30代(29.6%)、80歳以上(17.9%)の順だった。一方、60代(8.4%)、70代(8.8%)、50代(8.7%)では「1. 満足」「2. やや満足」と回答した割合は低かった。

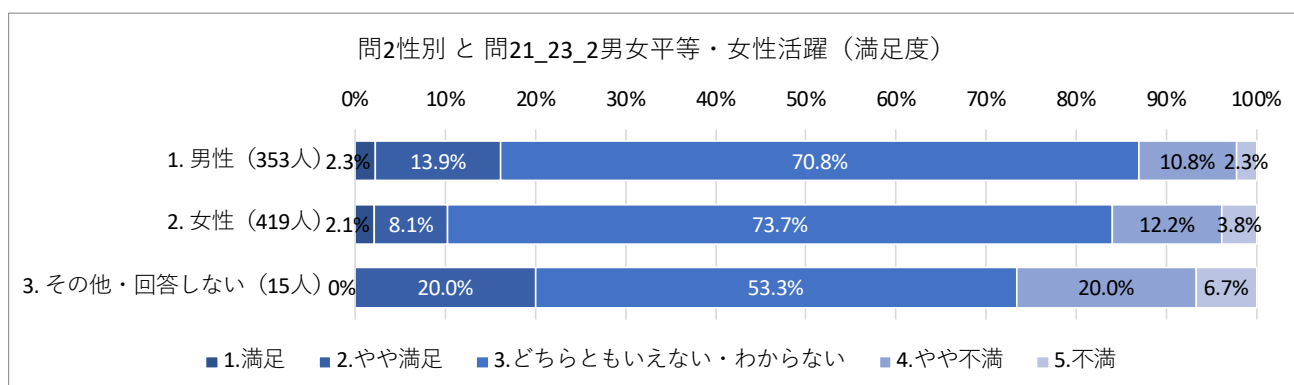


性別集計

- ・ 「1. 重要」は、女性(32.2%)のほうが、男性(25.7%)よりも高い。



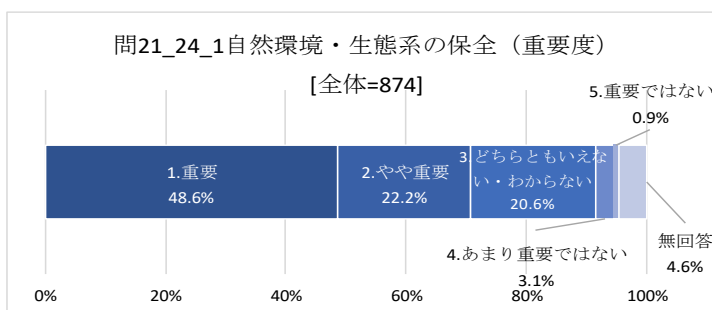
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、男性は16.1%、女性は10.3%と女性のほうが高いものの、いずれも1割台であった。



24. 自然環境・生態系の保全(温暖化対策・再生可能エネルギー促進等)

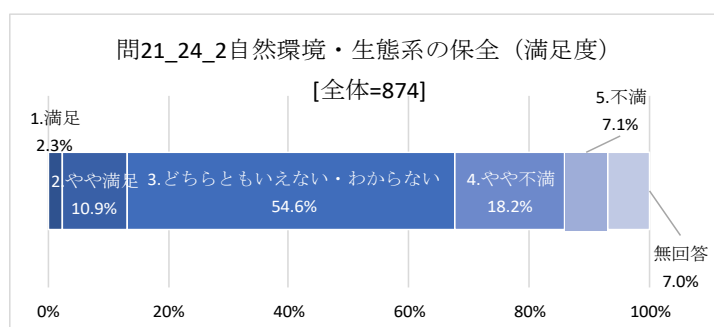
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 70.8%と全体の約 7 割を占める。一方、「3. どちらともいえない・わからない」が 20.6%と一定数存在する。「4. あまり重要ではない」「5. 重要ではない」とした割合は 4.0%にとどまった。

	人数	%
1. 重要	425	48.6%
2. やや重要	194	22.2%
3. どちらともいえない・わからない	180	20.6%
4. あまり重要ではない	27	3.1%
5. 重要ではない	8	0.9%
無回答	40	4.6%
全体	874	100.0%



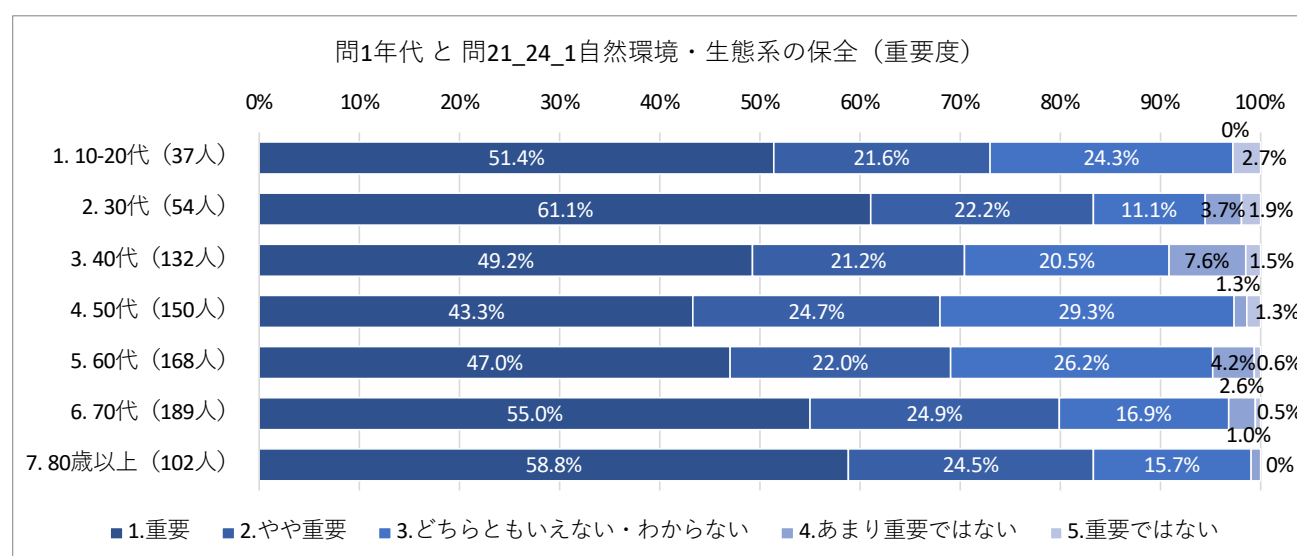
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 13.2%と、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 25.3%を大きく下回った。また、「3. どちらともいえない・わからない」が 54.6%と半数を超えている。

	人数	%
1. 満足	20	2.3%
2. やや満足	95	10.9%
3. どちらともいえない・わからない	477	54.6%
4. やや不満	159	18.2%
5. 不満	62	7.1%
無回答	61	7.0%
全体	874	100.0%

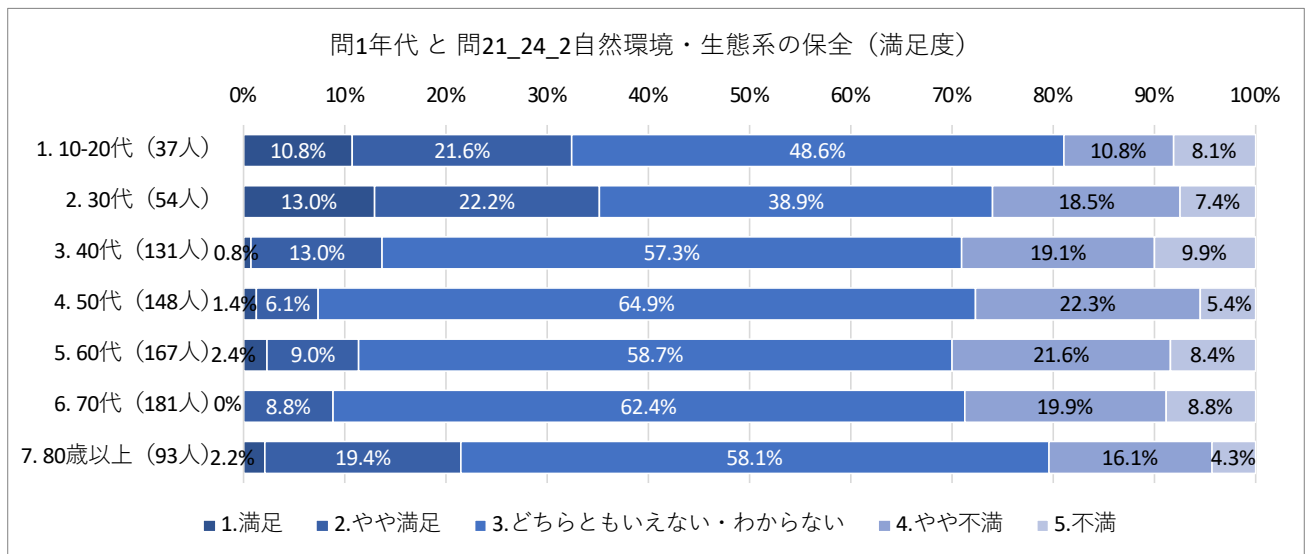


年代別集計

- ・ 重要度については、30 代(83.3%)、70 代(79.9%)、80 歳以上(83.3%)で、「1. 重要」「2. やや重要」との回答が多い。

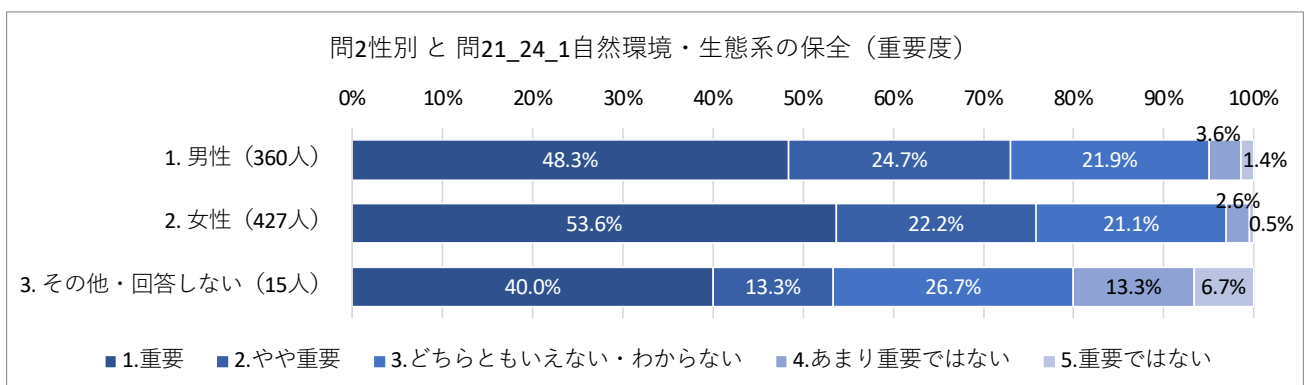


- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は 30 代(35.2%)が最も高く、次いで、10-20 代(32.4%)80 歳以上(21.5%)の順だった。50 代(7.4%)や 70 代(8.8%)では 1 割に満たなかった。

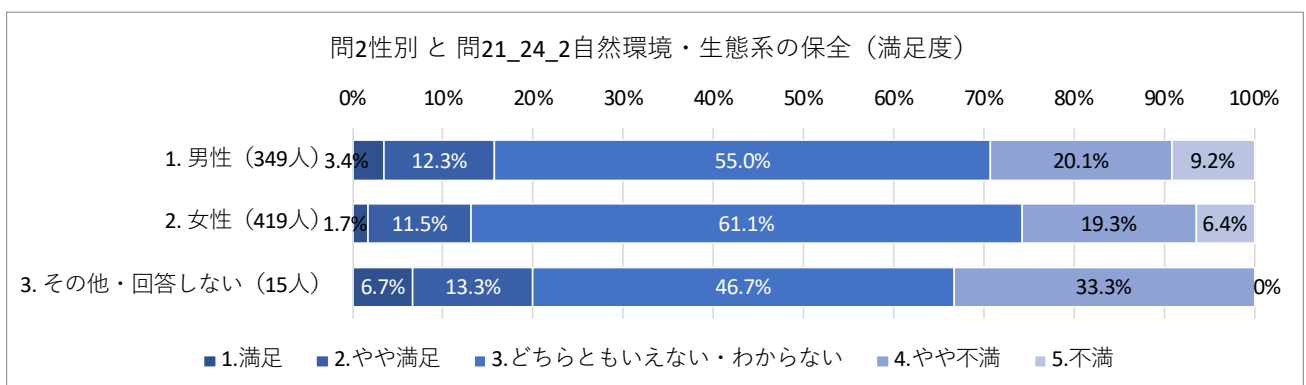


性別集計

- ・ 重要度については、全体として大きな差はないが、「1.重要」との回答は女性 53.6%、男性 48.3%と女性の方がやや高かった。



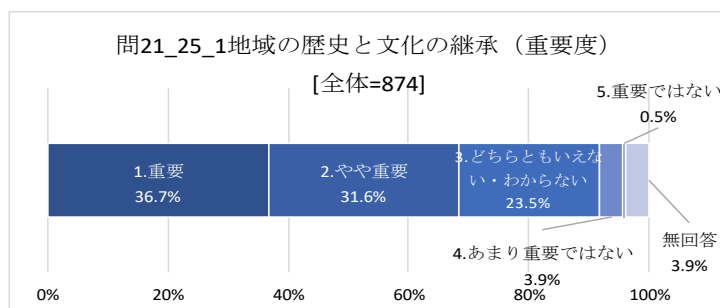
- ・ 満足度については、全体として大きな差はないが、「3.どちらともいえない・わからない」との回答は、男性 55.0%、女性 61.1%と女性の方がやや高かった。



25.地域の歴史と文化の継承(登山・スキー・民宿・文化財等)

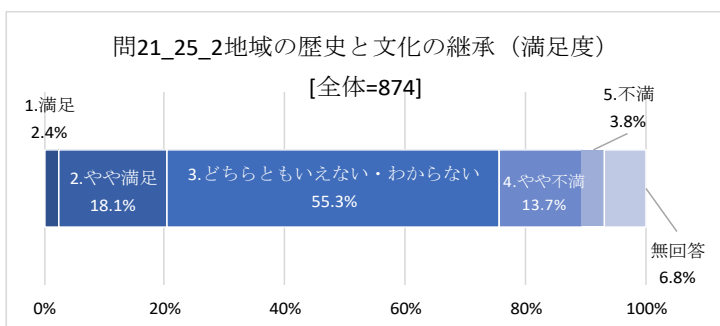
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 68.3%と全体の約 7 割を占めていた。一方、「3. どちらともいえない・わからない」が 23.5%と一定数いる。「4. あまり重要ではない」「5. 重要ではない」とした割合は 4.3%にとどまった。

	人数	%
1. 重要	321	36.7%
2. やや重要	276	31.6%
3. どちらともいえない・わからない	205	23.5%
4. あまり重要ではない	34	3.9%
5. 重要ではない	4	0.5%
無回答	34	3.9%
全体	874	100.0%



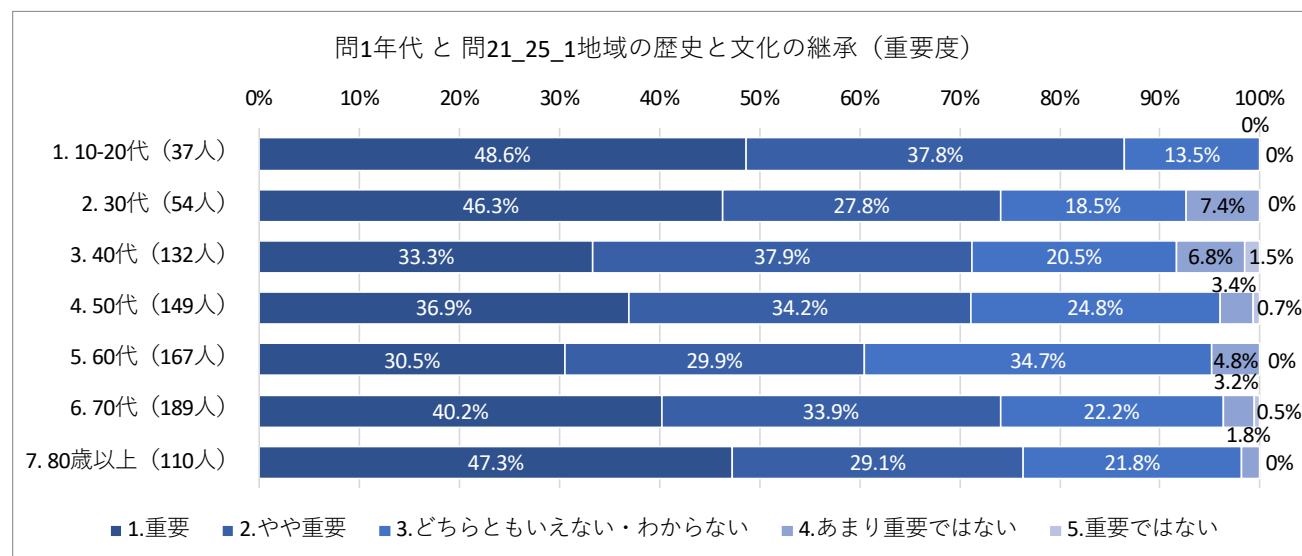
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 20.5%と、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 17.5%とほぼ同じ水準であった。また、「3. どちらともいえない・わからない」が 55.3%と半数を超えていた。

	人数	%
1. 満足	21	2.4%
2. やや満足	158	18.1%
3. どちらともいえない・わからない	483	55.3%
4. やや不満	120	13.7%
5. 不満	33	3.8%
無回答	59	6.8%
全体	874	100.0%

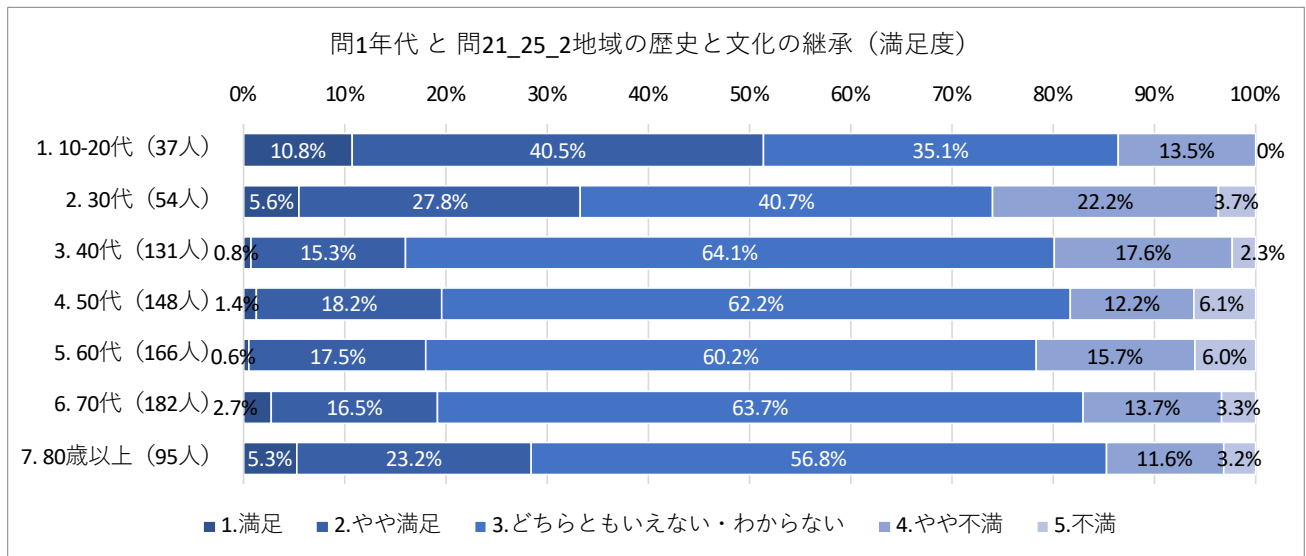


年代別集計

- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、10-20 代(86.5%)が最も高く、次いで 80 歳以上(76.4%)、70 代と 30 代(いずれも 74.1%)の順となった。

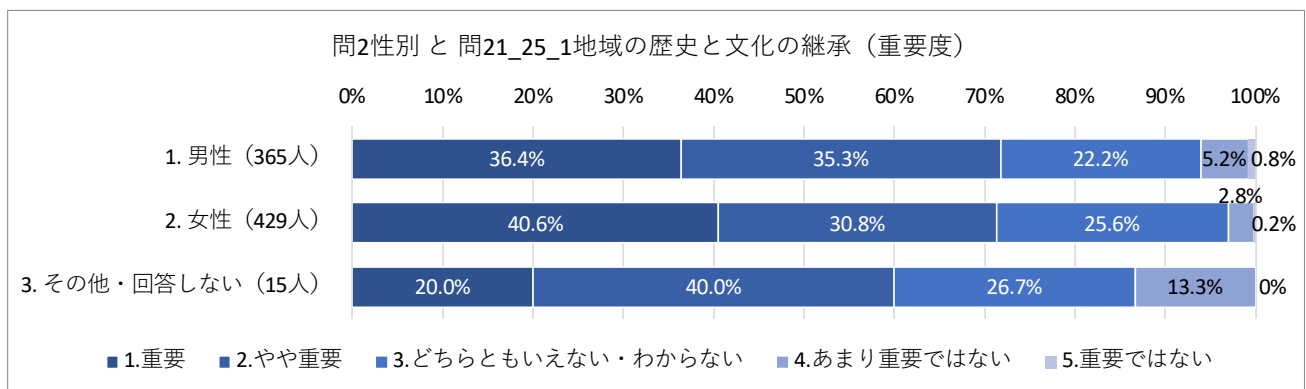


- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、10-20代(51.4%)が最も高く、次いで30代(33.3%)、80歳以上(28.4%)の順だった。

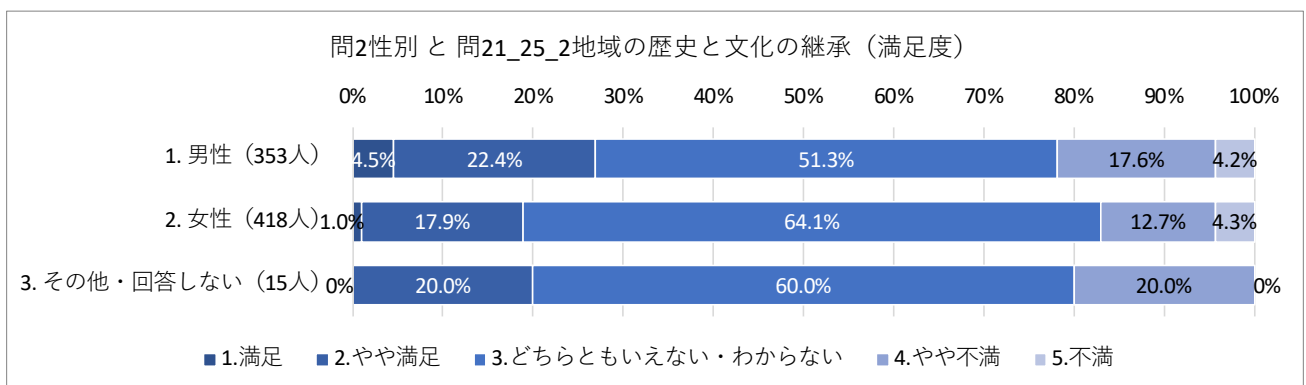


性別集計

- ・ 重要度については、全体として、大きな男女差は見られない。



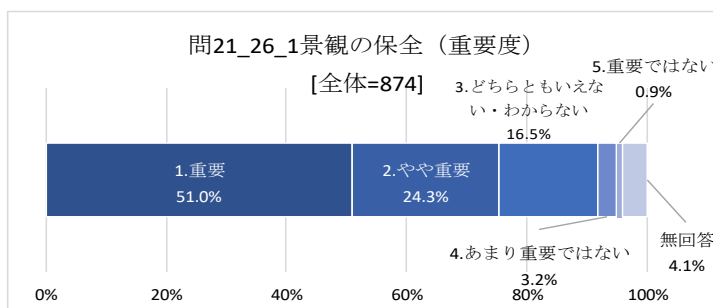
- ・ 満足度については、「3. どちらともいえない・わからない」との回答は、男性 51.3%、女性 64.1%と女性で高かった。「1. 満足」「2. やや満足」は男性 26.9%、女性 18.9%と男性のほうが高い。



26.景観の保全(建築物・広告物等の規制)

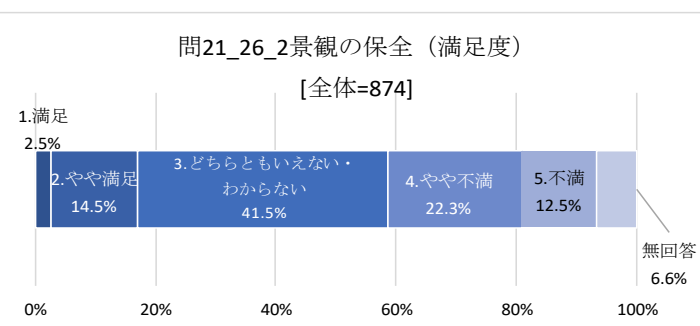
- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 75.3%と全体の約 4 分の 3 を占めていた。一方、「3. どちらともいえない・わからない」が 16.5%と比較的低く、「4. あまり重要ではない」「5. 重要ではない」とした割合は 4.1%であった。

	人数	%
1. 重要	446	51.0%
2. やや重要	212	24.3%
3. どちらともいえない・わからない	144	16.5%
4. あまり重要ではない	28	3.2%
5. 重要ではない	8	0.9%
無回答	36	4.1%
全体	874	100.0%



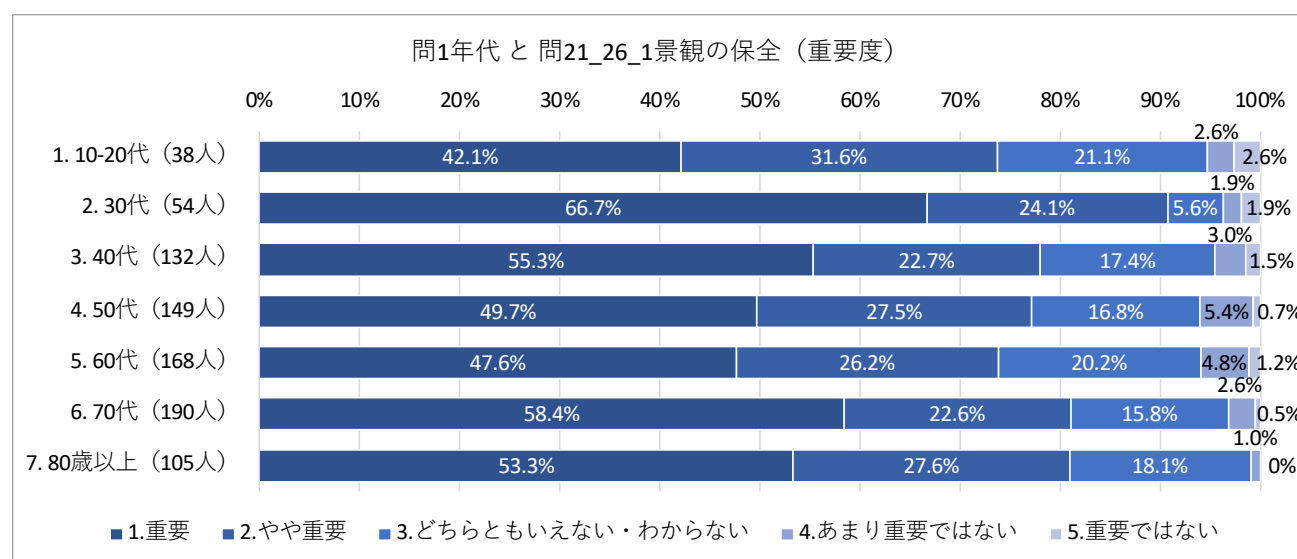
- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 17.0%と低く、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 34.8%を大きく下回った。また、「3. どちらともいえない・わからない」が 41.5%と比較的高かった。

	人数	%
1. 満足	22	2.5%
2. やや満足	127	14.5%
3. どちらともいえない・わからない	363	41.5%
4. やや不満	195	22.3%
5. 不満	109	12.5%
無回答	58	6.6%
全体	874	100.0%

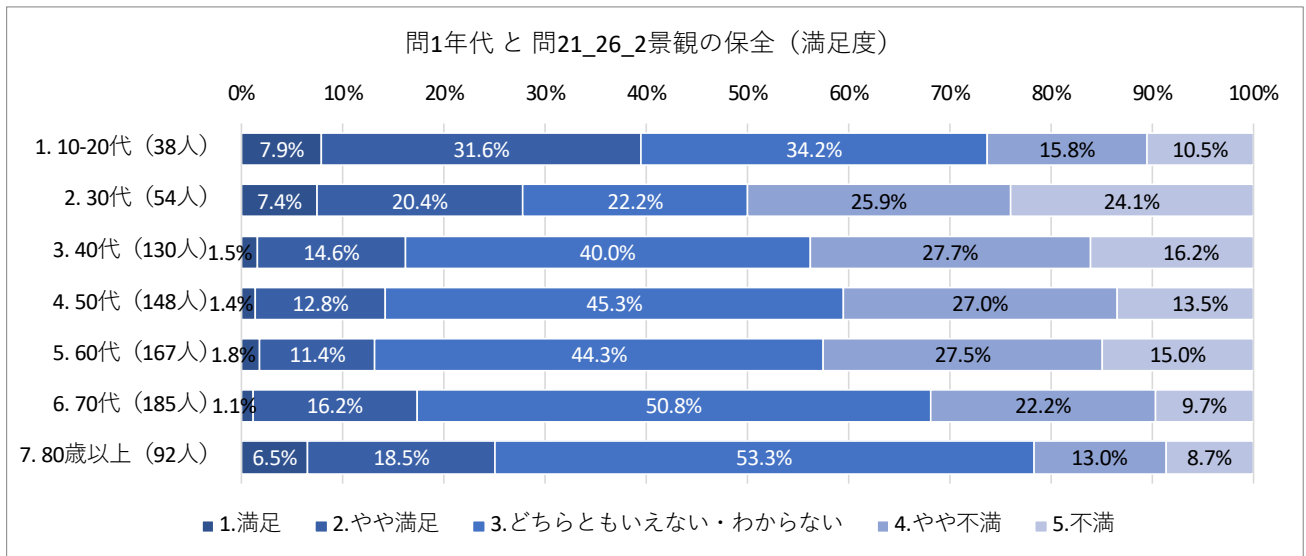


年代別集計

- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、30 代(90.7%)が最も高く、次いで 70 代(81.1%)、80 歳以上(81.0%)の順となった。

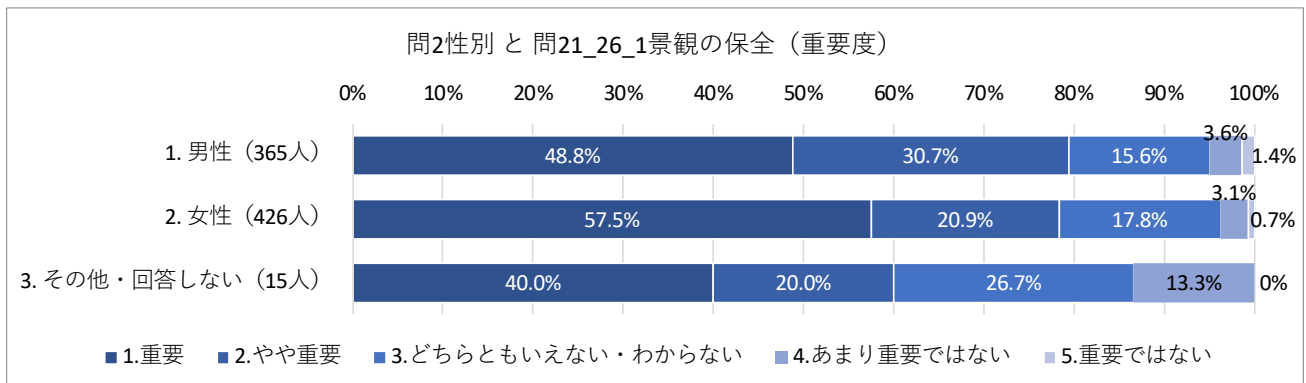


- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、10-20代(39.5%)が最も高く、次いで80歳以上(25.0%)、30代(27.8%)の順だった。一方、最も低いのは60代(13.2%)、次いで50代(14.2%)であった。

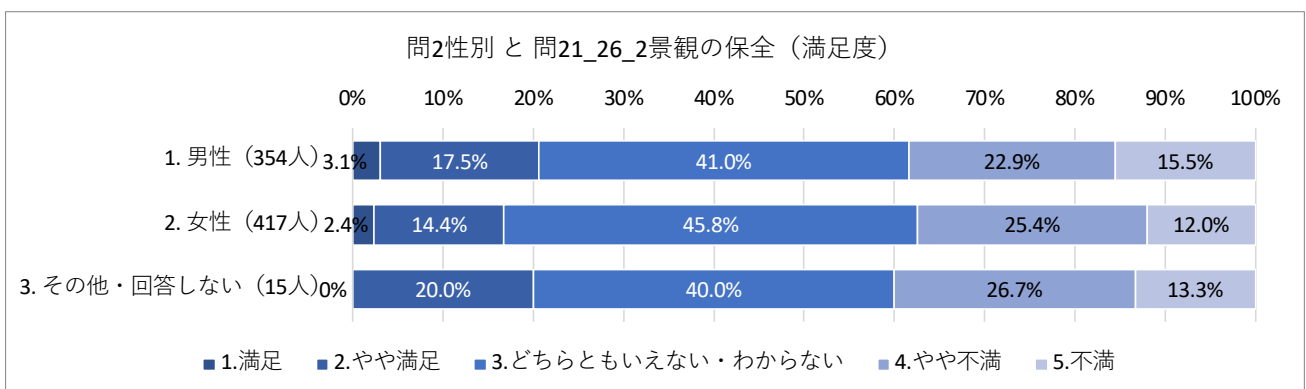


性別集計

- ・ 重要度については、「1. 重要」との回答は、男性 48.8%、女性 57.5%と、女性のほうが高かった。



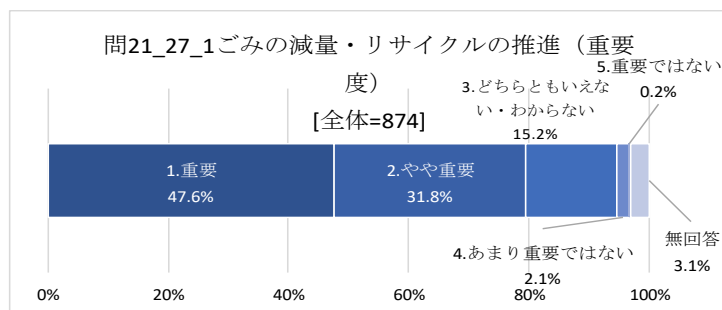
- ・ 満足度については、大きな男女差は見られなかった。



27.ごみの減量・リサイクルの推進

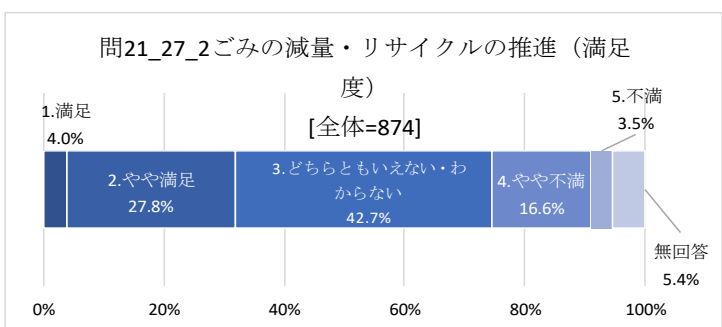
- この施策の重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 79.4%と全体の約 8 割を占めていた一方、「3. どちらともいえない・わからない」は 15.2%と比較的低く、「4. あまり重要ではない」「5. 重要ではない」は 2.3%にとどまった。

	人数	%
1. 重要	416	47.6%
2. やや重要	278	31.8%
3. どちらともいえない・わからない	133	15.2%
4. あまり重要ではない	18	2.1%
5. 重要ではない	2	0.2%
無回答	27	3.1%
全体	874	100.0%



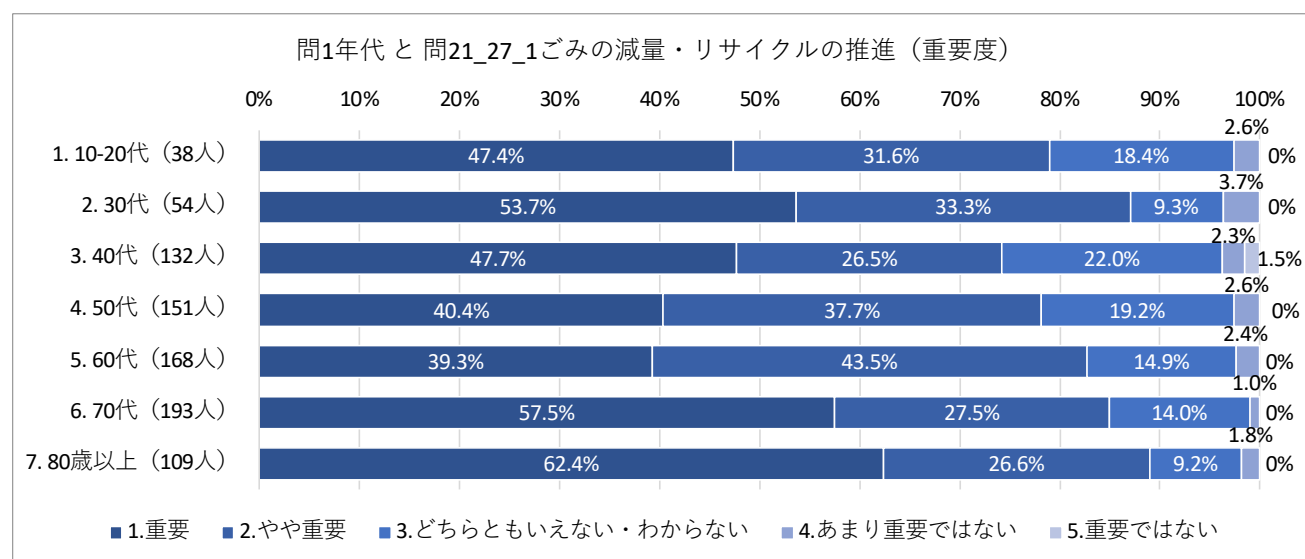
- 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 31.8%と、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 20.1%を上回った。また、「3. どちらともいえない・わからない」が 42.7%と比較的高かった

	人数	%
1. 満足	35	4.0%
2. やや満足	243	27.8%
3. どちらともいえない・わからない	373	42.7%
4. やや不満	145	16.6%
5. 不満	31	3.5%
無回答	47	5.4%
全体	874	100.0%

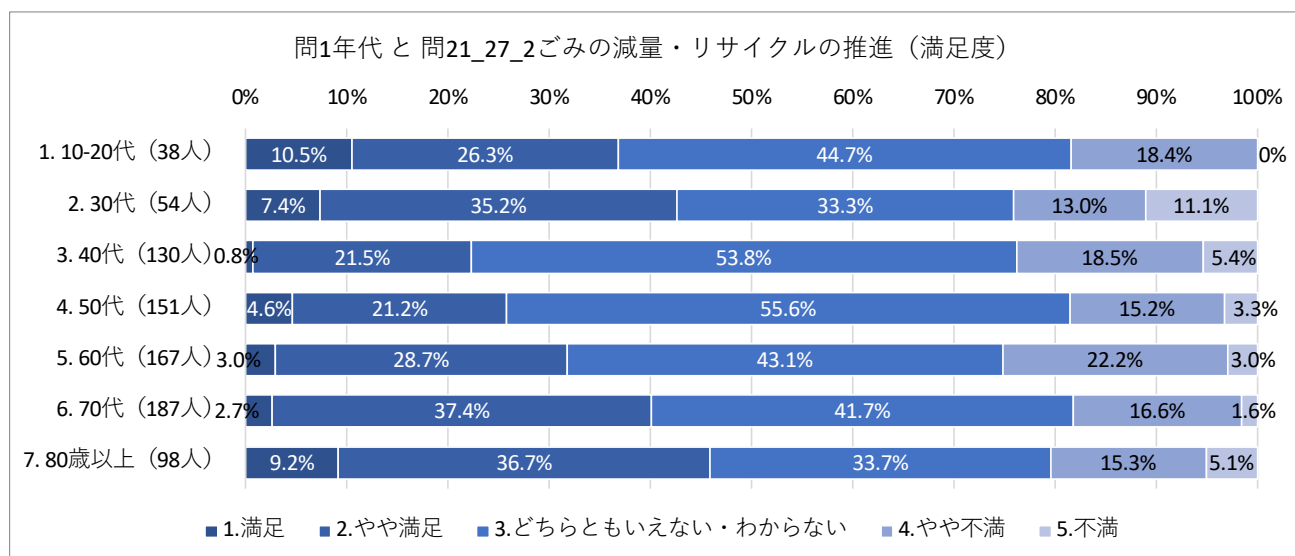


年代別集計

- 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、80 歳以上(89.0%)が最も高く、次いで 30 代(87.0%)、70 代(85.0%)の順となった。

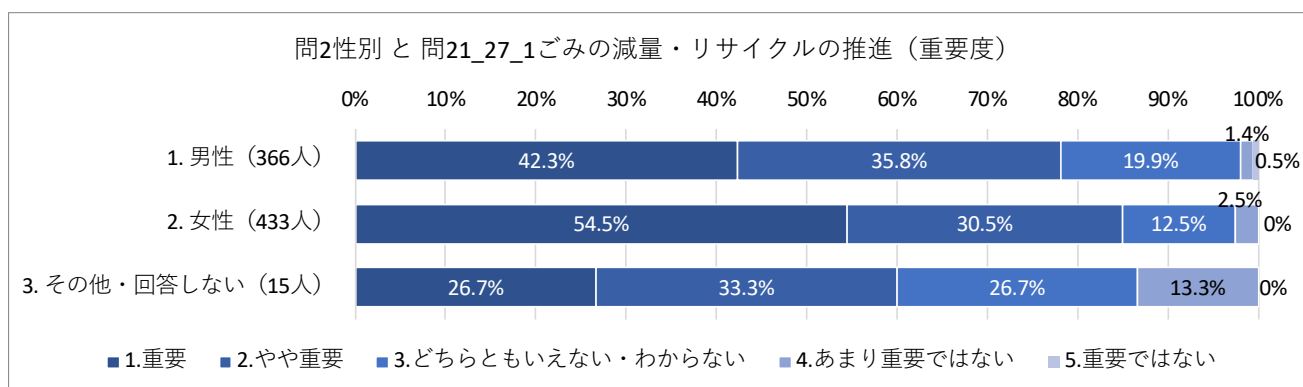


- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、80 歳以上(45.9%)が最も高く、次いで、30 代(42.6%) 70 代(40.1%)の順だった。一方、50 代(25.8%)や 40 代(22.3%)では「1. 満足」「2. やや満足」との回答割合は低かった。

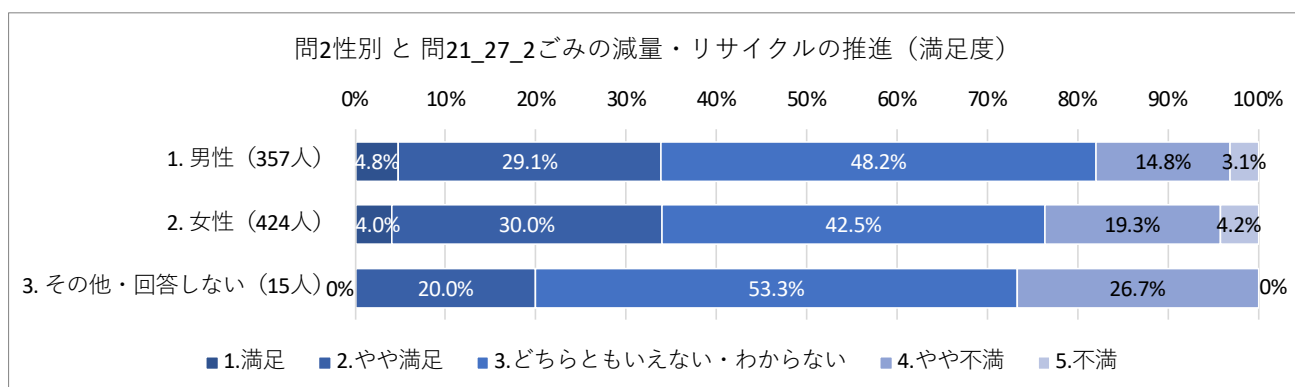


性別集計

- ・ 重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」との回答は、男性 78.1%、女性 85.0%と、女性のほうが高い。



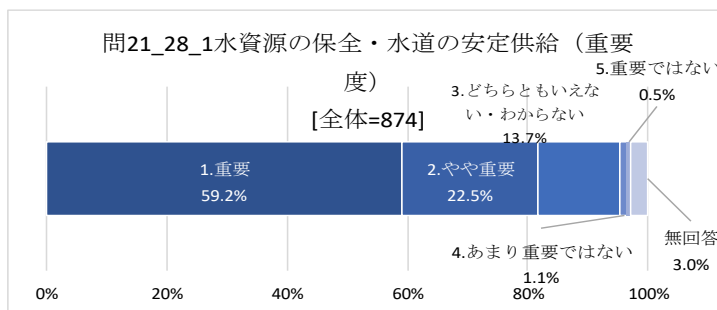
- ・ 満足度については、全体として大きな差は見られなかったが、「4. やや不満」「5. 不満」の合計は、男性 17.9%、女性 23.6%と女性のほうがやや高い。



28.水資源の保全・水道の安定供給

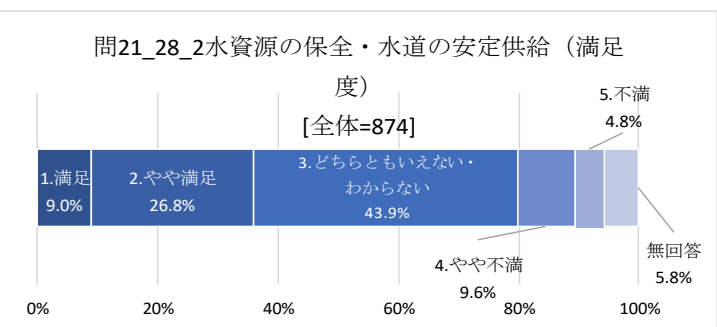
- この施策の重要度については、「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合が 81.7%と全体の 8 割を超えていた。一方、「3. どちらともいえない・わからない」は 13.7%と比較的低かった。「4. あまり重要ではない」「5. 重要ではない」は 1.6%にとどまった。

	人数	%
1. 重要	517	59.2%
2. やや重要	197	22.5%
3. どちらともいえない・わからない	120	13.7%
4. あまり重要ではない	10	1.1%
5. 重要ではない	4	0.5%
無回答	26	3.0%
全体	874	100.0%



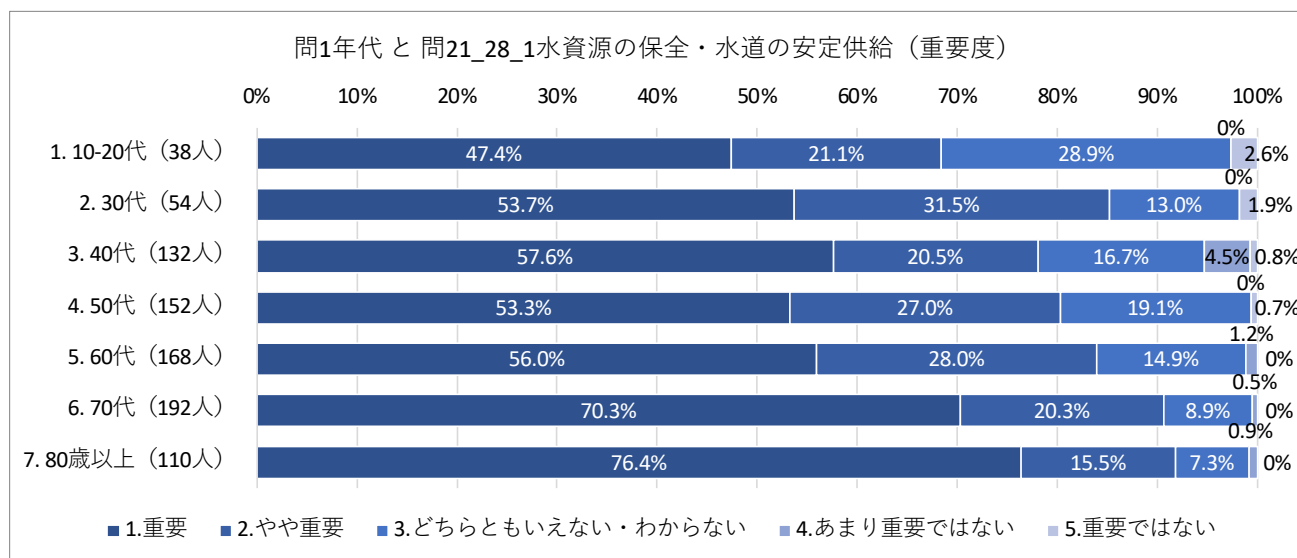
- 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計が 35.8%と、「4. やや不満」「5. 不満」の合計 14.4%を上回った。また、「3. どちらともいえない・わからない」が 43.9%と比較的高かった。

	人数	%
1. 満足	79	9.0%
2. やや満足	234	26.8%
3. どちらともいえない・わからない	384	43.9%
4. やや不満	84	9.6%
5. 不満	42	4.8%
無回答	51	5.8%
全体	874	100.0%

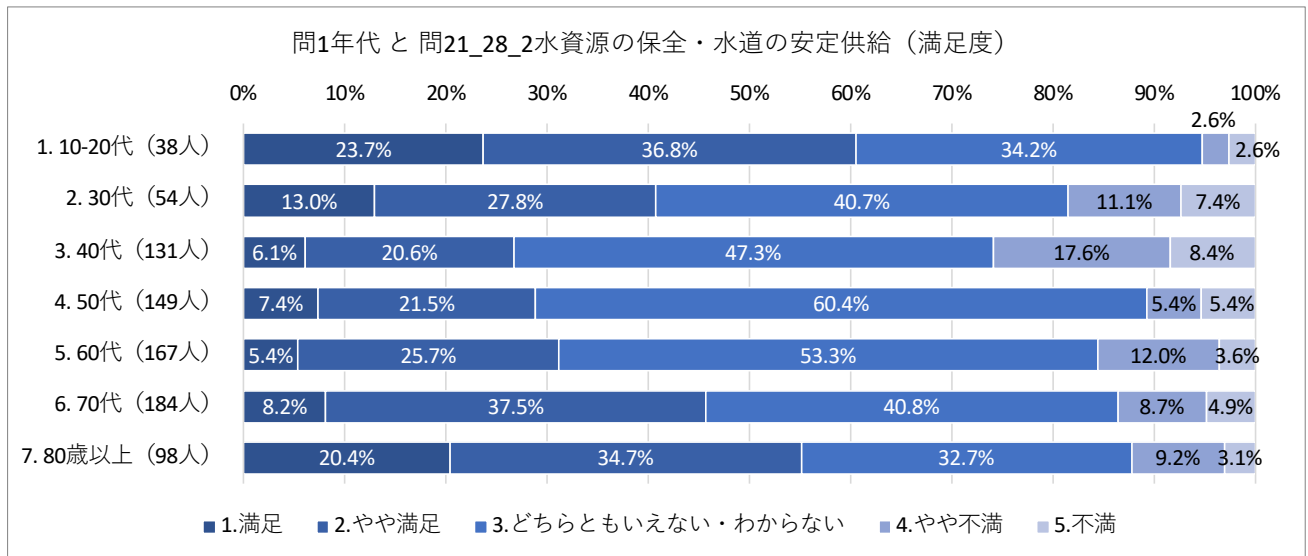


年代別集計

- 重要度については、全体として、年齢が高いほど「重要」と考える割合が増える傾向が見られる。「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合は、80 歳以上 (91.8%) が最も高く、次いで 70 代 (90.6%)、60 代 (83.9%) の順となった。一方、10-20 代 (68.4%) や 40 代 (78.0%) では「1. 重要」「2. やや重要」と回答した割合はやや低い。

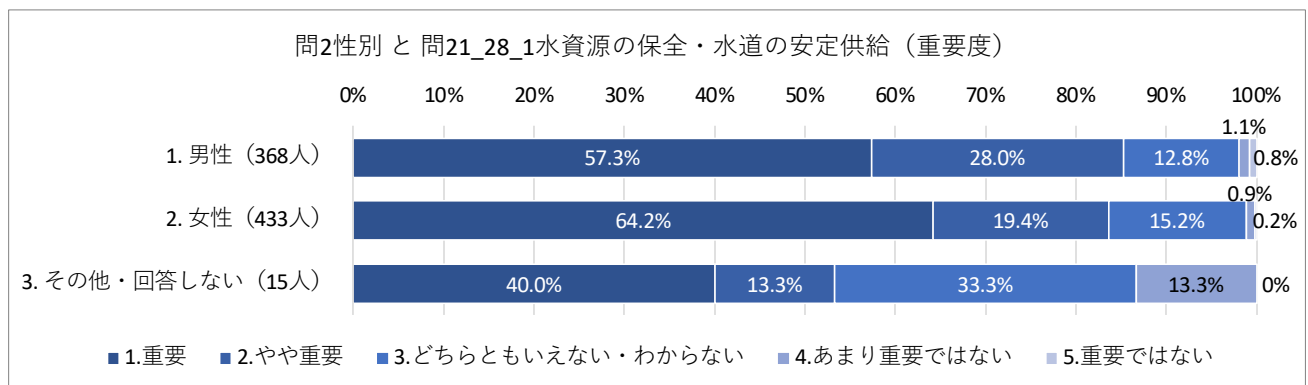


- ・ 満足度については、「1. 満足」「2. やや満足」の合計は、10-20代(60.5%)が最も高く、次いで80歳以上(55.1%)、70代(45.7%)の順だった。

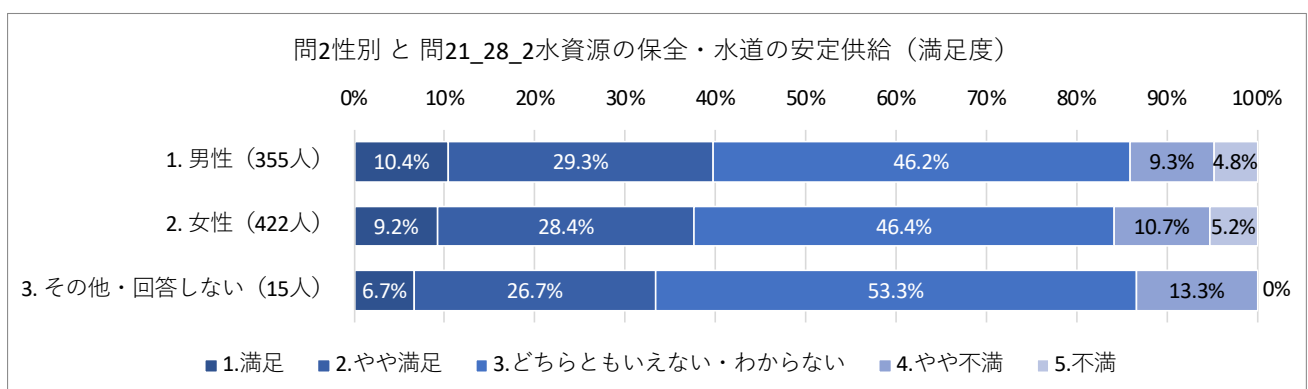


性別集計

- ・ 全体として大きな違いはないが、「1. 重要」との回答は、男性 57.3%、女性 64.2%と、女性のほうが高かった。



- ・ 満足度については、全体として、男女で大きな違いは見られない。

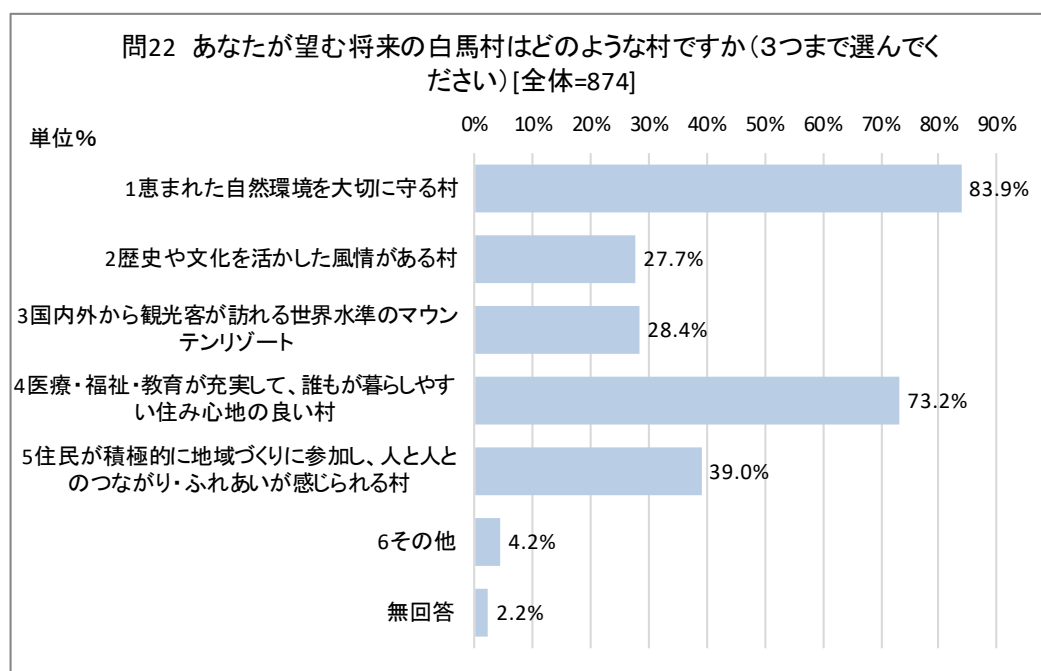


Ⅲ これからのまちづくりと住民自治

問 22 あなたが望む将来の白馬村はどのような村ですか。(3つまで選んでください)

- ・ あなたが望む将来の白馬村に関して複数回答(3つまで選択)で尋ねたところ、「1.恵まれた自然環境を大切にする村」が最も高く 83.9%を占めていた。
- ・ 次いで「4.医療・福祉・教育が充実して、誰もが暮らしやすい住み心地の良い村」が 73.2%と高い割合で選ばれていた。
- ・ 続いて、「5.住民が積極的に地域づくりに参加し、人と人とのつながり・ふれあいが感じられる村」が 39.0%、「3.国内外から観光客が訪れる世界水準のマウンテンリゾート」が 28.4%、「2.歴史や文化を活かした風情がある村」が 27.7%と、一定の回答があった。

	人数	%
1恵まれた自然環境を大切にする村	733	83.9%
2歴史や文化を活かした風情がある村	242	27.7%
3国内外から観光客が訪れる世界水準のマウンテンリゾート	248	28.4%
4医療・福祉・教育が充実して、誰もが暮らしやすい住み心地の良い村	640	73.2%
5住民が積極的に地域づくりに参加し、人と人とのつながり・ふれあいが感じられる村	341	39.0%
6その他	37	4.2%
無回答	19	2.2%
全体	874	100.0%



年代別集計

- ・ 「1.恵まれた自然環境を大切にする村」は全体として多いが、特に 70 代では 92.9%と非常に高い。
- ・ 「4.医療・福祉・教育が充実して、誰もが暮らしやすい住み心地の良い村」の割合は 10 代から 40 代までは 60%台だが、50 代以降は 70%台後半となり、80 歳以上で 81.0%と最も高くなる。

- ・ 「3.国内外から観光客が訪れる世界水準のマウンテンリゾート」の割合は40代(43.5%)をピークに減少し、60代以降では20%台にとどまる。

問1年代 と 問22あなたが望む将来の白馬村はどのような村ですかのクロス表（複数回答）

		問22あなたが望む将来の白馬村はどのような村ですか						回答人数
		1. 恵まれた自然環境を大切に守る村	2. 歴史や文化を活かした風情がある村	3. 国内外から観光客が訪れる世界水準のマウンテンリゾート	4. 医療・福祉・教育が充実して、誰もが暮らしやすい住み心地の良い村	5. 住民が積極的に地域づくりに参加し、人とのつながり・ふれあいが感じられる村	6. その他	
問1 年代	1. 10-20代	32 84.2%	14 36.8%	13 34.2%	24 63.2%	13 34.2%	0 0.0%	38 100.0%
	2. 30代	46 86.8%	16 30.2%	21 39.6%	34 64.2%	24 45.3%	4 7.5%	53 100.0%
	3. 40代	110 84.0%	34 26.0%	57 43.5%	85 64.9%	40 30.5%	8 6.1%	131 100.0%
	4. 50代	119 78.3%	41 27.0%	52 34.2%	117 77.0%	56 36.8%	12 7.9%	152 100.0%
	5. 60代	143 86.1%	44 26.5%	39 23.5%	130 78.3%	63 38.0%	8 4.8%	166 100.0%
	6. 70代	182 92.9%	58 29.6%	40 20.4%	154 78.6%	92 46.9%	5 2.6%	196 100.0%
	7. 80歳以上	99 85.3%	35 30.2%	26 22.4%	94 81.0%	51 44.0%	0 0.0%	116 100.0%
	回答人数	731	242	248	638	339	37	852

性別集計

- ・ 「1.恵まれた自然環境を大切に守る村」の割合は男女ともに高いが、女性(89.2%)のほうが男性(81.4%)よりも高い。
- ・ 「4.医療・福祉・教育が充実して、誰もが暮らしやすい住み心地の良い村」は女性(82.1%)のほうが男性(67.7%)よりも高い。
- ・ 「3.国内外から観光客が訪れる世界水準のマウンテンリゾート」は男性(36.9%)のほうが女性(22.5%)よりも高い。

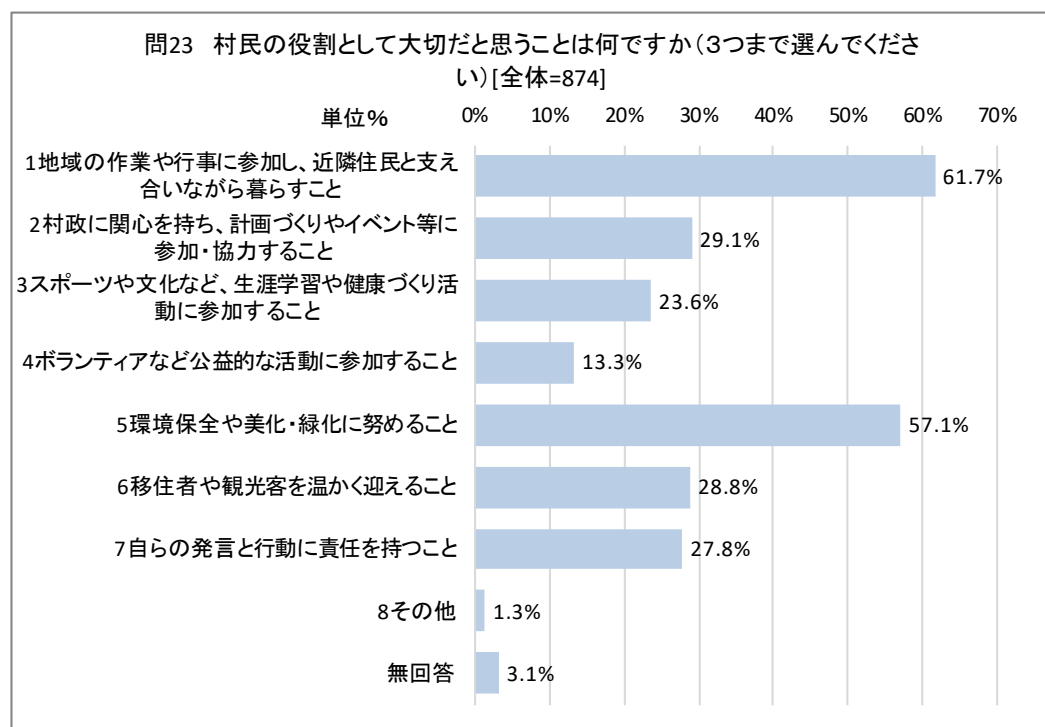
問2性別 と 問22あなたが望む将来の白馬村はどのような村ですかのクロス表（複数回答）

		問22あなたが望む将来の白馬村はどのような村ですか						回答人数
		1. 恵まれた自然環境を大切に守る村	2. 歴史や文化を活かした風情がある村	3. 国内外から観光客が訪れる世界水準のマウンテンリゾート	4. 医療・福祉・教育が充実して、誰もが暮らしやすい住み心地の良い村	5. 住民が積極的に地域づくりに参加し、人とのつながり・ふれあいが感じられる村	6. その他	
問2 性別	1. 男性	302 81.4%	117 31.5%	137 36.9%	251 67.7%	136 36.7%	22 5.9%	371 100.0%
	2. 女性	388 89.2%	116 26.7%	98 22.5%	357 82.1%	185 42.5%	14 3.2%	435 100.0%
	3. その他・回答しない	13 81.3%	2 12.5%	3 18.8%	13 81.3%	5 31.3%	1 6.3%	16 100.0%
	回答人数	703	235	238	621	326	37	822

問 23 村民の役割として大切だと思うことは何ですか。(3つまで選んでください)

- ・ 村民の役割として大切だと思うことについて複数回答(3つまで選択)で尋ねたところ、「1.地域の作業や行事に参加し、近隣住民と支え合いながら暮らすこと」が61.7%で最も高かった。次いで、「5.環境保全や美化・緑化に努めること」も57.1%と高く、これらが特に重要視されていることが分かる。
- ・ その他の選択肢では、「2.村政に関心を持ち、計画づくりやイベント等に参加・協力すること」が29.1%、「6.移住者や観光客を温かく迎えること」が28.8%、「7.自らの発言と行動に責任を持つこと」が27.8%、「3.スポーツや文化など、生涯学習や健康づくり活動に参加すること」が23.6%と、一定の割合で選ばれている。
- ・ 一方で、「4.ボランティアなど公益的な活動に参加すること」は13.3%と比較的低い割合にとどまった。

	人数	%
1地域の作業や行事に参加し、近隣住民と支え合いながら暮らすこと	539	61.7%
2村政に関心を持ち、計画づくりやイベント等に参加・協力すること	254	29.1%
3スポーツや文化など、生涯学習や健康づくり活動に参加すること	206	23.6%
4ボランティアなど公益的な活動に参加すること	116	13.3%
5環境保全や美化・緑化に努めること	499	57.1%
6移住者や観光客を温かく迎えること	252	28.8%
7自らの発言と行動に責任を持つこと	243	27.8%
8その他	11	1.3%
無回答	27	3.1%
全体	874	100.0%



年代別集計

- ・ 「1.地域の作業や行事に参加し、近隣住民と支え合いながら暮らすこと」を選ぶ割合は、やや変動はあるものの10-20代の45.9%から、年代が上がるにつれて増加する傾向がみられ、80歳以上では81.9%を占める。

- ・ 「2.村政に関心を持ち、計画づくりやイベント等に参加・協力すること」は10-20代(48.6%)で最も高く、僅かな変動はあるが、年代が上がるにつれて低下する。
- ・ 「5.環境保全や美化・緑化に努めること」は40代(65.6%)・50代(66.4%)で最も高い。
- ・ 「6.移住者や観光客を温かく迎えること」は若年層(10-20代)で最も高く(40.5%)、年代が上がるにつれて低下していくが、70代以降で再び増加傾向が見られる。

問1年代 と 問23村民の役割として大切だと思うことは何ですかのクロス表（複数回答）

		問23村民の役割として大切だと思うことは何ですか								回答人数
		1. 地域の作業や行事に参加し、近隣住民と支え合いながら暮らすこと	2. 村政に関心を持ち、計画づくりやイベント等に参加・協力すること	3. スポーツや文化など、生涯学習や健康づくり活動に参加すること	4. ボランティアなど公益的な活動に参加すること	5. 環境保全や美化・緑化に努めること	6. 移住者や観光客を温かく迎えること	7. 自らの発言と行動に責任を持つこと	8. その他	
問1 年代	1. 10-20代	17 45.9%	18 48.6%	6 16.2%	5 13.5%	21 56.8%	15 40.5%	9 24.3%	0 0.0%	37 100.0%
	2. 30代	32 60.4%	18 34.0%	19 35.8%	7 13.2%	28 52.8%	22 41.5%	14 26.4%	2 3.8%	53 100.0%
	3. 40代	62 47.3%	47 35.9%	31 23.7%	11 8.4%	86 65.6%	42 32.1%	35 26.7%	1 0.8%	131 100.0%
	4. 50代	87 58.4%	45 30.2%	28 18.8%	20 13.4%	99 66.4%	42 28.2%	37 24.8%	5 3.4%	149 100.0%
	5. 60代	104 62.7%	49 29.5%	41 24.7%	22 13.3%	100 60.2%	34 20.5%	48 28.9%	2 1.2%	166 100.0%
	6. 70代	141 73.4%	46 24.0%	57 29.7%	34 17.7%	115 59.9%	52 27.1%	60 31.3%	1 0.5%	192 100.0%
	7. 80歳以上	95 81.9%	31 26.7%	24 20.7%	15 12.9%	50 43.1%	44 37.9%	39 33.6%	0 0.0%	116 100.0%
	回答人数	538	254	206	114	499	251	242	11	844

性別集計

- ・ 性別による大きな差は見られないが、「5.環境保全や美化・緑化に努めること」は女性(61.9%)のほうが男性(56.4%)よりもやや高い。

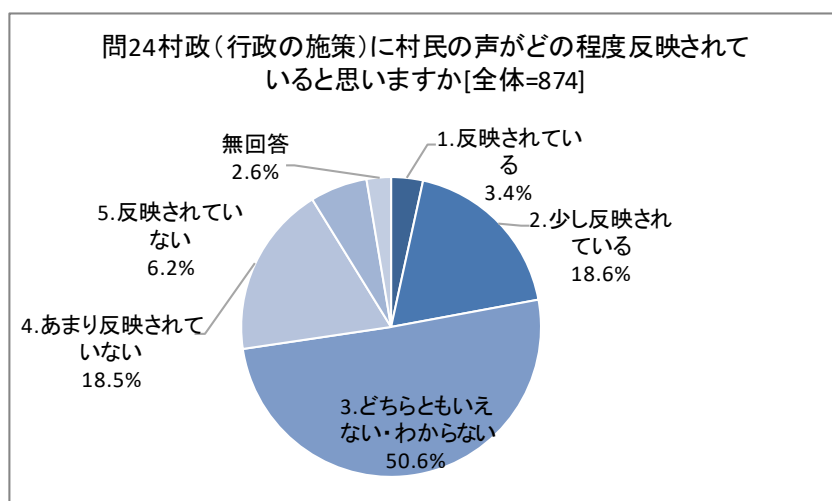
問2性別 と 問23村民の役割として大切だと思うことは何ですかのクロス表（複数回答）

		問23村民の役割として大切だと思うことは何ですか								回答人数
		1. 地域の作業や行事に参加し、近隣住民と支え合いながら暮らすこと	2. 村政に関心を持ち、計画づくりやイベント等に参加・協力すること	3. スポーツや文化など、生涯学習や健康づくり活動に参加すること	4. ボランティアなど公益的な活動に参加すること	5. 環境保全や美化・緑化に努めること	6. 移住者や観光客を温かく迎えること	7. 自らの発言と行動に責任を持つこと	8. その他	
問2 性別	1. 男性	233 63.5%	112 30.5%	93 25.3%	59 16.1%	207 56.4%	110 30.0%	99 27.0%	6 1.6%	367 100.0%
	2. 女性	278 64.5%	128 29.7%	106 24.6%	53 12.3%	267 61.9%	123 28.5%	126 29.2%	4 0.9%	431 100.0%
	3. その他・回答しない	7 43.8%	5 31.3%	1 6.3%	1 6.3%	7 43.8%	5 31.3%	5 31.3%	0 0.0%	16 100.0%
	回答人数	518	245	200	113	481	238	230	10	814

問 24 村政(行政の施策)に村民の声がどの程度反映されていると思いますか。

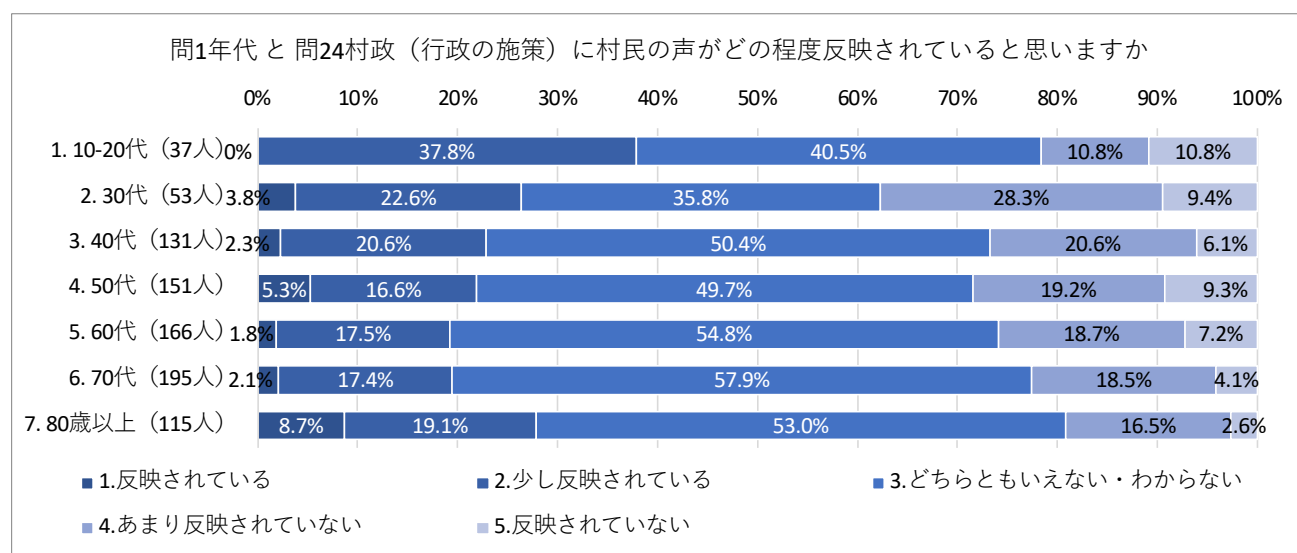
- ・ 「村政に村民の声がどの程度反映されていると思うか」を尋ねたところ、「3.どちらともいえない・わからない」が 50.6%と、半数以上を占めている。
- ・ 次いで、「2.少し反映されている」が 18.6%、「4.あまり反映されていない」が 18.5%と、同程度の割合で選ばれている。
- ・ 一方、「5.反映されていない」は 6.2%、「1.反映されている」は 3.4%と比較的低い選択率であり、「3. どちらともいえない・わからない」を中心として、回答が分布していることがわかる。

	人数	%
1. 反映されている	30	3.4%
2. 少し反映されている	163	18.6%
3. どちらともいえない・わからない	442	50.6%
4. あまり反映されていない	162	18.5%
5. 反映されていない	54	6.2%
無回答	23	2.6%
全体	874	100.0%



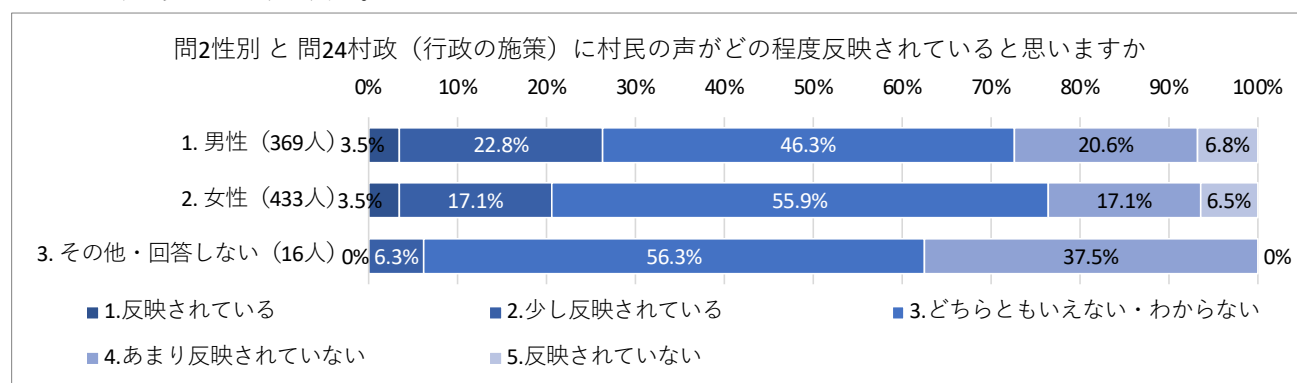
年代別集計

- ・ 年代別の傾向として、「1.反映されている」「2.少し反映されている」と回答した割合は10～20代(37.8%)が最も高く、30代(26.4%)、40代(22.9%)と年代が上がるに連れて下がる。ただし、80歳以上は27.8%とやや選択率が上がる。
- ・ 「3.どちらともいえない・わからない」は全年代で最も多く選ばれた選択肢であり、特に60代以上で選択率が高い。
- ・ 「4.あまり反映されていない」「5.反映されていない」の合計は30代(37.7%)で最も高い。



性別集計

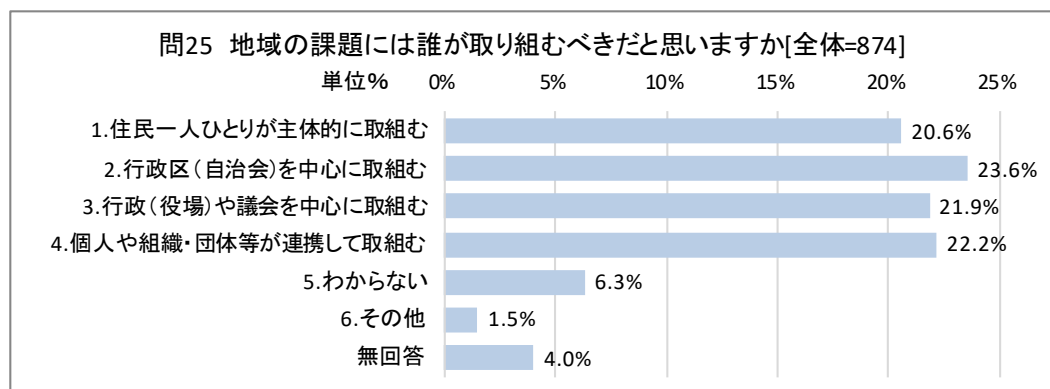
- ・ 全体的に大きな差は見られないが、「3. どちらともいえない・わからない」と回答した割合は、男性 46.3%、女性 55.9%と女性のほうが高い。



問 25 地域の課題には誰が取り組むべきだと思いますか。(1つだけ選んでください)

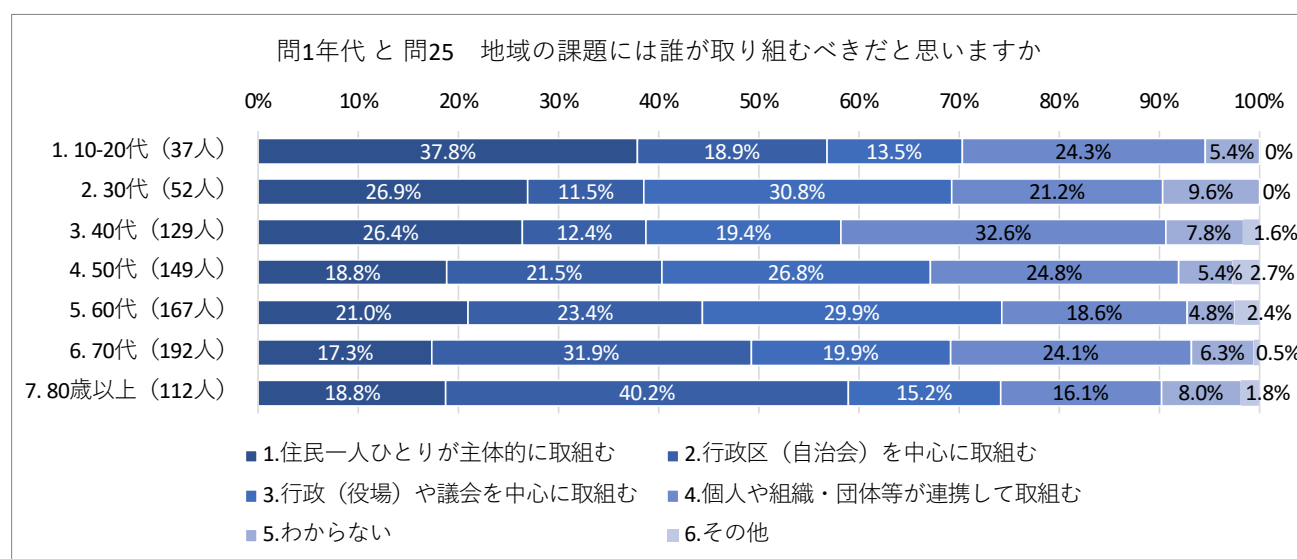
- ・ 「地域の課題には誰が取り組むべきだと思いますか」という設問では、「2.行政区(自治会)を中心に取組む」が23.6%で最も高かったが、「4.個人や組織・団体等が連携して取組む」(22.2%)、「3.行政(役場)や議会を中心に取組む」(21.9%)、「1.住民一人ひとりが主体的に取組む」(20.6%)と僅差で続き、大きな差は見られない。
- ・ 一方で、「5.わからない」を選んだ人が6.3%いた。

	人数	%
1. 住民一人ひとりが主体的に取組む	180	20.6%
2. 行政区(自治会)を中心に取組む	206	23.6%
3. 行政(役場)や議会を中心に取組む	191	21.9%
4. 個人や組織・団体等が連携して取組む	194	22.2%
5. わからない	55	6.3%
6. その他	13	1.5%
無回答	35	4.0%
全体	874	100.0%



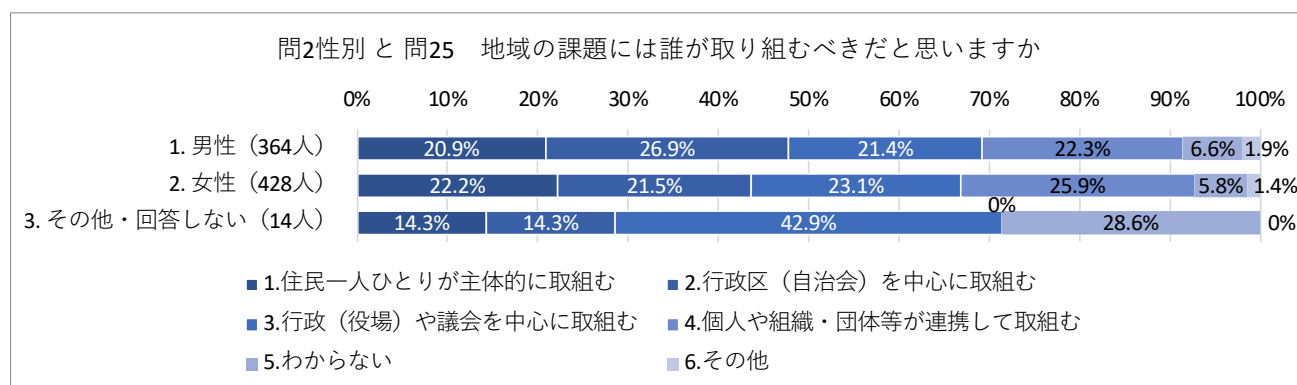
年代別集計

- ・ 年代別の傾向として、「1.住民一人ひとりが主体的に取り組む」を選択した割合は10～20代(37.8%)が最も高く、30代(26.9%)や40代(26.4%)など若い層では一定の割合で選ばれている。
- ・ 「2.行政区(自治会)を中心に取組む」の選択割合は年代が上がるにつれて増加する傾向があり、80歳以上(40.2%)が最も高く、次に高い70代(31.9%)と比べても差がある。
- ・ 「3.行政(役場)や議会を中心に取組む」を選択した割合は30代(30.8%)と60代(29.9%)で高く、10-20代(13.5%)で最も低い。
- ・ 「4.個人や組織・団体等が連携して取組む」の選択割合は40代(32.6%)が最も高く、60代(18.6%)や80歳以上(16.1%)では比較的低い。



性別集計

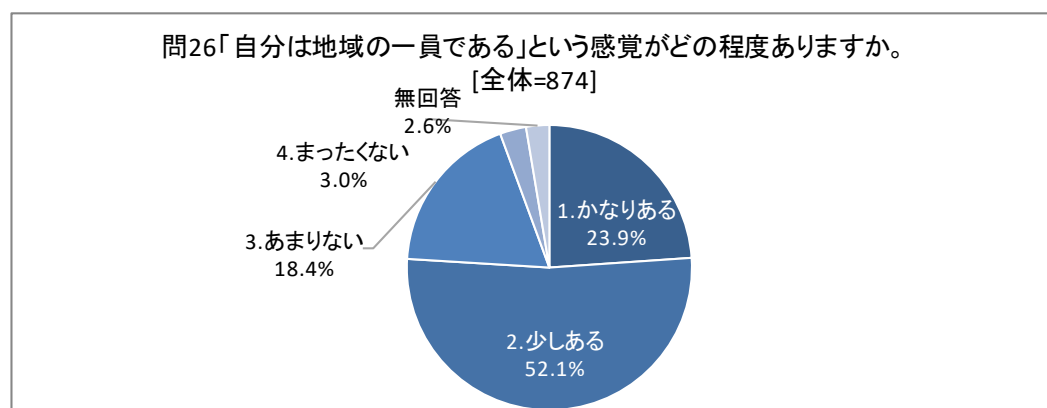
- ・ 男女間で大きな差は見られないが、「2.行政区(自治会)を中心に取組む」は、男性 26.9%、女性 21.5%と男性のほうがやや高い。



問 26 「自分は地域の一員である」という感覚がどの程度ありますか。

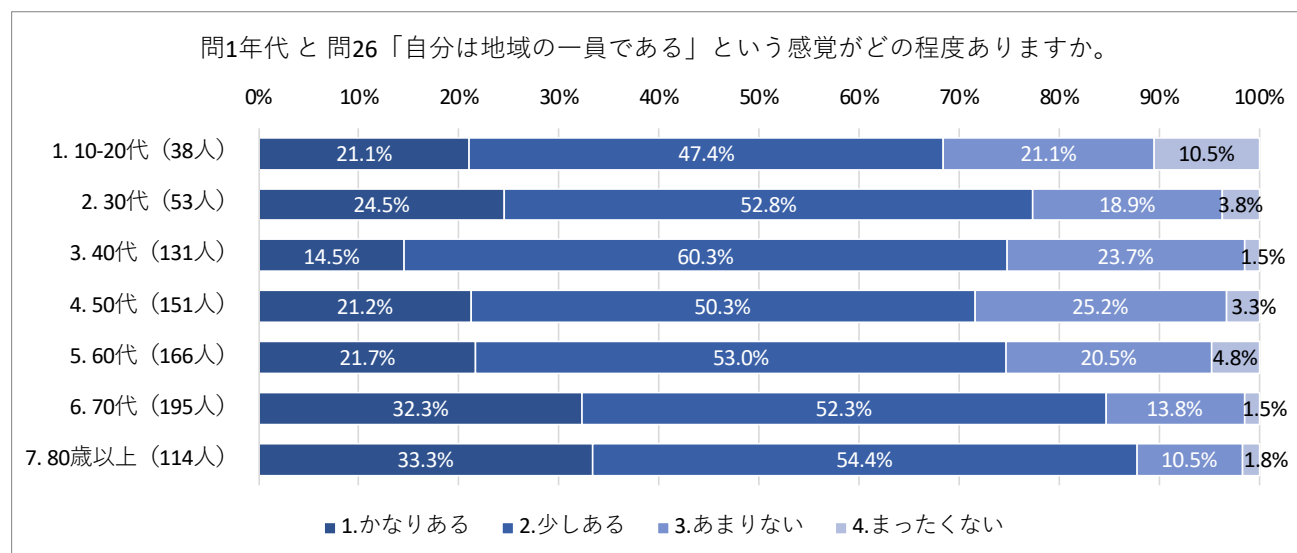
- ・ 「自分は地域の一員である」という感覚がどの程度ありますか」という設問では、「2.少しある」を選択した回答者が52.1%と過半数を占めた。
- ・ 「1. かなりある」と「2. 少しある」を合わせると76.0%の回答者が「ある」と回答している。
- ・ 「3. あまりない」は18.4%、「4. まったくない」は3.0%と、「ない」とする回答の合計は21.4%であった

	人数	%
1. かなりある	209	23.9%
2. 少しある	455	52.1%
3. あまりない	161	18.4%
4. まったくない	26	3.0%
無回答	23	2.6%
全体	874	100.0%



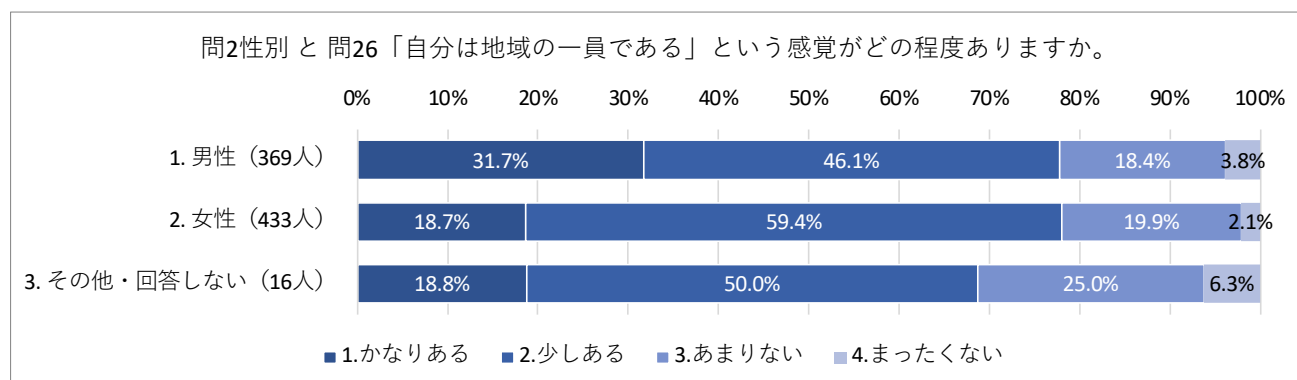
年代別集計

- ・ 「1.かなりある」「2.少しある」を合計すると、80 歳以上(87.7%)、70 代(84.6%)と高齢層の割合が高い。その次に高いのは、30 代(77.4%)だった。



性別集計

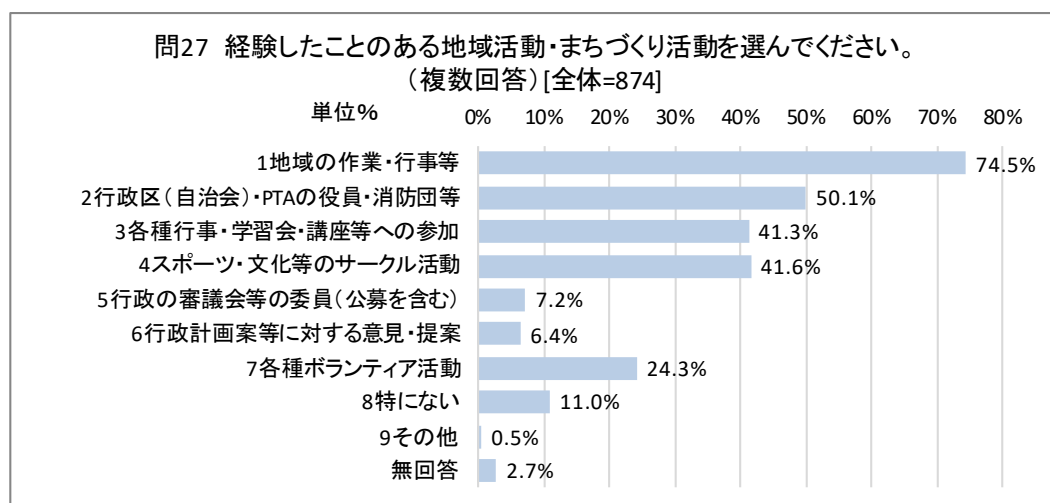
- ・ 男性は「1.かなりある」(31.7%)の割合が女性(18.7%)より高く、女性は「2.少しある」(59.4%)の割合が男性(46.1%)より高い。



問 27 経験したことのある地域活動・まちづくり活動を選んでください。(いくつでも選択可)

- ・ 「経験したことのある地域活動・まちづくり活動」について複数回答で尋ねたところ、「1.地域の作業・行事等」が74.5%と多くの人が経験していることが分かる。次いで、「2.行政区(自治会)・PTAの役員・消防団等」が50.1%と半数以上の回答者に選ばれており、これらの2つの活動が特に多くの人に実施されていることがわかる。
- ・ 「3.各種行事・学習会・講座等への参加」(41.3%)と「4.スポーツ・文化等のサークル活動」(41.6%)も一定の割合で経験されており、比較的多くの人が関与した活動といえる。「7.各種ボランティア活動」も24.3%と、一定の経験者がいることが分かる。
- ・ 一方、「5.行政の審議会等の委員(公募を含む)」(7.2%)と「6.行政計画案等に対する意見・提案」(6.4%)は経験者が少ない。
- ・ 「8.特にない」を選んだ人は11.0%であり、およそ1割の人が該当する活動を行っていないと回答している。

	人数	%
1地域の作業・行事等	651	74.5%
2行政区(自治会)・PTAの役員・消防団等	438	50.1%
3各種行事・学習会・講座等への参加	361	41.3%
4スポーツ・文化等のサークル活動	364	41.6%
5行政の審議会等の委員(公募を含む)	63	7.2%
6行政計画案等に対する意見・提案	56	6.4%
7各種ボランティア活動	212	24.3%
8特にない	96	11.0%
9その他	4	0.5%
無回答	24	2.7%
全体	874	100.0%



年代別集計

- 「1.地域の作業・行事等」は全体的に最も選ばれているが、年代が上がるにつれて選択率が増加し、特に60代以上では80%前後を占める。
- 「2.行政区(自治会)・PTAの役員・消防団等」の割合は10-20代(15.8%)と30代(35.8%)が低く、40代から70代の選択率は50%以上と高い。
- 一方で、「7.各種ボランティア活動」は10-20代(39.5%)、30代(37.7%)で高めたが、40代以降は低下し、70代では再び増加(30.1%)する。

問1年代 と 問27経験したことのある地域活動・まちづくり活動を選んでくださいのクロス表（複数回答）

		問27経験したことのある地域活動・まちづくり活動									回答人数
		1. 地域の作業・行事等	2. 行政区(自治会)・PTAの役員・消防団等	3. 各種行事・学習会・講座等への参加	4. スポーツ・文化等のサークル活動	5. 行政の審議会等の委員(公募を含む)	6. 行政計画案等に対する意見・提案	7. 各種ボランティア活動	8. 特にない	9. その他	
問1 年代	1. 10-20代	23	6	7	16	1	1	15	6	0	38
		60.5%	15.8%	18.4%	42.1%	2.6%	2.6%	39.5%	15.8%	0.0%	100.0%
	2. 30代	36	19	27	27	4	5	20	9	0	53
		67.9%	35.8%	50.9%	50.9%	7.5%	9.4%	37.7%	17.0%	0.0%	100.0%
	3. 40代	91	69	55	51	4	6	29	19	1	131
		69.5%	52.7%	42.0%	38.9%	3.1%	4.6%	22.1%	14.5%	0.8%	100.0%
	4. 50代	112	89	61	60	14	12	36	19	0	152
		73.7%	58.6%	40.1%	39.5%	9.2%	7.9%	23.7%	12.5%	0.0%	100.0%
	5. 60代	132	104	77	77	15	10	29	15	2	166
		79.5%	62.7%	46.4%	46.4%	9.0%	6.0%	17.5%	9.0%	1.2%	100.0%
	6. 70代	163	99	86	88	20	12	58	21	0	193
		84.5%	51.3%	44.6%	45.6%	10.4%	6.2%	30.1%	10.9%	0.0%	100.0%
	7. 80歳以上	91	49	46	44	5	10	23	7	1	114
		79.8%	43.0%	40.4%	38.6%	4.4%	8.8%	20.2%	6.1%	0.9%	100.0%
回答人数		648	435	359	363	63	56	210	96	4	847

性別集計

- 「2.行政区(自治会)・PTAの役員・消防団等」は男性が55.0%なのに対し女性は49.5%と、男性のほうが高い。
- 「3.各種行事・学習会・講座等への参加」と「4.スポーツ・文化等のサークル活動」は女性(48.2%、46.3%)のほうが男性(38.1%、39.8%)よりも高い。
- 一方で、「5.行政の審議会等の委員(公募を含む)」(男性10.1%、女性5.3%)や「6.行政計画案等に対する意見・提案」(男性9.5%、女性3.9%)は男女ともに低い、女性のほうが低い。
- 「7.各種ボランティア活動」は女性(28.6%)のほうが男性(20.4%)よりも高い。

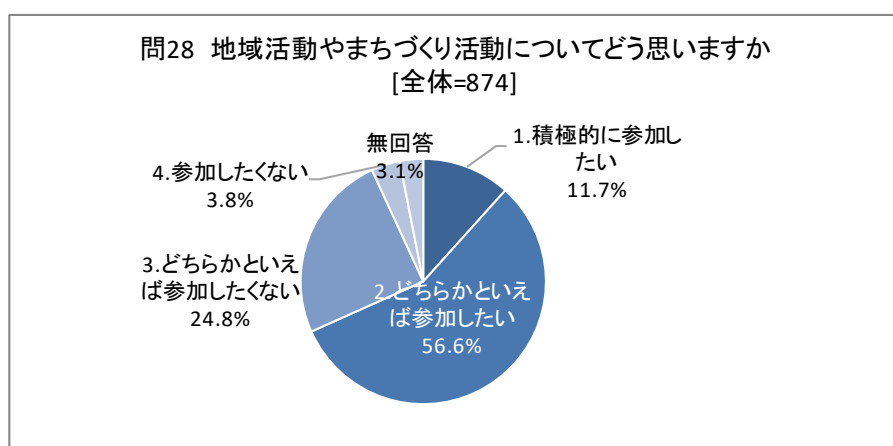
問2性別 と 問27経験したことのある地域活動・まちづくり活動を選んでくださいのクロス表（複数回答）

		問27経験したことのある地域活動・まちづくり活動を選んでください									回答人数
		1. 地域の作業・行事等	2. 行政区(自治会)・PTAの役員・消防団等	3. 各種行事・学習会・講座等への参加	4. スポーツ・文化等のサークル活動	5. 行政の審議会等の委員(公募を含む)	6. 行政計画案等に対する意見・提案	7. 各種ボランティア活動	8. 特にない	9. その他	
問2 性別	1. 男性	280	202	140	146	37	35	75	40	3	367
		76.3%	55.0%	38.1%	39.8%	10.1%	9.5%	20.4%	10.9%	0.8%	100.0%
	2. 女性	337	215	209	201	23	17	124	46	1	434
		77.6%	49.5%	48.2%	46.3%	5.3%	3.9%	28.6%	10.6%	0.2%	100.0%
	3. その他・回答しない	11	5	4	6	0	0	6	3	0	16
		68.8%	31.3%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	37.5%	18.8%	0.0%	100.0%
回答人数		628	422	353	353	60	52	205	89	4	817

問 28 地域活動やまちづくり活動についてどう思いますか。

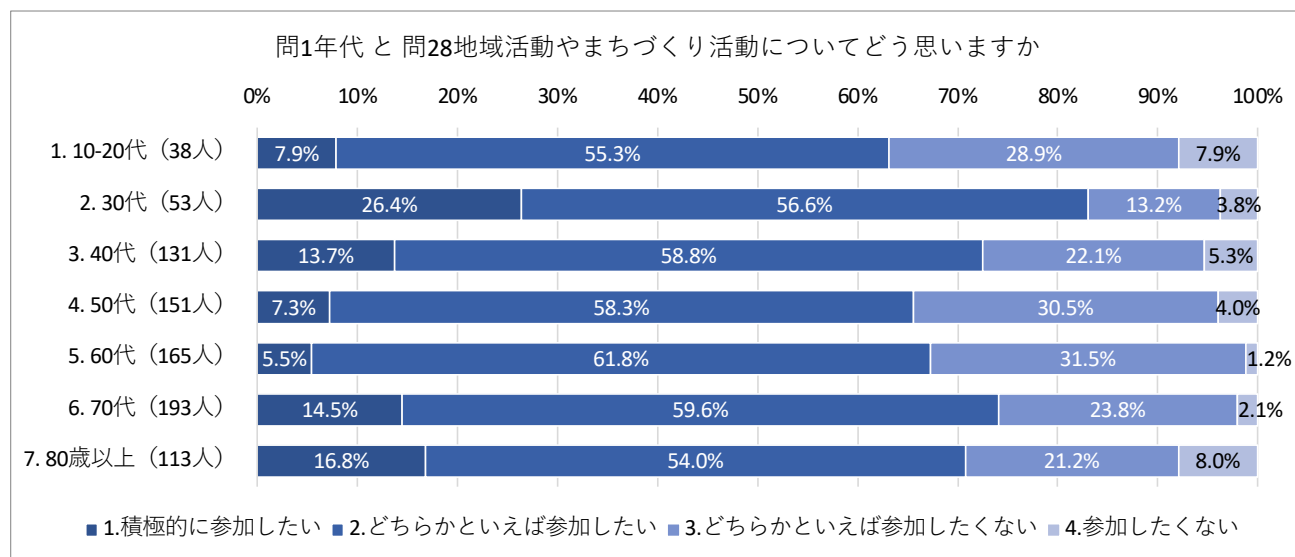
- ・ 「2. どちらかといえば参加したい」が 56.6%と最も多くの回答を集めた。
- ・ 「1.積極的に参加したい」は 11.7%にとどまり、強い参加意欲を持つ人は比較的少数派であることがうかがえる。
- ・ 「3. どちらかといえば参加したくない」が 24.8%となり、一定の割合が消極的な姿勢を示している。
- ・ 一方で、「4. 参加したくない」は 3.8%と低く、完全に参加を拒む人は少ない。

	人数	%
1. 積極的に参加したい	102	11.7%
2. どちらかといえば参加したい	495	56.6%
3. どちらかといえば参加したくない	217	24.8%
4. 参加したくない	33	3.8%
無回答	27	3.1%
全体	874	100.0%



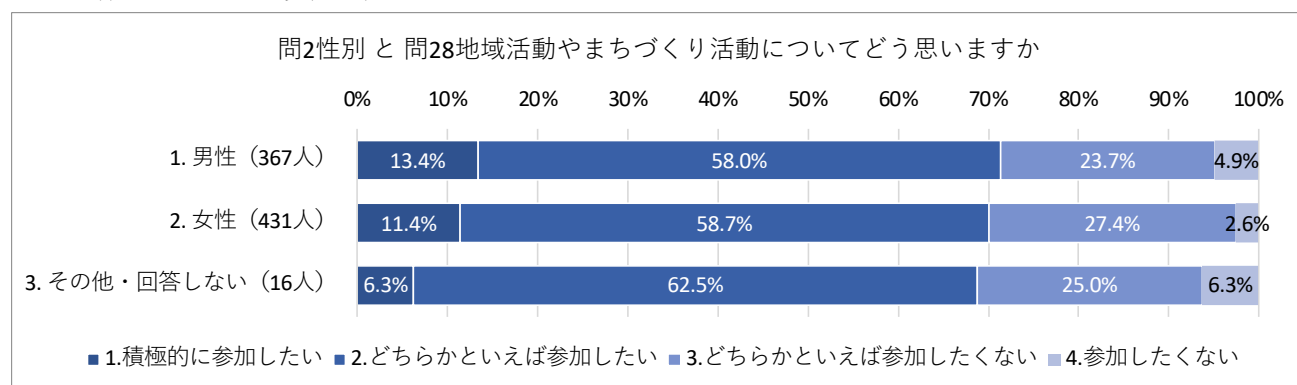
年代別集計

- ・ 年代別の傾向として、「1.積極的に参加したい」「2.どちらかといえば参加したい」を合計すると、30代(83.0%)が最も高く、次いで70代(74.1%)、40代(72.5%)の順となっている。
- ・ 「1. 積極的に参加したい」という回答が少ないのは、60代(5.5%)、50代(7.3%)、10-20代(7.9%)である。



性別集計

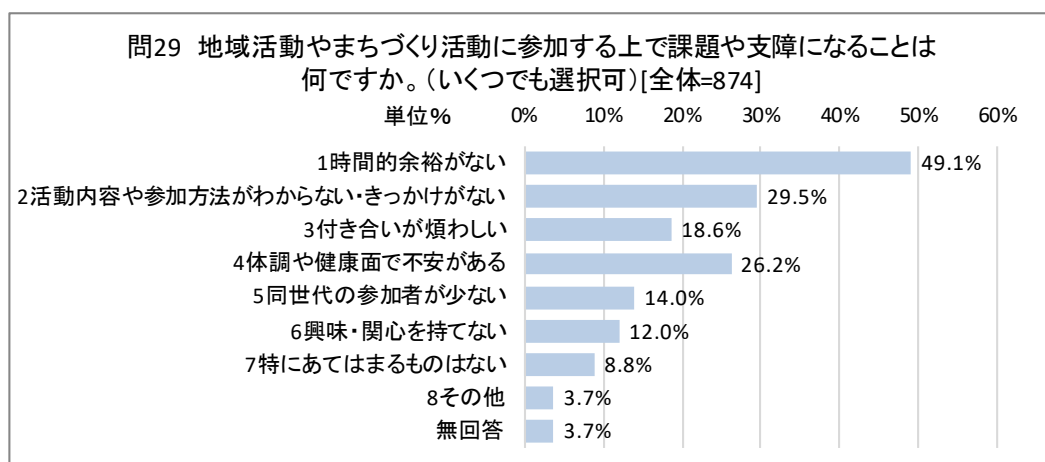
- ・ 全体として大きな男女差は見られない



問 29 地域活動やまちづくり活動に参加する上で課題や支障になることは何ですか。(いくつでも選択可)

- ・ 地域活動やまちづくり活動に参加する上で課題や支障になることについて複数回答で尋ねたところ、「1. 時間的余裕がない」が 49.1%と最も多かった。次いで、「2. 活動内容や参加方法がわからない・きっかけがない」が 29.5%であり、情報不足も障壁となっていることが示唆される。
- ・ 「4. 体調や健康面で不安がある」(26.2%)と「3. 付き合いが煩わしい」(18.6%)も一定の割合で選ばれている。
- ・ 一方、「5. 同世代の参加者が少ない」(14.0%)や「6. 興味・関心を持ってない」(12.0%)は、他の要因と比べるとやや低い割合となっている。
- ・ 「7. 特にあてはまるものはない」は 8.8%と一定数おり、活動参加に対して大きな障害を感じていない層も存在する。

	人数	%
1時間的余裕がない	429	49.1%
2活動内容や参加方法がわからない・きっかけがない	258	29.5%
3付き合いが煩わしい	163	18.6%
4体調や健康面で不安がある	229	26.2%
5同世代の参加者が少ない	122	14.0%
6興味・関心を持ってない	105	12.0%
7特にあてはまるものはない	77	8.8%
8その他	32	3.7%
無回答	32	3.7%
全体	874	100.0%



年代別集計

- ・ 「1.時間的余裕がない」の割合は、30代(75.5%)以上は年代が上がるにつれて低下し、特に70代以上では顕著に減少する(70代: 36.2%、80歳以上: 12.5%)。
- ・ 「4.体調や健康面で不安がある」の割合は60代(21.7%)以降急激に増加し、特に80歳以上では67.0%に及ぶ。
- ・ 「2.活動内容や参加方法がわからない・きっかけがない」は、30代(37.7%)から60代(35.5%)で他の年齢層よりも高い
- ・ 「3.付き合いが煩わしい」の割合は、若干の変動はあるが、年齢層が上がると低下する傾向がある(10-20代 36.8%、80歳以上 11.6%)。
- ・ 「5.同世代の参加者が少ない」は若年層と高齢層のほうが高い傾向がある(10-20代: 39.5%、80歳以上: 25.9%)。

問1年代 と 問29地域活動やまちづくり活動に参加する上で課題や支障になることは何ですかのクロス表（複数回答）

問29地域活動やまちづくり活動に参加する上で課題や支障になることは何ですか

		1. 時間的余裕がない	2. 活動内容や参加方法がわからない・きっかけがない	3. 付き合いが煩わしい	4. 体調や健康面で不安がある	5. 同世代の参加者が少ない	6. 興味・関心を持ってない	7. 特にあてはまるものはない	8. その他	回答人数
問1年代	1. 10-20代	22	11	14	6	15	8	2	0	38
		57.9%	28.9%	36.8%	15.8%	39.5%	21.1%	5.3%	0.0%	100.0%
	2. 30代	40	20	10	3	10	8	5	3	53
		75.5%	37.7%	18.9%	5.7%	18.9%	15.1%	9.4%	5.7%	100.0%
	3. 40代	92	52	32	6	17	21	5	8	131
		70.2%	39.7%	24.4%	4.6%	13.0%	16.0%	3.8%	6.1%	100.0%
	4. 50代	106	47	33	20	9	20	10	4	151
		70.2%	31.1%	21.9%	13.2%	6.0%	13.2%	6.6%	2.6%	100.0%
	5. 60代	86	59	36	36	14	22	19	10	166
		51.8%	35.5%	21.7%	21.7%	8.4%	13.3%	11.4%	6.0%	100.0%
	6. 70代	68	49	24	83	28	19	25	3	188
		36.2%	26.1%	12.8%	44.1%	14.9%	10.1%	13.3%	1.6%	100.0%
	7. 80歳以上	14	19	13	75	29	6	11	4	112
		12.5%	17.0%	11.6%	67.0%	25.9%	5.4%	9.8%	3.6%	100.0%
	回答人数	428	257	162	229	122	104	77	32	839

性別集計

- ・「2.活動内容や参加方法がわからない・きっかけがない」は女性(34.7%)のほうが男性(25.8%)よりも高い。

問2性別 と 問29地域活動やまちづくり活動に参加する上で課題や支障になることは何ですかのクロス表（複数回答）

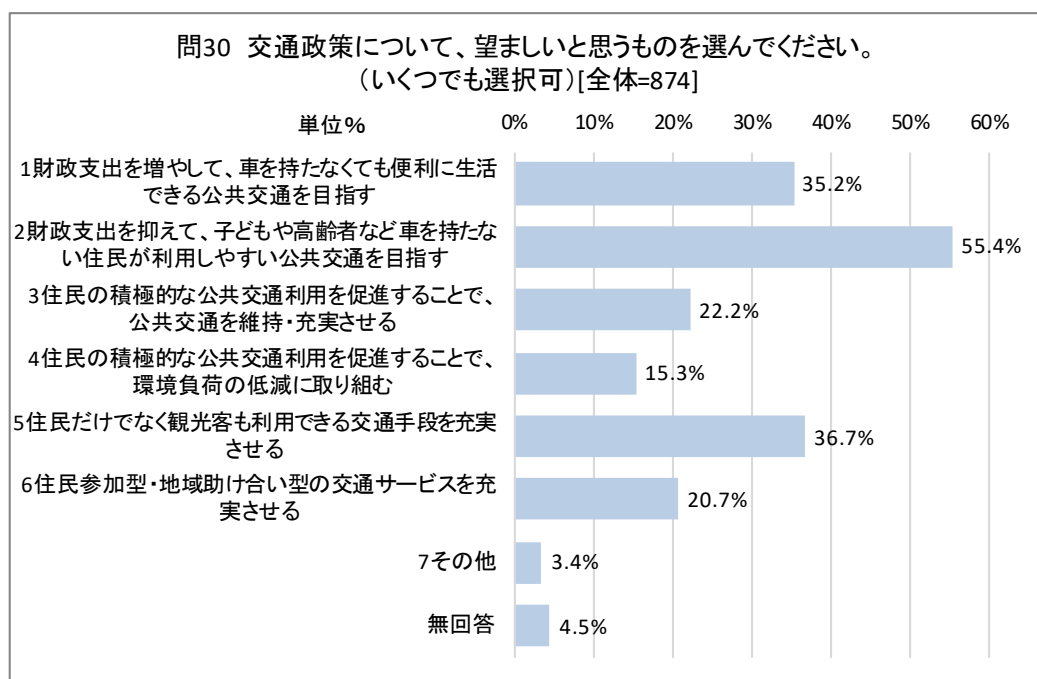
問29地域活動やまちづくり活動に参加する上で課題や支障になることは何ですか

		1. 時間的余裕がない	2. 活動内容や参加方法がわからない・きっかけがない	3. 付き合いが煩わしい	4. 体調や健康面で不安がある	5. 同世代の参加者が少ない	6. 興味・関心を持ってない	7. 特にあてはまるものはない	8. その他	回答人数
問2性別	1. 男性	187	94	72	102	53	43	28	18	365
		51.2%	25.8%	19.7%	27.9%	14.5%	11.8%	7.7%	4.9%	100.0%
	2. 女性	223	149	83	111	58	54	43	14	429
		52.0%	34.7%	19.3%	25.9%	13.5%	12.6%	10.0%	3.3%	100.0%
	3. その他・回答しない	9	3	3	3	3	3	2	0	15
		60.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	13.3%	0.0%	100.0%
	回答人数	419	246	158	216	114	100	73	32	809

問 30 交通政策について、望ましいと思うものを選んでください。(いくつでも選択可)

- ・ 「交通政策について、望ましいと思うもの」を複数回答で尋ねたところ、「2. 財政支出を抑えて、子どもや高齢者など車を持たない住民が利用しやすい公共交通を目指す」が 55.4%と最も高かった。
- ・ 次いで、「5. 住民だけでなく観光客も利用できる交通手段を充実させる」が 36.7%、「1. 財政支出を増やして、車を持たなくても便利に生活できる公共交通を目指す」が 35.2%と比較的高かった。
- ・ 「3. 住民の積極的な公共交通利用を促進することで、公共交通を維持・充実させる」(22.2%)や、「6. 住民参加型・地域助け合い型の交通サービスを充実させる」(20.7%)も一定の回答があった。
- ・ 一方、「4. 住民の積極的な公共交通利用を促進することで、環境負荷の低減に取り組む」は 15.3%と比較的低かった。

	人数	%
1財政支出を増やして、車を持たなくても便利に生活できる公共交通を目指す	308	35.2%
2財政支出を抑えて、子どもや高齢者など車を持たない住民が利用しやすい公共交通を目指す	484	55.4%
3住民の積極的な公共交通利用を促進することで、公共交通を維持・充実させる	194	22.2%
4住民の積極的な公共交通利用を促進することで、環境負荷の低減に取り組む	134	15.3%
5住民だけでなく観光客も利用できる交通手段を充実させる	321	36.7%
6住民参加型・地域助け合い型の交通サービスを充実させる	181	20.7%
7その他	30	3.4%
無回答	39	4.5%
全体	874	100.0%



年代別集計

- 「2.財政支出を抑えて、子どもや高齢者など車を持たない住民が利用しやすい公共交通を目指す」は全体的に高いが、特に70代(63.5%)と80歳以上(64.2%)で高い。
- 「5.住民だけでなく観光客も利用できる交通手段を充実させる」は比較的若い年代で高いが、特に40代は高い(54.3%)。

問1年代 と 問30交通政策について、望ましいと思うものを選んでくださいのクロス表（複数回答）

		問30交通政策について、望ましいと思うものを選んでください							回答人数
問1年代		1. 財政支出を増やして、車を持たなくても便利に生活できる公共交通を目指す	2. 財政支出を抑えて、子どもや高齢者など車を持たない住民が利用しやすい公共交通を目指す	3. 住民の積極的な公共交通利用を促進することで、公共交通を維持・充実させる	4. 住民の積極的な公共交通利用を促進することで、環境負荷の低減に取り組む	5. 住民だけでなく観光客も利用できる交通手段を充実させる	6. 住民参加型・地域助け合い型の交通サービスを充実させる	7. その他	
1. 10-20代		13	20	10	4	16	9	3	38
		34.2%	52.6%	26.3%	10.5%	42.1%	23.7%	7.9%	100.0%
2. 30代		22	30	14	10	22	5	1	54
		40.7%	55.6%	25.9%	18.5%	40.7%	9.3%	1.9%	100.0%
3. 40代		43	67	34	25	70	29	9	129
		33.3%	51.9%	26.4%	19.4%	54.3%	22.5%	7.0%	100.0%
4. 50代		45	84	36	21	61	28	11	151
		29.8%	55.6%	23.8%	13.9%	40.4%	18.5%	7.3%	100.0%
5. 60代		61	92	36	20	55	30	3	163
		37.4%	56.4%	22.1%	12.3%	33.7%	18.4%	1.8%	100.0%
6. 70代		72	122	38	35	66	52	1	192
		37.5%	63.5%	19.8%	18.2%	34.4%	27.1%	0.5%	100.0%
7. 80歳以上		52	68	25	18	31	28	2	106
		49.1%	64.2%	23.6%	17.0%	29.2%	26.4%	1.9%	100.0%
回答人数		308	483	193	133	321	181	30	833

性別集計

- 「2.財政支出を抑えて、子どもや高齢者など車を持たない住民が利用しやすい公共交通を目指す」は女性(63.0%)のほうが男性(51.2%)よりも高い。

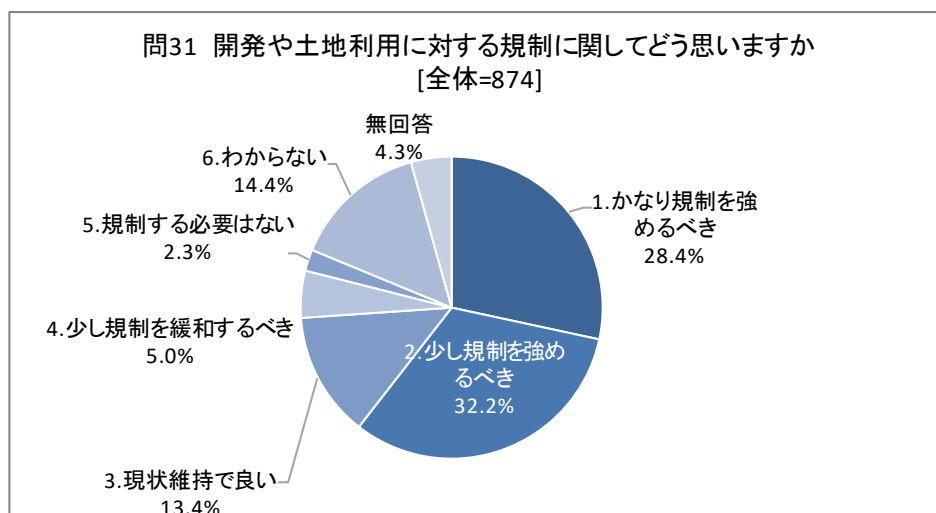
問2性別 と 問30交通政策について、望ましいと思うものを選んでくださいのクロス表（複数回答）

		問30交通政策について、望ましいと思うものを選んでください							回答人数
問2性別		1. 財政支出を増やして、車を持たなくても便利に生活できる公共交通を目指す	2. 財政支出を抑えて、子どもや高齢者など車を持たない住民が利用しやすい公共交通を目指す	3. 住民の積極的な公共交通利用を促進することで、公共交通を維持・充実させる	4. 住民の積極的な公共交通利用を促進することで、環境負荷の低減に取り組む	5. 住民だけでなく観光客も利用できる交通手段を充実させる	6. 住民参加型・地域助け合い型の交通サービスを充実させる	7. その他	
1. 男性		129	186	86	58	141	76	17	363
		35.5%	51.2%	23.7%	16.0%	38.8%	20.9%	4.7%	100.0%
2. 女性		161	267	100	67	161	97	11	424
		38.0%	63.0%	23.6%	15.8%	38.0%	22.9%	2.6%	100.0%
3. その他・回答しない		5	9	4	5	8	0	0	15
		33.3%	60.0%	26.7%	33.3%	53.3%	0.0%	0.0%	100.0%
回答人数		295	462	190	130	310	173	28	802

問 31 開発や土地利用に対する規制に関してどう思いますか。

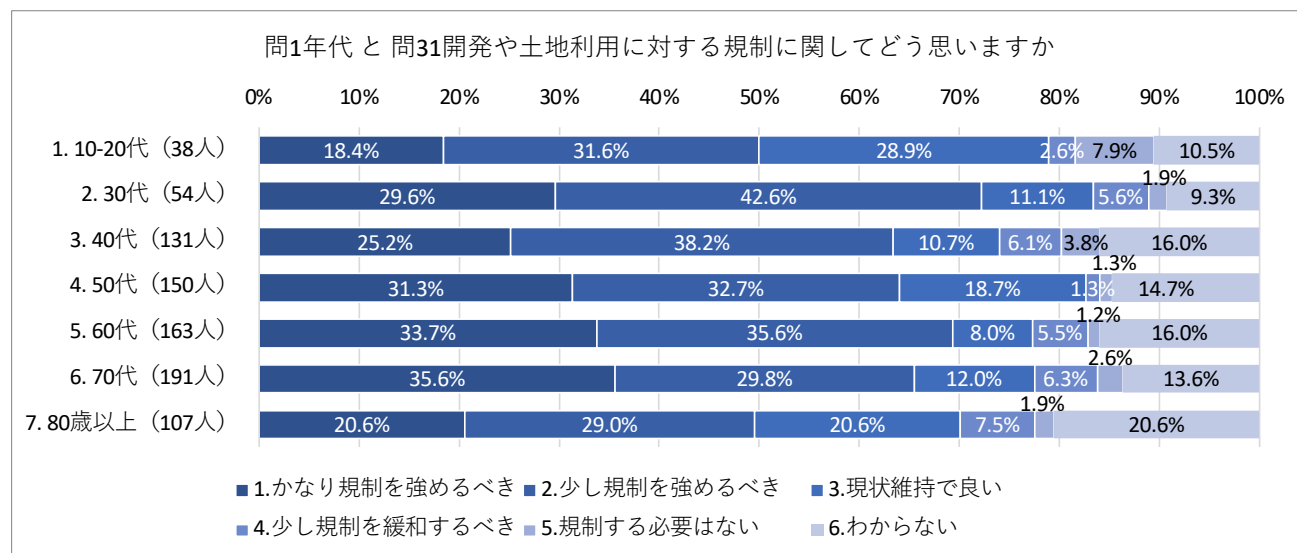
- ・ この設問では、「2. 少し規制を強めるべき」との回答が 32.2%と最も高く、次いで「1. かなり規制を強めるべき」が 28.4%であった。これらを合わせると、60.5%の回答者が「規制を強めるべき」と考えており、規制の強化を求める意見が多数派であることが分かる。
- ・ 一方で、「3. 現状維持で良い」は 13.4%と一定の割合を占めるものの、規制強化を求める意見に比べると割合は少ない。
- ・ 「4. 少し規制を緩和するべき」(5.0%)や「5. 規制する必要はない」(2.3%)といった規制の緩和を求める意見は少数にとどまった。
- ・ 「6. わからない」を選んだ人が 14.4%と一定数いることがわかる。

	人数	%
1. かなり規制を強めるべき	248	28.4%
2. 少し規制を強めるべき	281	32.2%
3. 現状維持で良い	117	13.4%
4. 少し規制を緩和するべき	44	5.0%
5. 規制する必要はない	20	2.3%
6. わからない	126	14.4%
無回答	38	4.3%
全体	874	100.0%



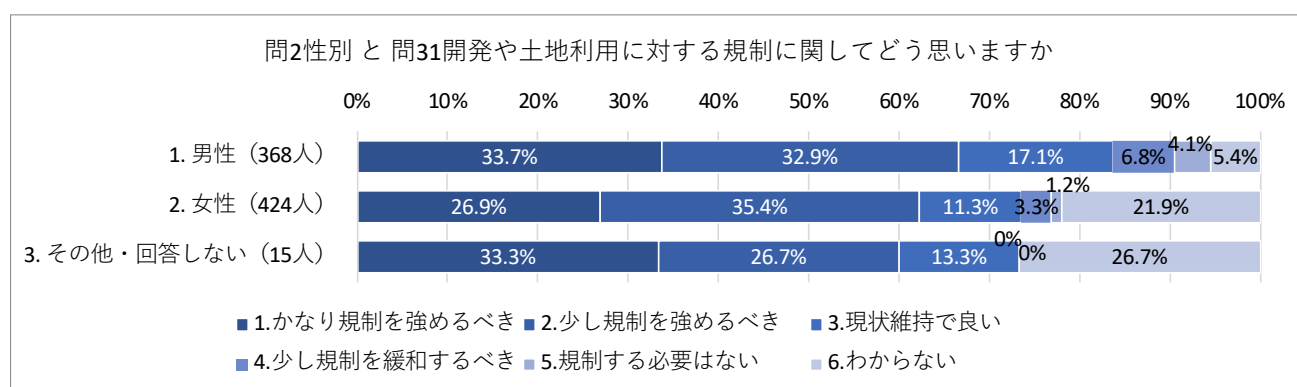
年代別集計

- ・ 「1.かなり規制を強めるべき」「2.少し規制を強めるべき」と考える割合は、30代(72.2%)が最も高く、続いて60代(69.3%)が高かった。
- ・ 一方、10～20代(50.0%)や80歳以上(49.5%)ではやや低めだった
- ・ 「3.現状維持でよい」は10～20代(28.9%)と80歳以上(20.6%)で、他の年代よりも高い。
- ・ 「4.少し規制を緩和するべき」「5.規制する必要はない」は全年代で低い。



性別集計

- ・ 「1.かなり規制を強めるべき」と回答した割合は男性(33.7%)のほうが、女性(26.9%)よりも高かった。
- ・ 「4.少し規制を緩和するべき」「5.規制する必要はない」を合計すると、男性(10.9%)のほうが女性(4.5%)よりも高い。
- ・ 「6. わからない」と回答した割合は女性(21.9%)のほうが男性(5.4%)より顕著に高い。

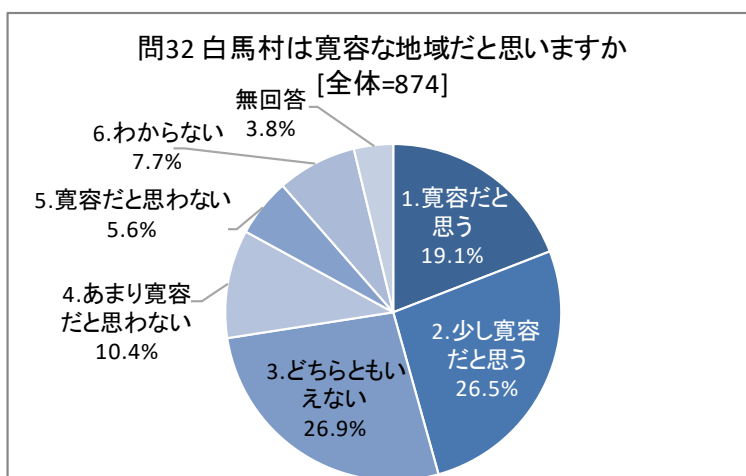


IV 地域と暮らしの状況

問 32 白馬村は寛容な地域だと思いますか。

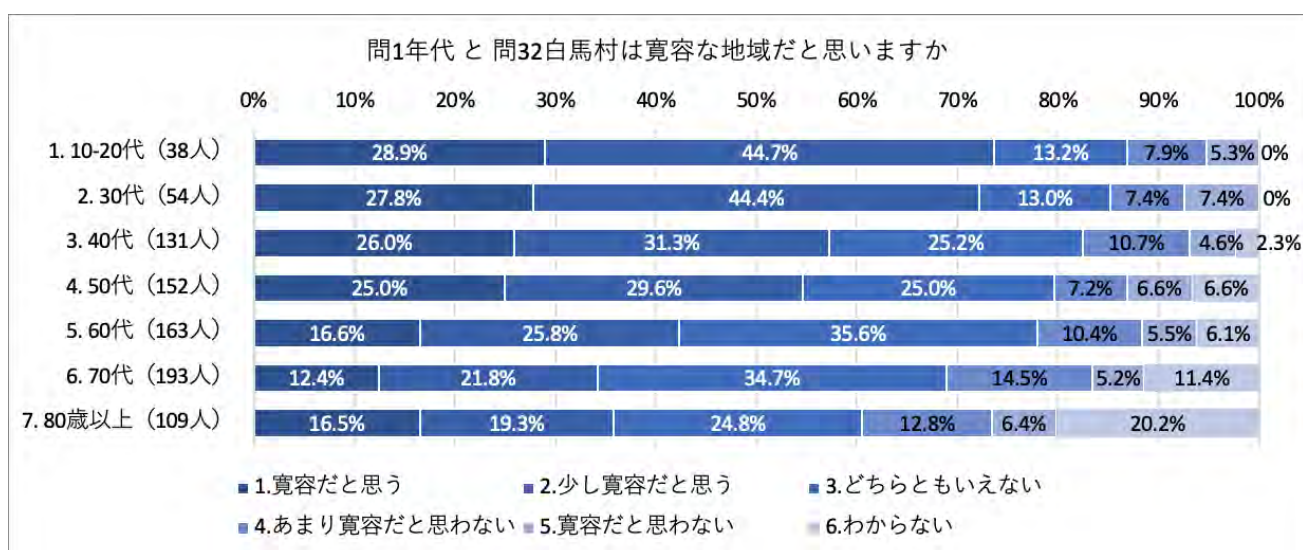
- ・ 白馬村は寛容な地域だと思うかを尋ねたところ、「3. どちらともいえない」が 26.9%と最も高かった。次いで「2. 少し寛容だと思う」が 26.5%と僅差で続く。
- ・ また、「1. 寛容だと思う」も 19.1%と比較的高い割合を占めており、「2. 少し寛容だと思う」と合わせると 45.7%の回答者が「寛容だ」と感じていることが分かる。
- ・ 対照的に、「4. あまり寛容だと思わない」(10.4%)と「5. 寛容だと思わない」(5.6%)を合わせた割合は 16.0%にとどまり、寛容ではないと感じる層は少数派であることが分かる。
- ・ また、「6. わからない」を選んだ回答者は 7.7%いた。

	人数	%
1. 寛容だと思う	167	19.1%
2. 少し寛容だと思う	232	26.5%
3. どちらともいえない	235	26.9%
4. あまり寛容だと思わない	91	10.4%
5. 寛容だと思わない	49	5.6%
6. わからない	67	7.7%
無回答	33	3.8%
全体	874	100.0%



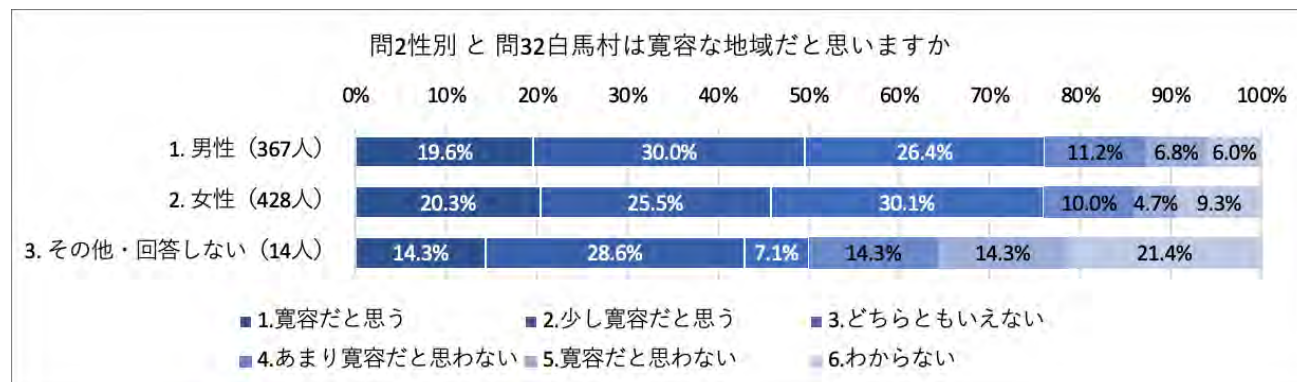
年代別集計

- ・ 「寛容」と感じる人は若い年代ほど高い傾向が見られた。「1. 寛容だと思う」「2. 少し寛容だと思う」を合計すると、10-20 代の 73.7%が最も高く、次いで僅差で 30 代(72.2%)が続いていた。
- ・ 40 代(57.3%)以降は、「1. 寛容だと思う」「2. 少し寛容だと思う」の合計割合は、若干の変動はあるが減少していく。
- ・ 「6. わからない」との回答は 80 歳以上(20.2%)が最も高い。



性別集計

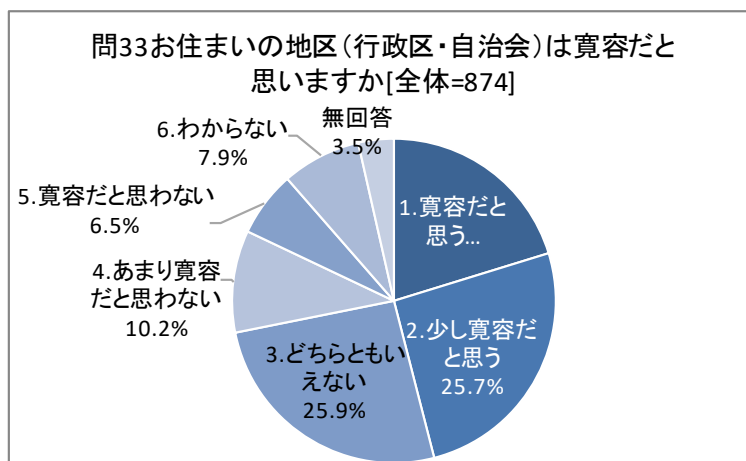
- ・ 全体的に大きな男女差は見られなかった。



問 33 お住まいの地区(行政区・自治会)は寛容だと思いますか。

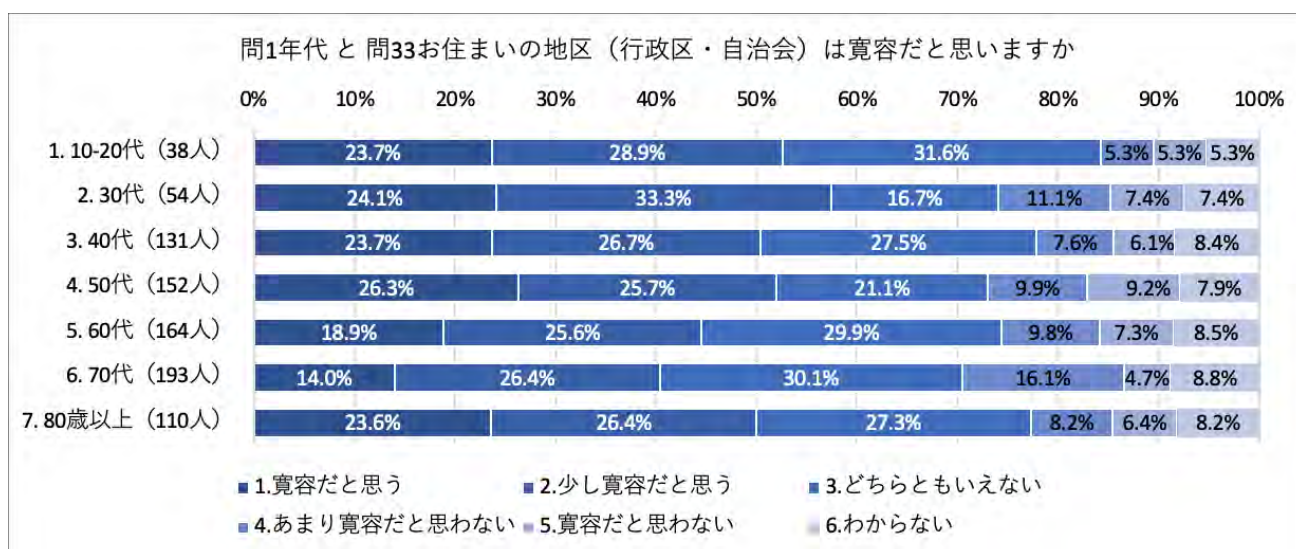
- ・ 「暮らしている地区(行政区・自治会)は寛容だと思うか」を尋ねたところ、「3. どちらともいえない」が 25.9%と最も高かった。次いで「2. 少し寛容だと思う」(25.7%) がほぼ同じ割合で続いている。
- ・ 「1.寛容だと思う」「2. 少し寛容だと思う」を合わせると 46.0%の回答者が「寛容だ」と感じていることが分かる。この割合は白馬村の寛容度に関する質問(問 32)とほぼ同様である。
- ・ 「4. あまり寛容だと思わない」と「5. 寛容だと思わない」を合わせた割合は 16.7%にとどまり、寛容ではないと考える層は比較的少ないことが分かる。
- ・ 「6. わからない」を選んだ人は 7.9%いた。

	人数	%
1. 寛容だと思う	177	20.3%
2. 少し寛容だと思う	225	25.7%
3. どちらともいえない	226	25.9%
4. あまり寛容だと思わない	89	10.2%
5. 寛容だと思わない	57	6.5%
6. わからない	69	7.9%
無回答	31	3.5%
全体	874	100.0%



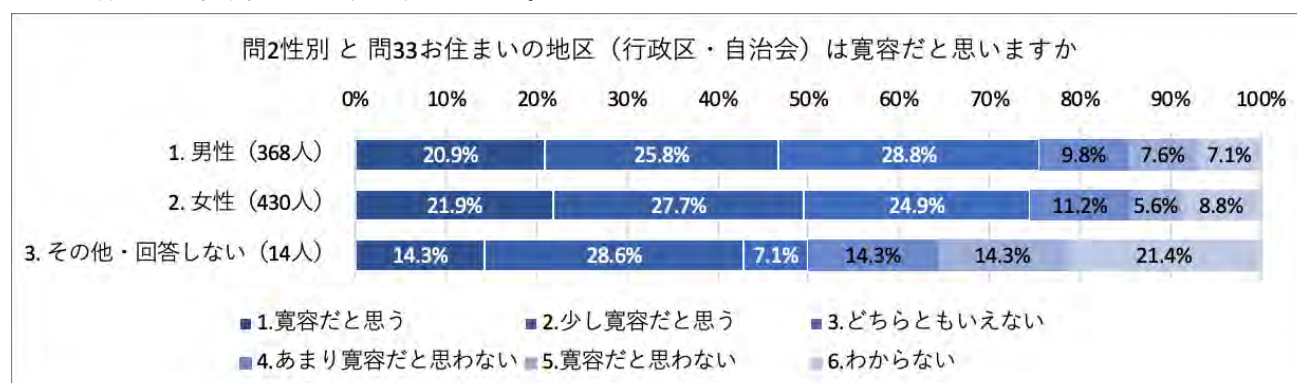
年代別集計

- 「1.寛容だと思う」「2. 少し寛容だと思う」を合わせた回答割合は、30代(57.4%)が最も高く、70代(40.4%)が最も少なかった。



性別集計

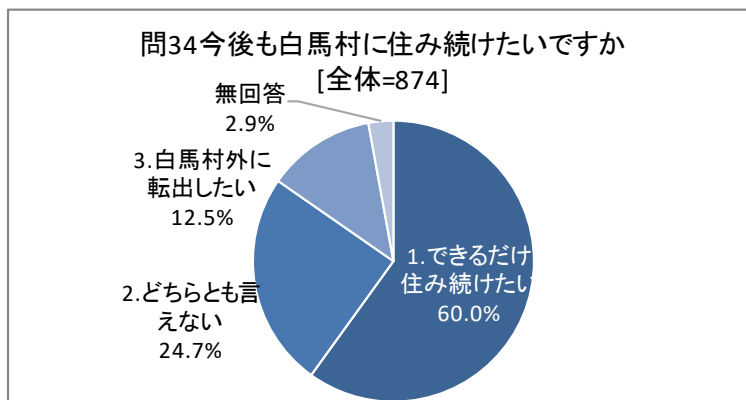
- 全体的に男女間で大きな差は見られない。



問 34 今後も白馬村に住み続けたいですか。

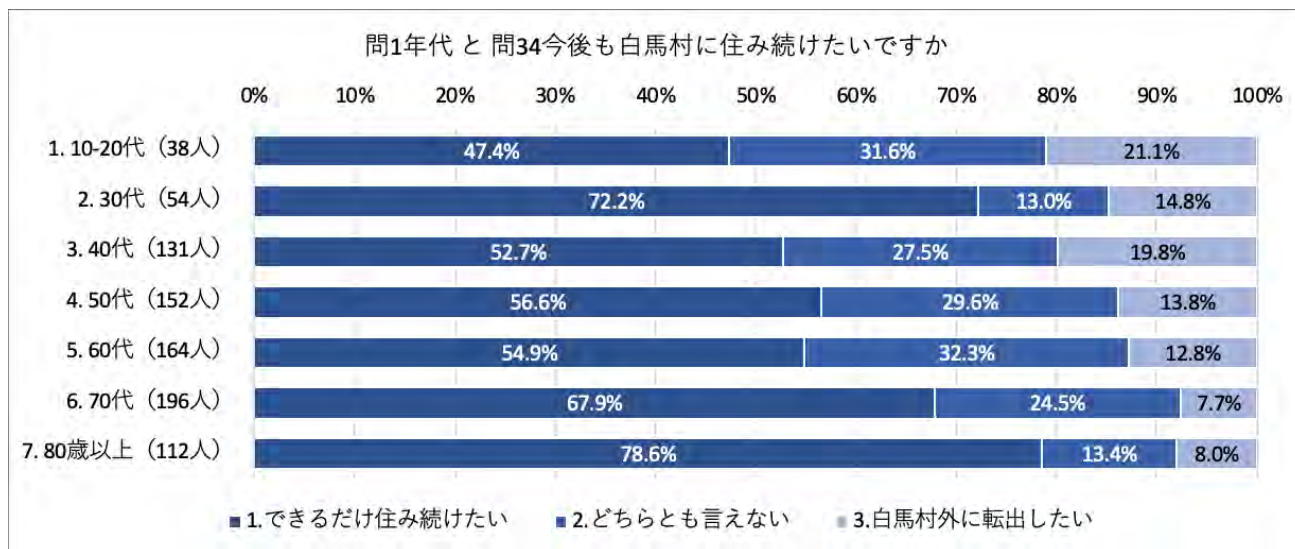
- ・ 今後も白馬村に住み続けたいかを尋ねたところ、「1.できるだけ住み続けたい」が 60.0%と過半数の回答者が選んでいた。次いで高いのは「2.どちらとも言えない」の 24.7%だが、「1.できるだけ住み続けたい」との差は 30 ポイント以上と大きい。
- ・ 「3.白馬村外に転出したい」は 12.5%と比較的低い割合にとどまった。

	人数	%
1. できるだけ住み続けたい	524	60.0%
2. どちらとも言えない	216	24.7%
3. 白馬村外に転出したい	109	12.5%
無回答	25	2.9%
全体	874	100.0%



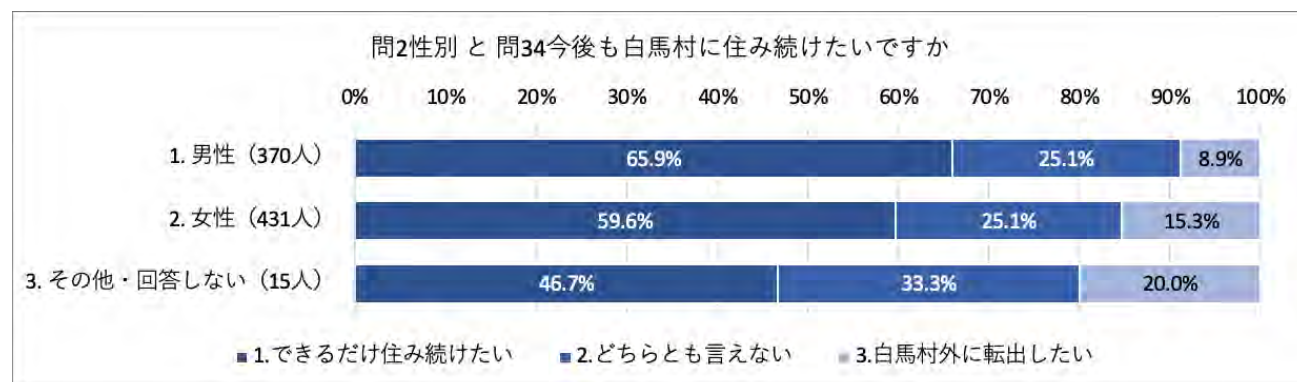
年代別集計

- ・ 「1.できるだけ住み続けたい」を選んだ割合は 80 歳以上 (78.6%) で最も高く、次に高いのは 30 代 (72.2%) であった。
- ・ 「3.白馬村外に転出したい」を選んだ割合は 10-20 代 (21.1%) と 40 代 (19.8%) が高い。



性別集計

- ・ 「1. できるだけ住み続けたい」と回答した割合は、男性(65.9%)のほうが女性(59.6%)より高い。
- ・ 「3. 白馬村外に転出したい」と考える割合は女性(15.3%)のほうが男性(8.9%)より高い。

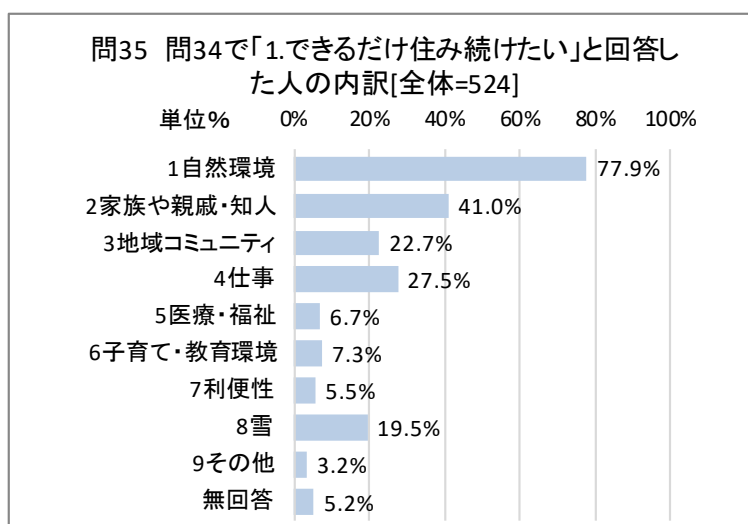


問 35 その理由を教えてください。(いくつでも選択可)

問 34 で「1.できるだけ住み続けたい」と回答した人

- ・ 問 34 の回答理由を複数回答で尋ねたところ、「1.自然環境」が 77.9%と他の選択肢と比べて突出して高かった
- ・ 次いで、「2.家族や親戚・知人」が 41.0%であった。
- ・ 「4.仕事」(27.5%)、「3.地域コミュニティ」(22.7%)、「8.雪」(19.5%)も一定数の回答者がいた
- ・ 「6.子育て・教育環境」(7.3%)、「5.医療・福祉」(6.7%)、「7.利便性」(5.5%)を選んだ回答者は少なかった。

	人数	%
1自然環境	408	77.9%
2家族や親戚・知人	215	41.0%
3地域コミュニティ	119	22.7%
4仕事	144	27.5%
5医療・福祉	35	6.7%
6子育て・教育環境	38	7.3%
7利便性	29	5.5%
8雪	102	19.5%
9その他	17	3.2%
無回答	27	5.2%
全体	524	100.0%



年代別集計

- ・ どの年代も、「1.自然環境」を選ぶ回答者が最も多い。
- ・ 「2.家族や親戚・知人」の割合は、10-20代(52.9%)と80歳以上(51.9%)が他の年代と比べて比較的高い。
- ・ 「4.仕事」は30代(46.2%)、40代(44.1%)が他の年代よりも高い。

1. できるだけ住み続けたい

	1. 自然環境	2. 家族や親戚・知人	3. 地域コミュニティ	4. 仕事	5. 医療・福祉	6. 子育て・教育環境	7. 利便性	8. 雪	9. その他	回答人数
問1										
1. 10-20代	14	9	2	5	1	1	0	5	0	17
	82.4%	52.9%	11.8%	29.4%	5.9%	5.9%	0.0%	29.4%	0.0%	100.0%
2. 30代	34	16	15	18	3	12	3	15	1	39
	87.2%	41.0%	38.5%	46.2%	7.7%	30.8%	7.7%	38.5%	2.6%	100.0%
3. 40代	61	29	15	30	3	11	4	20	0	68
	89.7%	42.6%	22.1%	44.1%	4.4%	16.2%	5.9%	29.4%	0.0%	100.0%
4. 50代	66	34	23	33	6	7	1	19	2	85
	77.6%	40.0%	27.1%	38.8%	7.1%	8.2%	1.2%	22.4%	2.4%	100.0%
5. 60代	73	40	22	28	2	1	7	15	4	88
	83.0%	45.5%	25.0%	31.8%	2.3%	1.1%	8.0%	17.0%	4.5%	100.0%
6. 70代	102	46	28	26	9	4	4	17	6	120
	85.0%	38.3%	23.3%	21.7%	7.5%	3.3%	3.3%	14.2%	5.0%	100.0%
7. 80歳以上	57	41	14	4	11	2	10	11	4	79
	72.2%	51.9%	17.7%	5.1%	13.9%	2.5%	12.7%	13.9%	5.1%	100.0%
回答人数	407	215	119	144	35	38	29	102	17	496

性別集計

- ・ 全体的に「1.自然環境」の割合は高いが、女性(84.6%)のほうが男性(79.7%)よりやや高い傾向がある。
- ・ 「2.家族や親戚・知人」は女性(47.6%)のほうが男性(39.0%)より高い。
- ・ 「8.雪」は男性(28.6%)のほうが女性(13.0%)よりも高い。

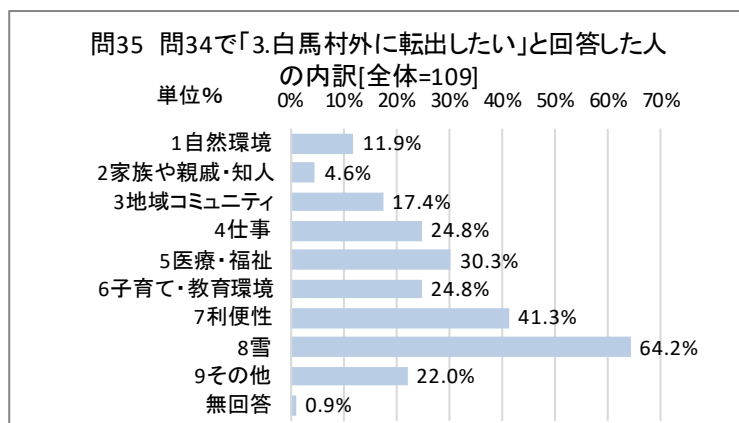
1. できるだけ住み続けたい

	1. 自然環境	2. 家族や親戚・知人	3. 地域コミュニティ	4. 仕事	5. 医療・福祉	6. 子育て・教育環境	7. 利便性	8. 雪	9. その他	回答人数
問2										
1. 男性	184	90	63	71	19	15	14	66	10	231
	79.7%	39.0%	27.3%	30.7%	8.2%	6.5%	6.1%	28.6%	4.3%	100.0%
2. 女性	208	117	52	64	13	22	15	32	7	246
	84.6%	47.6%	21.1%	26.0%	5.3%	8.9%	6.1%	13.0%	2.8%	100.0%
3. その他・回答しない	7	4	3	4	1	1	0	0	0	7
	100.0%	57.1%	42.9%	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
回答人数	399	211	118	139	33	38	29	98	17	484

問 34 で「3.白馬村外に転出したい」と回答した人

- ・ 問 34 の回答理由を複数回答で尋ねたところ、「8.雪」が 64.2%と、過半数がこの選択肢を選択している。
- ・ 次いで、「7.利便性」(41.3%)、「5.医療・福祉」(30.3%)、「4.仕事」「6.子育て・教育環境」(ともに 24.8%)も一定の回答があった。
- ・ 一方で、「1.自然環境」(11.9%)や「2.家族や親戚・知人」(4.6%)は回答者が少なかった。
- ・ 「9. その他」を選んだ回答者も 22.0%と比較的高く、その内容にはインバウンドやオーバーツーリズムをあげる回答が複数あった。

	人数	%
1自然環境	13	11.9%
2家族や親戚・知人	5	4.6%
3地域コミュニティ	19	17.4%
4仕事	27	24.8%
5医療・福祉	33	30.3%
6子育て・教育環境	27	24.8%
7利便性	45	41.3%
8雪	70	64.2%
9その他	24	22.0%
無回答	1	0.9%
全体	874	100.0%



年代別集計

- ・ 「8.雪」を上げる回答者は、50代(76.2%)、80歳以上(75.0%)で高い。
- ・ 「6.子育て・教育環境」は30代(75.0%)で最も高く、その後40代(46.2%)、50代(19.0%)と急激に低下し、70代以降では0%になる。
- ・ 「3.地域コミュニティ」と「4.仕事」は10-20代で50.0%と高い。
- ・ 「5.医療・福祉」は80歳以上で62.5%と最も高い。

3. 白馬村外に転出したい

	1. 自然環境	2. 家族や親戚・知人	3. 地域コミュニティ	4. 仕事	5. 医療・福祉	6. 子育て・教育環境	7. 利便性	8. 雪	9. その他	回答人数
問 1. 10-20代	1	1	4	4	1	4	3	2	1	8
	12.5%	12.5%	50.0%	50.0%	12.5%	50.0%	37.5%	25.0%	12.5%	100.0%
2. 30代	1	0	1	2	3	6	4	5	2	8
	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	37.5%	75.0%	50.0%	62.5%	25.0%	100.0%
3. 40代	2	1	8	8	10	12	13	18	7	26
	7.7%	3.8%	30.8%	30.8%	38.5%	46.2%	50.0%	69.2%	26.9%	100.0%
4. 50代	3	0	1	6	5	4	10	16	6	21
	14.3%	0.0%	4.8%	28.6%	23.8%	19.0%	47.6%	76.2%	28.6%	100.0%
5. 60代	2	2	3	4	6	1	8	13	4	21
	9.5%	9.5%	14.3%	19.0%	28.6%	4.8%	38.1%	61.9%	19.0%	100.0%
6. 70代	2	0	1	1	3	0	3	9	3	15
	13.3%	0.0%	6.7%	6.7%	20.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	100.0%
7. 80歳以上	2	0	0	1	5	0	3	6	1	8
	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	62.5%	0.0%	37.5%	75.0%	12.5%	100.0%
回答人数	13	4	18	26	33	27	44	69	24	107

性別集計

- ・ 「8.雪」の割合は女性(70.8%)のほうが男性(51.5%)よりも高い。
- ・ 「7.利便性」も女性(50.8%)が男性(15.2%)を大きく上回っている。

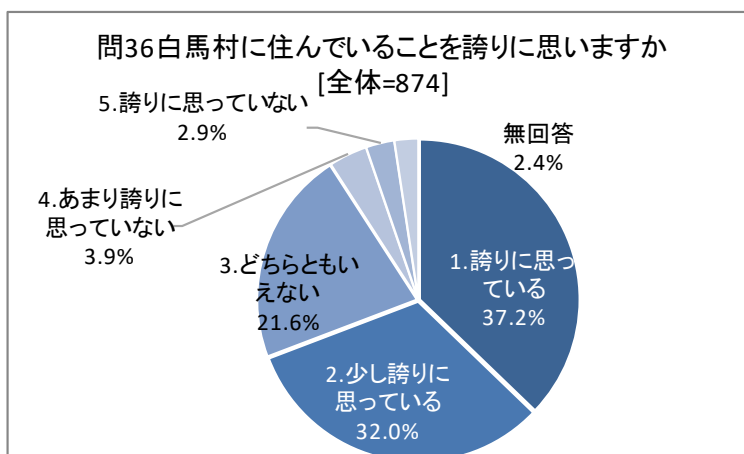
3. 白馬村外に転出したい

		1. 自然環境	2. 家族や 親戚・知 人	3. 地域コ ミュニ ティ	4. 仕事	5. 医療・ 福祉	6. 子育 て・教育 環境	7. 利便性	8. 雪	9. その他	回答人数
問2 性別	1. 男性	3	1	5	9	7	3	5	17	9	33
		9.1%	3.0%	15.2%	27.3%	21.2%	9.1%	15.2%	51.5%	27.3%	100.0%
	2. 女性	9	3	10	15	24	24	33	46	13	65
		13.8%	4.6%	15.4%	23.1%	36.9%	36.9%	50.8%	70.8%	20.0%	100.0%
3. その他・ 回答しない		0	0	2	2	0	0	3	3	0	3
		0.0%	0.0%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%
回答人数		12	4	17	26	31	27	41	66	22	101

問 36 白馬村に住んでいることを誇りに思いますか。

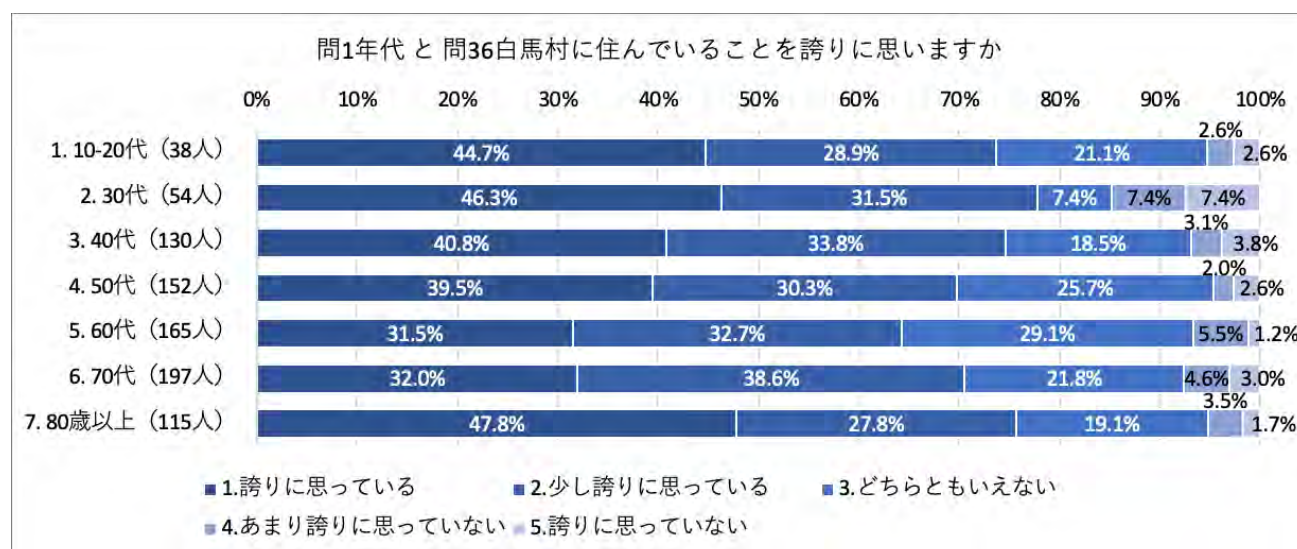
- 「白馬村に住んでいることを誇りに思っているか」を尋ねたところ、「1. 誇りに思っている」が 37.2%と最も高く、次いで「2. 少し誇りに思っている」が 32.0%と続いている。これらを合わせると、69.2%の回答者が誇りを感じていることが分かる。
- 「4. あまり誇りに思っていない」(3.9%)と「5. 誇りに思っていない」(2.9%)の否定的な評価は合わせて 6.8%にとどまった。

	人数	%
1. 誇りに思っている	325	37.2%
2. 少し誇りに思っている	280	32.0%
3. どちらともいえない	189	21.6%
4. あまり誇りに思っていない	34	3.9%
5. 誇りに思っていない	25	2.9%
無回答	21	2.4%
全体	874	100.0%



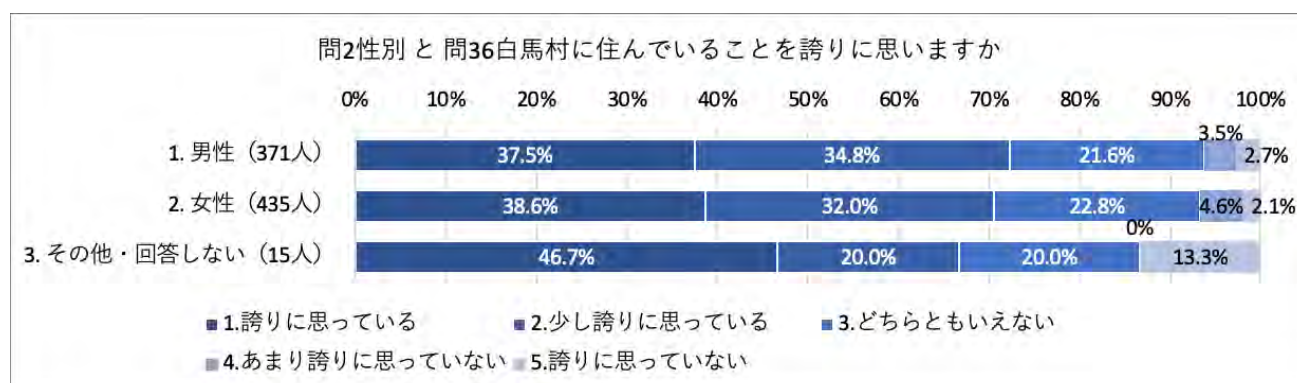
年代別集計

- 「1.誇りに思っている」との回答割合が一番高いのは、80 歳以上(47.8%)、続いて 30 代(46.3%)、10～20 代(44.7%)の順であった。
- 次いで、40 代(40.8%)と 50 代(39.5%)が続く。
- 一番低いのは、60 代(31.5%)、70 代(32.0%)であった。



性別集計

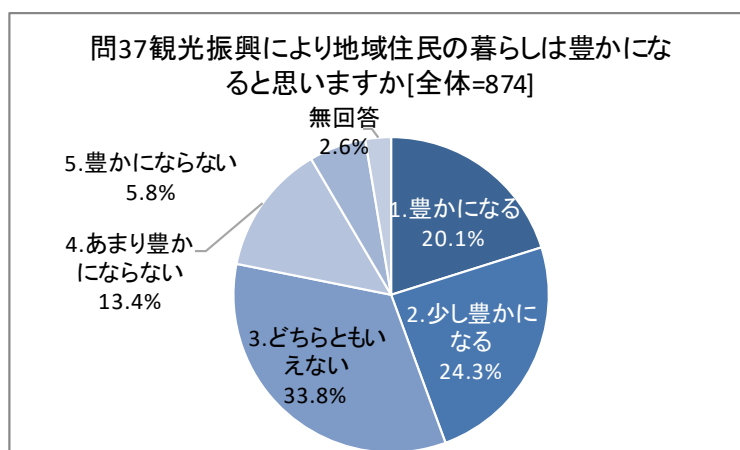
- ・ 全体的に男女による顕著な違いは見られない。



問 37 観光振興により地域住民の暮らしは豊かになると思いますか。

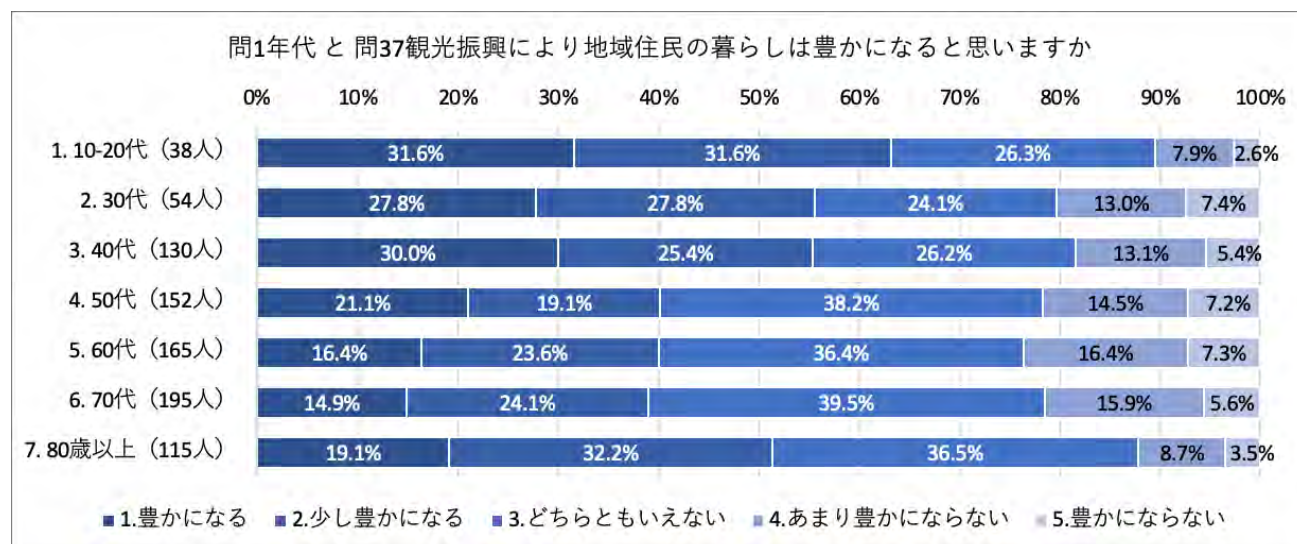
- ・ 「観光振興により地域住民の暮らしは豊かになると思うか」を尋ねたところ、回答割合が最も高かったのは「3. どちらともいえない」の 33.8%であった。
- ・ 次いで、「2. 少し豊かになる」が 24.3%、「1. 豊かになる」が 20.1%となっており、合わせると 44.4%の回答者が「豊かになる」と考えている。
- ・ 一方で、「4. あまり豊かにならない」(13.4%)と「5. 豊かにならない」(5.8%)を合わせた割合は 19.2%であった。

	人数	%
1. 豊かになる	176	20.1%
2. 少し豊かになる	212	24.3%
3. どちらともいえない	295	33.8%
4. あまり豊かにならない	117	13.4%
5. 豊かにならない	51	5.8%
無回答	23	2.6%
全体	874	100.0%



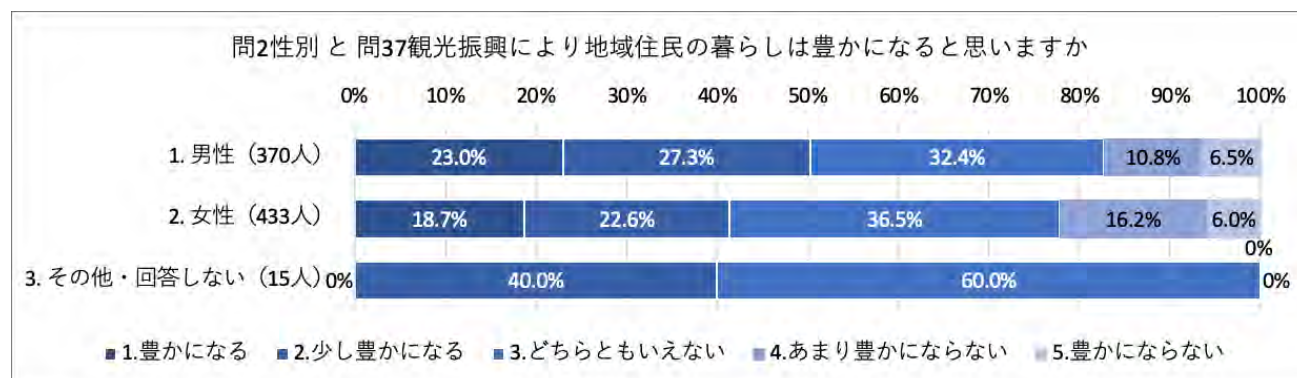
年代別集計

- ・ 「1.豊かになる」「2.少し豊かになる」を合計した割合は 10～20 代 (63.2%)で最も高く、30 代 (55.6%)や 40 代 (55.4%)でも高い割合を示しているが、50 代以降は 40%前後で推移する。ただし、80 歳以降は 51.3%と再び増える。



性別集計

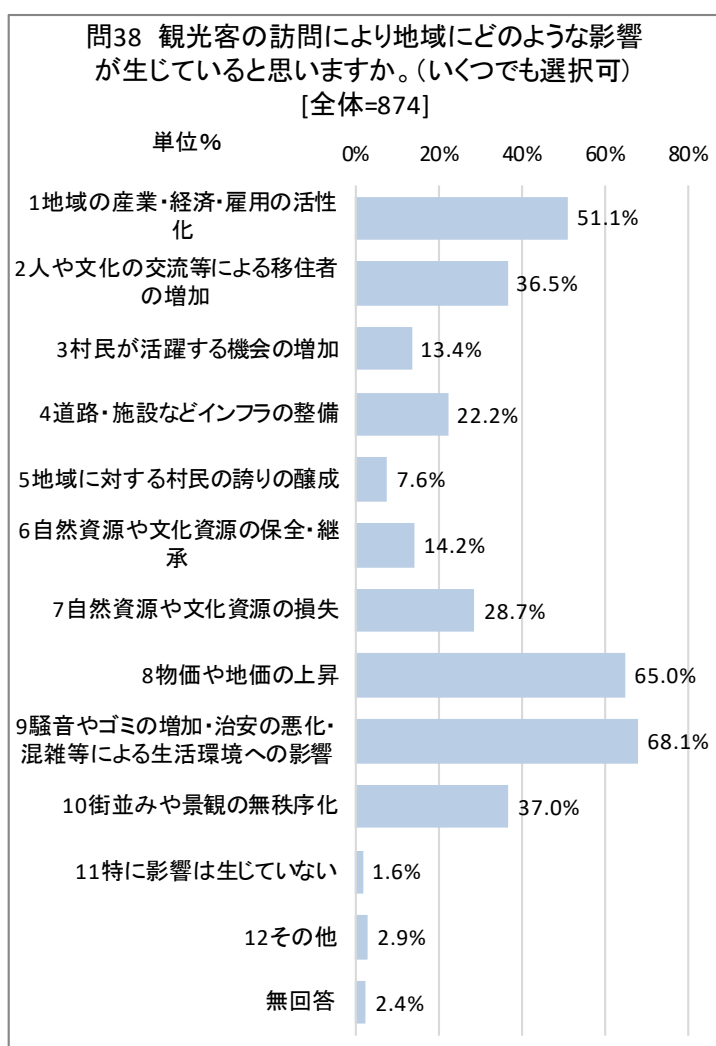
- ・ 「1. 豊かになる」「2.少し豊かになる」と回答する割合は、男性(50.3%)のほうが女性(41.3%)より高い。



問 38 観光客の訪問により地域にどのような影響が生じていると思いますか。(いくつでも選択可)

- ・ 観光客の訪問により地域にどのような影響が生じていると思うかを複数回答で尋ねたところ、「9.騒音やゴミの増加・治安の悪化・混雑等による生活環境への影響」(68.1%)が最も高く、「8.物価や地価の上昇」(65.0%)が続く。
- ・ さらにネガティブな影響としては、「10.街並みや景観の無秩序化」(37.0%)、「7.自然資源や文化資源の損失」(28.7%)も一定の割合で選ばれていた。
- ・ ポジティブな要素を含む回答としては、「1.地域の産業・経済・雇用の活性化」(51.1%)と「2.人や文化の交流等による移住者の増加」(36.5%)、「4.道路・施設などインフラの整備」(22.2%)が高かった。
- ・ 一方で、「5.地域に対する村民の誇りの醸成」(7.6%)、「6.自然資源や文化資源の保全・継承」(14.2%)、「3.村民が活躍する機会の増加」(13.4%)を選択した回答者は比較的少なかった

	人数	%
1地域の産業・経済・雇用の活性化	447	51.1%
2人や文化の交流等による移住者の増加	319	36.5%
3村民が活躍する機会の増加	117	13.4%
4道路・施設などインフラの整備	194	22.2%
5地域に対する村民の誇りの醸成	66	7.6%
6自然資源や文化資源の保全・継承	124	14.2%
7自然資源や文化資源の損失	251	28.7%
8物価や地価の上昇	568	65.0%
9騒音やゴミの増加・治安の悪化・混雑等による生活環境への影響	595	68.1%
10街並みや景観の無秩序化	323	37.0%
11特に影響は生じていない	14	1.6%
12その他	25	2.9%
無回答	21	2.4%
合計	874	100.0%



年代別集計

- ・ 「8.物価や地価の上昇」は 30 代(77.4%)から 60 代(73.7%)までの年代で多く選ばれている。
- ・ 「9.騒音やゴミの増加・治安の悪化・混雑等による生活環境への影響」も同様の傾向が見られ、30 代(79.2%)から 60 代(78.4%)は回答割合が高かった。
- ・ 一方で、「1.地域の産業・経済・雇用の活性化」の割合は若年層で高く(10-20 代: 60.5%、30 代: 62.3%、40 代: 68.2%)、年代が上がるにつれて低下する。
- ・ 「3.村民が活躍する機会の増加」は 10-20 代(26.3%)と 30 代(35.8%)で高い。

問1年代 と 問38観光客の訪問により地域にどのような影響が生じていると思いますかのクロス表（複数回答）

問38観光客の訪問により地域にどのような影響が生じていると思いますか

		1. 地域の産業・経済・雇用の活性化	2. 人や文化の交流等による移住者の増加	3. 村民が活躍する機会の増加	4. 道路・施設などインフラの整備	5. 地域に対する村民の誇りの醸成	6. 自然資源や文化資源の保全・継承	7. 自然資源や文化資源の損失	8. 物価や地価の上昇	9. 騒音やゴミの増加・治安の悪化・混雑等による生活環境への影響	10. 街並みや景観の無秩序化	11. 特に影響は生じていない	12. その他	回答人数
問1 年代	1. 10-20代	23 60.5%	17 44.7%	10 26.3%	9 23.7%	4 10.5%	8 21.1%	9 23.7%	21 55.3%	23 60.5%	13 34.2%	1 2.6%	1 2.6%	38 100.0%
	2. 30代	33 62.3%	20 37.7%	19 35.8%	13 24.5%	6 11.3%	7 13.2%	25 47.2%	41 77.4%	42 79.2%	24 45.3%	0 0.0%	2 3.8%	53 100.0%
	3. 40代	90 68.2%	68 51.5%	18 13.6%	43 32.6%	18 13.6%	19 14.4%	41 31.1%	96 72.7%	93 70.5%	51 38.6%	1 0.8%	3 2.3%	132 100.0%
	4. 50代	75 50.3%	56 37.6%	13 8.7%	25 16.8%	8 5.4%	11 7.4%	49 32.9%	113 75.8%	119 79.9%	65 43.6%	0 0.0%	7 4.7%	149 100.0%
	5. 60代	82 49.1%	62 37.1%	12 7.2%	30 18.0%	8 4.8%	25 15.0%	59 35.3%	123 73.7%	131 78.4%	63 37.7%	3 1.8%	4 2.4%	167 100.0%
	6. 70代	90 45.5%	56 28.3%	27 13.6%	46 23.2%	16 8.1%	37 18.7%	49 24.7%	127 64.1%	131 66.2%	75 37.9%	6 3.0%	3 1.5%	198 100.0%
	7. 80歳以上	54 47.4%	40 35.1%	18 15.8%	28 24.6%	6 5.3%	16 14.0%	18 15.8%	45 39.5%	55 48.2%	31 27.2%	3 2.6%	5 4.4%	114 100.0%
	回答人数	447	319	117	194	66	123	250	566	594	322	14	25	851

性別集計

- ・ 「1.地域の産業・経済・雇用の活性化」は男性(57.2%)のほうが女性(49.7%)よりも高い。
- ・ 「4.道路・施設などインフラの整備」も男性(26.6%)のほうが、女性(20.5%)よりも高い。

問2性別 と問38観光客の訪問により地域にどのような影響が生じていると思いますか のクロス表（複数回答）

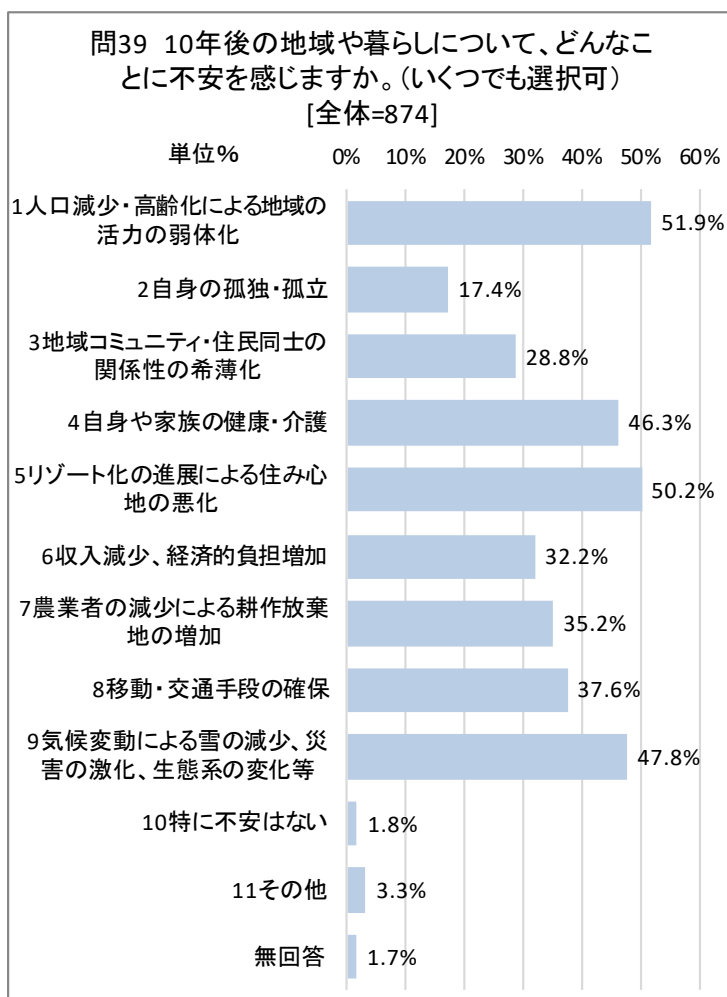
問38観光客の訪問により地域にどのような影響が生じていると思いますか

		1. 地域の産業・経済・雇用の活性化	2. 人や文化の交流等による移住者の増加	3. 村民が活躍する機会の増加	4. 道路・施設などインフラの整備	5. 地域に対する村民の誇りの醸成	6. 自然資源や文化資源の保全・継承	7. 自然資源や文化資源の損失	8. 物価や地価の上昇	9. 騒音やゴミの増加・治安の悪化・混雑等による生活環境への影響	10. 街並みや景観の無秩序化	11. 特に影響は生じていない	12. その他	回答人数
問2 性別	1. 男性	211 57.2%	135 36.6%	56 15.2%	98 26.6%	27 7.3%	55 14.9%	110 29.8%	256 69.4%	257 69.6%	143 38.8%	5 1.4%	12 3.3%	369 ####
	2. 女性	216 49.7%	171 39.3%	55 12.6%	89 20.5%	38 8.7%	62 14.3%	129 29.7%	282 64.8%	304 69.9%	163 37.5%	9 2.1%	13 3.0%	435 ####
	3. その他・回答しない	6 40.0%	3 20.0%	2 13.3%	0 0.0%	1 6.7%	2 13.3%	5 33.3%	11 73.3%	11 73.3%	6 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 ####
	回答人数	433	309	113	187	66	119	244	549	572	312	14	25	819

問 39 10年後の地域や暮らしについて、どんなことに不安を感じますか。(いくつでも選択可)

- ・ 10年後の地域や暮らしについて、どんなことに不安を感じるかについて、複数回答で尋ねたところ、「1.人口減少・高齢化による地域の活力の弱体化」が51.9%と最も回答が多く、次いで「5.リゾート化の進展による住み心地の悪化」(50.2%)、「9.気候変動による雪の減少、災害の激化、生態系の変化等」(47.8%)、「4.自身や家族の健康・介護」(46.3%)と続いている。
- ・ また、「8.移動・交通手段の確保」(37.6%)、「7.農業者の減少による耕作放棄地の増加」(35.2%)、「6.収入減少、経済的負担増加」(32.2%)も一定数の回答がある
- ・ 「2.自身の孤独・孤立」(17.4%)は比較的低い。
- ・ 「10.特に不安はない」は1.8%と低かった。

	人数	%
1人口減少・高齢化による地域の活力の弱体化	454	51.9%
2自身の孤独・孤立	152	17.4%
3地域コミュニティ・住民同士の関係性の希薄化	252	28.8%
4自身や家族の健康・介護	405	46.3%
5リゾート化の進展による住み心地の悪化	439	50.2%
6収入減少、経済的負担増加	281	32.2%
7農業者の減少による耕作放棄地の増加	308	35.2%
8移動・交通手段の確保	329	37.6%
9気候変動による雪の減少、災害の激化、生態系の変化等	418	47.8%
10特に不安はない	16	1.8%
11その他	29	3.3%
無回答	15	1.7%
合計	874	100.0%



年代別集計

- ・ 全体的に、年代が上がるほど選ぶ人が増える項目が多かった。
- ・ 「1.人口減少・高齢化による地域の活力の弱体化」は、70代(61.0%)と80歳以上(61.5%)で最も高い。
- ・ 「2.自身の孤独・孤立」「3.地域コミュニティ・住民同士の関係性の希薄化」は年代が高いほど回答者が緩やかに増える傾向が見られる。
- ・ 「4.自身や家族の健康・介護」も年代が上がるにつれて増加し、60代(58.3%)、70歳(56.0%)が最も高い。
- ・ 「6.収入減少、経済的負担増加」は60代が44.0%と最も高い。
- ・ 「7.農業者の減少による耕作放棄地の増加」は80歳以上で最も高い(51.3%)
- ・ 「8.移動・交通手段の確保」を選ぶ割合も年代が上がるほど増える傾向がある。
- ・ 若年層の選択率が高い項目は「5.リゾート化の進展による住み心地の悪化」であり、30代～60代で最も高く(59.3%～63.1%)、70代以降で低下する。
- ・ 「9.気候変動による雪の減少、災害の激化、生態系の変化等」は30代～40代で60%以上と高い割合になっている。

問1年代 と 問39 10年後の地域や暮らしについて、どんなことに不安を感じますかのクロス表（複数回答）

		問39 10年後の地域や暮らしについて、どんなことに不安を感じますか											回答人数
		1. 人口減少・高齢化による地域の活力の弱体化	2. 自身の孤独・孤立	3. 地域コミュニティ・住民同士の関係性の希薄化	4. 自身や家族の健康・介護	5. リゾート化の進展による住み心地の悪化	6. 収入減少、経済的負担増加	7. 農業者の減少による耕作放棄地の増加	8. 移動・交通手段の確保	9. 気候変動による雪の減少、災害の激化、生態系の変化等	10. 特に不安はない	11. その他	
問1年代	1. 10-20代	21 55.3%	7 18.4%	8 21.1%	11 28.9%	20 52.6%	10 26.3%	12 31.6%	6 15.8%	16 42.1%	2 5.3%	2 5.3%	38 100.0%
	2. 30代	25 46.3%	3 5.6%	16 29.6%	12 22.2%	32 59.3%	18 33.3%	17 31.5%	15 27.8%	36 66.7%	2 3.7%	0 0.0%	54 100.0%
	3. 40代	57 43.5%	19 14.5%	24 18.3%	46 35.1%	77 58.8%	44 33.6%	32 24.4%	36 27.5%	82 62.6%	6 4.6%	4 3.1%	131 100.0%
	4. 50代	69 46.3%	19 12.8%	45 30.2%	67 45.0%	90 60.4%	53 35.6%	44 29.5%	51 34.2%	69 46.3%	2 1.3%	7 4.7%	149 100.0%
	5. 60代	87 51.8%	37 22.0%	44 26.2%	98 58.3%	106 63.1%	74 44.0%	56 33.3%	75 44.6%	87 51.8%	1 0.6%	6 3.6%	168 100.0%
	6. 70代	122 61.0%	35 17.5%	71 35.5%	112 56.0%	87 43.5%	60 30.0%	87 43.5%	97 48.5%	90 45.0%	1 0.5%	3 1.5%	200 100.0%
	7. 80歳以上	72 61.5%	31 26.5%	43 36.8%	59 50.4%	26 22.2%	21 17.9%	60 51.3%	48 41.0%	38 32.5%	2 1.7%	7 6.0%	117 100.0%
	回答人数	453	151	251	405	438	280	308	328	418	16	29	857

性別集計

- ・ 「1.人口減少・高齢化による地域の活力の弱体化」の割合は男女ともに高いが、男性(56.2%)のほうが女性(49.9%)よりも高い。
- ・ 「4.自身や家族の健康・介護」は女性(51.5%)のほうが男性(41.9%)よりも高い。
- ・ 「8.移動・交通手段の確保」と「9.気候変動による雪の減少、災害の激化、生態系の変化等」も女性のほうが男性よりも高い(8は男性 31.7%に対して女性 43.3%、9は男性 45.2% に対して女性 52.6%)。

問2性別 と 問39 10年後の地域や暮らしについて、どんなことに不安を感じますかのクロス表（複数回答）

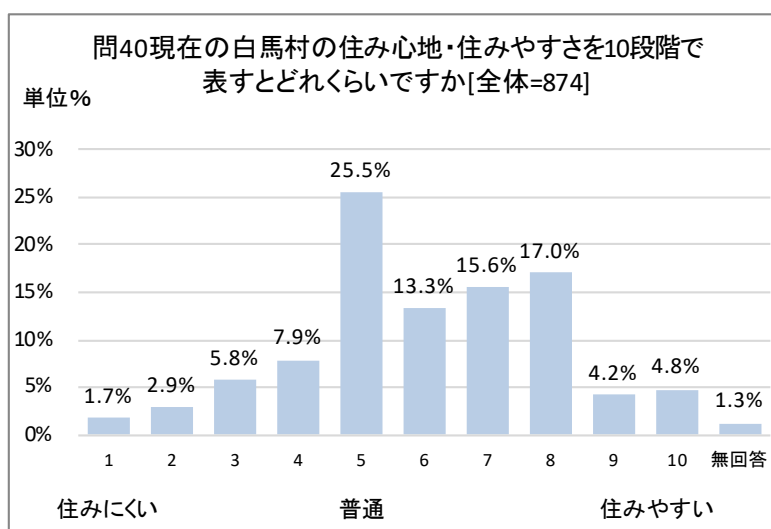
		問39 10年後の地域や暮らしについて、どんなことに不安を感じますか											回答人数
		1. 人口減少・高齢化による地域の活力の弱体化	2. 自身の孤独・孤立	3. 地域コミュニティ・住民同士の関係性の希薄化	4. 自身や家族の健康・介護	5. リゾート化の進展による住み心地の悪化	6. 収入減少、経済的負担増加	7. 農業者の減少による耕作放棄地の増加	8. 移動・交通手段の確保	9. 気候変動による雪の減少、災害の激化、生態系の変化等	10. 特に不安はない	11. その他	
問2性別	1. 男性	209	69	118	156	188	119	143	118	168	7	9	372
		56.2%	18.5%	31.7%	41.9%	50.5%	32.0%	38.4%	31.7%	45.2%	1.9%	2.4%	100.0%
	2. 女性	219	76	122	226	232	155	149	190	231	6	19	439
		49.9%	17.3%	27.8%	51.5%	52.8%	35.3%	33.9%	43.3%	52.6%	1.4%	4.3%	100.0%
	3. その他・回答しない	6	2	2	5	8	2	3	4	4	2	0	14
回答人数		434	147	242	387	428	276	295	312	403	15	28	825

V 住みやすさと豊かさ・幸福度

問 40 現在の白馬村の住み心地・住みやすさを 10 段階で表すとどれくらいですか。

- ・ 現在の白馬村の住み心地・住みやすさを 10 段階で回答してもらったところ、「5(普通)」が 25.5%と最も高いものの、全体として住みやすい方向に分布が広がっていた。平均値は 6.03 だった。
- ・ 「5(普通)」に次いで、「8」(17.0%)、「7」(15.6%)、「6」(13.3%)と比較的高いスコアが続いており、住みやすいと感じる層が一定数いる。一方で、「10(住みやすい)」は 4.8%、「9」は 4.2%と回答者の割合はそれほど高くない。
- ・ 対照的に、「1(住みにくい)」は 1.7%、「2」は 2.9%、「3」は 5.8%、「4」は 7.9%と低い評価をつけた回答者は少ない。

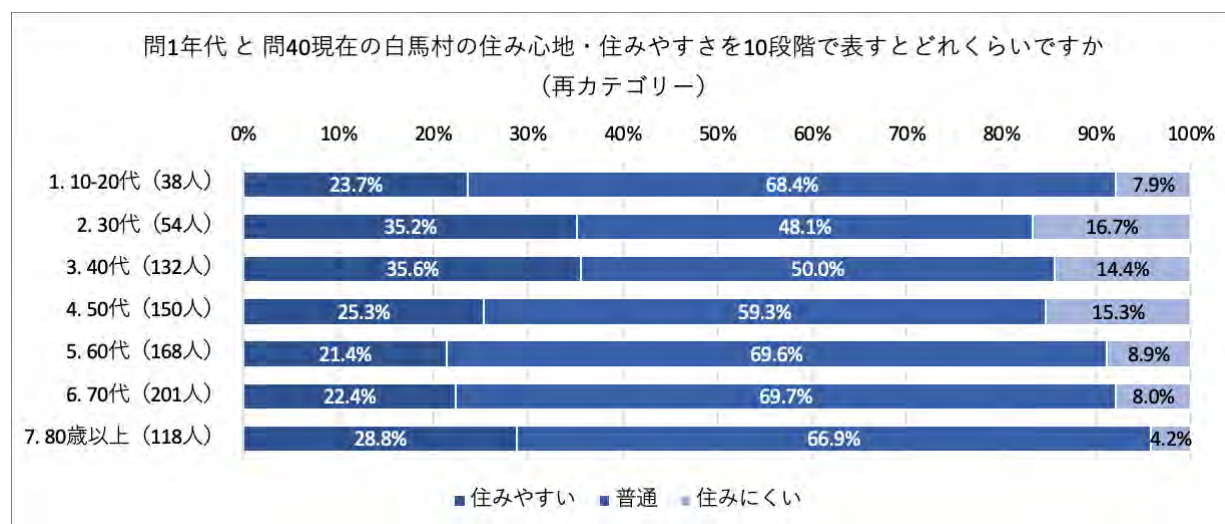
	人数	%
1 (住みたくない)	15	1.7%
2	25	2.9%
3	51	5.8%
4	69	7.9%
5 (普通)	223	25.5%
6	116	13.3%
7	136	15.6%
8	149	17.0%
9	37	4.2%
10 (住みやすい)	42	4.8%
無回答	11	1.3%
全体	874	100.0%
平均値	6.03	
中央値	6.00	
最頻値	5	



年代別・性別集計は、1から3を「住みにくい」、4から7を「普通」、8から10を「住みやすい」に再カテゴリーしたうえで実施した。

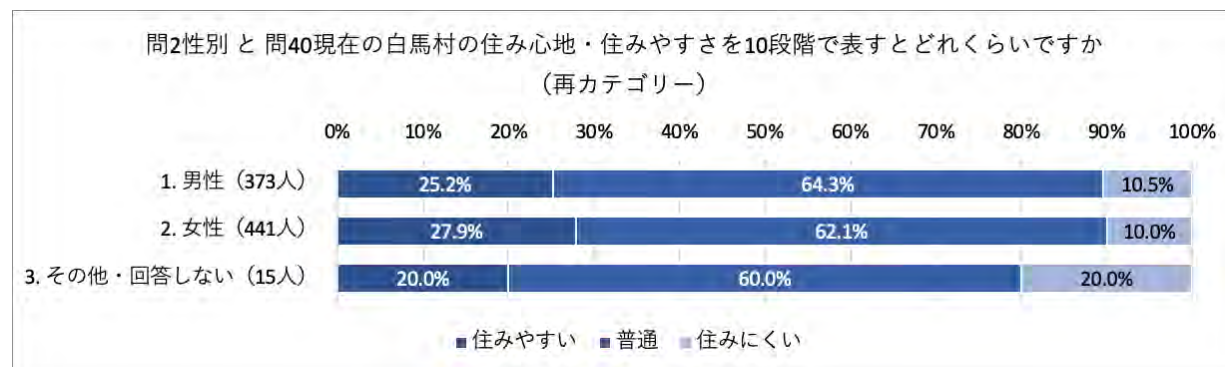
年代別集計

- ・ 「住みやすい」と感じる割合は30代(35.2%)と40代(35.6%)で高い。
- ・ 「普通」と感じる割合は全体的に高い。
- ・ 「住みにくい」と感じる割合は10～20代(7.9%)が最も低く、30代(16.7%)、40代(14.4%)、50代(15.3%)がやや高い。



性別集計

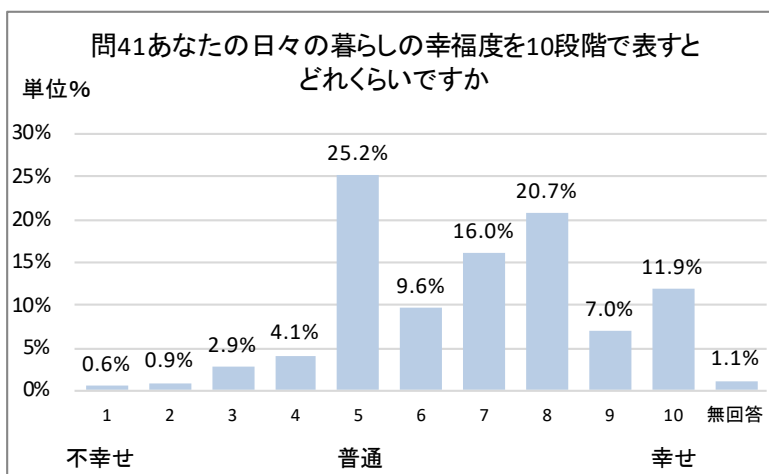
- ・ 男女で顕著な差は見られない。



問 41 あなたの日々の暮らしの幸福度を 10 段階で表すとどれくらいですか。

- ・ 日々の暮らしの幸福度を 10 段階で表してもらったところ、「5(普通)」が 25.2%と最も高いものの、全体として「幸福」寄りに分布が広がっていた。平均値は 6.78 だった。
- ・ 「5(普通)」に次いで、「8」(20.7%)、「7」(16.0%)、「10(幸せ)」(11.9%)、「6」(9.6%)と、高いスコアが続く。これは平均値(6.78)、中央値(7)からもうかがえる。
- ・ 一方で、低いスコア(「1」～「4」)を選んだ人の割合は合計 8.5%にとどまり、不幸せと感じている人は少数派であることが分かる。

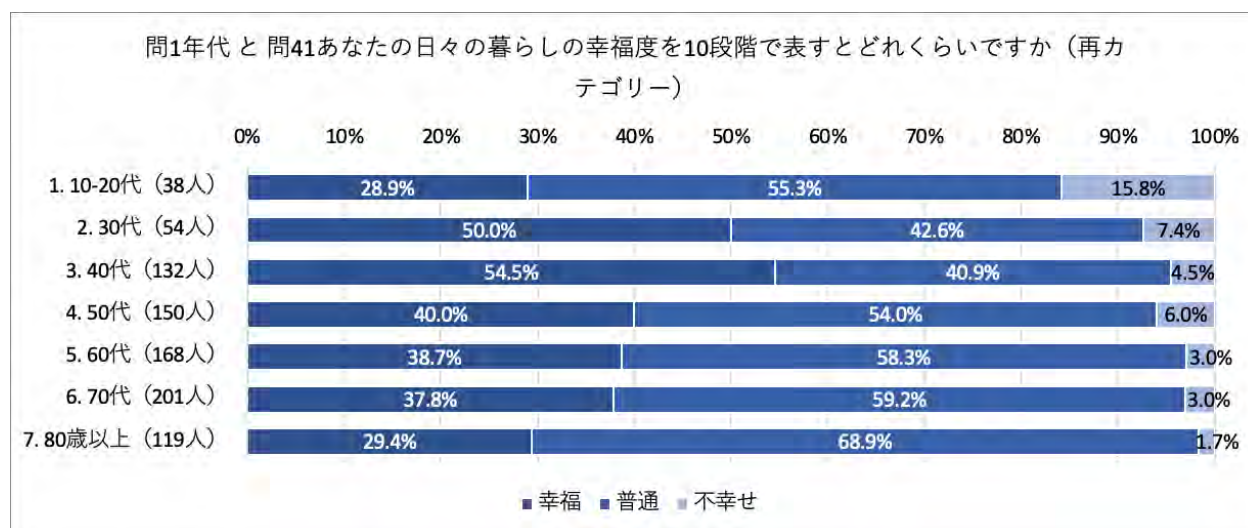
	人数	%
1 (不幸せ)	5	0.6%
2	8	0.9%
3	25	2.9%
4	36	4.1%
5 (普通)	220	25.2%
6	84	9.6%
7	140	16.0%
8	181	20.7%
9	61	7.0%
10 (幸せ)	104	11.9%
無回答	10	1.1%
全体	874	100.0%
平均値	6.78	
中央値	7.00	
最頻値	5	



年代別・性別集計は、1 から3を「不幸せ」、4から7を「普通」、8から 10 を「幸せ」と再カテゴリーしたうえで実施した。

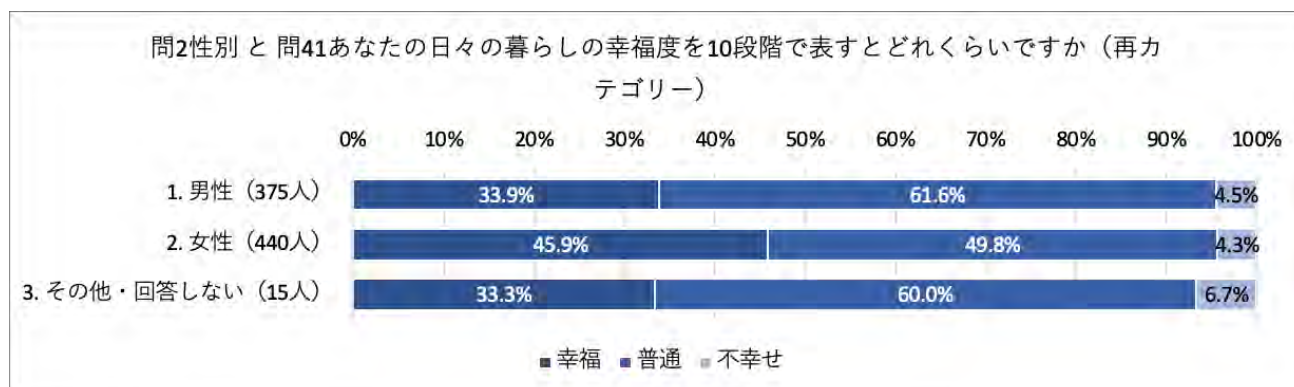
年代別集計

- ・ 「幸福」と感じる割合は 30 代(50.0%)と 40 代(54.5%)で高く、10～20 代(28.9%)や 80 歳以上(29.4%)では比較的低い。
- ・ 「不幸せ」と感じる割合は全体的に低いが、10～20 代(15.8%)では一定の回答があった。



性別集計

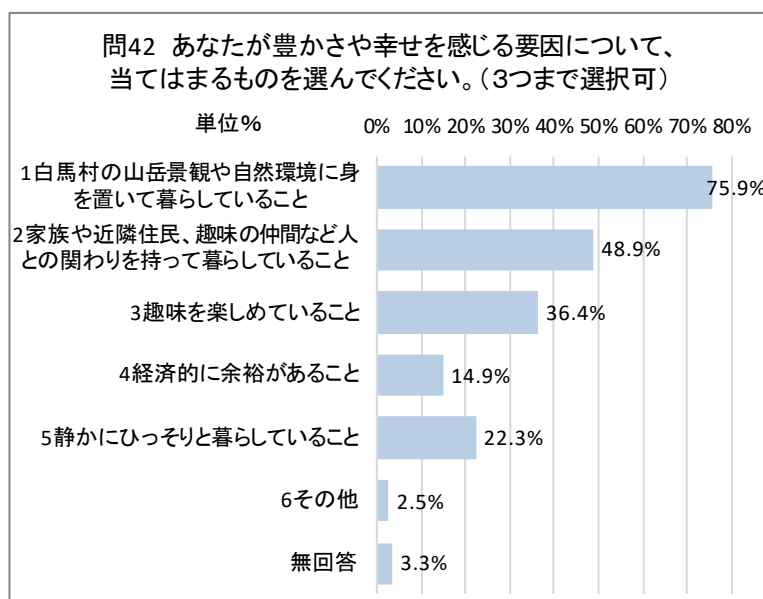
- ・ 「幸福」と感じる割合は、女性(45.9%)のほうが男性(33.9%)より高い。
- ・ 「普通」と回答した割合は、男性(61.6%)のほうが女性(49.8%)よりも高い。
- ・ 「不幸せ」との回答は男女ともに同程度で、差は見られない。



問 42 あなたが豊かさや幸せを感じる要因について、当てはまるものを選んでください。(3つまで選択可)

- ・ 豊かさや幸せを感じる要因について、当てはまるものを3つまで選んでもらったところ、「1.白馬村の山岳景観や自然環境に身を置いて暮らしていること」が 75.9%と圧倒的に多く選ばれていた。
- ・ 次いで、「2.家族や近隣住民、趣味の仲間など人との関わりを持って暮らしていること」が 48.9%と半数近くの回答者には選ばれていた。
- ・ 「3.趣味を楽しめていること」(36.4%)も比較的高い。
- ・ 「4.経済的に余裕があること」(14.9%)と「5.静かにひっそりと暮らしていること」(22.3%)を選択した回答者は、他の選択肢と比較すると少ない。

	人数	%
1白馬村の山岳景観や自然環境に身を置いて暮らしていること	663	75.9%
2家族や近隣住民、趣味の仲間など人との関わりを持って暮らしていること	427	48.9%
3趣味を楽しめていること	318	36.4%
4経済的に余裕があること	130	14.9%
5静かにひっそりと暮らしていること	195	22.3%
6その他	22	2.5%
無回答	29	3.3%
全体	874	100.0%



年代別集計

- ・ 「1.白馬村の山岳景観や自然環境に身を置いて暮らしていること」の回答割合は、10-20代(60.5%)から70代(85.0%)まで、途中でわずかな変動はあるものの、年代が上がるにつれて増加する傾向が見られる。
- ・ 「3.趣味を楽しめていること」は若年層(10-20代: 55.3%)で高く、途中で若干の増減はあるものの、年代が上がるにつれて低下し、80歳以上では23.1%まで減少する。
- ・ 「4.経済的に余裕があること」は40代(23.7%)が他の年代と比較して高い。

問1年代 と 問42あなたが豊かさや幸せを感じる要因について、当てはまるものを選んでくださいのクロス表 (複数回答)

問42あなたが豊かさや幸せを感じる要因について、当てはまるものを選んでください

	1. 白馬村の山岳景観や自然環境に身を置いて暮らしていること	2. 家族や近隣住民、趣味の仲間など人との関わりを持って暮らしていること	3. 趣味を楽しめていること	4. 経済的に余裕があること	5. 静かにひっそりと暮らしていること	6. その他	回答人数
問1 1. 10-20年代	23 60.5%	16 42.1%	21 55.3%	6 15.8%	10 26.3%	1 2.6%	38 100.0%
2. 30代	42 77.8%	30 55.6%	27 50.0%	8 14.8%	15 27.8%	2 3.7%	54 100.0%
3. 40代	97 74.0%	65 49.6%	60 45.8%	31 23.7%	25 19.1%	4 3.1%	131 100.0%
4. 50代	111 76.0%	71 48.6%	57 39.0%	28 19.2%	37 25.3%	6 4.1%	146 100.0%
5. 60代	133 81.1%	76 46.3%	55 33.5%	24 14.6%	32 19.5%	6 3.7%	164 100.0%
6. 70代	164 85.0%	98 50.8%	70 36.3%	19 9.8%	42 21.8%	3 1.6%	193 100.0%
7. 80歳以上	92 78.6%	71 60.7%	27 23.1%	13 11.1%	33 28.2%	0 0.0%	117 100.0%
回答人数	662	427	317	129	194	22	843

性別集計

- ・ 「2.家族や近隣住民、趣味の仲間など人との関わりを持って暮らしていること」は女性(56.0%)のほうが男性(46.0%)よりも高い。
- ・ 「5.静かにひっそりと暮らしていること」は男性(29.0%)のほうが女性(17.1%)よりも高かった。

問42あなたが豊かさや幸せを感じる要因について、当てはまるものを選んでください								
	1. 白馬村の山岳景観や自然環境に身を置いて暮らしていること	2. 家族や近隣住民、趣味の仲間など人との関わりを持って暮らしていること	3. 趣味を楽しめていること	4. 経済的に余裕があること	5. 静かにひっそりと暮らしていること	6. その他	回答人数	
問 2 性別	1. 男性	284	171	151	65	108	12	372
		76.3%	46.0%	40.6%	17.5%	29.0%	3.2%	100.0%
	2. 女性	341	239	157	57	73	9	427
		79.9%	56.0%	36.8%	13.3%	17.1%	2.1%	100.0%
	3. その他・回答しない	11	4	3	3	3	1	15
		73.3%	26.7%	20.0%	20.0%	20.0%	6.7%	100.0%
回答人数		636	414	311	125	184	22	814

問 43 白馬村の理想の姿をイメージしたキーワードを 10～20 文字程度で表現してください

問 43 の自由回答は、約 580 名から回答を得た。その中から 20 回以上使われていた用語を以下の表にまとめた¹。

単語	出現回数	単語	出現回数
1 自然・大自然	187	16 リゾート	27
2 村	164	16 白馬	27
3 豊か	88	18 心	20
4 暮らす/ 暮らせる/ 生活	59	19 田舎	18
5 観光	58	19 暮らし	18
6 住民/ 村民	52	21 大切	17
7 環境	48	22 文化	16
8 山岳・山	46	23 守る	15
9 白馬	41	24 街	12
10 住む	36	24 四季	12
11 景観	33	26 良い	12
12 美しい	33	27 客	11
13 安心/ 安全	30	27 生きる	11
14 共生/ 共存	29	27 日本	11
15 人	28		

2

さらに、自由回答結果について共起ネットワーク分析を行った。共起ネットワーク分析とは、テキストデータに含まれる単語の関係性を可視化する手法の一つで、単語の出現頻度や関係の強さを基にネットワークを構築する。この分析により、次ページの図のように、回答者の意見の中で特に関連性の強いキーワードや、回答の中心となるテーマの構造を把握することができる。また円の大きさが大きいほど、その単語の出現頻度が高い。

共起ネットワーク分析の結果、頻出単語の上位であった「自然(1位)」「村(2位)」「豊か(3位)」は一緒に使用されるパターンがあることがわかった。具体的には、「自然が豊かな村」などの形で組み合わせられている。7位の「環境」もこのグループに含まれ、「豊かな自然環境」といった表現で用いられていた。また、このグループは「安心/安全(13位)」「心(18位)」などの単語とも関連しており、「豊かな心」「豊かで安全」といった回答も見られた。出現回数からも、共起ネットワーク分析の結果からも、回答が集中していることがわかる。

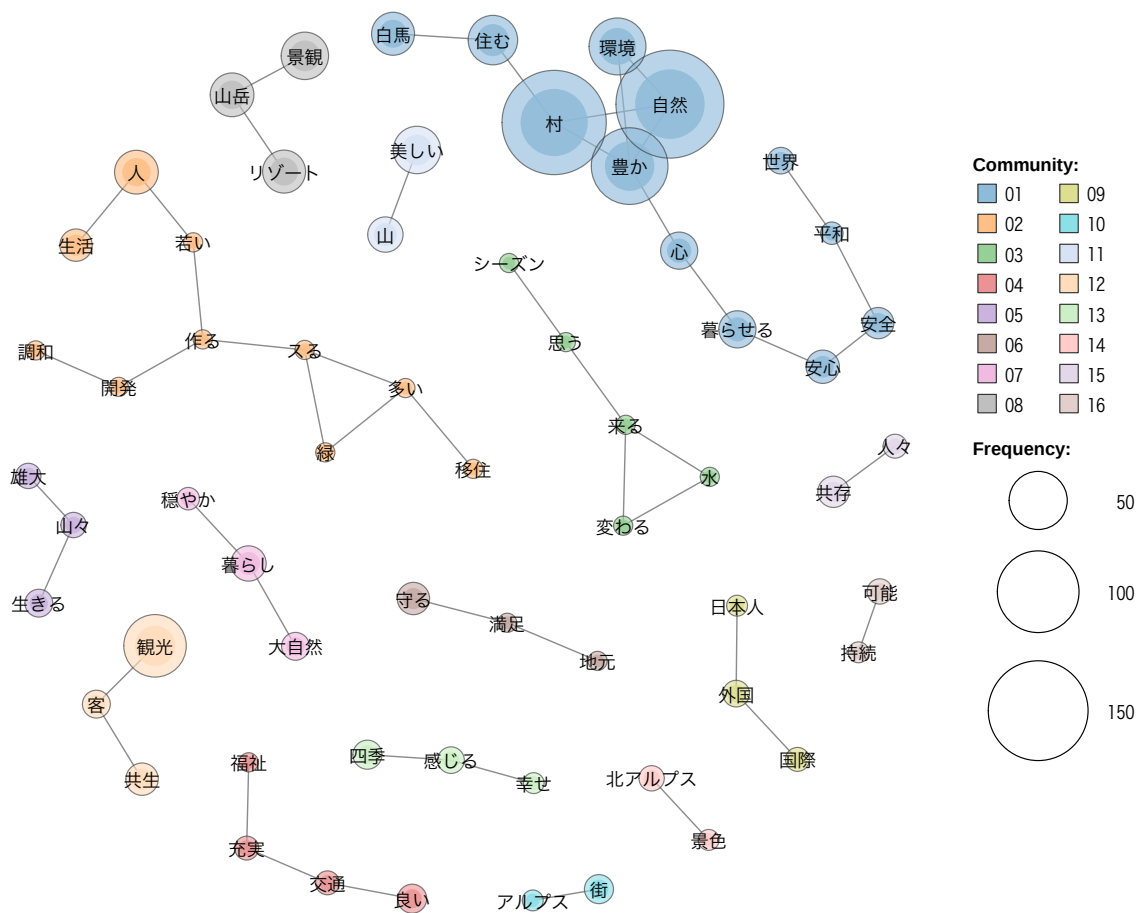
一方、5位の「観光」は、「共生/共存(14位)」「客(27位)」といった単語と共に使用される傾向があり、回答には「観光客と住民が共生する」といった表現があった。

さらに、「景観(11位)」は、「山岳/山(8位)」「リゾート(16位)」と共に使われることが多く、「山岳景観」「山岳リゾート」といった表現が複数確認された。

¹ 「暮らす/暮らせる/生活」など複数の単語を「/」でつなげている場合は、類似した意味を持つことから、統合してカウントしたことを意味している。

² 本分析では、テキストマイニングツール「KH Coder」を使用し、自由回答データの頻出語抽出および共起ネットワーク分析を行った。

問 43 の共起ネットワーク分析結果



その他には以下のような回答があった

- ・ 観光振興をしつつも地元住民を置き去りにすることのない村
- ・ 世界水準のオールシーズンマウンテンリゾート
- ・ 豊かな環境、充実した住心地、程よい観光
- ・ 自然豊かであり持続可能な観光地
- ・ 今ある自然を未来にも残し、子育てがしやすい村
- ・ 新しい風を取り込みつつ、住民も過ごしやすい町
- ・ 高齢者や障がい者にやさしい村
- ・ 大自然の中、多国籍の住民が豊かに暮らす村
- ・ 住民の結びつきが強い山岳リゾート地
- ・ どの世代も住みやすい白馬村
- ・ 安心安全住み良い白馬
- ・ 自然が豊かで人にやさしい村

問 44 さらに魅力ある白馬村にしていくために、ご意見やご提案があればお聴かせください。

問 44 の自由回答には約 450 名からの回答が寄せられた。使用された単語のうち、出現回数が多い上位 50 語を以下の表にまとめた³。

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
1 村	130	26 図書館	26
2 村民／住民	129	27 生活	25
3 思う	117	27 大切	25
4 観光	112	29 感じる	24
5 外国	78	29 今	24
6 白馬	76	31 規制	23
7 人	71	32 インバウンド	22
8 白馬	58	33 景観	21
9 住む	47	33 豊か	21
10 施設	46	35 考える	20
11 客	45	35 高齢	20
12 土地	40	35 子供	20
13 増える	38	38 子育て	19
13 地域	38	38 道路	19
13 必要	38	40 スキー	18
16 自然	37	40 日本人	18
17 環境	35	42 交通	17
17 多い	35	42 高い	17
19 整備	34	42 守る	17
20 行政	33	42 大事	17
21 良い	32	42 冬	17
22 移住	31	47 悪い	16
23 作る	30	47 建物	16
24 開発	29	47 税	16
24 充実	29	47 魅力	16

問 44 についても、共起ネットワーク分析を行った。出現回数 1 位の「村」と 3 位の「思う」は、問 44 が白馬村の今後についての意見を尋ねる質問であるため、頻出したと考えられる。「人(7位)」「住む(9位)」「良い(21 位)」という言葉も同じグループに含まれている。具体的には、「住民が住みやすい村にしてほしい」といった回答があった。

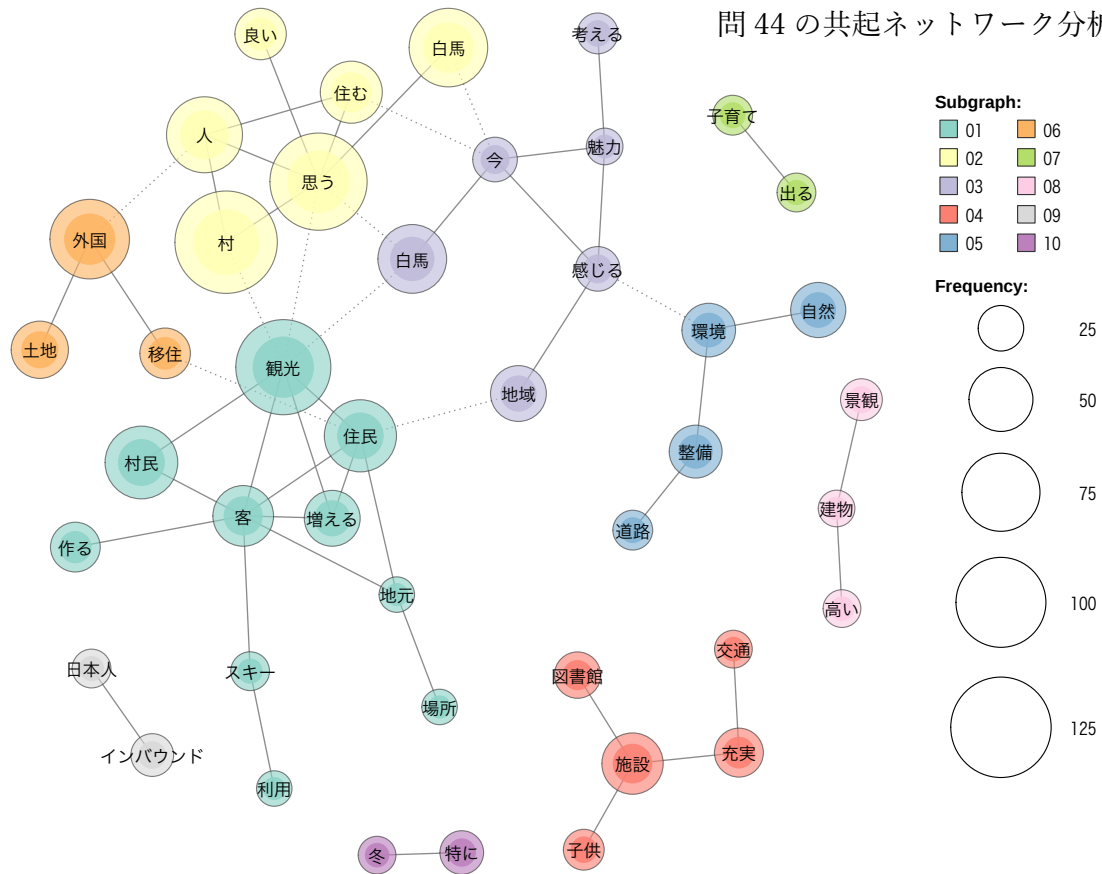
3 位の「観光」は、「住民」「村民」「客」「増える」といった単語とともに使われる傾向があり、観光と住民に関する意見が多いことがわかる。具体的には、「観光で増えた収入を村民も恩恵を受けられるようにしてほしい」「村民割を作してほしい」「村民のための行政という意識を持ってほしい」といった回答が見られた。

4 位の「外国」は、「土地(12 位)」や「移住(22 位)」、「インバウンド(32 位)」といった単語と共に使用される傾向がある。特に、「外国の方の移住に関する規制」「土地購入への不安」「インバウンドの継続に対する懸念」といったコメントが複数寄せられている。

そのほか、「施設や図書館の充実」を求める意見や、「自然環境の整備」に関する意見がまとまったグループ、建物の高さ制限についてのグループも確認された。

³ この他に「特に」が 23 回、「出る」が 18 回確認されたが、本リストには含めていない。また順位が 47 位までなのは、出現回数が同じ単語が複数あるためである。

問 44 の共起ネットワーク分析結果



付録 1 調査票

白馬村のまちづくり 村民アンケート 調査票

<該当する番号に○をつけてください>

I あなた自身に関する質問

問1 年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80歳以上

問2 性別 1. 男性 2. 女性 3. その他・回答しない

問3 職業（兼業の場合は主たる職業を1つだけ選んでください）
1. 会社員 2. 自営業・経営者 3. パート・アルバイト 4. 公務員
5. 主婦・主夫 6. 学生 7. 無職 8. その他（ ）

問4 業種（兼業の場合は主たる業種を1つだけ選んでください）
1. 観光業（宿泊・索道・ガイド等） 2. 飲食業 3. 卸売業・小売業
4. 農業 5. 製造業 6. 建設業 7. 金融・福祉・教育・公務
8. 主婦・主夫・学生・無職 9. その他（ ）

（通勤または通学されている方に伺います）

問5 勤務先・学校の所在地 1. 白馬村内 2. 白馬村外

（すべての方に伺います）

問6 住まい 1. 持ち家（兼用住宅等を含む） 2. 借家（戸建て）
 3. 借家（アパート・寮等） 4. その他（ ）

問7 土地所有 （回答者ご自身だけでなく親・配偶者なども含めた所有状況を回答してください）
1. 村内では自宅の土地のみを所有している
2. 村内に自宅以外の土地も所有している（農地・山林・宅地・雑種地等を含む）
3. 村内に土地を所有していない

問8 家族構成 1. 単身（本人のみ） 2. 夫婦のみ 3. 親子（2世代）
 4. 親子孫（3世代） 5. その他（ ）

問9 居住経歴 1. 白馬村に生まれて、ずっと住んでいる
 2. 白馬村に生まれたが、村外に住んでいたことがある
 3. 白馬村外で生まれて、白馬村に転入してきた

問10 白馬村での居住年数（通算・累計）
1. 0～4年 2. 5～9年 3. 10～19年 4. 20年以上

問11 白馬村に住んでいる理由（いくつでも選択可）
1. 生まれ育った場所だから 2. 白馬村が好きだから
3. 自身・家族の仕事上の理由（転勤・転職等） 4. 婚姻（配偶者が白馬村民）
5. 家族の都合（子育て・教育・介護等） 6. その他（ ）

問 12 どの地区に住んでいますか。

- | | | | | | | |
|----------|---------|---------|-----------|------------|----------|---------|
| 1. 内山 | 2. 佐野 | 3. 沢渡 | 4. 三日市場 | 5. 堀之内 | 6. 飯田 | 7. 飯森 |
| 8. めいてつ | 9. 深空 | 10. 八方口 | 11. 瑞穂 | 12. 八方 | 13. 落倉 | 14. 切久保 |
| 15. 新田 | 16. 森上 | 17. 塩島 | 18. 通 | 19. 立の間 | 20. 青鬼 | 21. 野平 |
| 22. 大出 | 23. 白馬町 | 24. 蕨平 | 25. 嶺方 | 26. エコーランド | 27. どんぐり | |
| 28. みそら野 | 29. 和田野 | 30. 山麓 | 31. わからない | | | |

問 13 行政区（自治会）に加入していますか。

1. 加入している 2. 加入していない

（ 行政区（自治会）に加入していない方に伺います ）

問 14 行政区に加入しない理由（いくつでも選択可）

- | | |
|-------------------|--|
| 1. 加入を勧められたことがない | 2. 付き合いが煩わしい |
| 3. 活動や運営の状況がわからない | 4. 役員等を引き受けたくない |
| 5. 長く住む予定がない | 6. その他（ ） |

（ すべての方に伺います ）

問 15 村政（行政の施策）への興味・関心はどの程度ありますか。

1. ある 2. 少しある 3. あまりない 4. ない

問 16 行政情報を入手する手段（いくつでも選択可）

- | | | |
|---|--------------|---------------|
| 1. 広報はくば（地区配布物） | 2. 防災無線 | 3. ケーブルテレビ |
| 4. 白馬村行政ホームページ | 5. 防災アプリ | 6. 白馬村公式 LINE |
| 7. 白馬村公式 Facebook | 8. 新聞（折込チラシ） | 9. 特に入手していない |
| 10. その他（ ） | | |

問 17 普段よく利用している情報媒体（いくつでも選択可）

- | | | | |
|--------------|---|-----------------|------------|
| 1. テレビ | 2. ラジオ | 3. 新聞 | 4. LINE |
| 5. Facebook | 6. Instagram | 7. X（旧 Twitter） | 8. YouTube |
| 9. 特に利用していない | 10. その他（ ） | | |

問 18 普段よく利用している移動手段（いくつでも選択可）

- | | | |
|---|---------------|----------------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. 自家用車（自分で運転） |
| 4. 家族の送迎 | 5. 近隣住民や知人の送迎 | 6. デマンドタクシー「ふれ AI 号」 |
| 7. 電車 | 8. 路線バス・高速バス | 9. タクシー |
| 10. その他（ ） | | |

問 19 お米・野菜などを自分または家族が作っていますか？

1. 作っている 2. 作っていないが作りたい 3. 作っていないし作りたくない

問 20 近所や職場などで野菜などのおすそ分けをあげたりもらったりしていますか。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 頻繁にしている | 2. 時々している |
| 3. ほとんどしていない | 4. まったくしていない |

Ⅱ 各施策の重要度・満足度

問 21 次の施策の重要度・満足度をそれぞれ選んでください。

	重要度					満足度				
	重要	やや重要	どちらともいえない・ わからない	あまり重要でない	重要でない	満足	やや満足	どちらともいえない・ わからない	やや不満	不満
1 住民の主体的なまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 開かれた行政運営 (行政の情報発信・透明性確保等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 行政のデジタル化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 情報格差の解消(高齢者向けスマホ教室等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 人口減少対策(住宅政策、移住・定住の推進等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 安心・安全な地域づくり (防災・防犯・交通安全等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 多文化共生・多様な人々の交流	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 公共交通	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 子育て支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 高齢者福祉	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 障がい者福祉	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 健康づくり(健診、保健・栄養相談、健康教室等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13 医療体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14 観光振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15 農業振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16 森林整備と木材の活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17 商工振興(創業支援・空き店舗活用等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18 小中学校の教育環境の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19 白馬高校の魅力づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20 生涯学習(公民館講座・図書館・芸術文化振興等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21 スポーツ振興(活動支援・機会創出等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22 五輪競技施設の利活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23 男女平等・女性活躍	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24 自然環境・生態系の保全 (温暖化対策・再生可能エネルギー促進等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25 地域の歴史と文化の継承 (登山・スキー・民宿・文化財等)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
26 景観の保全(建築物・広告物等の規制)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
27 ごみの減量・リサイクルの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
28 水資源の保全・水道の安定供給	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

Ⅲ これからのまちづくりと住民自治

問 22 あなたが望む将来の白馬村はどのような村ですか。(3つまで選んでください)

1. 恵まれた自然環境を大切にする村
2. 歴史や文化を活かした風情がある村
3. 国内外から観光客が訪れる世界水準のマウンテンリゾート
4. 医療・福祉・教育が充実して、誰もが暮らしやすい住み心地の良い村
5. 住民が積極的に地域づくりに参加し、人と人とのつながり・ふれあいが感じられる村
6. その他 ()

問 23 村民の役割として大切だと思うことは何ですか。(3つまで選んでください)

1. 地域の作業や行事に参加し、近隣住民と支え合いながら暮らすこと
2. 村政に関心を持ち、計画づくりやイベント等に参加・協力すること
3. スポーツや文化など、生涯学習や健康づくり活動に参加すること
4. ボランティアなど公益的な活動に参加すること
5. 環境保全や美化・緑化に努めること
6. 移住者や観光客を温かく迎えること
7. 自らの発言と行動に責任を持つこと
8. その他 ()

問 24 村政（行政の施策）に村民の声がどの程度反映されていると思いますか。

1. 反映されている
2. 少し反映されている
3. どちらともいえない・わからない
4. あまり反映されていない
5. 反映されていない

問 25 地域の課題には誰が取り組むべきだと思いますか。(1つだけ選んでください)

1. 住民一人ひとりが主体的に取り組む
2. 行政区（自治会）を中心に取組む
3. 行政（役場）や議会を中心に取組む
4. 個人や組織・団体等が連携して取組む
5. わからない
6. その他 ()

問 26 「自分は地域の一員である」という感覚がどの程度ありますか。

1. かなりある
2. 少しある
3. あまりない
4. まったくない

問 27 経験したことの地域活動・まちづくり活動を選んでください。(いくつでも選択可)

1. 地域の作業・行事等
2. 行政区（自治会）・PTAの役員・消防団等
3. 各種行事・学習会・講座等への参加
4. スポーツ・文化等のサークル活動
5. 行政の審議会等の委員（公募を含む）
6. 行政計画案等に対する意見・提案
7. 各種ボランティア活動
8. 特になし
9. その他 ()

問 28 地域活動やまちづくり活動についてどう思いますか。

1. 積極的に参加したい
2. どちらかといえば参加したい
3. どちらかといえば参加したくない
4. 参加したくない

問 29 地域活動やまちづくり活動に参加する上で課題や支障になることは何ですか。(いくつでも選択可)

1. 時間的余裕がない
2. 活動内容や参加方法がわからない・きっかけがない
3. 付き合いが煩わしい
4. 体調や健康面で不安がある
5. 同世代の参加者が少ない
6. 興味・関心を持ってない
7. 特にあてはまるものはない
8. その他 ()

< 政策について伺います >

問 30 交通政策について、望ましいと思うものを選んでください。(いくつでも選択可)

1. 財政支出を増やして、車を持たなくても便利に生活できる公共交通を目指す
2. 財政支出を抑えて、子どもや高齢者など車を持たない住民が利用しやすい公共交通を目指す
3. 住民の積極的な公共交通利用を促進することで、公共交通を維持・充実させる
4. 住民の積極的な公共交通利用を促進することで、環境負荷の低減に取り組む
5. 住民だけでなく観光客も利用できる交通手段を充実させる
6. 住民参加型・地域助け合い型の交通サービスを充実させる
7. その他 ()

問 31 開発や土地利用に対する規制に関してどう思いますか。

* 現在は農地法、建築基準法、景観法、独自条例等による規制がありますが、更なる規制を設けることで地価の上昇が抑制される可能性があります。

地価上昇のメリット：資産価値が上がる(高く売れる)ことで村内経済の活性化が期待される等。

地価上昇のデメリット：税負担が増える、土地が取得しにくくなる等。

1. かなり規制を強めるべき
2. 少し規制を強めるべき
3. 現状維持で良い
4. 少し規制を緩和するべき
5. 規制する必要はない
6. わからない

IV 地域と暮らしの状況

問 32 白馬村は寛容*な地域だと思いますか。

*寛容：自分と異なる考え・行動・信念等を排除せず受け入れたり、挑戦を応援したり失敗を許容したりすること

1. 寛容だと思う
2. 少し寛容だと思う
3. どちらともいえない
4. あまり寛容だと思わない
5. 寛容だと思わない
6. わからない

問 33 お住まいの地区(行政区・自治会)は寛容だと思いますか。

1. 寛容だと思う
2. 少し寛容だと思う
3. どちらともいえない
4. あまり寛容だと思わない
5. 寛容だと思わない
6. わからない

問 34 今後も白馬村に住み続けたいですか。

1. できるだけ住み続けたい
2. どちらとも言えない
3. 白馬村外に転出したい

(「1. できるだけ住み続けたい」または「3. 白馬村外に転出したい」と回答した方に伺います)

問 35 その理由を教えてください。(いくつでも選択可)

1. 自然環境
2. 家族や親戚・知人
3. 地域コミュニティ
4. 仕事
5. 医療・福祉
6. 子育て・教育環境
7. 利便性
8. 雪
9. その他 ()

(すべての方に伺います)

問 36 白馬村に住んでいることを誇りに思いますか。

1. 誇りに思っている
2. 少し誇りに思っている
3. どちらともいえない
4. あまり誇りに思っていない
5. 誇りに思っていない

問 37 観光振興により地域住民の暮らしは豊かになると思いますか。

1. 豊かになる
2. 少し豊かになる
3. どちらともいえない
3. あまり豊かにならない
4. 豊かにならない

問 38 観光客の訪問により地域にどのような影響が生じていると思いますか。(いくつでも選択可)

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 地域の産業・経済・雇用の活性化 | 2. 人や文化の交流等による移住者の増加 |
| 3. 村民が活躍する機会の増加 | 4. 道路・施設などインフラの整備 |
| 5. 地域に対する村民の誇りの醸成 | 6. 自然資源や文化資源の保全・継承 |
| 7. 自然資源や文化資源の損失 | 8. 物価や地価の上昇 |
| 9. 騒音やゴミの増加・治安の悪化・混雑等による生活環境への影響 | |
| 10. 街並みや景観の無秩序化 | 11. 特に影響は生じていない |
| 12. その他 () | |

問 39 10 年後の地域や暮らしについて、どんなことに不安を感じますか。(いくつでも選択可)

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 人口減少・高齢化による地域の活力の弱体化 | 2. 自身の孤独・孤立 |
| 3. 地域コミュニティ・住民同士の関係性の希薄化 | 4. 自身や家族の健康・介護 |
| 5. リゾート化の進展による住み心地の悪化 | 6. 収入減少、経済的負担増加 |
| 7. 農業者の減少による耕作放棄地の増加 | 8. 移動・交通手段の確保 |
| 9. 気候変動による雪の減少、災害の激化、生態系の変化等 | 10. 特に不安はない |
| 11. その他 () | |

V 住みやすさと豊かさ・幸福度

問 40 現在の白馬村の住み心地・住みやすさを 10 段階で表すとどれくらいですか。

住みやすい			普通			住みにくい			
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

問 41 あなたの日々の暮らしの幸福度を 10 段階で表すとどれくらいですか。

幸せ			普通			不幸せ			
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

問 42 あなたが豊かさや幸せを感じる要因について、当てはまるものを選んでください。(3 つまで選択可)

- | | |
|--------------------------------------|----------------|
| 1. 白馬村の山岳景観や自然環境に身を置いて暮らしていること | |
| 2. 家族や近隣住民、趣味の仲間など人との関わりを持って暮らしていること | |
| 3. 趣味を楽しめていること | 4. 経済的に余裕があること |
| 5. 静かにひっそりと暮らしていること | 6. その他 () |

問 43 白馬村の理想の姿をイメージしたキーワードを 10～20 文字程度で表現してください

問 44 さらに魅力ある白馬村にしていくために、ご意見やご提案があればお聴かせください。

ご協力ありがとうございました。

付録2

問 34「今後も白馬村に住み続けたいか」に関する分析

本章は、問 34「今後も白馬村に住みたいか」について、職業、業種、勤務先・学校の所在地、住まい、土地所有、家族構成、居住履歴、居住年数、行政区への加入、村政への興味関心、帰属意識ごとに集計・分析した結果のレポートである。

本章では、原則として表の一番下の行に記した合計のパーセントよりも、5ポイント以上多い場合を「多い」、5ポイント以上低い場合を「低い」として分析している

要約

- ・「白馬村に生まれて、ずっと住んでいる」回答者は、「1. できるだけ住みたい」との回答が、平均を約5ポイント以上上回っている。

- ・自営業・経営者と無職は、「1. できるだけ住みたい」との回答が、平均を5ポイント以上上回っている。

- ・農業と主婦・主夫・学生・無職で、「1. できるだけ住みたい」との回答が、平均を5ポイント以上上回っている。

- ・居住年数が9年以下の回答者では、「1. できるだけ住みたい」との回答が、平均を5ポイント以上上回っている。

大きな違いは見られないが、行政区に加入していない回答者のほうが、「1. できるだけ住みたい」との回答が、やや多い。

- ・村政への興味関心が高いほど、「1. できるだけ住みたい」との回答が多くなる傾向が見られる

- ・帰属意識が高い回答者のほうが、「1. できるだけ住みたい」との回答が多い傾向が見られる。

- ・会社員、パート・アルバイト、公務員は、「1. できるだけ住みたい」との回答が、平均を5ポイント以上下回っている。

- ・飲食業、卸売業・小売業、製造業、金融・福祉・教育・公務で「1. できるだけ住みたい」との回答が、平均を5ポイント以上下回っている。

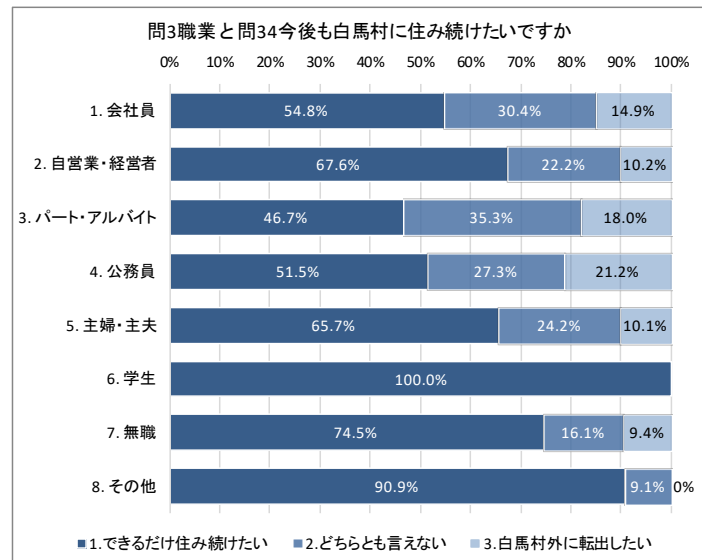
- ・借家に暮らす人は、「1. できるだけ住みたい」との回答が、平均を5ポイント以上下回っている。

- ・属性による大きな違いはないが、村内に土地を所有していない回答者は、「1. できるだけ住みたい」との回答が、平均よりもやや少ない

職業

- ・ 自営業・経営者と無職は、「1. できるだけ住み続けたい」との回答が、平均を5ポイント以上上回っている。
- ・ 学生は全員が「1. できるだけ住み続けたい」と回答しているが、学生の合計人数は4名と少ない
- ・ 会社員、パート・アルバイト、公務員は、「1. できるだけ住み続けたい」との回答が、平均を5ポイント以上下回っている。

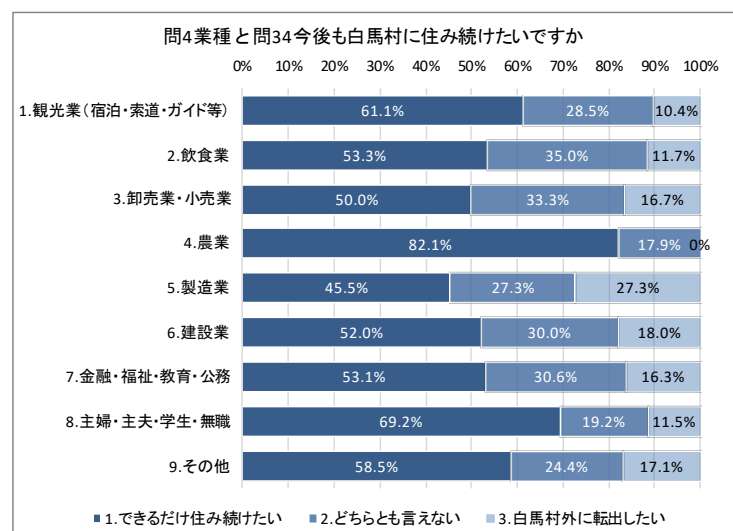
		問34今後も白馬村に住み続けたいですか			合計
		1. できるだけ住み続けたい	2. どちらとも言えない	3. 白馬村外に転出したい	
問3職業	1. 会社員	92	51	25	168
		54.8%	30.4%	14.9%	100.0%
	2. 自営業・経営者	152	50	23	225
		67.6%	22.2%	10.2%	100.0%
	3. パート・アルバイト	70	53	27	150
		46.7%	35.3%	18.0%	100.0%
	4. 公務員	17	9	7	33
		51.5%	27.3%	21.2%	100.0%
5. 主婦・主夫		65	24	10	99
		65.7%	24.2%	10.1%	100.0%
6. 学生		4	0	0	4
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
7. 無職		111	24	14	149
		74.5%	16.1%	9.4%	100.0%
8. その他		10	1	0	11
		90.9%	9.1%	0.0%	100.0%
合計		521	212	106	839
		62.1%	25.3%	12.6%	100.0%



業種

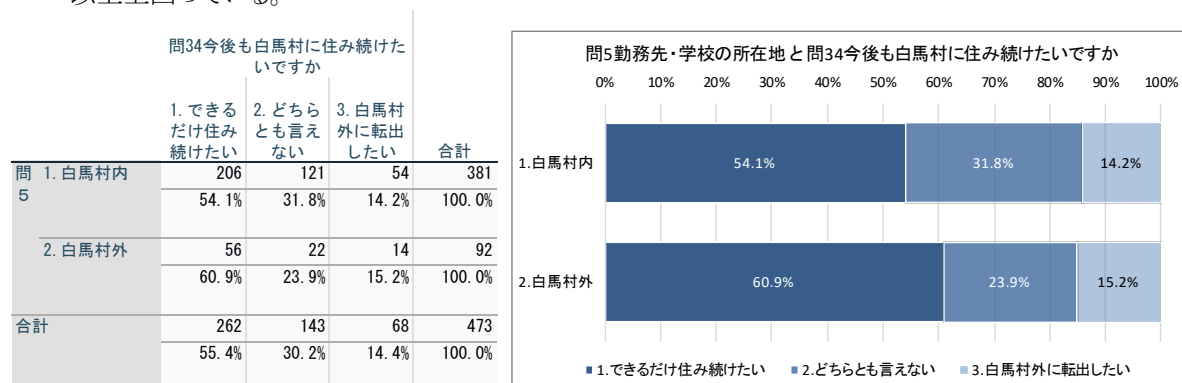
- ・ 農業と主婦・主夫・学生・無職は、「1. できるだけ住み続けたい」との回答が、平均を5ポイント以上上回っている。
- ・ 飲食業、卸売業・小売業、製造業、金融・福祉・教育・公務は「1. できるだけ住み続けたい」との回答が、平均を5ポイント以上下回っている。

		問34今後も白馬村に住み続けたいですか			合計
		1. できるだけ住み続けたい	2. どちらとも言えない	3. 白馬村外に転出したい	
問4業種	1. 観光業（宿泊・索道・ガ	118	55	20	193
		61.1%	28.5%	10.4%	100.0%
	2. 飲食業	32	21	7	60
		53.3%	35.0%	11.7%	100.0%
	3. 卸売業・小売業	27	18	9	54
		50.0%	33.3%	16.7%	100.0%
	4. 農業	32	7	0	39
		82.1%	17.9%	0.0%	100.0%
	5. 製造業	10	6	6	22
6. 建設業		45.5%	27.3%	27.3%	100.0%
		26	15	9	50
7. 金融・福祉・教育・公		52.0%	30.0%	18.0%	100.0%
		52	30	16	98
8. 主婦・主夫・学生・無		53.1%	30.6%	16.3%	100.0%
		108	30	18	156
9. その他		69.2%	19.2%	11.5%	100.0%
		48	20	14	82
合計		453	202	99	754
		60.1%	26.8%	13.1%	100.0%



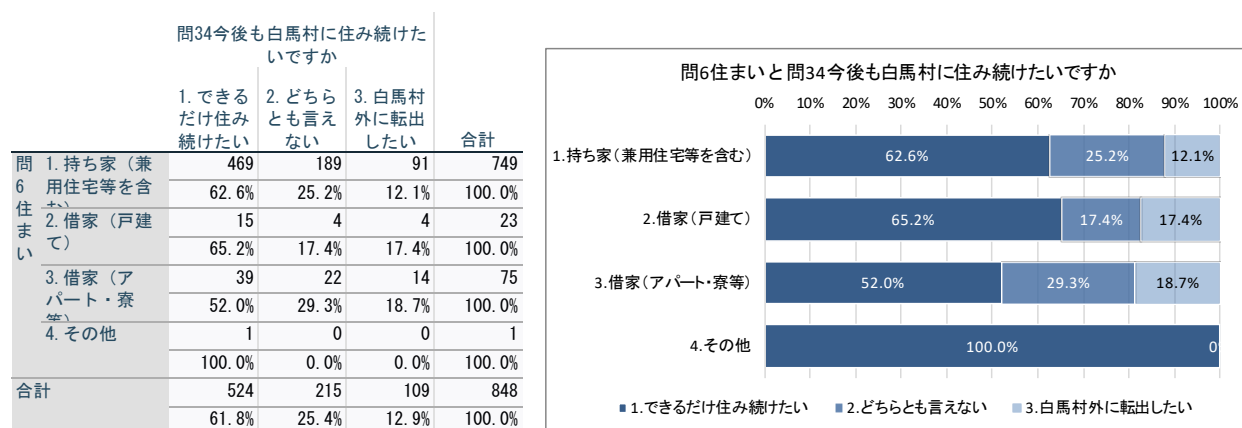
勤務先・学校の所在地

- 白馬村外まで通勤通学している回答者は、「1. できるだけ住み続けたい」との回答が、平均を5ポイント以上上回っている。



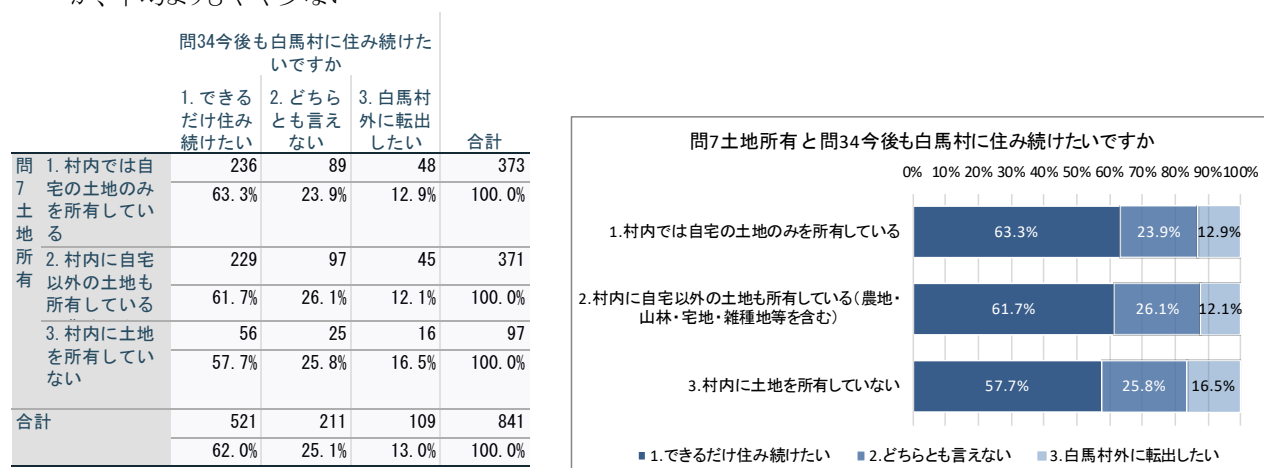
住まい

- 借家に暮らす人は、「1. できるだけ住み続けたい」との回答が、平均を5ポイント以上下回っている。



土地所有

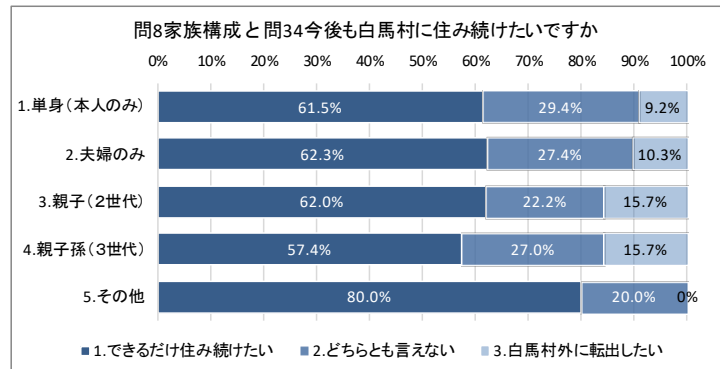
- 大きな違いはないが、村内に土地を所有していない回答者は、「1. できるだけ住み続けたい」との回答が、平均よりもやや少ない



家族構成

- 「5. その他」を除き、属性による大きな違いは見られない(その他の人数は5名)

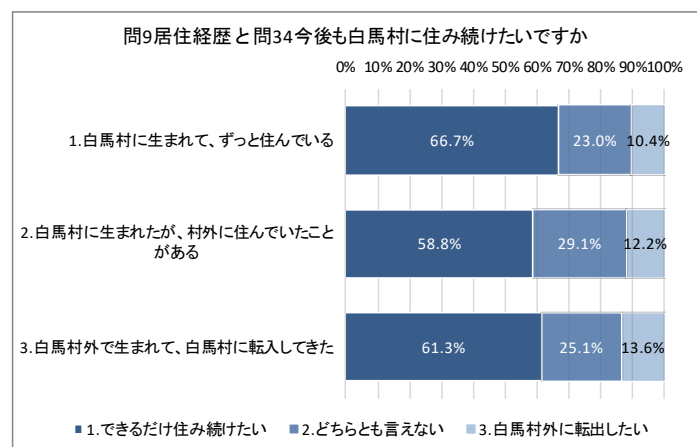
		問34今後も白馬村に住み続けたいですか			合計
		1. できるだけ住み続けたい	2. どちらとも言えない	3. 白馬村外に転出したい	
問8 家族構成	1. 単身(本人のみ)	67	32	10	109
		61.5%	29.4%	9.2%	100.0%
	2. 夫婦のみ	182	80	30	292
		62.3%	27.4%	10.3%	100.0%
	3. 親子(2世代)	201	72	51	324
		62.0%	22.2%	15.7%	100.0%
4. 親子孫(3世代)		66	31	18	115
		57.4%	27.0%	15.7%	100.0%
	5. その他	4	1	0	5
合計		520	216	109	845
		61.5%	25.6%	12.9%	100.0%



居住履歴

- 属性による大きな違いはないが、「白馬村に生まれて、ずっと住んでいる」回答者は、「1. できるだけ住み続けたい」との回答が、平均を約5ポイント上回っている。

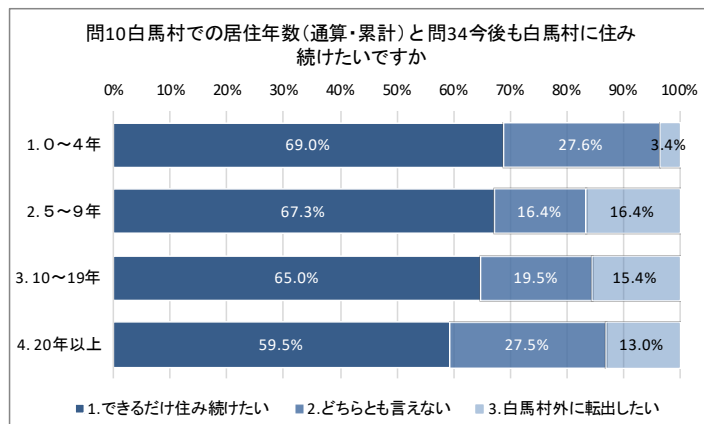
		問34今後も白馬村に住み続けたいですか			合計
		1. できるだけ住み続けたい	2. どちらとも言えない	3. 白馬村外に転出したい	
問9 居住履歴	1. 白馬村に生まれて、ずっと住んでいる	90	31	14	135
		66.7%	23.0%	10.4%	100.0%
	2. 白馬村に生まれたが、村外に住んでいたことがある	87	43	18	148
		58.8%	29.1%	12.2%	100.0%
3. 白馬村外で生まれて、白馬村に転入してきた		347	142	77	566
		61.3%	25.1%	13.6%	100.0%
合計		524	216	109	849
		61.7%	25.4%	12.8%	100.0%



居住年数

- ・ 居住年数が9年以下の回答者では、「1. できるだけ住み続けたい」との回答が、平均を5ポイント以上上回っている。

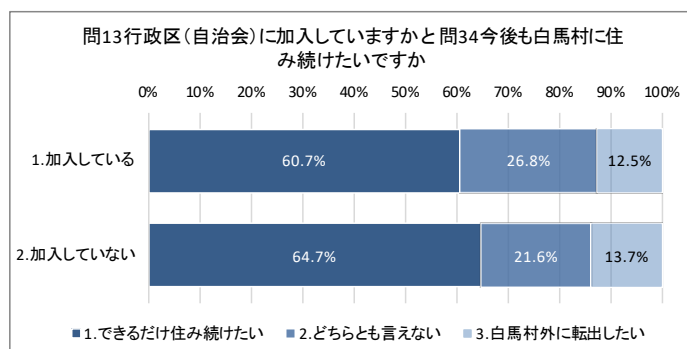
		問34今後も白馬村に住み続けたいですか			合計
		1. できるだけ住み続けたい	2. どちらとも言えない	3. 白馬村外に転出したい	
問10 白馬村での居住年数	1. 0～4年	40	16	2	58
		69.0%	27.6%	3.4%	100.0%
	2. 5～9年	37	9	9	55
		67.3%	16.4%	16.4%	100.0%
	3. 10～19年	80	24	19	123
		65.0%	19.5%	15.4%	100.0%
	4. 20年以上	361	167	79	607
		59.5%	27.5%	13.0%	100.0%
合計		518	216	109	843
		61.4%	25.6%	12.9%	100.0%



行政区への加入

大きな違いは見られないが、行政区に加入していない回答者のほうが、「1. できるだけ住み続けたい」との回答が、やや多い。

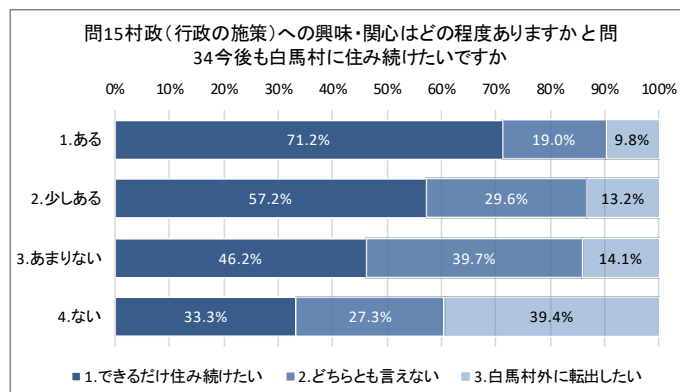
		問34今後も白馬村に住み続けたいですか			合計
		1. できるだけ住み続けたい	2. どちらとも言えない	3. 白馬村外に転出したい	
問13 行政区	1. 加入している	392	173	81	646
		60.7%	26.8%	12.5%	100.0%
	2. 加入していない	123	41	26	190
		64.7%	21.6%	13.7%	100.0%
合計		515	214	107	836
		61.6%	25.6%	12.8%	100.0%



村政への興味関心

- ・ 村政への興味関心が高いほど、「1. できるだけ住み続けたい」との回答が多くなる傾向が見られる

		問34今後も白馬村に住み続けたいですか			合計
		1. できるだけ住み続けたい	2. どちらとも言えない	3. 白馬村外に転出したい	
問15	1. ある	269	72	37	378
		71.2%	19.0%	9.8%	100.0%
	2. 少しある	195	101	45	341
		57.2%	29.6%	13.2%	100.0%
	3. あまりない	36	31	11	78
		46.2%	39.7%	14.1%	100.0%
	4. ない	11	9	13	33
		33.3%	27.3%	39.4%	100.0%
合計		511	213	106	830
		61.6%	25.7%	12.8%	100.0%



帰属意識

- ・ 帰属意識が高い回答者のほうが、「1. できるだけ住み続けたい」との回答が多い傾向が見られる。

		問34今後も白馬村に住み続けたいですか			合計
		1. できるだけ住み続けたい	2. どちらとも言えない	3. 白馬村外に転出したい	
問26	1. かなりある	160	32	14	206
		77.7%	15.5%	6.8%	100.0%
	2. 少しある	274	116	54	444
		61.7%	26.1%	12.2%	100.0%
	3. あまりない	73	58	27	158
合計		46.2%	36.7%	17.1%	100.0%
	4. まったくない	9	7	10	26
		34.6%	26.9%	38.5%	100.0%
		516	213	105	834
		61.9%	25.5%	12.6%	100.0%

